千年読本
千年読本
BCBA-1546

千年女優

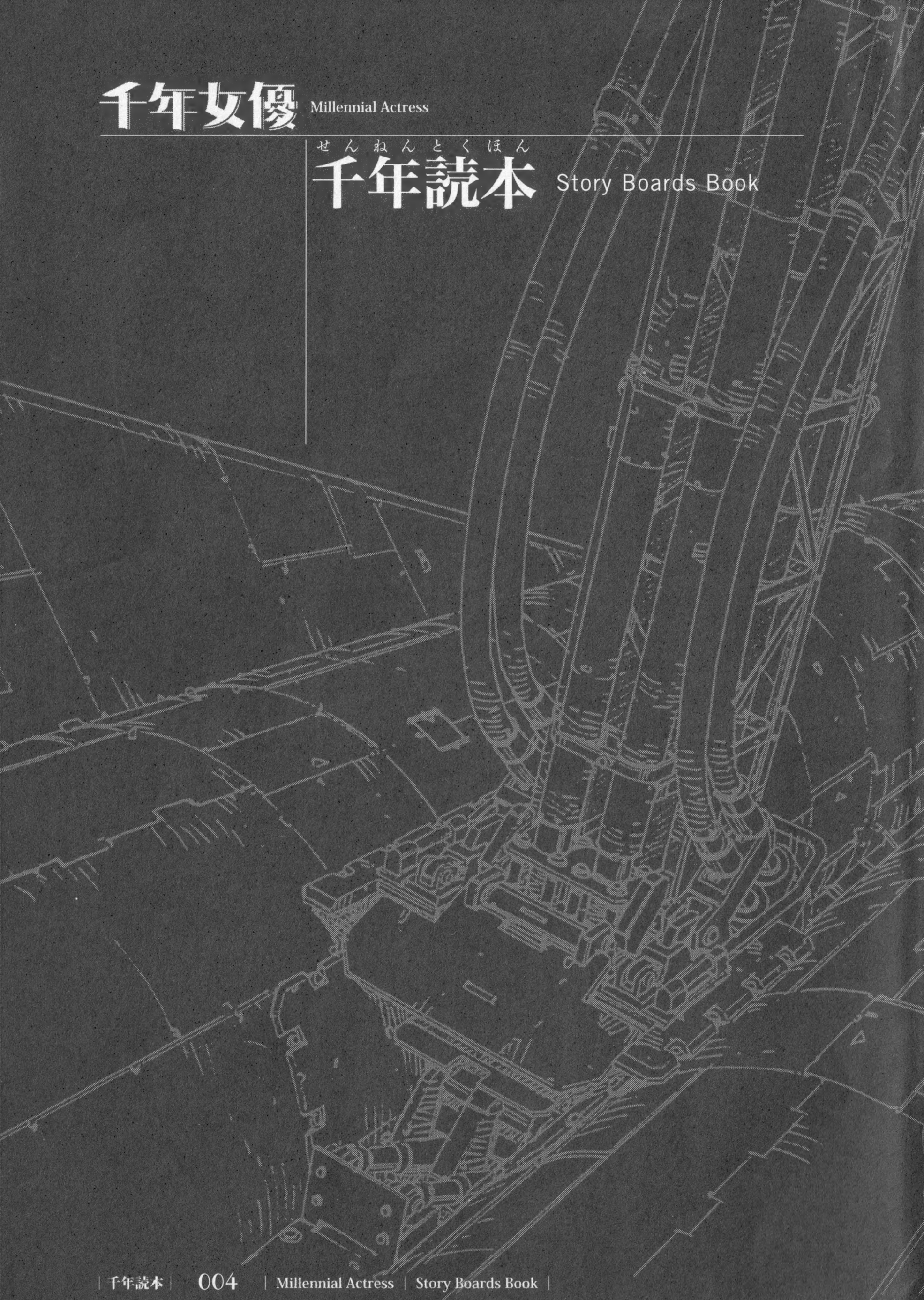
千年読本（せんねんとくほん）

Story Boards Book

千年女優 Millennial Actress

せんねんとくほん

千年読本 Story Boards Book



千年読本

目次

CONTENTS

解説 1◉『千年女優』を千倍楽しむ法　文・氷川竜介……… 006

今 敏プロフィール◉今 敏とは何者か？　文・氷川竜介……… 018

『千年女優』絵コンテ　文・藤津亮太

Aパート……… 021　［解説］映画のスタイルを観客に伝える……… 142

Bパート……… 149　［解説］劇中映画が物語を進める……… 294

Cパート……… 301　［解説］アニメーションならではの騙し絵感覚……… 438

欠番絵コンテ……… 445

＜APPENDIX＞

解説 2◉立花源也という「観客」　文・藤津亮太……… 462

今 敏 監督 ロングインタビュー◉千年流絵コンテ術　インタビュー・氷川竜介……… 468

絵コンテ用語……… 486　『千年女優』用語辞典……… 488　劇中映画メモ……… 491

オーディオ・コメンタリー キャスト紹介……… 493

Story Boards Book Commentary 1

『千年女優』を千倍楽しむ法

文：氷川竜介
text by Hikawa Ryusuke

◉はじめに

「粋な映画は粋に観れば良い」とも思うので、過剰な解説はある程度、無粋になるかもしれない。それを承知の上で、この映画を何度見ても新鮮な発見を感じる“乾きを癒せぬ方々”のために、私なりのこの映画の「楽しみ方」をちょっと変わった視点で語ってみたい。

なお、小見出しを斜め読みして「そんなことは先刻ご承知」と思われた方は、絵コンテ本体、コンテ解説、監督インタビューへと直進していただければ、そこにさらに具体的な楽しみ方が発見できるはずである。

●一人の女性の誕生から死までを描く……言葉にすると簡単だが、映像でその本質を語る困難さが想像できるだろうか？

◉『千年女優』の特質

この映画は本来的な意味での"ユニーク"（単一：他にない）であることは間違いない。だが、"変わっている"と評するとなるとちょっと微妙なところになってくる。野球にたとえれば、変化球は直球を極めた投手にしか投げられないように、この映画の今 敏監督は「何を投げれば変化球になるのか」を熟知している映像作家なのだ。つまり「映画の直球とは何ぞや？」を熟知した変化球監督であることになり、その人が変に見えるように投げたものを「変だ」と評するのは、現象の一側面しか見ていないことになるのではないか。

つまり「変なことを変だと感じさせるのがうまい映画だ」というのが、より正確な評になると考える。

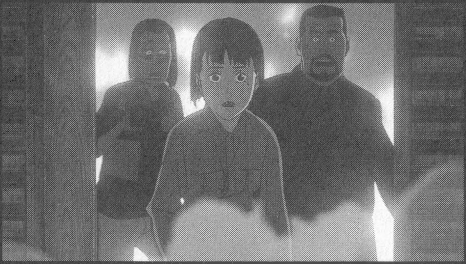
そういう視点で見ていくと、この映画の中には実は映画の歴史が培ってきたさまざまな映像のルールを「変えた」部分が、ほとんどないことがわかってくる。いや逆にそれは忠実に守られている。

だからこそ、「変だ」と感じるべくして感じるのだとわかって来た瞬間から、様々なレベルにおいて、幾重にも複合して仕掛けが成されたこの映画の面白さは、またさらに高みへと昇っていくのである。

◉クライマックスだけをつなぐ

まず、観客がこの映画で面食らうだろうと思われるのは、千代子のインナートリップにおける脈絡のなさ、ことに激しい情感のあふれるクライマックスだけをつないでいくような、その作法である。

それは映画が「物語」を語るべき装置であると規定され、そのパラダイムに沿って映画の産業化が成立している現代社会だからこそ覚える違和感であろう。いまは映画について、



●個人の回想シーン内にインタビューアーが登場して、突っ込んだりする……確かに、この映画の語り口は一風変わったものだ。

たいていの人は「ねえねえ、どんな筋だった？」と感想をもとめ、映画を観た観客も物語に感動するかどうかをひとつの尺度としているのは間違いない。

ところが「映画とは物語を提供するべきものだ」ということが単なる思いこみに過ぎないのは、映画の歴史をひもとけばすぐにわかってくる。なぜならば、映画の草創期は“写真が動く”ことそれ自体から受ける感銘にこそ、最大の価値があったからだ。

実のところ、1891 年に公開された世界最初の映画『ディクソンの挨拶』はわずか 1 秒半しかなかったという。当時の作品は『ボクシングをする男たち』『メイ・アーウィンのキス』『煙突掃除屋と粉屋の決闘』など、題名からして動く映像の訴求力を強く感じさせる。逆に言えばそれだけしかなく、物語性などどこにも感じられない。これは、今で言えばスペクタクル的でクライマックスに位置づけられる部分だけが、物語抜きに短いなりに 1 本の作品として確立していたことを同時に意味している。

だから、『千年女優』がお楽しみ部分のクライマックスを連続的に提示する作品だということは、“反映画的”なのではなく、むしろ“映画の原点回帰的”なことだと言うべきである。

◉モンタージュ理論とは何か？

次にこの映画で異色だろうと感じられる部分は、時間と空間の不整列と飛躍である。突然、千代子の身の上話が彼女の記憶の中で飛ぶ様子が、映像と映像のジャンプで表現される。いきなり戦前の満州だった場所が、戦国時代の城へと飛んでしまう。

だが、これさえも実は何ら“反映画的”ではないのである。

映画の歴史を語る上で、必ず登場するのがロシアの映画監

●子供のころ「怪獣がなかなか出ない」といらついたりはしなかっただろうか？“いきなりクライマックス”は万人の欲求かも。

督セルゲイ・エイゼンシュタインによるモンタージュ技法である。ロシア革命から８年たった1925年、当時27歳のエイゼンシュタインは『戦艦ポチョムキン』においてまさに革命的だったこの理論を実践。「オデッサの階段」というシーンにおいて赤ん坊のいる乳母車が階段を落ちる映像にその母親の驚く顔の映像を編集でつなぎ、ショックを表現した。

このモンタージュ技法とは、今ではあらゆる映像の根幹を成すものとなっている。

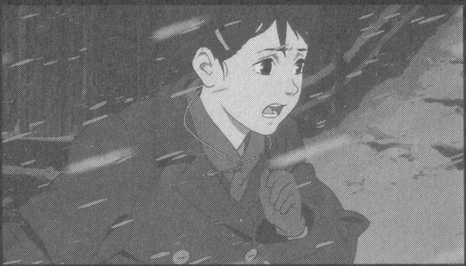
人物１が拳骨を突き出すショットAと、人物２がよろめくショットBを編集でつなぐと、そこにあらわれるのは“A＋B”という分断されたものの合成体ではなく、“人物１が人物２を拳骨で殴り倒した”という、AにもBにも存在しない“意味C”、あるいは“痛い！”という感覚である。

これがモンタージュ理論の骨子で、映像作家の能力とは、この上位に存在する“意味C”や感情・感覚の創出力、ないしは抽出力で決まると言って良い。

◉時間と空間を越えるモンタージュ……………

さて、ここで問題とすべき点が浮上してくる。モンタージュは編集によって行われるので、映像制作上は、ショットAとショットBを時間・空間的にまったく同時に撮影する必要はない。これを利用して、ほとんどの作品ではショット（アニメではカット）単位にバラバラに制作を行って条件を有利に調整し、後工程として編集でひとつの流れにつないでいって仕上げることが慣習になっている。それがバラバラ撮影がOKである何よりの証拠だ。

そういうショット同士のレベルでなくても、完成作品の中で時間・空間を飛ばすということは、これもしょっちゅう行われている。感情の高まりとともにいきなり真っ赤な夕景になるというのはドラマの常套手段である。助さん格さんが



●千代子は劇中、何度も走る。その走る姿の映像が、空間を超え、時間をも超えるパワーを呼び覚ますかのように。

「やっておしまい」となって斬り終わった後は、田園風景の中で旅立つ黄門様一行がいきなり映る。戦隊ヒーローが変身し、町中でジャンプして着地すると採石場だったとしても「ああ、安全なところに移動したな」と漠然と思うだけだろう（たまに“何キロジャンプしたんじゃい！”と突っ込む人がいるかもしれないが）。

こういう実例を挙げるまでもなく、「時間・空間がバラバラであっても、意味性がつながっていけば問題なし」というのが映画の大原則なのだ。「時間・空間をバラバラにしてはいけない」ではなく「バラバラなものから上位の意味性を抽出せよ」というのが映像作家の命題として提示され、映画の本質として追求が推奨されているものということになる。

となると、『千年女優』のように、一見して時間・空間が別々に見えるもの同士をつないで、そこから“千代子の人生観”という極めて上位の意味性を抽出しようという姿勢にあふれた映画は、映画作家的には正当に属する行為と言える。

◉人生は記憶の断片の集積

「モンタージュ技法」が映画の原則だとして、「モンタージュ技法は不可侵だ」とうやうやしく頂くのではなく、「なぜ、モンタージュ技法のようなものが成立し得るのだろう？」と考えてみてはどうだろうか？

もちろん、人間にはそういう一種の抽象度を持った意味性を認識する能力があるからだ。いや、ここで終わってはいけない。では、なぜそんな能力が備わっているのか？

ここで還るべきは、これをご覧になっている読者個々の人生経験である。

問いは単純にしよう。「今まで生きてきた人生の記憶を、すべて順番に覚えていますか？」 答えは「イエス」ではありえないはずだ。

●千代子の横を走る列車も、別のカットがあるからこそ“追いかけても間に合わない”という意味が発生する。

「朝起きた、歯を磨いた、学校に出かけた」こういう文章は、"小学生の日記" と呼ばれてバカにされる。そこには何の意味も見いだせないからだ。だが、人間の生活とは実際には1年365日こういうことの繰り返しである。その中の必要なことだけをつなぎあわせ、次の行動を決めて前に進んでいく。

つまり、もともと「人生はモンタージュ」なのである。「人生」の部分は「意識」とか「思考」とか「人格」に置き換えても同じである。要するに、「人間が生きて意味のあること」すべてはモンタージュ的に成立している。

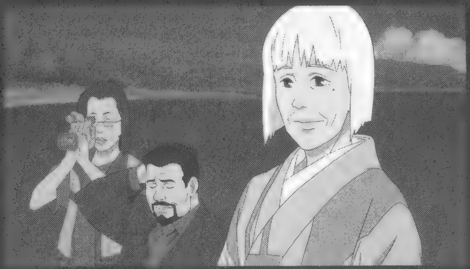
「記憶のモンタージュ」は、より厳密に言えば「記憶の処理済み断片」を編集することでできていく。処理というのは、嫌な記憶は欠落させたり改変させたり、良い記憶はその輝かしい部分を強調して、再生に都合の良い状態に変化させることを指す。

こういった断片が、何らかのリンクをとられて論理的に、あるいは感情的に整理され、ときに論理と感情を越えたリンケージの結果で生まれてくる意味性の追求が人生だとしたら、なぜ人が映画に感動するかという抜本のメカニズムがかいま見えてくる。つまり、モンタージュ同士の共鳴、共振が発生しているからではないだろうか。

そう考えてくると、もともと人生と共鳴可能で相似形となっている映画の断片を、映画の中で断片化され記憶化されてきた映画女優自身の記憶とつなぎあわせることは可能であり、それをモンタージュして意味性を見つけていく『千年女優』の方法論も、映画と人生の関係の本質からは、何ら逸脱はしていないことになる。

◉意味性をコントロールするものの存在………

だが、そうは言っても「じゃあ、本質が同じなら映像の断片と記憶、何をどうつないでも良いのだな」となるわけでは



●老人となった目から若い頃の自分の行為を回想し、再吟味する。これも一種の記憶がもたらすモンタージュのようなものだ。

ない。何の工夫もなく相互につないでしまったら、誰にも意味がくみ取れない抽象画のフラッシュバック、ジャンキーのバッド・トリップのような実験映画ができてしまうだけだ(現実にそういう映画も世の中にはたくさんあるのだが)。

冒頭の野球のたとえをもう一度使えば、変化球とは最初からストライクゾーンをはずすように投げる大暴投ではない、ということだ。『千年女優』が、かなり普通にはつながりそうにないモンタージュを多用していながらも、主人公の千代子に思いを寄せれば、ちゃんと普通の映画と同じような感覚が得られているのも、ピッチャーがちゃんと観客のストライクゾーンを狙っているからこそだ。

つまりモンタージュにこういう応用があるという着想も大事だが、それを実践する上では映像の意味性をきちんとロジカルにコントロールする術がもっと大事になってくるということである。

それでは、どのように『千年女優』のストライクゾーンは形成されているのだろうか？　そのコントロールは何をもって行われているのだろうか？

ここで浮上してくるものは、コンティニュイティ(連続性)とメタファー(暗喩)といった要素である。これらもまた、映画の抜本をなすものである。

◉コンティニュイティはどう発生するか……………

映画は観客を時間的に縛りつけて最後まで見せて完結するメディアである。読む速度や必要に応じて前後を往復できる書籍とそこが違う。だから映画はショットを積み重ねたモンタージュでできているとは言え、一種の仮想現実感を得るためのコンティニュイティが最後まで見通せるかどうかのキーとなる。

つまりショットを積んだときに、必要がない限りはそれが

●満州ロケで演じる千代子が、“君”を探す自分の気持ちを乗せた瞬間、何かが開ける。ここにも連続性が貫かれている。

分断されたものと観客に感じさせず、ずっとつながっていくものとした方が良い映画になるわけだ。それは、現実を過ごし経験するときに起きる事象には分断はないからである。

では分断されたショットでどうやってコンティニュイティを発生させるか？　基本的にその手法は「錯覚」を応用する。向かいあった二人の人間のショットの切り返しを、何らかの都合で別の日に撮影しなければならなくなっても、着ているものやメイク、周囲においてあるもの、光線の方向と強さ等の条件を一致させれば、完成作品では同じ時間が継続していると錯覚する。

こういった物理条件もさることながら、エモーション（情動）をつないで発生させるコンティニュイティ、その方が映画を充実させるためにより重要な要件となってくる。どちらが支配的かといえば、実は情動の方である。視覚的、あるいは音響的な刺激は理ではなく情に作用するため、多少の不合理があっても情の納得性が強ければ、それで進めてしまえるのである。

『千年女優』では、たとえば第二次大戦中から戦国時代へ画面を大胆に入れ替え、時間を飛ばすという大胆なつなぎが使用されている。これで映画が分断して見えないのは、物理的コンティニュイティの外枠をアクションカットの多用や構図のベクトル合わせ等、映像テクニックで緊密につなぎとめ保持しながら、入れ物の中身だけを入れ替えるというトリックを使っているからである。

この映画における場面転換の手際の良さは何と言っても注目に値するところで、複数回繰り返される時代の断層超えの際に、途中からは「次はどの手が来るのか」と待ちかまえてしまうところである。

そして、“君”を永遠に追い求めるという千代子のエモーションは、超える時代の前後で持続する。だがトリックが使

●かつての日本映画が得意とした時代劇。その豊富なバリエーションの中を、千代子はあの手この手で回想の旅をしていく。

われているがゆえに、現実から遊離した違和感とも何とも言えない感覚をともなっている。そしてその違和感があっても続くという点で、千代子の気持ちも逆説的に輝いて継続したものに見えてくるのである。

◉メタファーの相似形と行為の反復…………

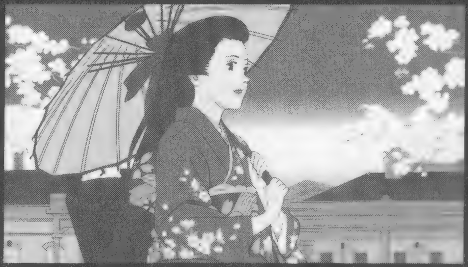
カットがわりのコンティニュイティの保持については前述のとおりであるが、これはミクロの視点に属すると思う。さらにマクロな視点で、映画全体で千代子の行動原理や心理において「つながっている」と感じさせる要素について述べておこう。

まず、映像作品においては文章に比べてメタファー(暗喩)という修辞法がより巧みな使われ方をする。メタファーは何か別のものに託して間接的表現を行うことだが、文章であれば目立ってしまうものでも、映像では背景に潜ませたり小道具に託したりすることで、その表現の間接性、無意識方向へ沈める深度を上げることができる。

『千年女優』では、撮影所の解体や太平洋戦争終結時に出てくる瓦礫、空に浮かんだ月、開かない扉、こういった象徴的なアイテムが繰り返し出て来てメタファーとして機能する。瓦礫は千代子の喪失した価値観、月は見えども届かぬあこがれ、扉は行く手を阻む障害を意味していると思われる。

だが、特に鑑賞中は表層意識で言葉に変換して観る必要はない。逆に言葉にしてしまったら、損なわれるものがある。だから、それぞれのアイテムが醸し出す情感を受け止めれば良い。そして相似形となっているものや、反復される行為といったものを頭の片隅で漫然とセリフやドラマ展開とリンクさせながら楽しめば、それが自然に映像の味わいとなって全体を漂い始めるはずだ。

これも、必要以上に“意味”の方を考えず、情感に任せる



●千代子の乗る人力車の回る車輪。その回転は“あやかし”の糸車とも相似形で、映画フィルムを回すためのリールをも連想させる。

ことが得策という、映画の楽しみ方における原点を再確認させるものである。ということは、この変化球がストライクゾーンをしっかり狙っているという証左でもあるのだ。

◉観客の参加意識の問題

千代子の追い求める人、その“君”から預かった鍵についても、暗喩的意味合いはもちろん見出すことができるが、これはむしろアルフレッド・ヒッチコック監督が言うところの“マクガフィン”の役割を果たしているのではないだろうか。マクガフィンとは、実のところ作者にとっても観客にとってもそれほど意味がないのに、登場人物（たち）が非常に重要と考えているアイテムのことである。しばしば映画はこのマクガフィンの争奪を中心に描いたり、あるいはマクガフィンが行き詰まった事態を打開したりする。しかし、その役割は映画を転がすことが第一義なので、本質的な意味はまるで存在しなかったりするわけである。

事実、この鍵は物語の最終段階で、千代子に何かをもたらすわけではない。その反面、物語を転がし、千代子の追い求める行動に理由を与え、情感をつなぐ役割だけは十二分にはたしている。

そして、ここで重要なことは、このマクガフィンが何のためにあるかということだ。観客はいつも、「これは本当は何だろうか？」と興味を持って注目するものを必要としている。もっと端的に言い換えれば、映画に参加するための触媒を欲しているのだ。

つまり、映画というメディアとは、作者が思い描いたものを勝手にスクリーンに展開するだけでは成立しない。映像を受け止める観客が、そのスクリーンの中に入って参加して初めてそこに意味が生まれ、感情や価値観が共有されて心が開き、カタルシスを覚えるものなのである。

●たったひとつ残された手がかりの“鍵”。その大事なものを見つめる千代子の顔は、やや楽しげでもある。

こういった観客へ参加を密やかに呼びかける姿勢もまた、映画を成立させる基本なのである。

◉生と死、そしてアニメーション

映画論的視点ばかりであったので、この作品がいかに“アニメーションしているか”についても簡単に述べておこう。

従来、アニメーション作品は「物事を抽象化しデフォルメすることで、人為的につくられた動きの面白さを追求する」ということが評価の主軸にあった。したがい、アニメーションとしての巧拙を論じる場合、ことにカット単位でのアニメートの表現技術の側へと偏重する傾向があったと思う。

しかし、アニメーションの本来的な語源からすれば、１枚１枚に還元してしまえばしょせんは静止しており、死んでいると言えるかもしれない絵を使って、キャラクターに「生命をふきこむ」ということ……それが成功しているか否か、その生命観に感動できるかどうかこそが、評価の第一義に来るべきではないか。

その観点からすると、『千年女優』では少女期から晩年まで半世紀以上を生きた架空のキャラクターの「人生」を創出し、その生きざまにある種の共感（人によっては反感）を覚えさせることに成功している。その人生とは、千代子の「生と死」の対比と、そのゆらぎの中から生まれて来るわけで、これは死んだ絵を使って生命をつむぎだすアニメーションの方向性と方法論、主題が完全に一致した状態だと言える。

であれば、『千年女優』は本質的な意味で、アニメーションすることができた作品であり、しかも「人生丸ごとをアニメートした」という取り組み自体は、空前に近いことではないだろうか。この点は、アニメーション表現の可能性を開くものとして、強調してし過ぎることがない部分であろう。

●結婚して家庭に入ることが幸せだったのか……。ここまでヒロインの実人生まるごとをアニメートした作品は希有ではないか。

◉最後に

既存の枠に入らない作品が登場したとき、新規性ばかりに注目してあたかもそこに価値があるかのように騒ぎ立てる傾向がある。『千年女優』も今後、そういう評に数多くさらされるような予感がしている。

だが、ここまで述べて来たように、本作品の根底にある手法は非常にオーソドックスである。変わっているのは今 敏監督の「そんなことはただの思いこみでしょ？」とでも言いたげな、既成概念に疑問符をつける発想と、その疑問を提示し、映像を実現するときのコントロールのサジ加減である。それはすべて基本がわかってのことである。

どこが基本で、どこをはずしているのか。はずした理由とは。はずしたことで浮かぶ本質とは……。このバランス感覚がわかってくると、さまざまな仕掛けも発見しやすく、再見するときの楽しみ方はまた何倍にもなるだろう。

人生は短い。とても千年を生きることなどはかなわない。しかし、映画を千本観ることは可能である。であれば、千回の人生を生きられるかもしれないわけだ。これは素敵なことである。もちろん本作を千回観ても、それは個人の自由だ。

こんな風に、本作品をきっかけに、映画それ自体やアニメーションの成り立ちに、あるいは「人間」やら「人生」やら、自分が生きていく上での本質に少し思いをはせてみてはいかがだろうか。

なお、この文章を真に受けて本気で考えてしまったら、直後に「な〜んちゃって」と付け加えていただくと、きっとこの映画の作者たちも大喜びすることと思う。一見マジメそうに大事そうに見えることも何も、すべてが虚妄かもしれないと疑って笑うバランス感覚こそが大事……それが、私がこの映画から学んだことだから。

●映画の最後の最後になって明かされる千代子の本当の気持ち。これもまた壮大なる“な〜んちゃって”的ユーモアなのかもしれない。

Profile of KON SATOSHI

今 敏とは何者か？

本作『千年女優』で、今 敏は原案・脚本（村井さだゆきと共同）・監督・キャラクターデザイン（本田雄と共同）としてクレジットされている。本コーナーでは、今 敏の作家としての足跡を追ってみよう。

漫画家としての活動

今 敏は1963年10月12日、北海道札幌市にて誕生。A型の天秤座である。

1982年、北海道釧路湖陵高等学校を卒業後、絵で身を立てることを志して武蔵野美術大学に進学し、念願の上京を果たす。17倍という倍率を突破して視覚伝達デザイン科に現役合格し、グラフィックデザインを専攻した。

1985年、大学在学中に趣味で描いた漫画を講談社の「ヤングマガジン・ちばてつや賞」に応募し、「優秀新人賞」を2回、「佳作」を1回受賞。その2作目が誌上に掲載され、漫画家デビューする。それをきっかけに同誌に作品を発表、「ホットドッグプレス」など雑誌のカット描きや、漫画家の臨時アシスタントを担当するようになる。その中には大友克洋の『AKIRA』のアシスタントも含まれている。

1987年に武蔵野美術大学を卒業して漫画家専業となり、1990年には三ヶ月間の週刊連載をまとめた初の単行本『海帰線』を講談社から刊行する。本作は人魚伝説を題材にしてはいるが、ファンタジー的な素材をリアリティあふれる構成と描写で突きつめた物語は今 敏テイストの原点。現在は美術出版社版が入手可能で、新版の装丁は夫人の山下京子が行っている。

1991年には2冊目の単行本『ワールドアパートメントホラー』を講談社から刊行。これは大友克洋が初監督した同題の実写映画を漫画化したもの。今 敏は原案も担当している。新宿のアパートにアジアからの不法滞在者が住みつき、そこにヤクザが地上げにやってくる。カルチャーギャップの恐怖をコミカルなタッチで描いた作品である。現在は絶版(映画はソニー・ミュージックからDVDが発売)。

90年代中盤、今 敏はアニメ作品を経験後に、再び漫画家として活動を再開する。その時期の代表作には、月刊アニメージュ（徳間書店）に1995年から押井守の原作で連載した『セラフィム』、コミック・ガイズ（学研）に同年から連載した『OPUS』があるが、諸事情により両作とも未完である。後者は今 敏自身による要約によれば、「漫画のキャラクターにページを持ち逃げされた漫画家がそれを追って自分の漫画世界に入って色々と冒険する」というもので、『PERFECT BLUE』『千年女優』が持つ虚実の

入れ子構造にも通じる作品である。

なお、今 敏は海外からのインタビューに答えて「“リアルな日常とファンタジーの融合”を目指した作品を描いていたつもりです」と自作漫画を総括している。これは、今 敏という作家を知る上で重要なキーワードである。

美術設定とレイアウトでアニメに進出

今 敏がアニメーション作品に参加した第1作目は、大友克洋が脚本を書いた映画『老人Z』（1991年／北久保弘之監督）であった。老人介護用の機械が暴走し、どこまでも増殖するというサイバーな感覚をライトなコメディタッチで描いた快作であった。今 敏のクレジットは「美術設定」であるが、具体的な作業担当としては登場頻度の少ない場面では、効率化のため設定を兼ねたレイアウトを膨大に描いていた。これが緻密なレイアウトで作品の密度感とリアリティを練り上げていく今 敏テイストの原点にもなっている。ここで今 敏は原画を描いてアニメーションの動く魅力と、スタジオの共同作業の面白さにも目覚めたという。

『老人Z』の現場では隣に沖浦啓之（後の『人狼』監督）が座っており、その縁で沖浦が作画監督をつとめた太宰治原作の『走れメロス』（1992年／おおすみ正秋監督）にレイアウトマンとして参加。同時期には、大友克洋総監修のオムニバス映画『MEMORIES』の「彼女の想いで」（1995年／森本晃司監督）の作業も始まり、脚本、美術設定、レイアウトを担当した。さらに平行して『機動警察パトレイバー2』（1993年／押井守監督）ではレイアウト修正を担当、戒厳令下にある東京の街並みを中心に描いている。

この時期、今 敏のレイアウトにおける構図のパースライン等の正確さ、仮想的なレンズを意識した空間の把握、配置された小物等のリアリティは非常に評価が高かった。特に「彼女の想いで」においては、今 敏は鉛筆の線画で紙がグレーに見えるほど細かく描きこんだ設定やレイアウトを描き、アニメーションにおける緻密化のひとつの頂点をそこで見たと言える。

アニメーション演出家、そして監督へ

今 敏の初演出作品は、少年ジャンプの人気漫画をビデオアニメ化した『ジョジョの奇妙な冒険　第5話』（1993年／北久保弘之監督）である。全6話シリーズの最終回直前、壮絶な超能力戦が展開するエピソードで、細密を極めた「彼女の想いで」の反動もあってアクション巨編となった。ここでは、参加してきた作品で今 敏が“自分ならこうしたい”と考えてきたカット割りや画面構成のアイデアがふんだんに盛り込まれることになる。

先述のように、90年代中盤はいったん漫画家活動に戻った後、今 敏は『PERFECT BLUE』（1997年）で、長編アニメの監督デビューを果たす。

この物語は、B級アイドルだった霧越未麻が女優への転身を試みるところから始まる。だが、その方針を巡って事務所の関係者と未麻が悩む中、関係者が手紙爆弾で流血する事件が発生した。アイドル・未麻に固執するストーカーの仕業なのか。未麻が過激なアダルト路線をとったとき、事件はさらにエスカレートして、脚本家やカメラマンが次々と惨殺されていく。困惑する未麻の前に、アイドル衣装を身につけた未麻そっくりの女性が現れた。アイドル脱皮を快く思わない"もう一人の未麻"こそが本当の犯人なのだろうか……。

本作は、竹内義和の小説をアニメ化したものである。"ホラー、アイドル、ストーカー"という3つの要素を押さえれば、脚色は自由という条件でスタート。夢と現実、虚実が混交していく構成や、主人公の前にさらに自分らしい存在が現れる恐怖というような主要なファクターは今 敏が発案し、脚本を担当した村井さだゆきとの議論で詰めていったものである。

本作は当初はビデオアニメという枠組みでスタートし、観客に混乱を与えるような構成もそれを前提にしたものだった。制作途中で劇場映画としての公開が決定、加えて制作途上ではいくつものアクシデントに見舞われるが、その苦闘の日々は今 敏の初の著書にあたる「KON'S TONE［千年女優］への道」（晶文社）に収録された「パーフェクトブルー戦記」において自身が語っているので、興味ある方はぜひ一読して欲しい。

本作は日本では一般観客を巻き込んで大ヒットを記録。世界各国の映画祭に招待され、モントリオール・ファンタジア映画祭にてグランプリを受賞。韓国プチョン・ファンタスティック映画祭、ベルリン国際映画祭等で上映され、いずれも好評を博した。

衝撃的な監督デビュー作『PERFECT BLUE』は、特徴あふれるキャラクターがSFやファンタジーといった世界で冒険を繰り広げるという、いわゆる"アニメらしい"作品とは傾向がまったく違っている。それでありながら、アニメでなければ成立しないトリックと、それを支えるリアリティと説得力のある画面づくりを行ったことで、アニメーション映画に新たな地平を切り開いたといっても良い。

以上のような流れをふまえ、1999年から今 敏は監督第2作目にあたる映画『千年女優』の制作に着手。2002年秋に劇場公開され、Dream Works Picturesがアジア以外の全世界権利を取得するなど、各界で大きな話題を呼んだ。

今 敏監督の最新作の題名は、『東京ゴッドファーザーズ』。2003年の公開に向けて着々と準備が進められている。現代の東京・新宿を舞台に、3人のホームレスが赤ん坊を拾ったところから始まるこの映画は、「一筋縄では行かない捻りに捻った人情アニメ」（今監督談）だという。1作ごとに驚きをもたらす今監督の次回作に期待しようではないか。

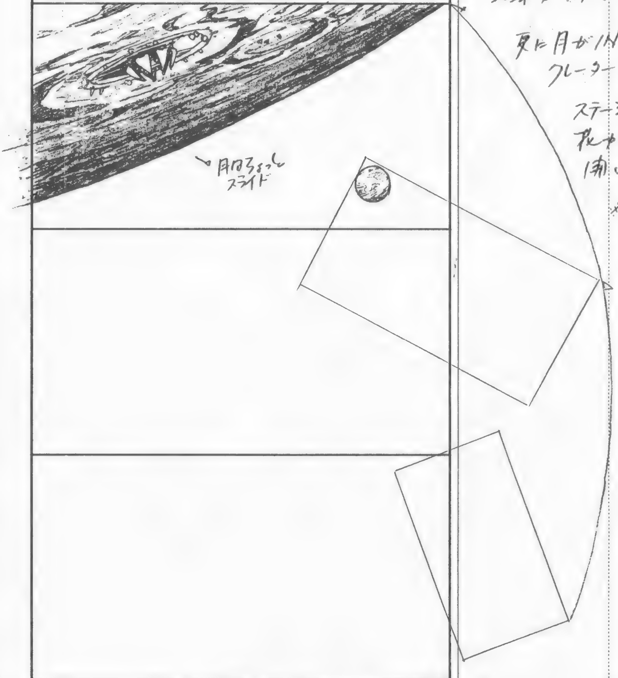
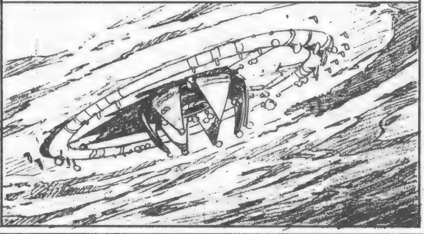
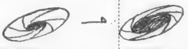
<参考文献>
月刊「アニメージュ」2002年2月号掲載「この人に話を聞きたい」／「KON'S TONE［千年女優］への道」（晶文社）／「千年女優画報」（河出書房新社）／ホームページ「KON'S TONE」（http://www.parkcity.ne.jp/~s-kon/）

千年女優

| Millennial Actress |

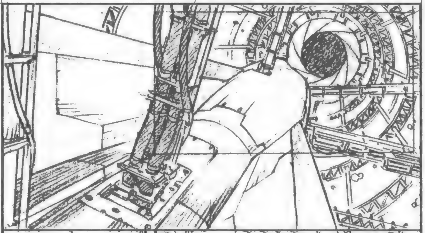
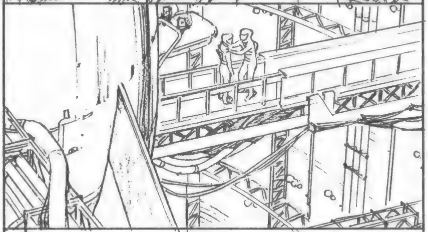
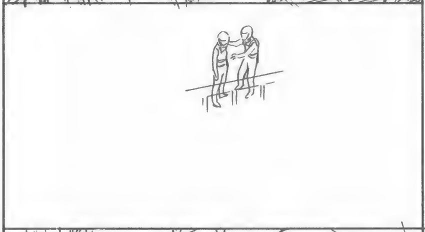
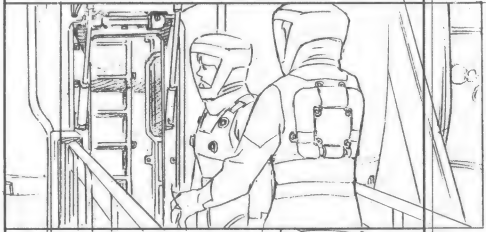
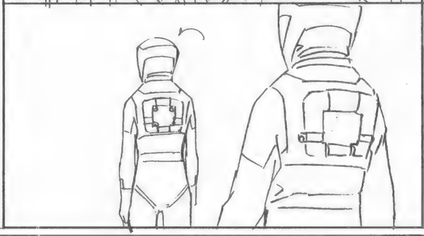
A PART

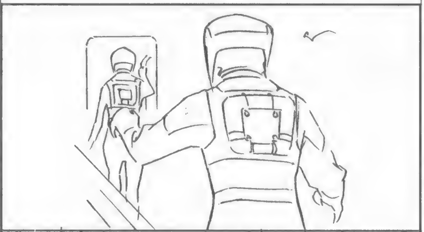
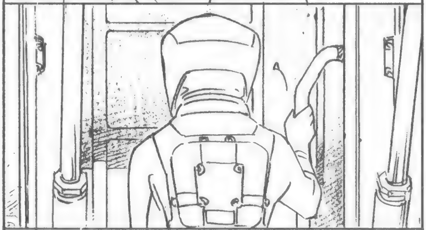
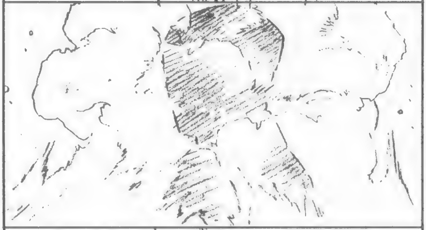
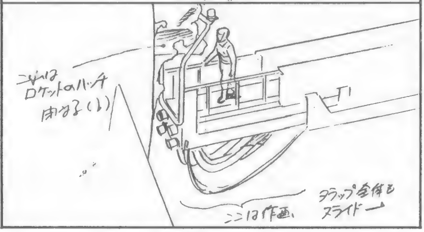
| Story Boards |

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
1	＊画面B.L.	B.L.からF.I 漆黒の闇に散りばめられた星々 回転PAN＋TB （もう少し彷徨うかんじにしたい） 地球がINしてくる 更に月がIN、その月面のクレーター内に、宇宙ステーション ステーションの外壁が花が咲く様にゆっくりと開いていく ＊月がINしてきたあたりで PAN・TBのスピードダウン		20+0
	 			
2		宇宙ステーション 寄り 前カットを引き継いで ゆっくりと PAN (←) 外壁が更に開く。 花弁内部のハッチも開いていく 		5+0

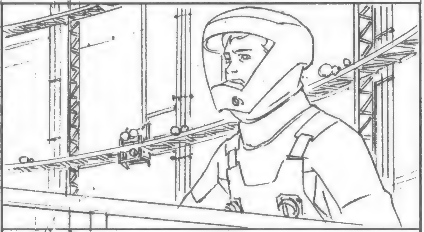
(　　)

マッドハウス

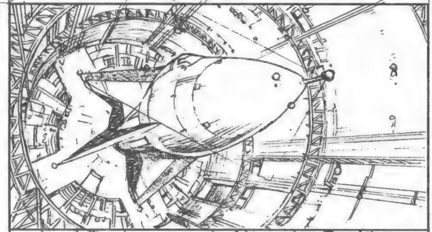
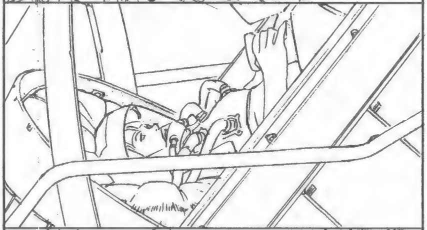
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
③		ステーション内／ロケット発射場。 開いたハッチからT.B.（ほんの少し船体スライド） ハッチの向こうは宇宙。 白銀に輝くロケットの船体。	※T.Bはラスト詰め	5+0
④		ロケットへのタラップ 宇宙服を着た男女 右が男、左が女 （女は千代子です）	(男)「どうしても… 行くのか!?」	
		言って、横を向く 千代子 男の手が力無く 放れる	(千)「約束したのよ ……」	6+0
		AC	千代子の振り向きと 男の手が下がるアクションを 少しこぼす感じで。	
⑤		男をなめて 千代子 奥にロケットの ハッチ 顔上げて しっかりと	(千)「…必ず逢いに 行くって」	
		男にクルリと 背を向けて ロケットに向かう 千代子（○──付ける） 男、諦めた様に 呆然とするが…		

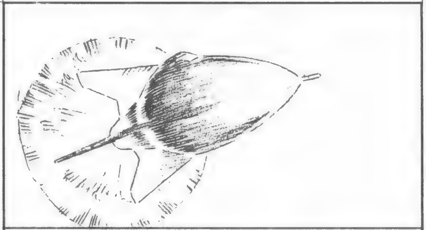
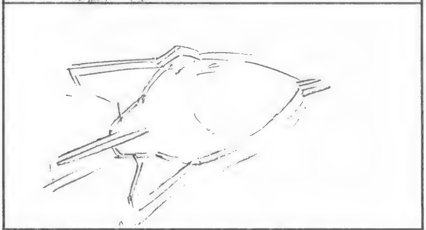
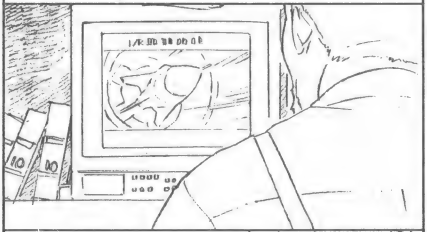
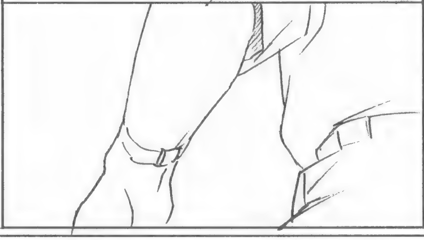
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
⑤		千代子の後姿に 縋るように ※男の動き 1歩半くらい 出て止まるかんじで	(男)「行けば二度と 戻って来られない んだぞ!!」	10+0
⑥		AC ロケットに乗り込む 千代子 寄り ステップを上がる ところでAC		
		千代子 振り向いて 微笑 ※この時の千代子 40歳くらい バシュッ	(千)「…ありがとう」	
		千代子を隠すように 煙が吹き出す (何の煙かは謎です)		6+0
⑦		C.4 同ポ ガゴォオン 前カットの煙すぐに F.O 残された男の立つ タラップが船体から 離れる(作画+スライド)		2+0

(　　)

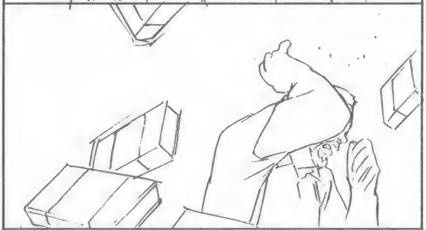
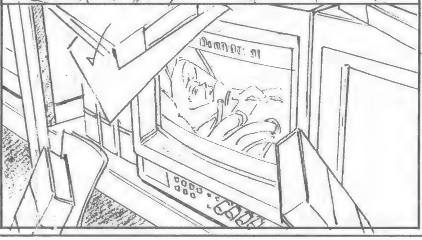
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
⑧		タラップの上の男 寄り BG スライド(←) タラップ(BOOK)スライド(→) 引き込まれるタラップの上で 男、歩いてます		
		タラップの端が IN	(男)「…行くな…	
		手のバーを掴み 身を乗り出す 様にして叫ぶ	行かないでくれ!! 俺は…」	5+0
⑨		A・C風に 前カットの男の動きを 受けて身を乗り出す 立花 清也(65) 暗いビデオ編集室 モニターの光に 照らされてる		
		立花、"宇宙服の男" の役にのめり込んでます	(立)「俺は君の ことを…!!」 (※ offで"宇宙服の男"の 同じセリフ、聞こえます スピーカーからの声です)	2+0

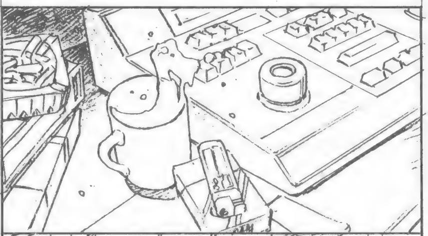
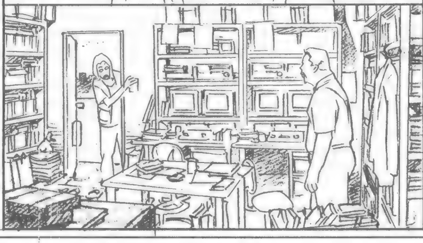
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
10		ロケット発射場 フカン 回転T.U カウントダウンの声	声(off) 「…シックス …ファイブ…」	2+12
11		ロケット操縦席の千代子 様々なチューブが繋がれている	声(off) 「…フォー …スリー」	2+0
12		管制室 先程の男がガラス越しに操縦席の千代子を見つめている	声(off) 「…トゥ」	1+0
13		C.9 同ポ モニターを見つめる立花	声(off) 「…ワン」	1+0
14		操縦席の千代子寄り。 正面を見据え微動だにしない。 (止メです止メ) ヘルメットに色とりどりの計器類の光 映り込み	声(off) 「…ゼロ」	1+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
15 A		C.10同ポ ゴオォォ。。 轟音が響きわたり ロケットが激しく 震動する	※ロケットの噴射の 処理一考	
		画面動が 不自然な程に 激しくなる		5+0
15 B		ビデオ編集室 立花の肩越しに モニター（モニター内は 15A と同ポ） 画面動!! 本物の地震で ある		
		驚いて振り 返りながら	立「うわっ!!」	
		立ち上がる 立花 AC		2+12

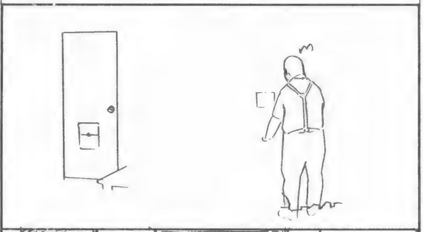
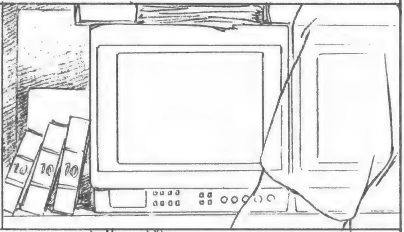
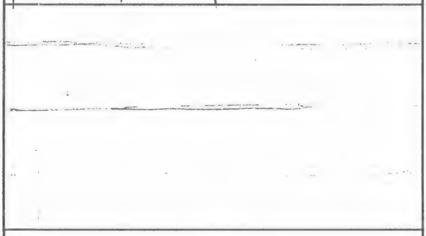
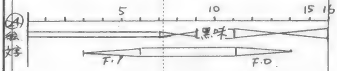
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
16		ビデオ編集室 前カットを受けて 立ち上がる立花 その拍子に椅子が 滑ってテーブルに ぶつかる。 ガタッ。 ※画面動		
		そのままよろけて ビデオの棚にすがる		3+0
17		立花 寄り 不安げな立花 に── ※画面動		
		上から ビデオテープの ケース等が落ちて来て 一つ 二つ ぶつかる	(立)「あたっ!!」	2+0
18		モニター 小物がバラバラと 落ちる ※モニター内は C.14と 同ポ ※画面動		1+12

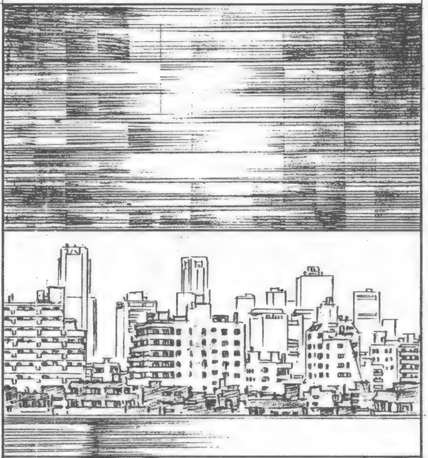
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
19		机の上、編集器の横の コーヒーカップ。中のコーヒーが揺れて 踊る 手前、落下物 IN & OUT ＊画面動 弱まる		2+0
20		画面動 収まる。 棚の前の立花		
		恐る恐る あたりを窺うように ゆっくりと身を起こす 付けて PAN UP		
		(SE) off ガチャ。 ドアの開く音が 聞こえ、見やる立花 部屋の蛍光灯が 灯く。(色変え) ＊間のヌケたかんじの カットです。	(立)「おう…… でかかったな……」	1+0
21		ビデオ編集室 引き。 戸口から身を乗り出し 電灯のスイッチに手をかけて いる井田恭二(27) 開けたままのドアの 向こうは 朝の街 小鳥の群れが 横切る。	(井)「大丈夫ッスか?」 (立)「機材は?」 (井)「平気ッス。 車も回しといたッス」	

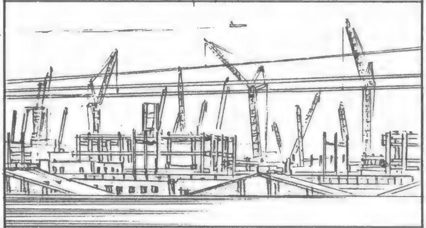
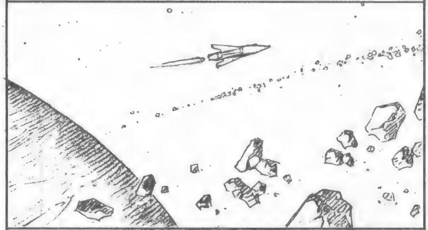
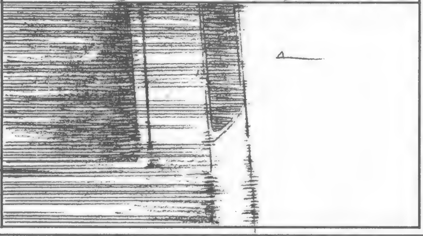
( )

No. 9 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
21		井田、セリフ言いつつ ドアを閉めて去る (SE) カンカンカンカン 井田が階段を下りる音が聞こえる. 立花、先程座っていた モニター前に近づき, 何やら操作. モニター内の映像が止まる（と言っても止メ絵なんだが）	㊤「すぐ行く」	11+0
22		モニター寄り. ※ C 15Ⓑ ½ 兼用 但し、色違いです. モニター内 先程までの 映像（ロケット発射シーン）などが 巻き戻されて行く		
		立花 OUT カットいっぱいT.U		4+0
23 ※㉔は欠番		モニター内、ポン寄り.（画面いっぱいモニターです）. 色々な時代、様々な衣装を着た少女や大人の千代子の姿. ※ C.22,23 共に ハメ込みで映像は 本編のカットから 使い回したい…な		
	千年女優	タイトル F.I. F.O ※音楽スタート  OL		11+0 (5+0)

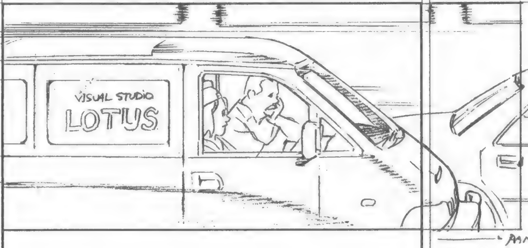
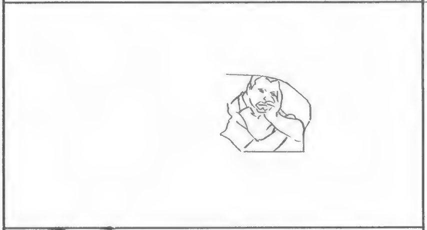
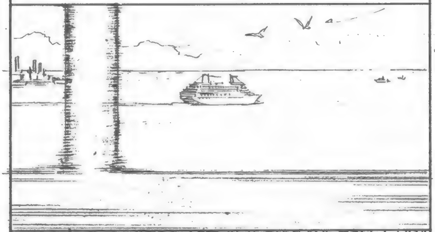
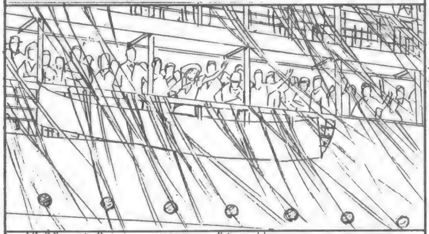
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
25		O.L (5+0) 高速道路 トンネルの壁（置き換え＋作画）BOOK タイルにランダムの光がキラキラ ☆ナトリウム灯（オレンジ）＋テールライト（赤） 壁（BOOK）← OUT 朝の都心 BG 止メ BOOK Ⓐ ← Ⓑ ← Ⓒ ← Ⓓは置き換え		
		BOOK Ⓓ のパターンが 変わり… 暗い壁が一瞬入る 		6+0
26		暗い壁がトラック（シルエット気味）に 変わり．ワイプ トラックの上げる土煙．F.O		
		昭和20年．焼け跡の 東京． ガレキの中に立ちつくす千代子（22才）		4+0

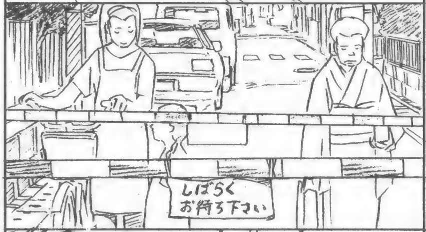
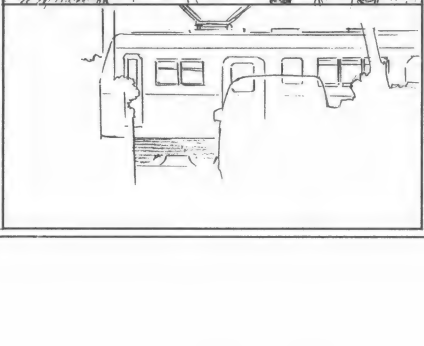
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
27		前カット寄り 遠くの空を飛行機の 編隊が行く（SE有り） 焼け跡の電信柱が 墓標のように立ち並ぶ。	※"マッカーサーの見た焼け跡" p92 ゴォオオオ （飛行機のSEもO.L.）	3+0 (3+0)
28		O.L 現代の東京 工事用のクレーンが 立ち並ぶ ジェット機が轟音を響かせる （→Follow）		4+0 (3+0)
29	 	O.L 未来の宇宙 ロケット（冒頭のロケットと同じ）が 宇宙を行く（→Follow） 手前のアステロイド スライド（←） 画面を覆うように 大きなアステロイド IN 画面一瞬真暗になって		4+0
30		 バスの車体に変わる（←OUT）		

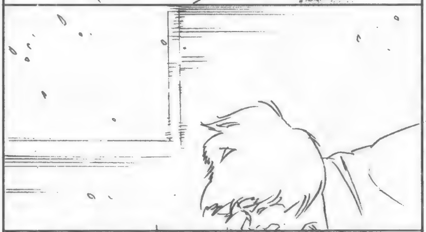
( )

マッドハウス

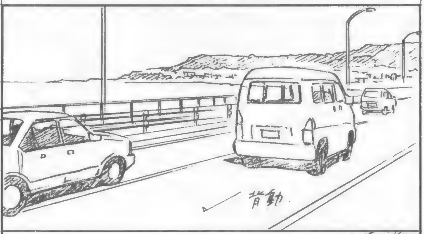
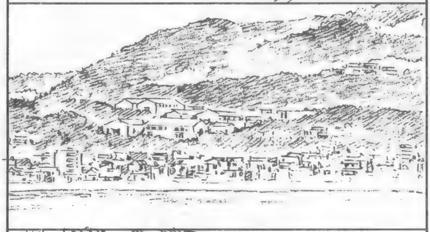
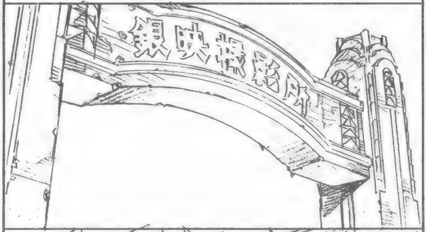
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
30			高速道路（どこかの橋の上）を行くバン → FOLLOW 奥のフェンス、スライド（←）	
		PAN 止まり カット尻で窓の外を見やる主花		4+0
31		ゆっくりと進む客船 スライド（→） BG ゆっくりスライド（→） BOOK（フェンス）（→） カモメが2羽 IN 遠い汽笛（SE）	ボオオオオ ↓（O.L）	3+0
32		O.L 昭和14年 満州への出港シーン 五色のテープが舞う中、柵から身を乗り出して手を振る千代子 船 スライド（←）	ワァァァァァァ…	(3+0) 3+0
33		前カットの寄り 満面の笑顔の千代子 船 スライド（←） ※C.32.33 後のシーンからの使い回し ここでは暫定です。		3+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ 33		テープがゆっくりと流れる	↓	(2+0)
34		O.L 前カットのテープの動きとダブるかんじで下りて来る遮断器 (※下り切るまでにピン送り 手前のバーから奥へ.) 踏切待ちの人々 幼女とその若い母親. 老婆		2+0
35		踏切り待ちをしているバン. — PAN 腕組みをして、居眠りしている上花 スポーツ新聞を面白くなさそうに見ている井田		4+0
36		同. 踏切り待ちの車の列. 先頭に上花たちの車 警告灯点滅		
		路面電車 IN.	ゴトトン… ゴトトン… ⋮	4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
37		昭和14年頃 駅のホーム スピードを上げていく列車を 走って追いかける千代子　息が白い 小雪が舞っている 	← Follow 千代子はその場でリピート 列車は←スライド	
		カット尻 手前に 大きく人影がよぎって 次カットへワイプ ※人影はマルチボケ（かなり暗い）		3+12
38		走る千代子 列車はさらにスピードを上げる		
		つまづいて転ぶ ※ C.37.38は 本編からの使い回しに なる予定ですので ここでのカットは 暫定です。		4+0
39		海岸沿いの道路 手前を大きくよぎるバス。		

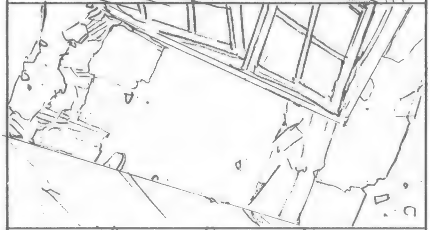
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
39		立花たちの車 道路とガードレール、 街灯等 作画。（路面はBG置き換え） 遠くに見える半島（←スライド） 小さく見える撮影所		4+0
40		銀映撮影所 遠望 全体 ゆーっくりスライド（←）	（※音楽ここまで）	10+0
41		銀映撮影所 門のアーチ 解体工事の音が やかましく 聞こえる	(SE) ガーン ガーン ガガガ ガガーン	5+0
42	 	撮影所内のとある小屋 パワーショベルが 屋根から 一気に壊す	(SE) ガガ … ドガシャ	2+0

( )

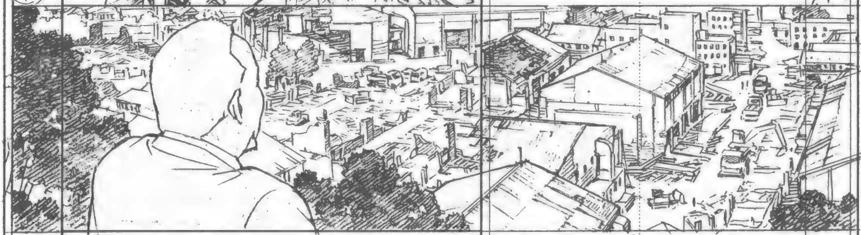
No. 16

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
43		スタジオらしき建物の壁が…		
		崩れて。	ガガ。。	
		土煙を上げる。	ドガン。。	3+0
		解体中の撮影所 前カットを受けて土煙 ← PAN（手前BOOKスライド有り）		Fix 3+12 PAN 6+12 10+0
44				
45		解体の進むスタジオ内部。	(立)(off)「え〜 この度は銀映株式 会社さんが….」	4+0

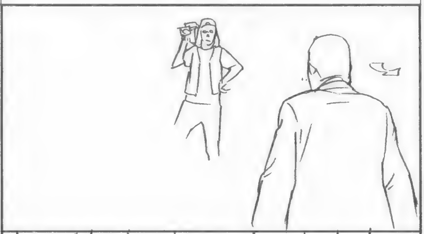
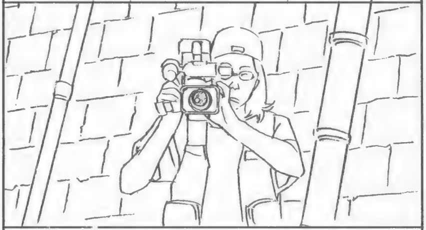
( )

No.17 マッドハウス

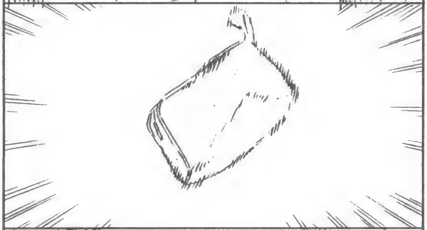
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
46		建物の間に うち捨てられた 大道具等の残骸 ↓PAN DOWN.	立(off)「老朽化の 著しい現撮影所を、 惜しくも閉鎖する こととなりました。 今回の企画は ・・・	PAN 5+0 FIX 1+0 6+0
47		壁面ひとつ残された スタジオ	…その メモリアルと して、創立70年の 歴史を支えた 大スター …」	4+0
48	 	銀映撮影所 俯瞰 ←PAN (6+0)	「…藤原千代子さんの 足跡をたどる映像を 制作する運びとなり ……」 (立花 気配に気付く) 俺を写してどうする んだよ!?」	10+0
49		立花なめて ビデオカメラを かまえた井田		

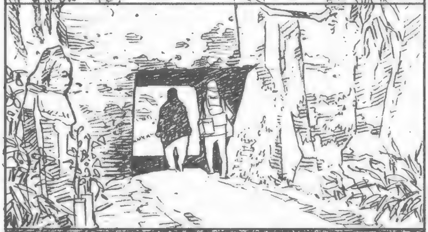
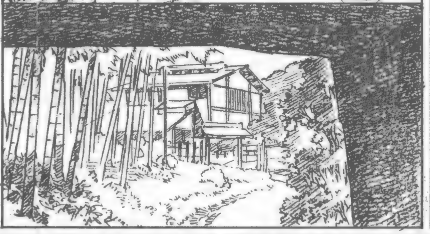
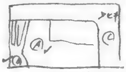
( )

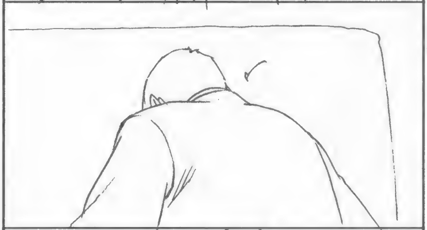
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
49		井田、カメラを上げて OUT (立花 井田の方に向き直り) 言って歩き出し右へOUT.	井「もう少し早めに押さえられりゃ、良かったッスね ここの絵。インタビューくらいすぐにオッケーすりゃええのに」 立「あの方はもう芸能人とは違うんだ！」	11+0
50		☆スイマセン この絵間違いです カメラを上げる芝居は前カットでした 背景はこの絵で良いです		
		井田寄り 不満げな感じの井田.	井「ほな、30年前に取材すりゃ良かったンスよ」	4+12
51		竹林の間の坂道を登る立花、井田. ← Follow BG 止め A → (奥の土手と建物の屋根) B → (竹と土手) C → (手前の竹)	☆撮影所の解体工事の音が遠くに聞こえる	5+0

( )

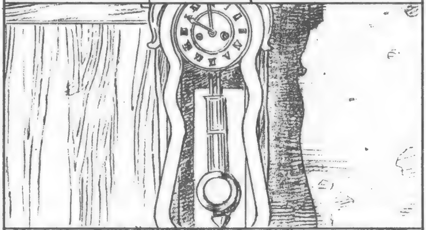
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
52		重い荷物を一人で持たされ 坂道を登る井田 ← FOLLOW ↓ PAN・UP (4+0) (%0時もう少し引きで) BG 止メ BOOK A →(建物の屋根) B →(奥の手すり竹) C →(手前の竹)	(井)「こんな不便なとこで隠居暮らしとは…相当偏屈なバァさんスねェ…」	7+0
53		飛んで来る立花のバッグ ※投げた立花の姿は気にしなくて良いです		
		画面いっぱいに来る		0+5
54		C.52同ポ 井田の顔面に見事にヒットするバッグ (スローっぽくたおる)	(SE) バシッ!!	1+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
55		のけぞる井田（スロー） （スローなのは井田だけです） 立花、言いつつ 登って右へOUT. ＊ここは足元階段だと思って下さい	(立) 「今度言ったら 殺すぞ」	
				4+0
56		岩盤に穿たれた 小さなトンネル ↓PANDOWN（5+0）		
		立花と井田が トンネルに入る トンネル内は、シルエットで。 井田が入るくらいなで。	(井) 「せやけどねェ、社長 どんな大女優かて 70過ぎたら立派な …その…御老体 なんスよ」 ＊トンネル内に入ったところでエコー入る （こぼれる）	9+0
57		トンネル内から見た 千代子の家.  BG上X. BOOK A.B.C スライド カットいっぱい T.U	(立)(OFF)「見ろ!!」 （エコー有り）	4+0

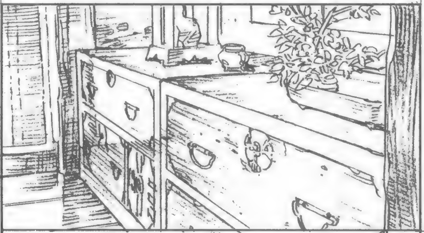
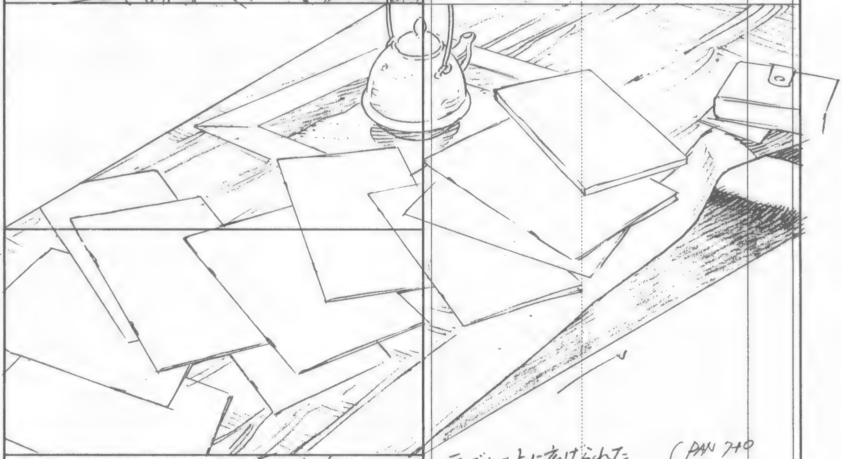
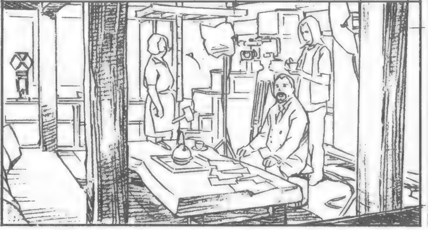
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
58		トンネル内。千代子の家が見えただけで舞い上がる立花	立「あれだ。あれだ!!」（エコー有り）	
		そんな立花の喜びに水をかけるような井田。	井「あんまり幻想持たんほうが、ええんちゃいます? 今の姿は分かんないんだし…」	7+0
59		[C.57兼用] 井田の言葉に立ち止まり		
		大きく振り向く立花。（↑ちょっと付ける）		
		ムキになって激昂	立「あの方は歳を取らん!!」（エコー有）	4+0

(　　)

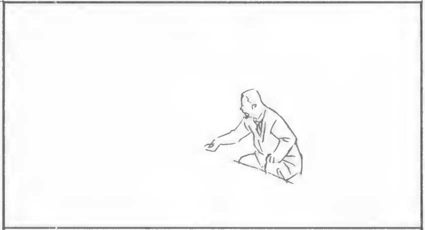
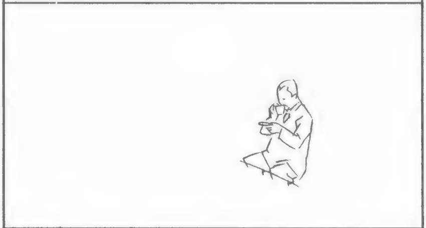
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
(60)		山荘 玄関 正面で見返す白髪の婆さん。 ※実はお伝いの美濃さん。 (止メ)		4+0
(61)		見返す立花と井関 『もしや この婆さんが藤原千代子のなれの果て……?』かと内心思う2人 坂道を上がって来た疲れも手伝い汗が吹き出す	(立)「……あの…」	5+0
(62)		C.60同ポ 振り返って大声を出す美濃。	(美)「奥様ァッ!!」	3+0
(63)		山荘 応接間 柱時計がゆったりと時を刻む。	カ…コ…カ… コ…	4+0
(65) ↑ 次頁に(64)有り		天井を支える梁 黒ずんだ表面に浮かび上がる年輪。		3+0

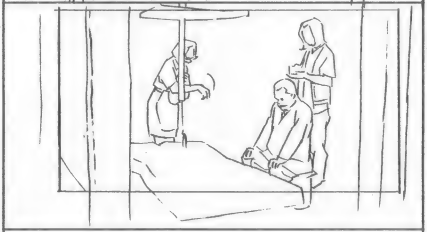
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
64		木目の浮かび上がった 古びた箪笥		3+0
66	 	テーブルの上に広げられた パンフレットの数々 表紙には千代子の 様々な姿が写っている (…ことになる筈) (↗PAN) 美濃の手がINして ティーカップを置いて、OUT.	(PAN 7+0 FIX 2+0 ㊤(OFF)「藤原さんは、 お一人でこの家に?」	9+0
67		応接室. 前カットを受けて 体を起こす美濃	㊮「はい、もう、 ずっーーっと。 お友達といえば、 本とお庭いじりくらいで… これも奥様お手製の ハーブティーですよ」	

No. 24　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
67		立花 ティーカップを取り	(立)「ほォ…」	
		一口飲む		14+0
68		立花 井田 寄り		
		かぐわしい香りを胸いっぱいに吸い込んで浸る立花。対照的に異臭でもかがされた様な井田	(off) (美)「けど あんたら運がいいわ…」	6+0
69		美濃 寄り	(美)「まさか奥様が取材をお受けするなんて…」	4+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
20		テーブルにカップを置いた感じで起き上がる立花。		
		いい歳をして照れる立花。	(立)「は…… 当初は連絡先も分からず苦労いたしましたが……イヤ、本当に光栄です」	7+0
21		C.67 同ポ 珍しい来客に興味津々の美濃。	(美)「何でも、奥様に特別な贈り物があるんだって？」 (立)「は…なあ」	6+0
22		C.69 同ポ	(美)「道理でねェ…	
↓		画面外右手で扉が開く音。	奥様が喜んで人に会うなんて、大異変だからなぁ」 (SE) カタン…	

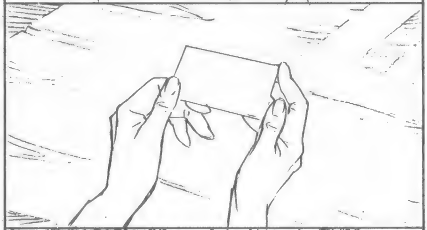
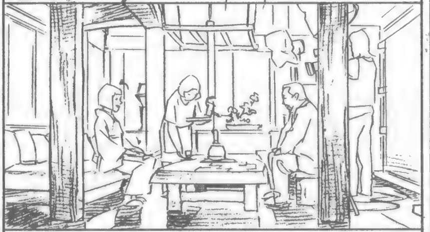
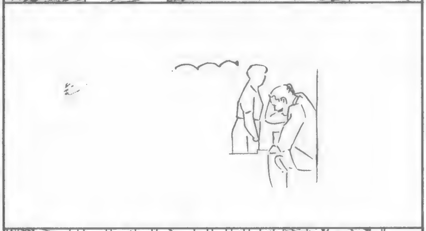
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
72		音の方を見る美濃.		6+0
73		C.68同ポ	千(off) 「何が大変なの？ 美濃さん」	
		千代子の声に ハッとなり.		
		思わず立ち上がる 立花.		
74		AC	(SE) ガタン…	3+0

( )

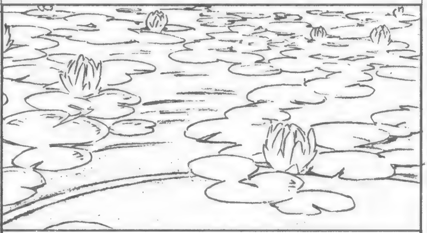
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ (24)		緊張して固まる立花. (ＯＬで顔が赤くなる)		
		何とか目玉だけ動かして.声の方を恐る恐る見る.	(美)(off) 「いいえェ奥様.異変ですよ.い・へ・ん.今朝の地震」 (戸を閉める音) (千)(off) 「ビックリしたわねェ…」	2+0
(25)				
		入って来る千代子に付けて ← PAN BOOK.手前ライトカメラスライド(←) 立花の方を見てちょっと改まって	(千)「てっきりお迎えが来たのかと思っちゃった …… 初めまして.藤原千代子です.」	9+0
(26)		緊張の極の立花.呆れる井田.	(立)「本日はお日柄もよくれ.私どもも光栄の至りでありまする!!」	6+0

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
77		C.75 BG兼用 立花を優しくたしなめる千代子	千「ダメよ… 堅苦しいのは」	3+0
78		立花の名刺 "スタジオLOTUS 社長 立花源也" カットいっぱい 少おおしT.B.	千(off) 「スタジオ……」 立(off) 「ロータス…と 言いまして」	5+0
79	 	中央のテーブルを挟んで向かい合う千代子と立花. 名刺から顔を上げる千代子 まだまだ固さが取れないうえに日本語もおかしい立花 美濃、千代子の前にお茶を置いて立ち去る (コンテの絵スタートくらいで)	立「取材のことです」 千「あら、私大好きよ」 立「それはもう御存知でありまして、だから社名もです、ハイ」	9+0
80		千代子寄り 窓の方に目をやる ※C.90で寄るので ちょい大版で	千「ジオに咲き誇る花の、裏庭の…」	4+0

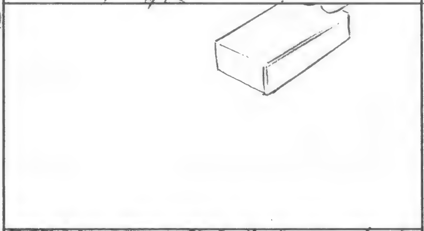
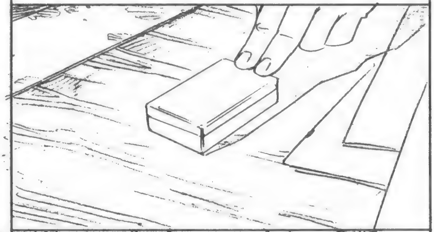
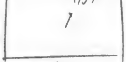
( )

No. 29 マッドハウス

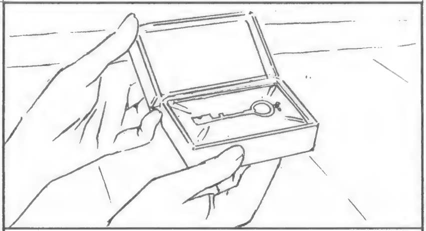
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
81		池の睡蓮。水面をそよりと風が渡る	(千)(off)「…花言葉、御存知？」 (立)(off)「は…確か"純心"と…」	7+0
82		C.80同ポ 立花の生まじめさに微笑む千代子		
		ちょっと背筋を伸ばして、あらたまり。		
		少し身を乗り出しながら、控えめな口調で切り出す	(千)「ところで、立花さん……あの…」	6+0
83		C.70同ポ 慌てる立花。	(立)「あ、これは気が付きませんで…!!」	

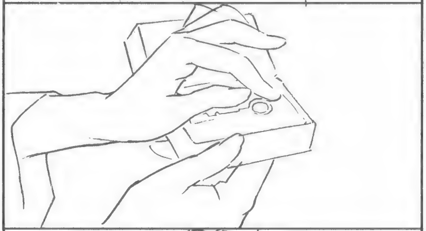
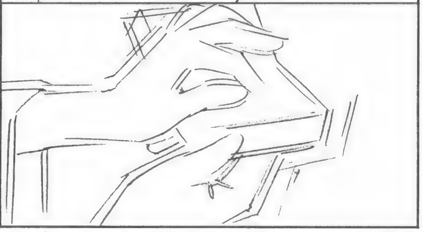
( )

マッドハウス

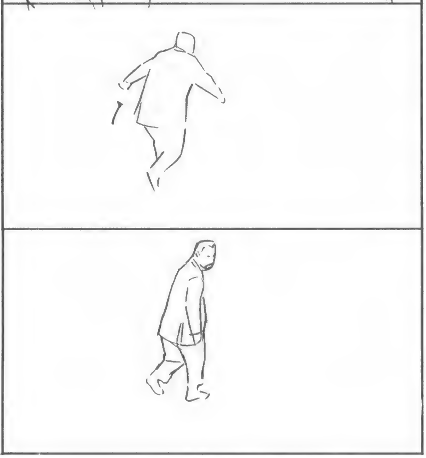
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
83		上着の内ポケットを探り、何かを取り出して。		
			テーブルに置く（画面外）。 ～付ける。 ※ここまでは要りません。 ちょっと身を乗り出すくらいまで。	4+0
84		テーブルの上差し出される小さな箱。		
		 手.OUT		3+12
85		ハッとなる千代子 障子に映る木々の影がゆらめく。	田（off） 「お渡ししようにも…」	5+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
86		C.68同ポ	(立)「送り先も分からず、こうして持参した次第です。ハイ」	
		何かと思い 伸び上がって 見ようとする井田		5+0
87		箱を手に取り(画面外)。		
		そっと開けて その箱に話しかけるかの様に	(千)「忘れたつもりだったのにね……」	7+0
88		C.70同ポ 千代子のセリフにちょっとがっかりする立花	(立)「あの、大事な物だったのでは……!?」	3+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
89		小箱、寄り。 中には鍵が… 入っている。	(千)「……一番大切な 物を開ける鍵…」	5+0
90		C.80寄り 過去の出来事に 思いを馳せる千代子	(2+0)	
		顔を上げ。	(千)「ありがとう、 立花さん……	
			でも、どうして あなたがこの鍵を？」	8+0
91		固まる立花。	(立)「……エ？」 (～2+12)	

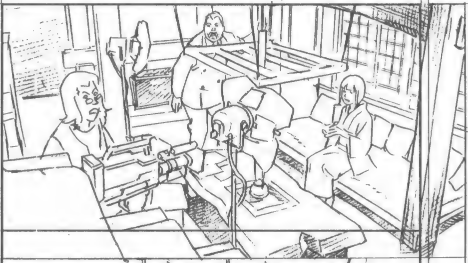
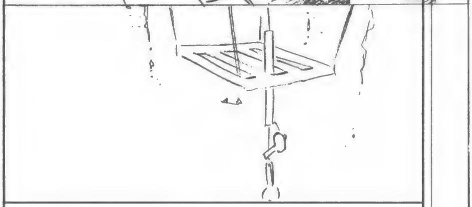
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
91			(五)「それは…その… 昔、銀映のスタジオで 拾った者がおったとかで …はい」	
				8+0
92		C.87 同ポ 鍵にそっと手を伸ばす千代子	(千)「…二度と この手に出来ると 思わなかった…」	4+0
93		C.89 同ポ 千代子の指が 鍵に触れる		
		途端 激しく 画面動.		3+0

マッドハウス

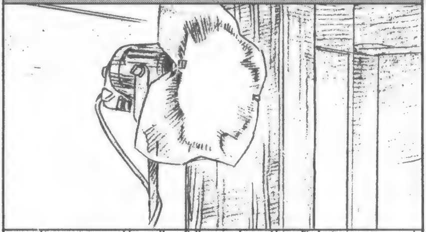
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
94		ハッと身を起こす 立花. 画面動 年と体型に似合わぬ 機敏な動作で 立ち上がり.		2+0
95		A.C 千代子に駆け寄ろうと したところで 揺れが止む. 画面動 揺れが完全に収まる.		

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
95		不安げに見上げる一同.		
		部屋中央に釣ってある物 (申し訳ない、名称が分からない)だけが 揺れている 天井から埃や塵が パラパラと落ちる		
				6+0
96		立花と千代子. 天井からぶら下がっている物が ユラユラと揺れる		
		千代子、立花を見て	(2+12) 千「そろそろ始めましょうか. 地震まで お祝いして くれたみたいだし」 立「あ、は…ハイ」	

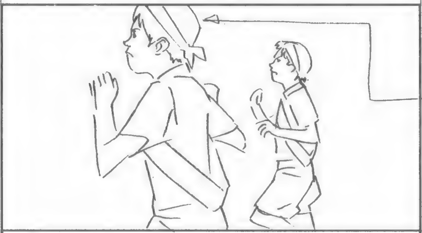
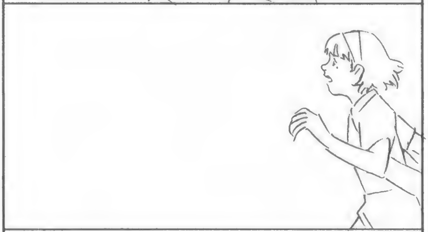
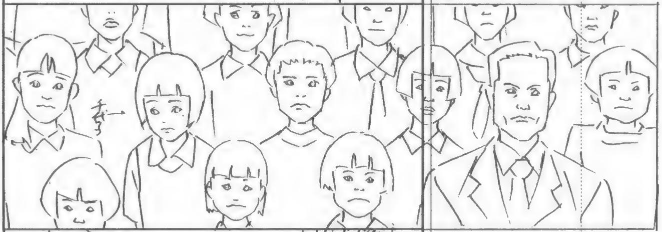
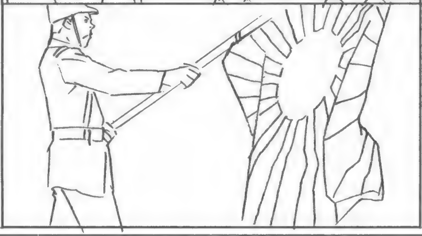
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
96		カンの芝居不要		9+0
97		照明に灯が入る		1+12
98		照明に浮かび上がる 千代子 アルバム既に持っていることにします	(千)「地震にはよくよく縁があるのかしら…	
		アルバムを膝に乗せ	だってね 実は私	
		俯く	地震と一緒に生まれて来たのよ」	9+0

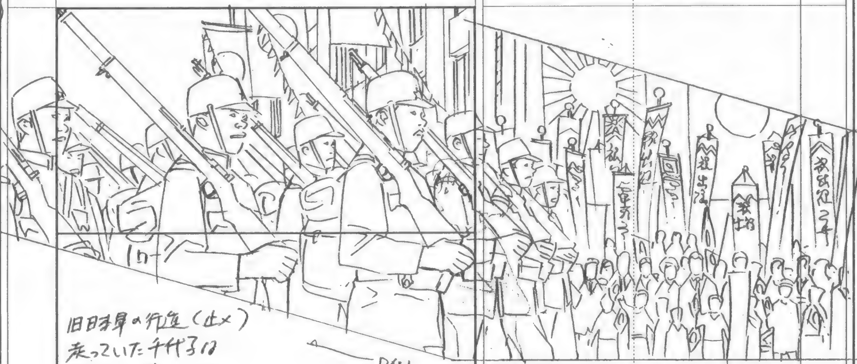
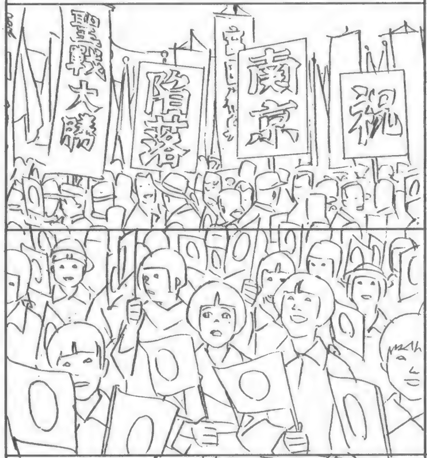
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
99		意外な顔をする 女性、村田 『へ？』という 感じです。		1+18
100		アルバムの写真 生まれたての千代子 [T.B.] (参)"日本の女たち4" P129	♪(音楽)	4+0
101		[O.L] (2+0) 関東大震災直後の 千代子の生家前 [T.B.] (参)"絵はがきが語る 関東大震災"		3+0
	★100～111まで 便宜上 カットを分けていますが 基本的にはワンカットになると 思います また シミュレーション次第で 内容変更の場合もあります。		千(N) 「…関東大震災… 跡取りを一番楽しみに していた父が、この地震で 亡くなってしまって… まるで変わりに私が 生まれたみたい…」	
102		千代子の手が アルバムの頁をめくる		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
102	 	雛人形と千代子 （1歳くらい） T.U していくと キャラ部分だけが 先に O.L（次カットと顔の位置合わせて） 続いて背景の屏風が 左右に開きつつ O.L（2+0）	㊀（N） 「…けど 父が残して くれたお店のお陰で 母と二人、ありがたく 生活させてもらいました」 ㊫ "雛と雛の物語り"P86.146 "座敷歳時記" P64 "日本の女たち.4" P85	6+0
103		すると 七五三の千代子（3歳） （前カットのT.Uに合わせて こちらもT.U） ここから ローリ. 素材C.BC（別紙）を スーパー風に合成. "日本の女たち.6" P207.		5+0
104		右からタスキを かけた小学生が 走って来て IN～OUT		

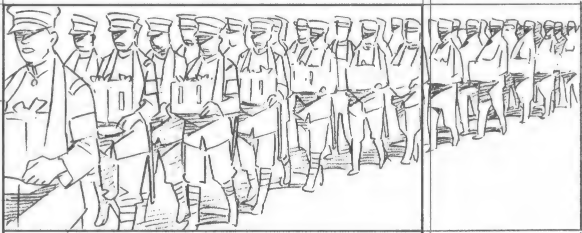
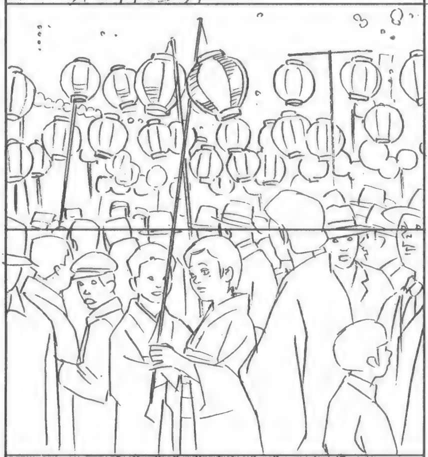
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
104		続いて更に2人 IN. OUT. このキャラでBGをワイプ 小学校の運動会です		
		千代子 IN		
		走る千代子 [← Follow] BG部分は小学校のクラス写真（→引き） 素材A.D合成.		
				5+0
105		左から日章旗を掲げた兵隊IN 止めスライドです 千代子は兵隊の前を駆け抜けることになります BG.OL.	㊈(N) 「私が子供の頃は 博打を 重ねたみたいに 危ない世の中で、 何でもかんでも右に 曲がりっぱなし…」	( )

マッドハウス

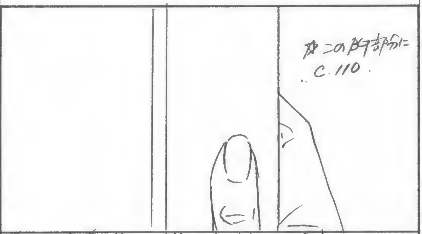
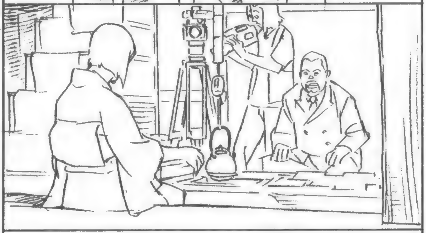
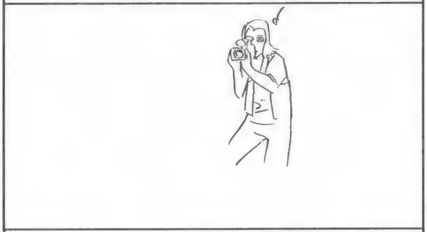
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
105	 旧日本軍の行進（止メ） 走っていた千代子は 兵隊の陰へOUT. ㊜"銀座と戦争" P58	C.105のBG部分が 先にO.L. 続いてチヨ子		5+0
106		↓ 戦勝に沸く人々 （昭和12年） ↓PAN DOWN ㊜"銀座と戦争" P54 日の丸の小旗を 振る千代子 このカットも止メで! O.L (2+0)		4+0
107			C.107の日の丸部分が 先にO.L. 続いて全体 出征兵士を 乗せた列車（止メ） ←PAN ㊜"流行歌と映画でみる 昭和時代 I" P50 次カットとO.L (2+0)	3+0

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
108			白木の箱の帰還の列 → PAN ㊫ "銀座と戦争" P45 O.L (2+0)	(dx) 3+0
109		提灯行列. フォーカスインしつつ O.L. ↓ PAN.DOWN 提灯を持つ千代子 ㊫ "銀座と戦争"	㊃ (N) 「けど当時の私には 少女雑誌の方が大事で 挿し絵を眺めくは	7+0
110		O.L (2+0) ハレ着の千代子 ↓ PAN.DOWN 素材 F.Eをスーパー風に 合成.	素敵な殿方との 出会いを夢見てた かしら……」	4+0

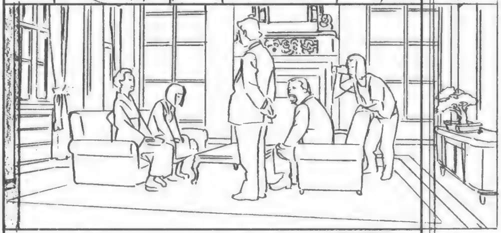
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
111		千代子の手が アルバムの頁をめくって IN（使い回し）		
		アルバムに戻る 自室でちょっとポーズを 気取る千代子（16歳）	(off) ㊤「その頃の ことですか？」	5+0
112		山荘応接室	㊤「銀映にスカウト されたのは…」	
		デジタルビデオを 構える井田	㊀「…まったく…」	4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
113		千代子正面 T.U アルバム1ページめくる	④「…鼻ペチャの私の何が良かったんだか、女学校に通っていた私を、銀映の専務さんが気にいったとかで……」 ※セリフはOL部分までこぼれます。	8+12
114	 	O.L ※先にBGがOL 銀映応接室 居心地悪そうにソファに座る千代子（16歳） 足音が近付き 画面手前 左から 銀映専務 IN ゆったりした歩きです	O.L (5+0)	7+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
115		A・C 立ち止まる銀映専務		
		クルリと振り向いて	(専)「どうしても ダメと 仰るか!?」	4+0
116		専務なめて ソファに座る 母親と千代子 にべもなく断る 母親	(母)「ダメです」	
		千代子 顔を 上げて 専務の 方に目をやり	(千)「こちらがその 専務さん	
		続いて母親の 方を見る 専務、体の向きを 変えて	でも、うちの母は 女優なんてイカガワシイ もんにさせられない… って…」	

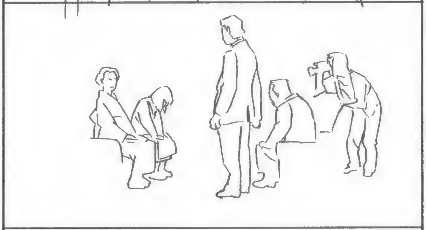
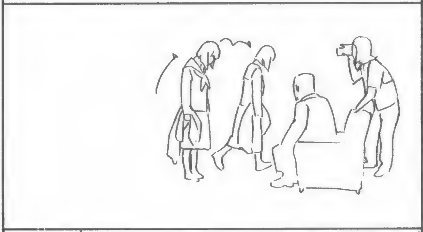
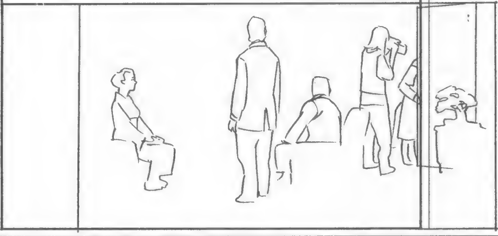
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
116		歩き出す。		1＋0
117		A.C 歩く専務で ワイプ風に、専務はOUT 千代子たちの 対面に座る 立花と井田 	(立)「イカガワシイ ですが…」 (off)(専)「奥方!!」	5＋0
118		応接室引き。 大仰な身振りで 話す専務	(専)「満州を舞台にした 今度の新作は、お国の ために戦っている兵隊 さんや、我が日本国民 すべてを鼓舞する映画 なんですぞ!! 千代子君だって…」	10＋0

( )

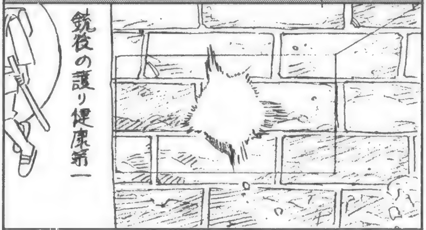
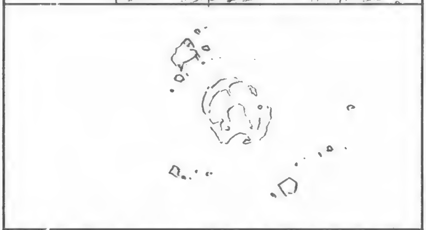
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
119		自分の名前を呼ばれてハッとなる千代子	(off)(専)「お国の役に立ちたいに決まってる!! そうだろう!?」	
		"お国"の事など頭に無い千代子 ギョッとして		
		専務に何か言い返そうとするが	(千)「あの…」	
		母親が遮り早口でまくしたてる PAN・UP	(母)「そうは仰いましてもね専務さん。こんな恥ずかしがりの子に役者なんか勤まりはしませんし 何より この子には婿を貰って店を継いでもらわなければなりません」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
119		母親、千代子の方を見て一転した口調で	(母)「そうよね?」	16+0
120		激高する軍部	(軍)「国家と菓子屋と どっちが 大事なんだ!!」	
				3+0
121		冷静にまくしたてる母親 千代子、先程の"婿取り話"の真偽を確かめたくて母親の袖を引っ張るが	(母)「お国のため お国のためと言うなら、女は家を守り、子供を産むのが本分!」	
		その手を軽く母親に叩かれる 以上の芝居はセリフの最中に。		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
(121)		最後に強い調子で言い放ち。 キッと専務を見据える母親	(母)「そうでございましょ!」	8+0
(122)		言葉に詰まる専務		1+12
(123)		C.118 同ポ 母親と専務、しばしの睨み合いの沈黙。 うなだれている千代子	(5+0)	
		突然すっくと立ち上がり、俯いたまま歩き出す千代子 (——→ 付けPAN)		
		ドアを開ける 見守る一同。		11+0

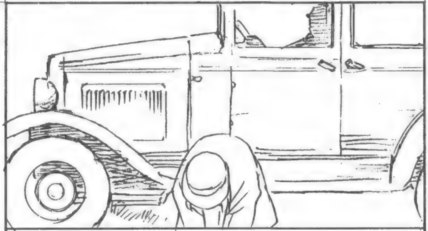
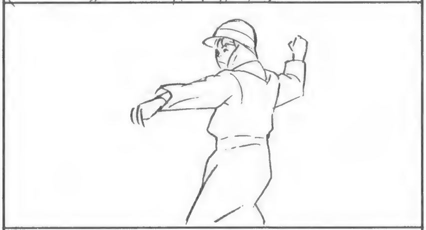
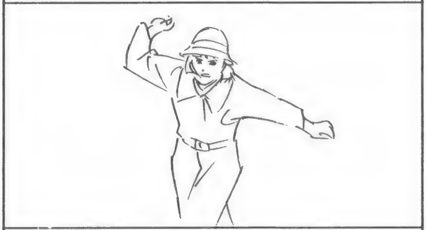
( )

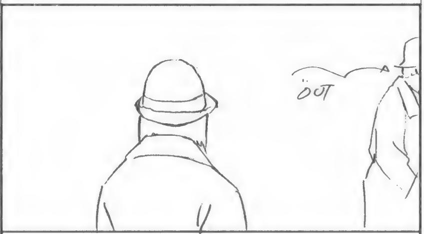
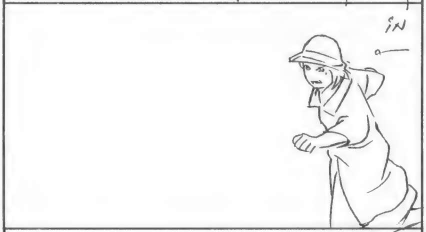
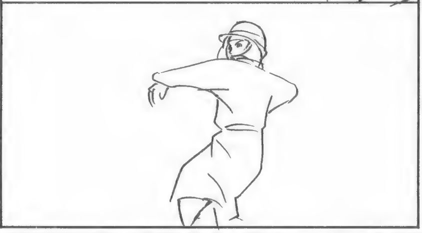
No. 49 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
124		ドアの閉まる音 呆気にとられている一同	(SE) バタッ!!	
		顔を見合わせる 立花と井田		5+0
125		レンガの壁にぶつかり。 QTB↓	(S) "東京" から	
		弾ける雪玉 もう一発		5+0
126		息の荒い千代子		

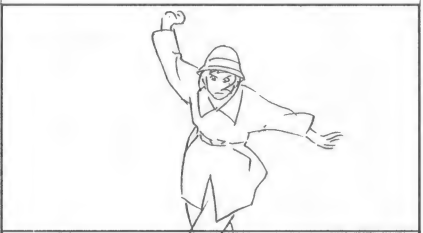
(5+0)

マッドハウス

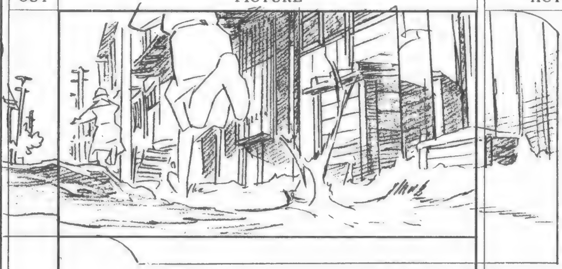
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
126		かがんで雪を つかむ千代子 その背後を車が IN～OUT		
		雪玉を投げようと して…		
				
		と、何かに気付いたかんじで 思いとどまる		5+0
127		通りかかる父娘		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
127				4+0
128		C.126同ポジ しょんぼりとなる 千代子		
		脱力したかんじで 右へOUT. カラ舞台で1拍 (3+0)		
		千代子 タタタ…と 引き返して来て…		
		振りかぶり.		

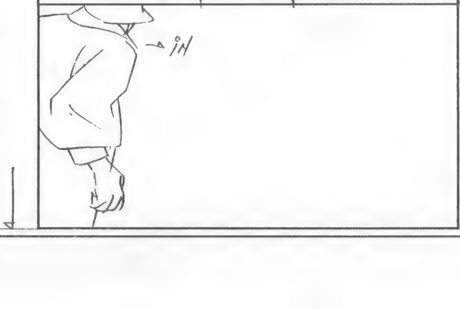
No. 52 マッドハウス

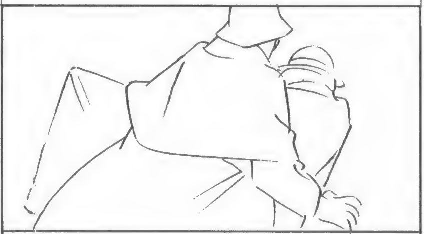
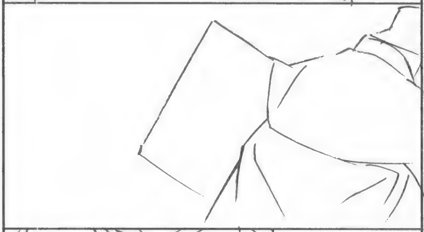
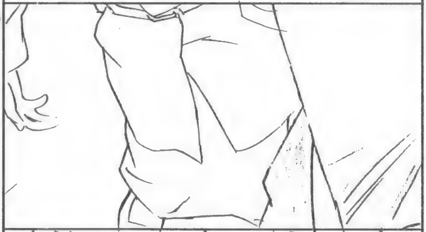
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
128				
		画面いっぱいに 雪玉、来る		12+0
129			(SE) バシャッ	
		前カットの雪玉を 受ける感じで 勢いよく水溜りに 踏み込む千代子の足		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
129		路地を駆けて行く千代子 ↖ HI PAN.		2+0
130		帽子を押さえて走る千代子 (← Follow)		
	 	立花と井田にも気付かず走り去る 千代子.OUT (OUTまで2+12(5:1))		
	 	↑ PAN UP 声をかけそびれ見送ってしまう2人	立「あの…」 井「どんな取材ですの…?」	2+0

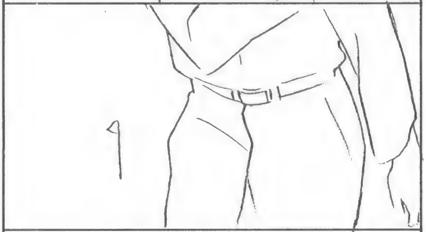
(　　)

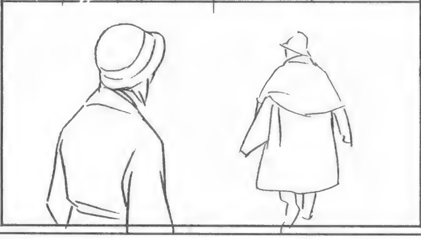
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
131		住宅街 夕方 トボトボと歩く 千代子	(参) c.131〜 "箱根の昭和" P12.13 "東京モダン" P26 "昭和の東(?)京"	5+0
132		電柱の陰で 見守る立花・井田	(立)「…千代子さん…」 (井)「何かストーカーみたいやん…」	4+12
133		歩く千代子の後姿 ↗ Follow		
		左から インバネス姿の 男が走って来る ※背後に気を取られ？ います		

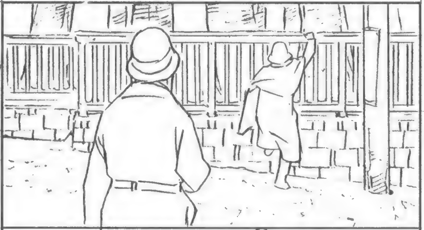
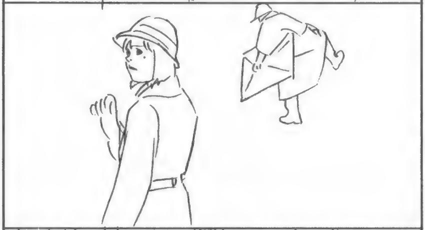
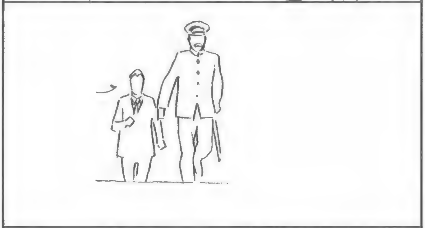
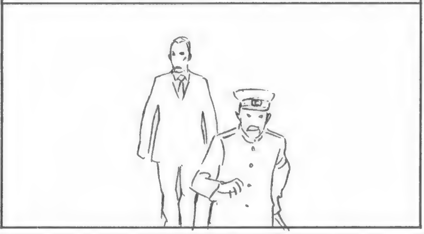
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
133		千代子にぶつかる 男、四角い風呂敷包みを抱えている	(千)「キャッ!!」	
				4+0
134		A/C 倒れる千代子に付けPAN		
		地面に膝をつく		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
134		PAN・UPと同時に キッと顔を上げ 文句の一つも 言おうとする千代子の 前に… 差し出される手	男(off) 「すまない」	8+0
135		千代子の見ため風に 見上げた男 ＊顔は見えません	男 「急いでいた もので…」	3+0

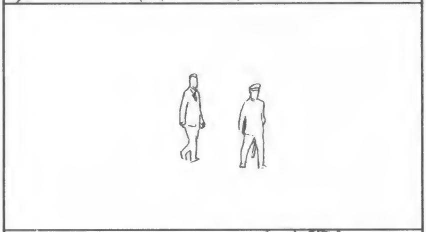
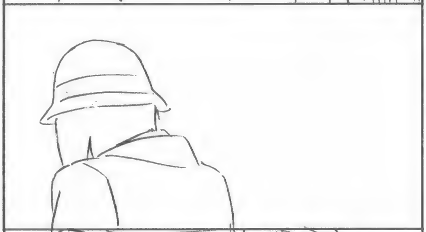
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
136		134 同ポ 男の差し出した手を取り立ち上がる千代子		
		AC		3+0
137				
		夕陽を背景に立つ男と千代子		4+0
138		132.同ポ	立「何かムード出してる…」 井「社長 邪魔やん!」	4+0

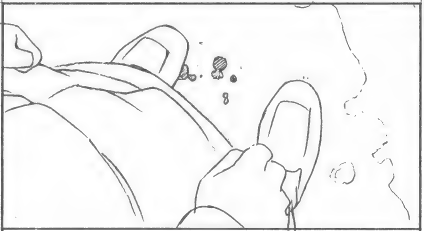
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
139		男を見つめる千代子 背景はウソでも夕陽の空のみ ※赤色の彩度が上がる(O.L) BG ← 千代子 ← 男 →) ヒキ		
		背後の追手の声に気が付き	警官「見当たりません!」 傷男「向こうへ回れ!!」	
		男、走り出してOUT		7+0
140		慌てて逃げる男 右足、少し引きずっています		
		あたりを見回し		

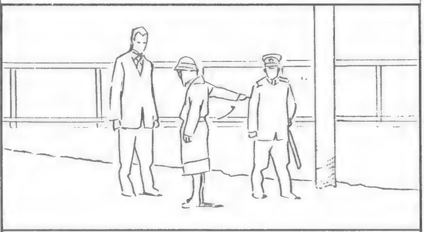
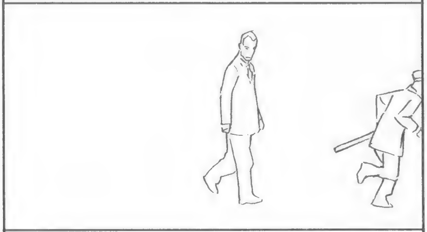
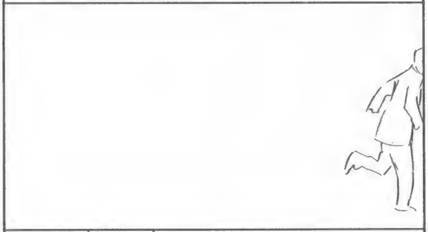
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
140		柵を		
		乗り越えようとする 背後の足音に気が付き振り返る千代子		6+0
141		路地を走って来る警官（物陰よりIN）		
		続いて背広姿の傷男（IN） 傷男 帽子有り		
				4+12

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
142		千代子のいる坂道に走り出て来る警官と傷男.		
		立ち止まりあたりを見回す警官		5+0
143		千代子を見据える傷男	(傷)「娘、男が来なかったか!? 大きな風呂敷を抱えたやつだ」	
		動揺して下を向く千代子		7+0
144		何かに気付く ちょっと目を開くかんじ.		3+0

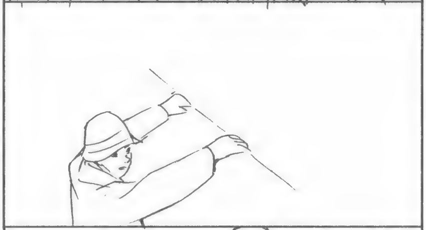
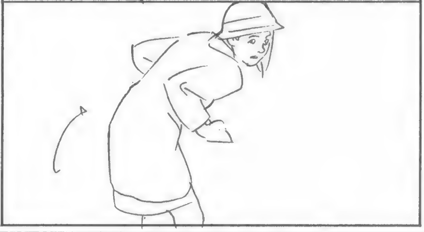
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
145		千代子の足元 （主観風） 雪の上に残された 血痕		
		足で隠す		4+0
146		不審げに見下す 傷男		2+12
147		C.144 同ポ 俊巡するが 意を決し．		
		右手を上げる．		4+0

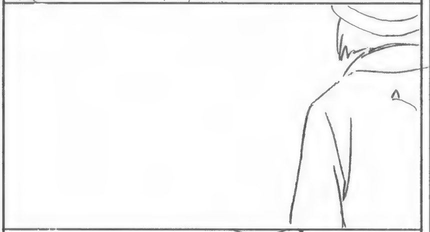
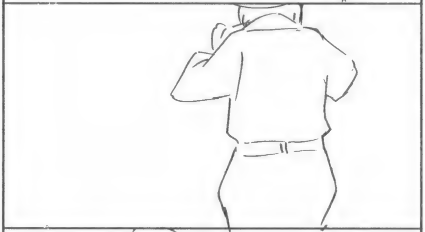
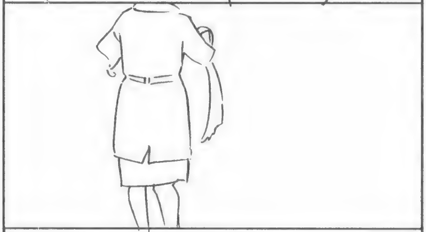
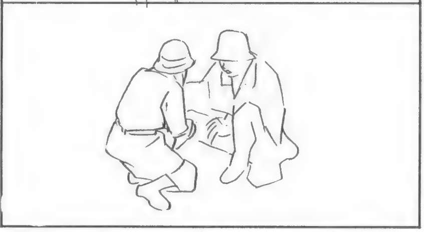
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
148		AC サッと後ろを指差す.	(千)「向こうに走って行きました!!」	
		走り去る警官 立ち去り際 千代子に一瞥をくれて.	(警)「よし!!」	
		傷男も走り去る		5+0
149		C.132同ポ 千代子の行動にちょっと驚く立花 井田		
		顔を見合わせる		

( )

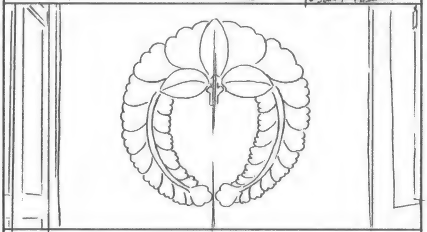
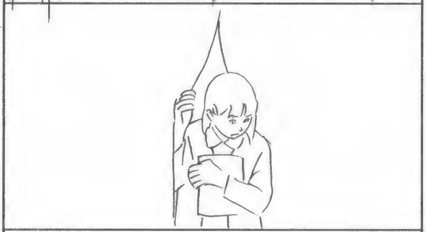
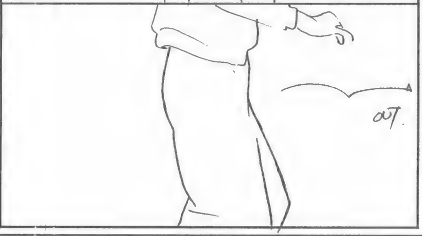
No. 63 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
149		2人の前を走り去る警官		
		傷男も続いて大きく IN OUT		5+0
150		警官たちの走り去った方を気にしながら柵に近づく千代子（IN気味）		
		手をかけて		
		登る 最初に奥の方を見て、それから左の絵になる。		5+0

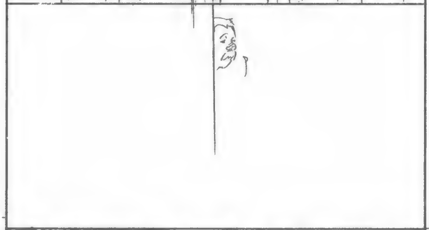
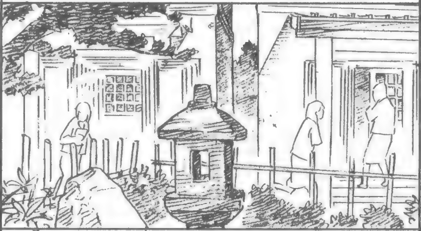
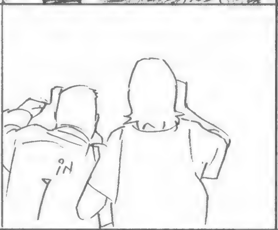
( )

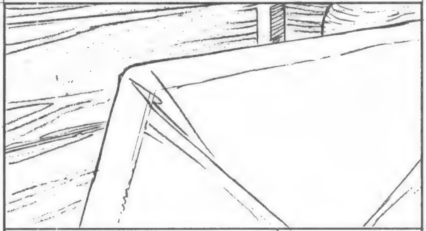
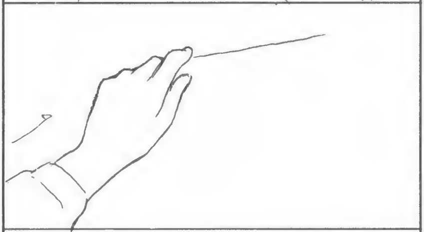
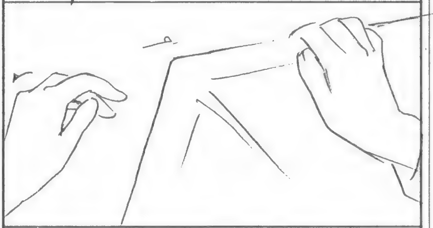
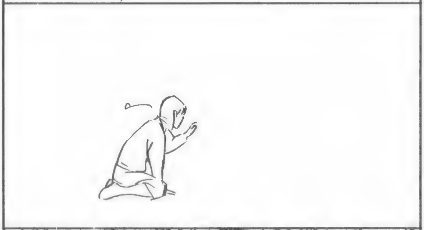
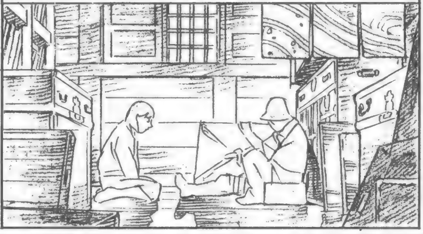
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
151		大木の根元に隠れている男 右足を押えているが血がたれている	(3+0)	
		千代子 PN. ちょっと立ち止まってから		
		駆け寄る。 首に巻いていたマフラーを、外し		
				
		男の足に巻く。		9+0

( )

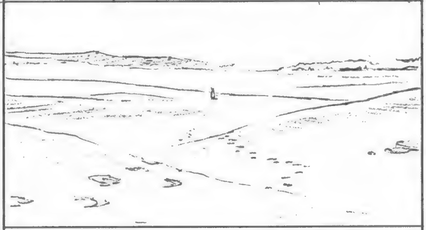
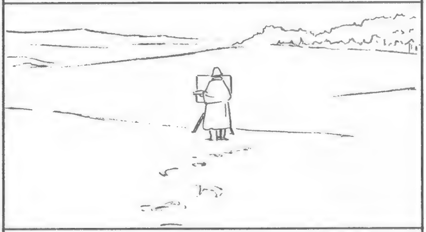
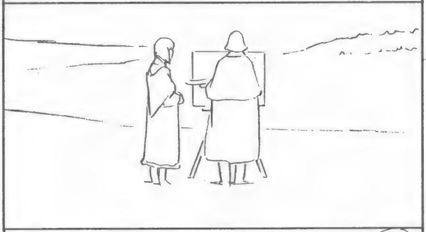
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
152		男を手当てする千代子 ロング 気持ちT.B 「千代子の生家（藤花堂）夜		7+0
153		家紋（藤）の入った暖簾	(3+0)	
		そっと出て来る千代子		
		スキ足サシ足で 歩いて来る 付けるかんじでT.B		7+0
154	 	番頭の前を しのび足で 通り抜ける		

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
154		格子の向こうに帳簿でも見ているのであろう番頭 （参）"暖簾" P125		
		千代子OUTした後 ふと顔を上げる メガネの方が印象に残るか？		5+0
155			庭 小走りの千代子 →付けてPAN 2つ並んだ蔵の右側の入口に駆け寄り 厚い扉を開ける（ちょっとあたりを窺う） 千代子 中の暗闇に消える	
	 		その様子を物陰から見る立花と井田	9+0
156		様子を窺っている2人	(井)「男遊びなんて意外と大胆ですねェ…」 (立)「誰なんだ!? あの男は…」	6+0

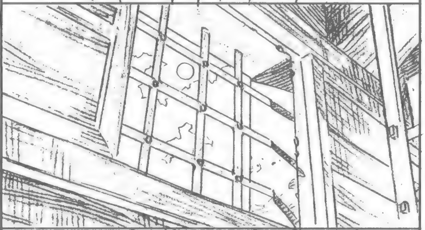
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
157		蔵の中 男の抱えていた 風呂敷包み	(2+12)	
		千代子の手 INして その包みに 触れる	千(off) 「見ても…いい?」	
		男の手がINして 包みを少し引く 千代子、手を 引っこめる	男「描きかけ だから…」	7+0
158		蔵の中 向き合って いる2人 千代子 ちょっと がっかりした感じで 体を戻す	男 「この絵の続きは 故郷で描くつもり なんだ……	
			僕の生まれた町はね、 冬になると遠くの 果てまでが真白な 雪に覆われる」	13+0

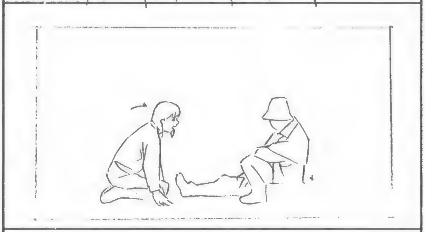
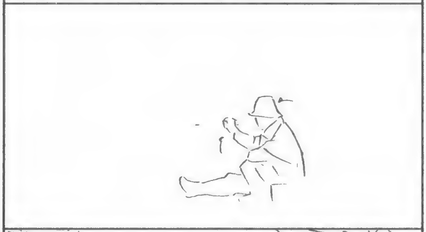
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
159		男の話に聞き入る千代子 O.L (2+0) (BG部分が先に沈んでっちゃう)	男(off) 「もう見渡す限りは… その中にイーゼルを立てて、痛いほどの寒さを感じてこの絵を完成させたいんだ」	5+0
160		真白な雪原 その中にポツリと人影 O.L (2+0)		5+0
161 (A)		雪原にイーゼルを立てて絵を描く男	「あの、大きくて真白な風景の中にいると、まるで遠い星の世界にいるような不思議な気持ちになるんだよ」	
161 (B)		男の隣に千代子 F.I		
		ちょっと大人の千代子 (24〜5) その髪が風にそよぐ		

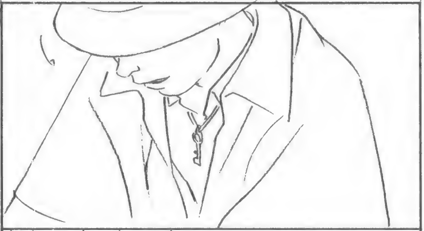
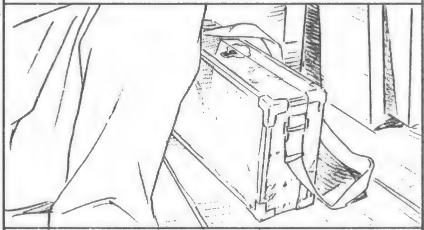
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
161		髪をおさえる 千代子 O.L（キャラが先にO.L 次いでBG		9+12
162		自分のイメージに うっとりしてる 千代子 前カットからの 髪の毛の戻し有り	(千) 「行ってみたい… 私も」 (男)(off) 「そうだね」	6+12
163		口元で微笑む 男 ※顔は見えない キャラクターです。	(男) 「平和が 訪れたら、助けてもらった お礼に、必ず君を 招待しよう」	6+0
164		C.159同ポ 照れる千代子		
		視線を逸らす。		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
164		不意に室内の明るさが増し、見上げる ※月が雲間から出た、ということです		7+0
165		格子の間に見える月。 雲 スライド→	(千)(off) 「……満月…」 (男)(off) 「満月は明日だな。でも僕はこの時の月が一番好きだ」	10+0
166		C.159 同ポ	(男)(off) 「満月は、次の日から欠けてしまうけれど…	4+0
167		C.163 同ポ寄り セリフ言いつつ自分の手を見る	14日目の月にはまだ明日がある 明日という希望がね…」	6+0
168		C.159 同ポ 阿呆のように見とれる千代子	(男)(off) 「僕はまた旅に出る」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
168		驚く千代子		5+0
169		C.158同ポ (ちょっと寄り) 身を乗り出す千代子	(千)「でも！…怪我がまだ…」 (男)「仲間が満州で戦っている。	
		脇の包みに手を掛ける	絵の具と筆じゃ役に立ちそうにないけどね」	9+0
170		男の胸元で揺れる小さな鍵		1+12
171		見つめる千代子		3+0

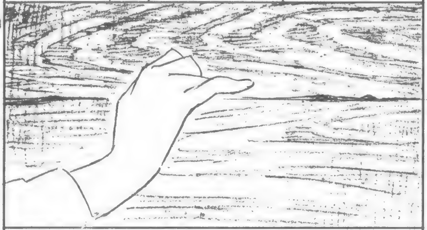
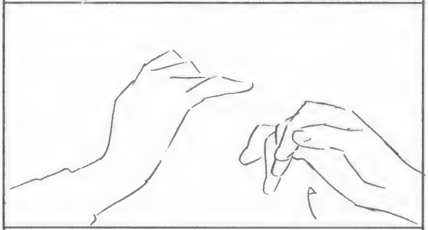
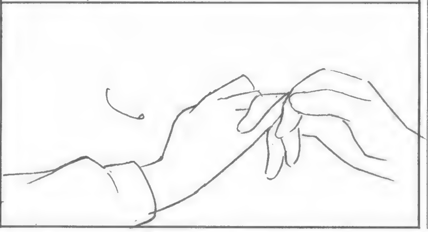
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
172		C.170同ポ	男「これかい？… 一番大切なものを 開ける鍵さ」	5+0
173		C.171.BG兼用 ちょっと思案し	千「一番大切なもの…？」 男(off)「当ててごらん」	
		何かに視線が とまる		6+0
174		男の脇に置かれた 油絵の道具箱 小さな鍵穴が 見える		3+0
175		C.159同ポ 分からない振り をする千代子	千「分からないわ	

(　　)

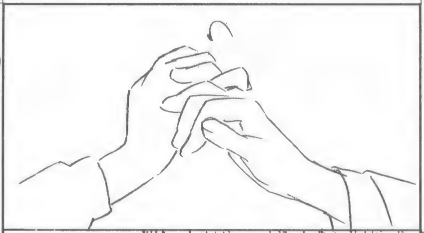
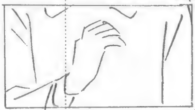
No. 73

マッドハウス

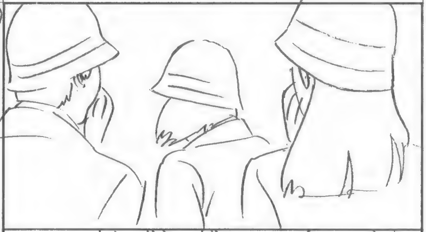
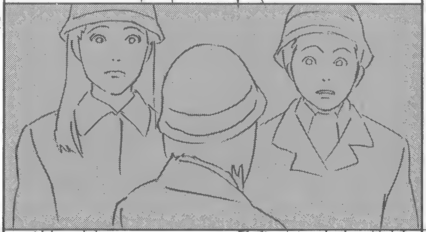
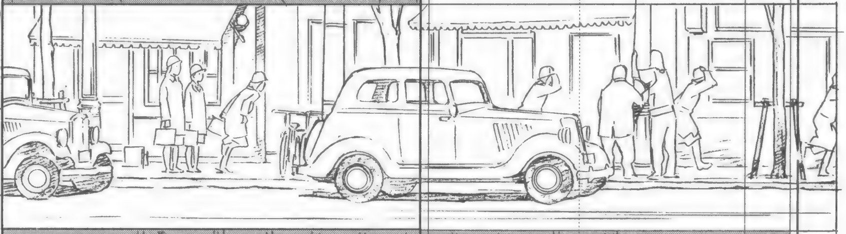
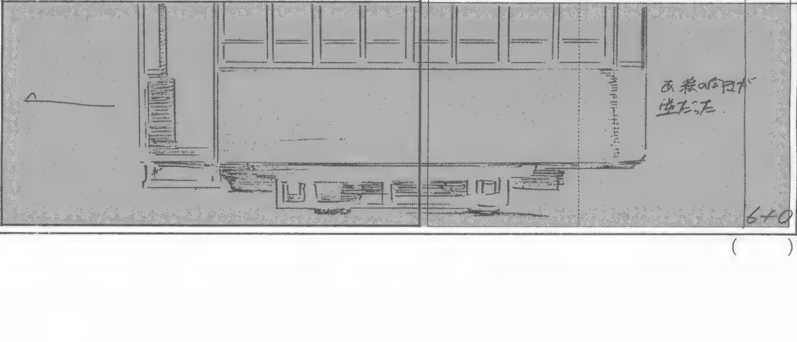
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
125		身を乗り出す	(千)「でも、まだ教えないで。明日までの宿題にして！	
		右手の小指を上げて出す	約束よ！	7+0
126		差し出された千代子の右手		
		男の手がINして止まる		
		もどかしげに千代子の小指が男の小指にからみ		

( )

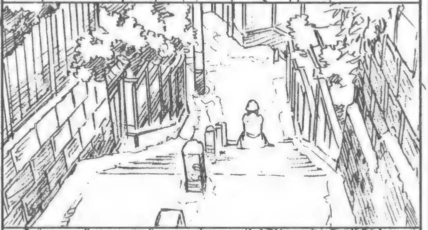
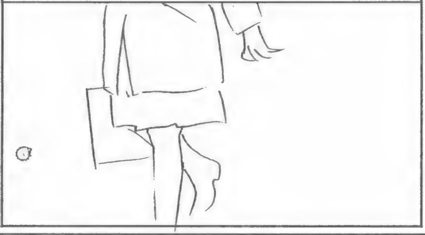
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
176		指切りをする 177  (α.4+0) C.176からO.L (千代子の手が先にO.Lするかんじ) 次カットの寄りです		9+0 3+0
178		学校の帰り道 千代子とその友達A.B Follow PAN.UP 千代子 心ここにあらず といった様子で 指切りをした右手を見ている 友達の冷やかしにギョッとして立ち止まる千代子	友A (左側の娘) 「白状しちゃいなさいよォ」 友B (右側の娘) 「好きな男の方がいるんでしょォ!?」 A・B 「キャア キャア 初恋!?」 ↓ クスクス笑い	8+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
179		A.C バッと振り向く 千代子.		
		強張ったような 千代子の顔. 立ち止まるA.B そのままの表情で顔色が真赤にO.L.	㊉「!!……」	5+0
欠		C.177同ポ ※このカットやめ		
180		突然駆け出す千代子. ——→付けてPAN. 路面電車が横切る(←). 電柱の陰から見ている 立花と井田. 千代子はOUT.		
			あ絵の向きが逆だった	6+0

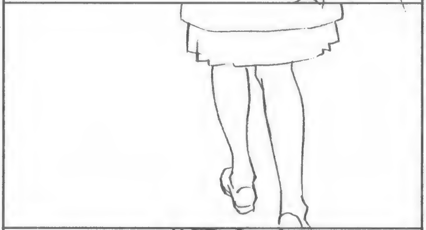
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
181		相好を崩す立花と 白け気味の井田.	(立)「純情だなあ」 (井)「そりゃあ昔から 年寄り違いますやろ」	5+0
182		階段に腰を下ろし 荒い息をする千代子 肩で息をしてます		6+0
183		息が収まる	(3+12)	
		ふと顔を上げて 何かに気付く		
		立ち上がって 階段を下りる (OUT気味)		9+0

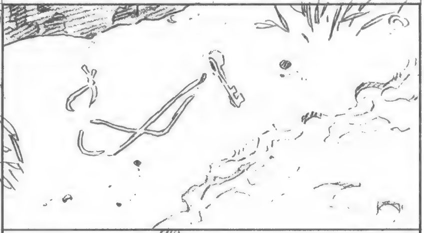
( )

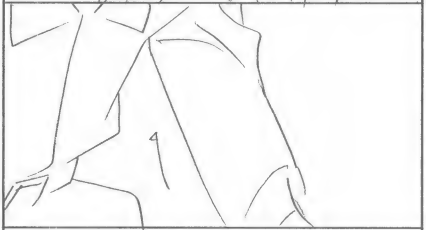
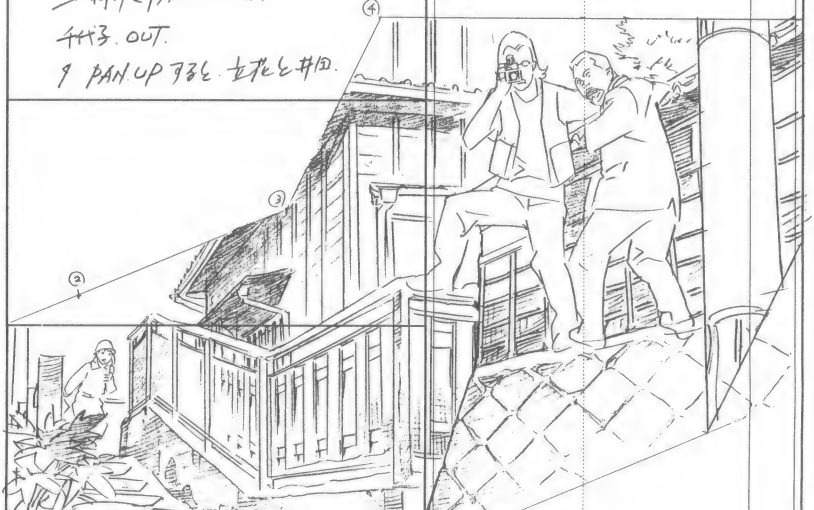
No. 77

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
184		雪の上に血に 染まった包帯が 落ちている (ちょっと風に揺れている)	(3+0)	
		千代子 IN		
		その包帯に 近づいて		
		しゃがむ		6+0

(　　)

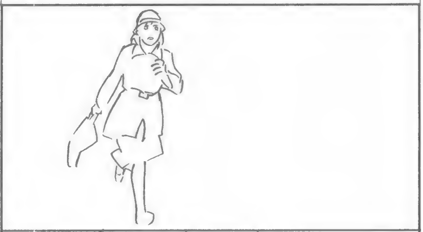
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
185		血に染まった包帯 ↑ PAN UP 雪の中に"男"が下げていた鍵が落ちている	(Fix 2+0 PANUP 0+12 Fix 2+12	5+0
186		鍵を拾い上げる千代子 不安な気持ちが高まる この絵でちょっと止め		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
186		鍵を握り締め、弾かれた様に立ち上がる千代子 ↑ 少し付ける		5+0
187	駆け出す千代子 → 付けてPAN.（〜③） 千代子.OUT. ↑ PAN.UPすると.立花と井田. 	A.C		

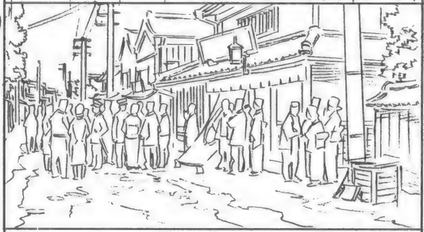
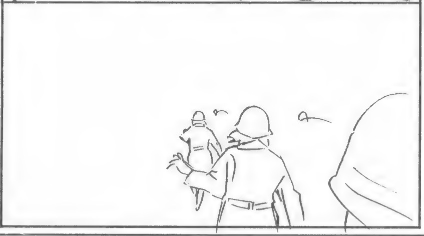
( )

No. 20

マッドハウス

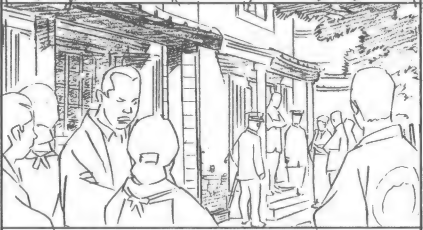
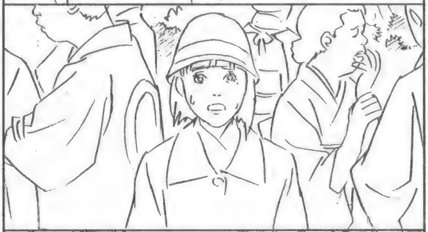
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
				
②				
③				
④		顔を見合わせる2人	(井)「社長が持って来た鍵って……」	
		老体らしからぬ身軽な動きで飛び降りる立花	(立)「ハッ!!」	10+0

(　　)

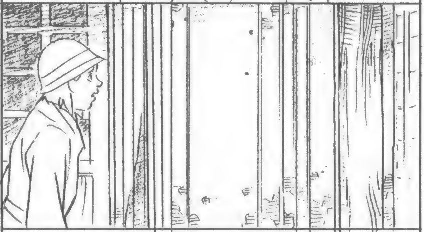
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
188		走る千代子 → Follow		
				5+0
		角を曲がって 走り込んで来る千代子に 付けて PAN → (資)「日本の町並・3」P70. 前方を見て ハッとなる千代子		
189				3+12
190		千代子の家(藤花堂)の 前に人だかりが出来ている 警官の姿も見える		
		千代子 INして 走って行く		4+0

( )

マッドハウス

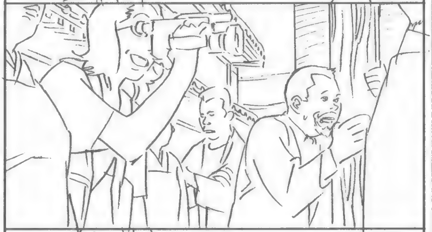
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
191				
192		人だかりをかき分けて 急ぐ千代子 人陰からIN (CAM) 付けてPAN 木戸をくぐる千代子 (OUT気味)	警「まだ近くにいる筈だ！よく探せ!!」	4+0
		庭の蔵 "男"が隠れていた 蔵の前に警官や 千代子の母親、番頭 そして傷男 千代子 IN		4+0
193		AC 呆然と立ち止まる 千代子		2+18
194		蔵の前 傷男、千代子の母 番頭 傷男帽子有り		

(　　)

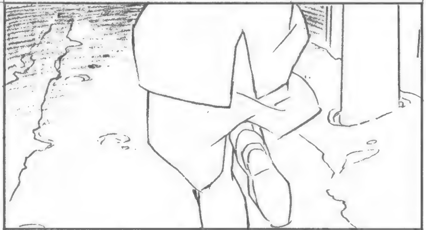
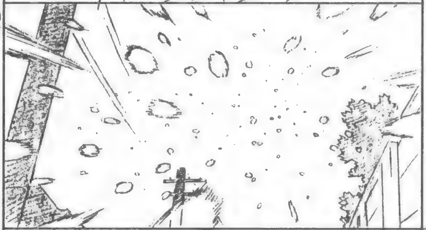
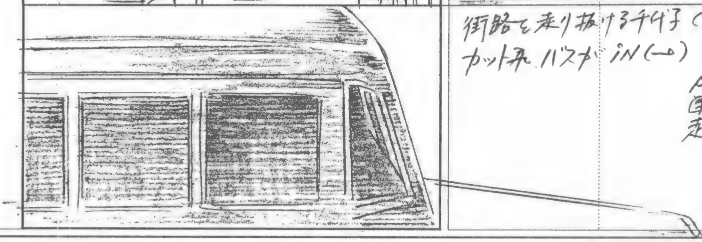
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
194		番頭、千代子に気付き 駆け寄って来る 偽男も気が付く。	(番)「お嬢様!!」	5+0
195		呆然と歩を止める 千代子		
		番頭がINして 千代子の肩を掴む。	(番)「御無事でしたか!! うちの蔵に賊が 忍び込んでいた そうです!!」	6+0
196		小声で囁く 番頭	(番)(小声で) 「無事に逃げられて すぐに駅へ!」	2+12
197		ハッとなる千代子		0+18

( )

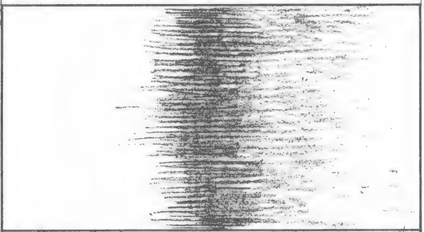
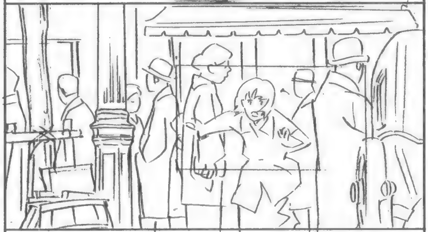
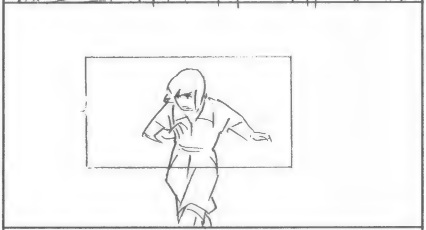
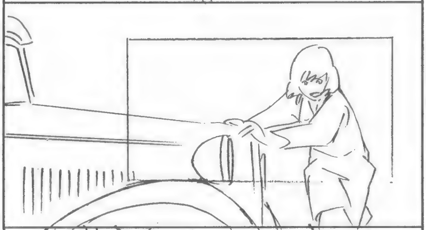
No. 84 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
198		C.195同ポジ ビックリして番頭を見返す千代子	(番)(大声で)「ホントにお怪我がなくて良かった!!」	3+0
199		C.196同ポジ 片頬で微笑を返す番頭		3+0
200		中庭の片隅で その様子を見ている 立花と井田	(井)「やるなぁ番頭」 (参)"MINKA" P63.	
		千代子走ってINして 立花・井田に見向きもせずに駆け抜ける その際 帽子が落ち…		
		立花が慌てて それを掴む.		5+0

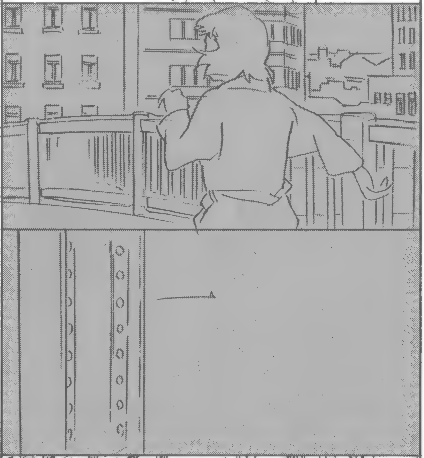
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
201		走る千代子の足元 背動 ※このカットから "雪"降ってます		2+12
202		走る千代子 → FOLLOW その胸元で激しく 揺れる鍵		3+0
203		千代子主観風 背動 激しく降る雪		2+0
204	 	街路を走り抜ける千代子（走りリピート） カット尻 バスが IN（←） ↓ BG FOLLOWより 早いスピードで 走ってます		2+0

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
205		カット頭、ボケたシルエット(一応車)がワイプ		
		通りを渡って来る千代子、カメラで追う (PAN+T.B)		
				
		左から車がIN 急ブレーキかけて入って来るかんじです 千代子 車を危うくよけて。		
		OUT.		

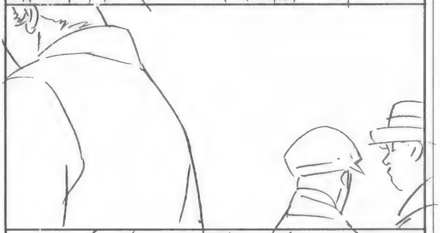
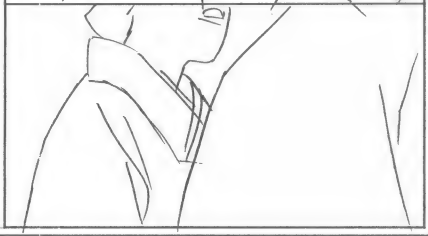
No. 87 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
205		カット尻、 立花と井田が IN. 千代子の OUTした方を 見やるかんじ		5+0
欠 206		※欠番です		
207		橋の上、必死に 走る千代子 (走りリピート+スライド) ※すいません このカットFixです 千代子はBOOKの 陰にOUT		

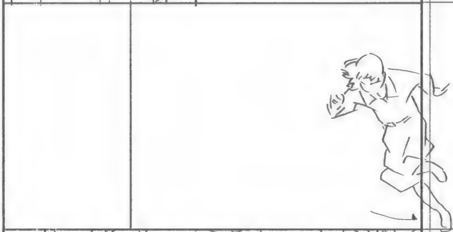
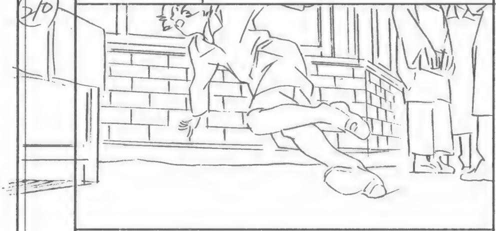
( )

No. 88

マッドハウス

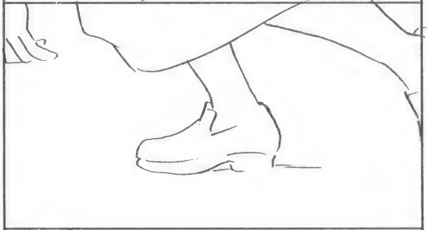
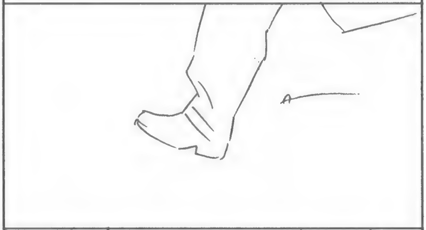
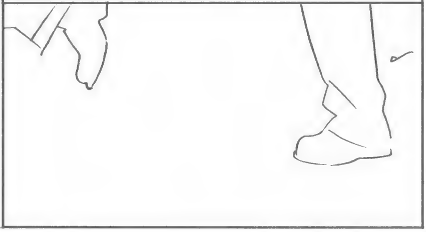
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
207		千代子を追って来る女だ・刑事		4+12
208		来る千代子 → Follow	㊟ 街灯 "東京" P201	
		千代子の手前 奥 モブ(止メ) — IN・OUT		
		カット尻 大きく モブIN		4+0

(   )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
209		街角、モブの陰から IN気味に走って来る千代子		
		雪に足が滑る		2+0
210		A.C. 転んで手前に滑って来る千代子		
		✓付ける		

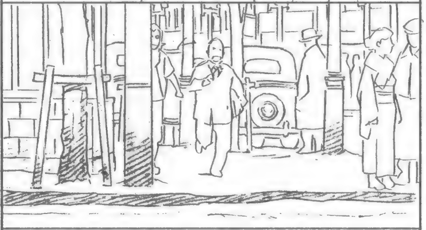
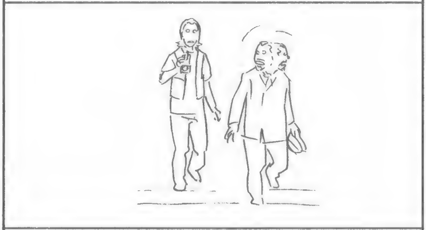
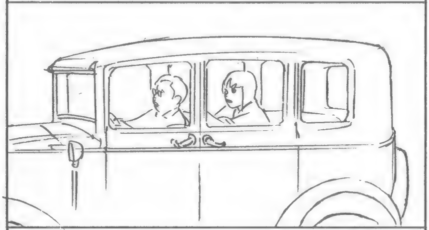
( )

No. 90 マッドハウス

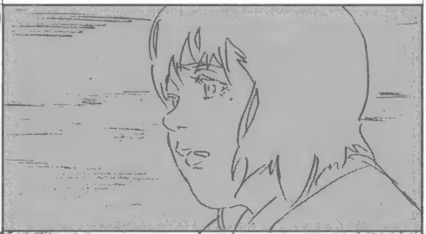
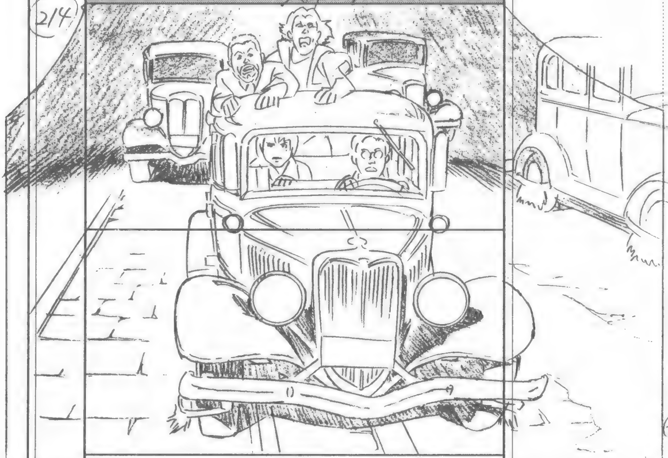
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
210		めげもせずすかさず 起き上がり…		
				
		OUT		
		左へ、立花の 足がIN		
		遅れて井田がIN 2人共 OUTまで…		6+0

(　　　)

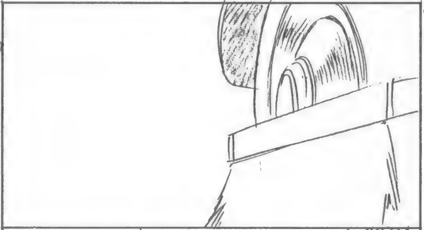
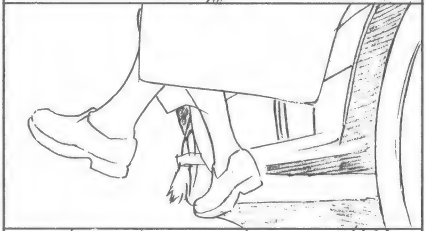
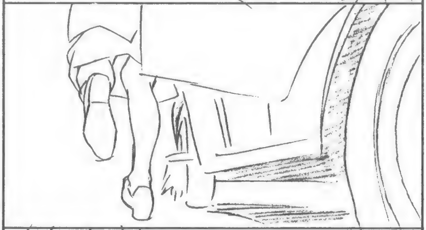
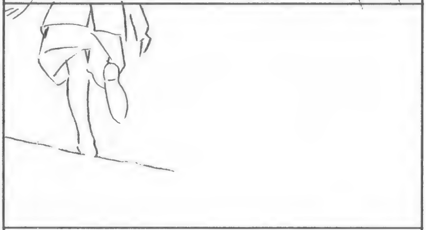
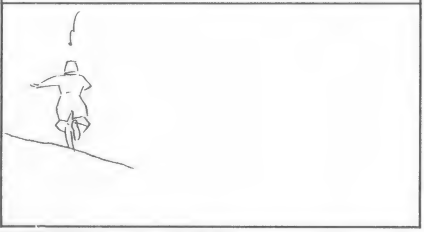
No. 91 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
211		必死に走る 立花、井田 ←— FOLLOW 井田 ちょっと ~→ スライド		2+12
212		走って来る 立花と井田		
		千代子を見失ない 通りの左右 見回す 立花.		
		そこへ 千代子を 乗せたタクシーが フレ.OUT (←)		
		慌てて追う2人		7+0

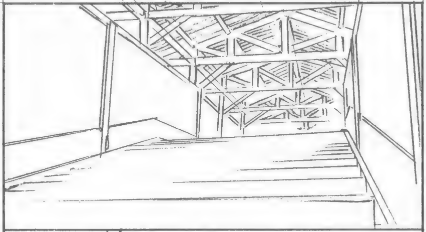
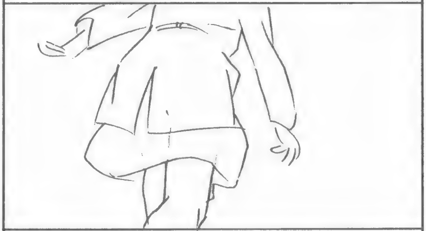
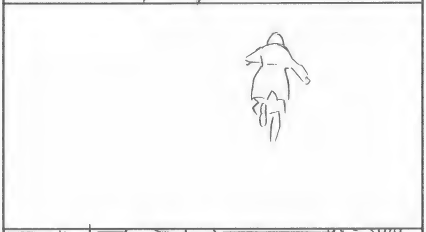
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
欠 213		※欠番です.		
214			大雪の中走る 千代子を乗せた タクシー. [背動] タクシーの後部に つかまり、風に抑らぬよ 立花、井田. [T.U＋PAN・UP] BG奥は良し 路面グラデーション塗り換え. ㊂"オールドカーのある風景" P.45	3+12
215		東京駅（一枚絵）	㊂"国鉄有情115年" P119 "なつかしき東京" P14 "昭和鉄道史" P221	

(　　　)

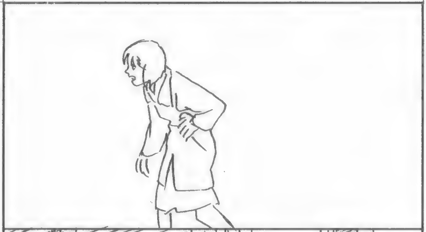
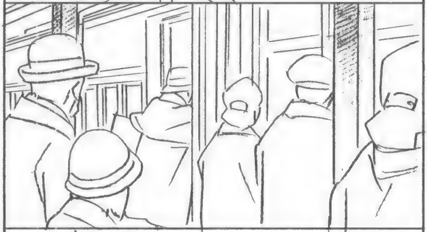
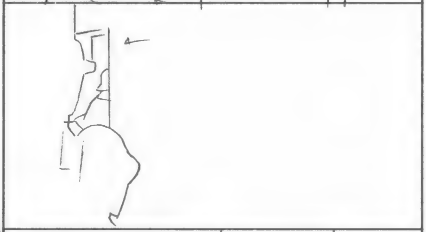
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
215		千代子を乗せた タクシーが… 大きくPAN		
		PANする時点で 既にドア向けて 降りようとしている かんじです		
		車が止まるのも 待たずに 下りて走り出す 千代子		
				
				4+0

( )

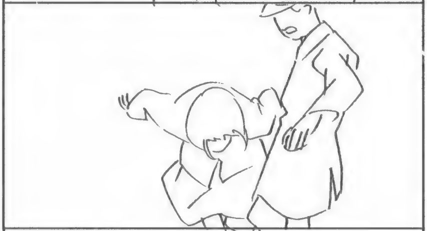
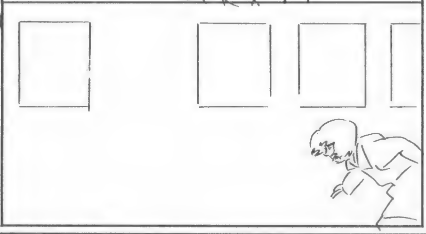
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
216		構内. ホームへの階段		
		パンして. 駆け上がる千代子		
		1歩で2段上がる		
				3+18
217		駅ホーム. 列車既に動き出している. 千代子 パン気味. 苦しげに横腹押さえている (このカットはちょっと寄り, C.220はこのサイズで)		

( )

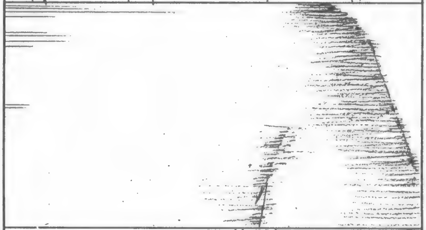
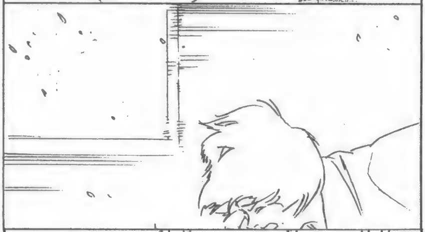
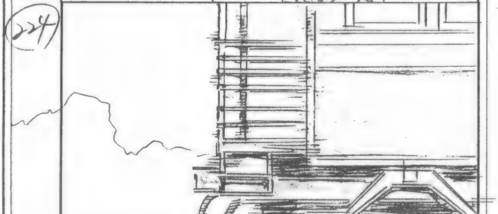
No. 95 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
217		立ち止まり 荒い息をつく。 カット尻、ハッと なる。		2+18
218		動いている列車に 乗り込む人影 "銀の君"である		
				1+0
219		人ゴミの中 追う千代子 (PAN気味)		
		OUT		1+12

( )

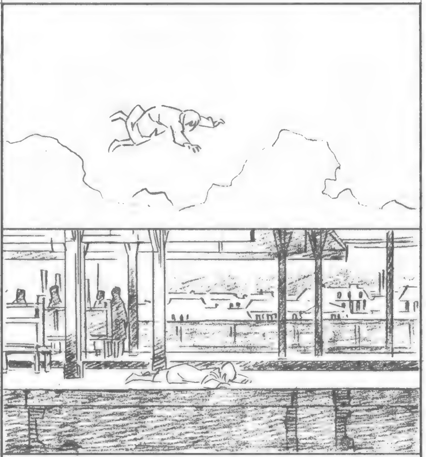
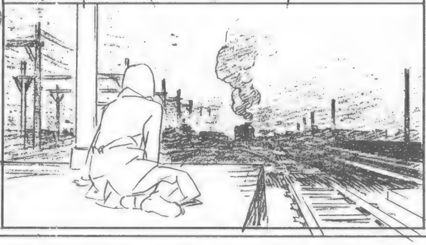
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
220		C.217同ポ ゼイゼイと荒い息の2人	(井)「疲れる取材やがるな」	3+0
221		列車と並走する千代子 列車は止めです 他背動	(千)「待って!!」	
		駅員にぶつかり		
		よろめく		3+0
222		A.C しかし尚も走る千代子		

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
222		C.37 同内容		
				3+12
223		C.38 同内容	(チ) 「待って!! … 待って!!	
			… あ!!」	4+0
224		A.C 列車→OUT		

( )

No. 98 マッドハウス

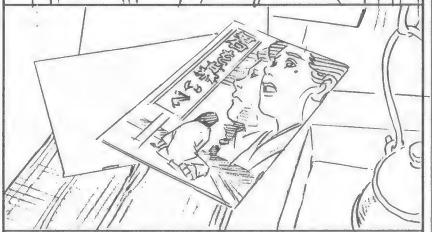
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
224		ホームにつんのめる千代子 列車の残した蒸気(F.O)		6+0
225		半身を起こし列車の去った方を見る千代子 目に涙	㋠「私……行きます」	6+0
226		既に遠くなった列車のシルエットに向かって叫ぶ千代子 降りしきる雪 T.B.(左の絵がスタートで)	㋠「必ず逢いに行きます!!」 SE 汽笛	8+0

(　　)

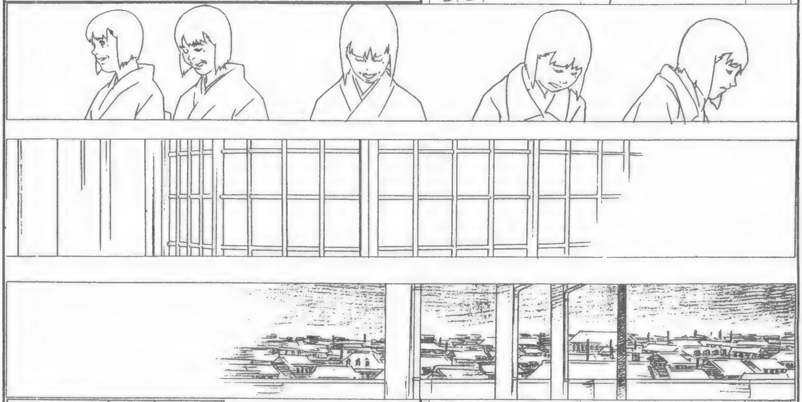
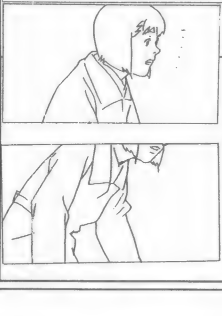
No. 99 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
227		カメラを構えている井田…	(井)「えらいドラマチックですねェ…」	
		隣にいる立花の肩が震える	(立)(off)	
立花の肩.		気が付く井田.	「…う…う」	5+0
~~228~~		こらえきれずに号泣している立花	(井)「…ゲ」	
			(立)「…クゥ… 俺はこのシーンを劇場で53回泣いたんだ…!!」	
		泣きながら話す立花		
		立花のセリフにギョッとなる井田	(井)「…い…」	7+0
229		千代子なめて立花・井田.	(井)「いつから映画の話ですの!?」	

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
229		井田のセリフを 受けるかんじで 起き上がる千代子		4+0
230		A.C 山荘 応接間 顔を上げる75才の千代子 (手元のアルバムから 顔を上げたということです)		
			千「そうなの それから映画の 世界に入ったの」	4+0
231		テーブルの上の パンフレット 映画「君を慕いて」 先程のホームのシーンを 思わせる表紙の絵	立(off) 「…そうでしたか」	3+0
232		何の疑問も 見せずに 千代子に応える 立花 なぜか16才の 千代子がかぶって いた帽子を持っている	立「それで映画界 に……」	

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ 232		その立花にも呆れる井田…		4+0
233		C.230同ポから、セリフ途中に回り込みスタート 背景の障子紙の部分が先にO.L 千代子も16才の姿にO.L	(千)「…っていうのも、ほら、さっき専務さん言ってたでしょ? 次の映画は満州が舞台だ…って」	
			(千)「…満州… そうだ!」	1+0

(　　)

マッドハウス

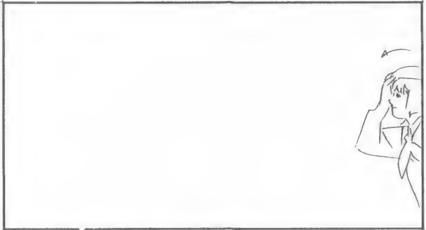
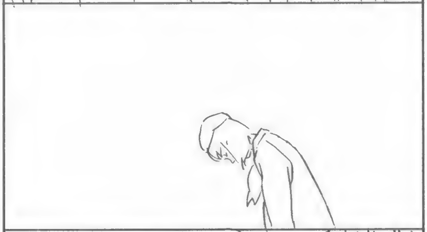
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
234		A.C 居に 頭を上げる千代子	(2+0)	
		T.B.（中無しでいいかも） 快晴の港 春 満面の笑みを浮かべた千代子		
		銀映専務がinして千代子と握手	(専)「ありがとう千代子君」	5+0
235		千代子の手を取りやはり満面笑顔の専務	きっと引き受けてくれると思ってたよ！」 (千)「だって私 お国のために役に立ちたいんですもの	
		言って振り返る千代子 2人の目線 正面やや右	ねェ お母さん！」	8+0

( )

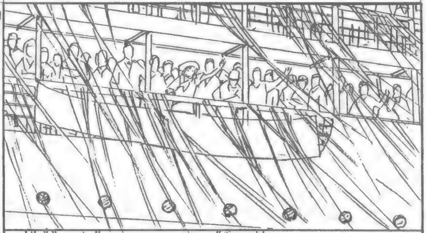
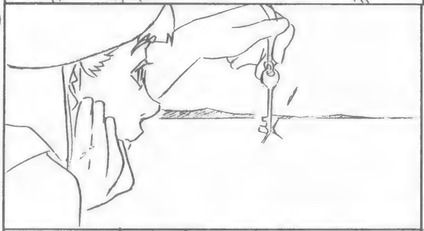
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
236				
		千代子の横顔なめて 母親。 千代子の笑顔と 対照的に、苦虫を 噛みつぶしたような 母親。 千代子の振り向きに 合わせて ←PAN 立花と井田。	㊤(off)「そうでしたか …… (3+0) (ON) 鍵の君を追って 満州に行くため に……」 ㊥「そう！」	
237		無邪気に語る 千代子	映画なんてホントは どうでも良かったの」	8+0
		専務の声に 呼ばれて 千代子右へ OUT. (やや右奥に、小走りで…)	㊪(off) 「千代子君！」	5+0

No. 104　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
238		千代子 9N.		
		傍らに立つ女に千代子を紹介する専務	(専)「今回の主役藤原千代子君だ」	
		お辞儀をする千代子.	(千)「よろしくお願いします」 (専)「こちらはもう知っているだろうが」	9+0
239		お高いかんじの島尾詠子. 千代子の方に目をやりセリフ	(専)(off)「うちの看板女優島尾詠子君だ」 (詠)「よろしく藤原チエコさん」	7+0
240		黒煙を吐くフェリーの煙突	SE ボボ[illegible] 次カットにこぼれる	2+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
241		C.32 同内容		3+0
242		C.33 同内容		3+0
243				
		水平線 その彼方に うっすらと見える大陸の影 ← PAN (大)(off) キラキラと光る 鍵に想いを馳せる千代子.	「意味深だなぁ…」 PAN 8+0.	
		声がして 突然INした 男の手が 千代子の 鍵を掠め取る 驚いて振り向く 千代子		12+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
244		A.C 現れた大滝と、千代子のやりとりを見ている立花・井田 フェリーの通路	(千)「何するんですか!?」	2+0
245		↓ 驚愕する立花	(立)「あ… あれは!?」	2+12
246		大滝から必死に鍵を取り返そうとする千代子 大滝が、その千代子を繁々と見る	(千)「返して下さい!!」	
			(大)「さすがに叔父貴だな。いい女優を見つけて来る」	6+0
247 ↓		驚く千代子 画面外から詠子の声	(千)「え?」 (詠)(off)「あ〜ら 坊ちゃん 手が早いわね」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
247 ※248は欠番.		声の方を見やる 2人		5+0
249		ドアを背に詠子		
		2歩程前に来て 威圧的なかんじで 顔を上げる (その後ろでドア ゆっくりと閉まる)	(詠) 「藤原千代子さん だったかしら」	5+0
250		詠子なめて 千代子と大滝 無邪気に答える 千代子	(千)「千代子です!」 (詠)「こちらはね	3+0
251		大滝寄り	(off) 大滝さんといって 事務の親御さん」	3+0

( )

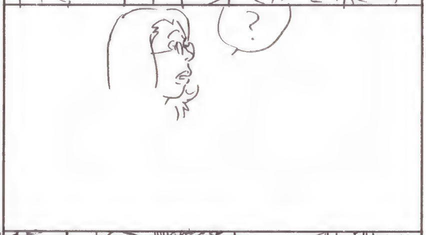
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
252		困った様子の立花。不審げに見る井田.	㊙(off)「さすがに将来有望の監督様…」	3+0
253		C.249同ポ (セリフ後)	㊙「女優の検分はお手のものかしら」	4+0
254		鍵を返す大滝. 千代子に向き直る途中からスタート	㊅「見つかったよ. 見蔵して」	4+0
255		鍵を受け取り いかにも大切そうに. 見つめる.	㊥「大切な預りものなんです. 満州でもしその人に会えたらお返ししようと思って…」	8+0

(　　)

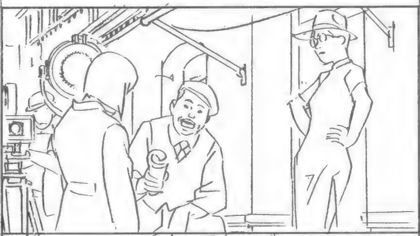
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
256		詠子の皮肉を牽制する大滝.	(詠)「遊びに行くわけじゃないのよ」 (大)「何者だい？その鍵の君は？」	6+0
257		C.255 BG兼用 口ごもる千代子	(千)「名前は…」	3+0
258		意地悪く言葉を重ねる詠子	(詠)「それじゃ探しようもないじゃないの」	2+0
259		C.255 BG兼用	(千)「あの、絵を描いてるんです」	2+12
260		C.258寄り	(詠)「どんな？」	0+12

(　　)

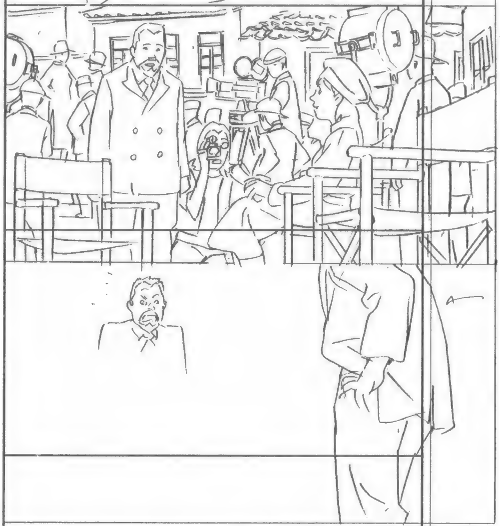
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
261		C.255 BG兼用	(千)「それは…」	2+0
262			(詠)「それも分からないの?」	1+6
263		C.255 BG兼用 T.Uして BG OL	(千)「…でも…	
		Q.T.B ホッとした表情で顔を上げる千代子.		
		そこは満州のとある街角. ※ここで既に"従軍看護婦"の衣装でもよいかも.	でもきっと満州にいる筈なんです!!」	6+0

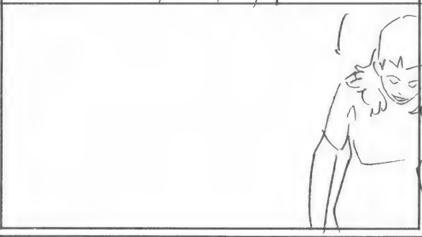
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
264		"謎の中国女"といった体の詠子が答える ちょっと顔上げる	(詠)「さあね 知らないわ そんな男」	4+0
265		突然の舞台の変化を訝しむ井田. 歓喜する立花	(立)「オオッ!!」	
		呆気にとられあたりを見回す. 中国人街の雑然とした雰囲気		4+0
266		詠子と千代子のやりとりが続く	(千)「でも確かにこのあたりにいると…」 (詠)「素人にウロチョロされると、私の邪魔なんだよ」	6+0
267		食い下がる千代子	(千)「そう言われて簡単に引き下がるわけには参りません	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
267		棒読みのセリフになり言葉を探す千代子	やっとの思いで…ここまで来たんです…	
		完全にセリフを忘れている	私…… 私……」	11+0
268				
		呆れて不機嫌になる詠子	(詠)「ちょっと、どうなってるの!? 監督!!	3+0
269		街角での撮影現場 水山監督2～3歩来て石段に足をかける	セリフも入ってないじゃない、この子」 (水)「まあまあ…」	5+0

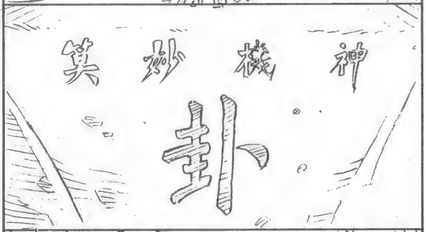
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
270		千代子に優しく指導をする水山監督	(水)「千代子君、セリフっていうのはね、役になりきれば心の中から自然と湧き出てくるものなんだよ」 (千)「……はい…」	10+0
271		C.264 同ポ まくし立てる詠子	(詠)「だから言ったのよ ぽっと出の素人に出来る役じゃないって!!」 こぼれるくらい	3+6
272		C.263 BG兼用 T.U.+作画T.U BG スライド(T) (? オプチカルT.U?)	(千)「私…	
		真に迫った(笑)表情の千代子	一目あの人に逢いたいんです!!」	6+0
273		呆気にとられる水山と詠子		3+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
274		詠子寄り 憎々しげな 表情に変わる	水 (off) 「いいねェ!! よし、本番いってみよう!!」	5+0
275		撮影の合間 椅子に座り 出番待ちの 千代子 立花たちの 奥では リハーサルの かんじ	立「お疲れ様です」 衣装参考「大都映画」 「大正・昭和を飾った女たち」 P80	
		左へ 大滝がIN 固まる立花	大「やあ、すごいな」	
	カット頭 しつ板持ってよぎる スタッフ有り。OUT.			7+0
276		緊張する立花	(off) 大「立派な演技じゃないか」 井「どうしたんすか!? さっきから」 (小声)	5+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
227		軟派風な大滝.	大「ところで どうだい? 鍵の君の手掛りは?」 参 "まぼろし国・満州" p62	
		力無く首を振る千代子	(off) 詠「意外と執念深いのね.	
		 大滝が気付いてちょっとよける 詠子 IN.		
		→付ける 自分の椅子に座る詠子. ほとんど座るくらいまで.	どうせ当てもないなら 占いでも してもらえば?」	16+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
278		AC-1 千代子なめて… 詠子	(詠)「すぐそこの八卦見…よく当たるって評判よ」	5+0
279		「卦」の文字 PAN.UP いかにも胡散臭げな八卦見 ※要資料		
		(FIX 2+0 PAN UP 4+0 FIX 3+0	(八)「ふむ…探し人は北におるようじゃな」	9+0
280		↑Cトップ フレームここから 八卦見なめて 大滝・千代子 立花・井田 路地の奥に怪しげな人影	(参)"さらば大連・旅順" P112 "満州昭和十五年" P132 (千)「絵描きなんです…背の高い…」	4+0
281		驚く八卦見 チラッと路地の方に目線を走らせる	(八)「もしやその男 鍵を探しているのでは…!?」	4+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
282		明るい表情が広がる	(ヰ)「御存知なんですか!?」	
				2+0 PAN 0+12 Fix 3+0
		←PAN あまりの偶然に不審を抱く大滝		
		気配に気付いて振り返ると姿を消す人影		5+12
283		C.281同ポ	(ハ)「その男なら…確か……」	4+0

( )

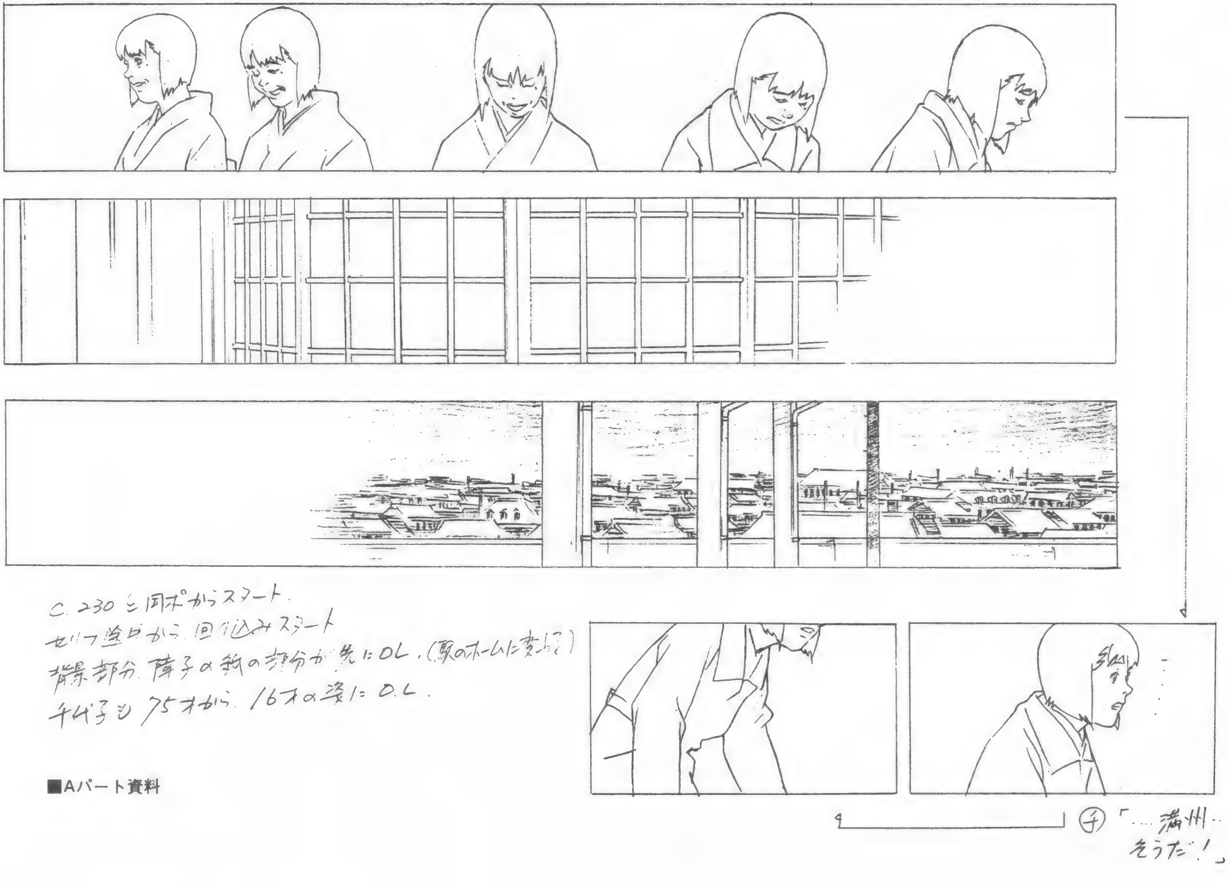
No. 118

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
284		千代子アップ.	(千)「教えて下さい!! あの人は、今 どこに!?」	4+0

( )

■Aパート資料(C-102〜)


C.230と同ポからスタート.
セリフ途中から回り込みスタート
背景部分 障子の桟の部分が先にOL.(駅のホームに変わる)
千代子も75才から16才の姿にO.L.
チ「…満州… そうだ!」

■Aパート資料

Commentary of Story Boards A Part

映画のスタイルを観客に伝える

『千年女優』絵コンテ Aパート解説

文：藤津亮太
text by Fujitsu Ryota

騙し絵のような映画、とは

さまざまなインタビューで今 敏監督が再三発言している通り『千年女優』は、「騙し絵のような映画を作る」ということをコンセプトとしてスタートした作品だ。

「騙し絵」といっても、その指し示す意味はさまざまだ。具体的に「騙し絵」を思い浮かべたとしても、「コートを着た女が老婆の顔になる絵」と「永遠と終わらない階段」では、騙しの種類が違う。今監督はあるインタビューで歌川国芳の浮世絵「みかけはこわゐがとんだいゝひとだ」を例にあげている。この浮世絵は、裸の男が多数集まって人の顔を形作っている。顔でないものが顔を形作る＝ウソが積み重なって真実が浮かび上がる、という部分が本作における「騙し絵」的な部分だという。

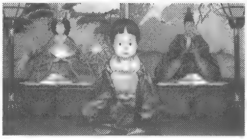
ちなみにこの浮世絵は、ガリバー旅行記よろしく不思議な国を漫遊する物語の主人公「朝比奈三郎」を描いたもの。顔を構成しているのは朝比奈が嶋巡りの際に出会った耳長、手長国などの異国の人々だという。この「異国の人々」＝「思い出

に残る映画の1シーン」だとすると、まさに本作の構造を例えるにはふさわしい浮世絵と思うがどうだろうか。

本作は、現実と千代子の語る思い出や映画の1シーンがリニアに移り変わりつつ進行するのが特徴の一つだ。そして、そこで語られる虚とも実ともつかぬ思い出が彼女にとっての人生の真実を浮かび上がらせるという仕掛けになっている。つまり今監督が言う「物語における騙し絵性」は、虚実を同等に扱うこれまた一種の「騙し絵」とも言える独特の表現手法で描かれているのだ。

そこで解説では、視聴者を幻惑するような感覚を持っているシーンなどを「騙し絵感覚のあるシーン」と広く捉え、その映像について絵コンテを手がかりにしつつ考えたいと思う。

虚構と現実が入り交じり始める場面



と、ここまではこのDVDを買っている人ならおそらく十分承知のことと思う。

ではこの映画の中で、虚構と現実がリニアにつながり始めるのはどこのシーンからだろうか。そこでは虚実はどのように描かれているのだろうか。

まず、ぱっと思いつくのは、銀映の応接室で千代子と千代子の母が専務と話すシーンだろう。この部分はC-113からC-114へ、現在の千代子が、セリフをこぼしつつ、16歳の千代子へとO.Lすることで現実から過去へと場面転換する。O.Lによる場面転換は、この直前、千代子の誕生から16歳に至るまでを1カットで見せる生い立ちのシーンで使っている。中でも1歳から七五三のお祝いへとつなぐ部分（絵コンテで便宜上つけられたカットナンバーだとC-102からC-103）は、キャラクターだけでなく、背景もスライドしながら違うタイミングでO.Lし、さらにそこにカメラのT.Uが加わっている。その結果、普通に記念写真の映像を並べて

いくのとは違った、夢の中のような不思議な印象の残る画面になっている。

C-113からC-114へのつなぎも、背景のスライドがないだけでそれとほぼ同じ手法をつかっている。前例があるため、観客は「この映画はそういうカットのつなぎをする映画なのか」と、特にひっかかりを感じることなく千代子の回想に入り込んでいく。が、ここが千代子の長い回想の入口なのはご存じの通り。カットが変わった後、千代子の母を説得しあぐねる専務の身体を巧みに使って立花、井田のコンビも回想の中に登場するように工夫してあるのは、今監督がインタビューで語っている通りである。こうして観客は、さりげなく千代子の回想の中に誘導され、いつの間にか立花、井田が回想の中にいるという本作の基本的なスタイルを理解することになる。ここから千代子の回想は、回想以上の存在感を持って描かれていくことになる。

一度つかったつなぎを再度使う

だが気付く人はもう気付いていると思うが、このシーンにくる以前に、本作の基本的なスタイルというのを匂わせるシーンは存在している。ちょうどO.Lをつかったつなぎを１回先に使うことでその手法に対して抵抗感を減らすように、さりげなくこの映画のこのスタイルを印象づけるシーンが既にあるのだ。

まず一つはタイトルバック。トンネルの壁を抜けるとビル街が広がり、トラックの影でワイプされると終戦直後の風景が広がる。その空を飛ぶ飛行機の音は生かしたまま、終戦の風景が、現在の工事風景になり、さらに飛行機が宇宙船になるというつなぎで、宇宙の風景へとO.Lする。ここで隕石が横切り、ワイプでまた道路を走るワンボックスにつながる。このあとも海の上に客船があれば千代子の満州行きの場

面に、踏切を電車がよぎれば電車を追いかける千代子に場面展開する。

ここに挿入される映像は、あとで登場する千代子の出演作も含めた思い出の光景だ。それらが一種の連想ゲームのようにつながれていくことで、この映画の縮図のようになっている。この時点ではまだ観客は何のことかわからないが、やがて映画を見ていくと、それぞれの映像のことも、この編集の方法も合点が行くようになっている。

アヴァンタイトルの地震

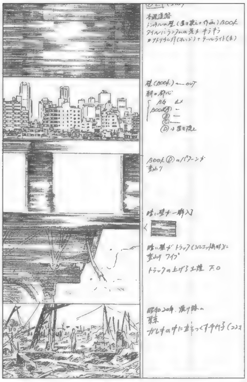
もう一つはさらに本編を遡り、アヴァンタイトルの部分になる。

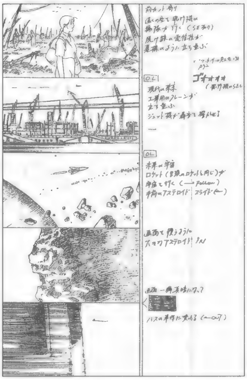
本作は、宇宙船の発進風景から始まる。やがてそれが立花の見ているビデオの映像だとわかる。この時（C-8からC-9)、画面の中の男の演技と立花の演技がA.C（アクションカット）風につながれる。絵コンテのト書きには「前カットの男の動きを受けて身を前に乗り出す」と書かれている。つづけて、さらに立花の話す男の「俺は君のことを……!!」というセリフが、ビデオの同じ音声に重なる。ト書きに「立花は“宇宙服の男”の役にのめり込んでいます」とあるように、ここでは映像にのめり込んでいる立花を媒介にして、モニターのフレームの中の「あちら側」と「こちら側」の境界が曖昧になっているのだ。

さらに地震が起きる。最初は映画の中のロケット発射シーンの画面動かと思わせて、やがて振動は不自然と思われるほど大きくなる。「あちら側」のロケット発射の画面動だけでなく、実は「こちら側」でも地震が起きていたわけだが、ここでも「こちら側」と「あちら側」の境界が曖昧という雰囲気が強く漂う。

このようにアヴァンタイトルの段階から既に、「フレーム

■（上）C-80、（左）C-221、（下）C-175より





■ C-25 ～ C-30
自動車の車窓からの風景が、過去未来をゆきつつ次々と変化して、作品全体の雰囲気を伝える。

の中にあるあちら側＝虚」と「フレームの外でそれを見ているこちら側＝実」が入り交じろうとしている様子が描写されているのだ。しかしこの段階ではまだ「あちら側」と「こちら側」は入り交じりそうで入り交じらない。あくまでここは映画の基本的なトーンの暗示にとどまっている。

と、ここで一つ思い出したカットがある。C-56 と C-57。小さなトンネルを立花と井田がくぐりぬけようとするカットだ。このトンネルの黒い部分が C-57 では、一つのフレームのようになって千代子の家を囲んでいるように見えないだろうか。C-59 で「あの方は歳をとらん!!」と立花が叫ぶ瞬間、背景が C-57 の同ポジになっており、立花もいまやそのフレームの中に入ってしまいそうな画面になっている。

実際、二人はそのトンネルを超えて千代子の家へと進んでいくわけで、これは「フレームの向こう側にある千代子の世界へ足を踏み入れた」と解釈することも可能だろう。

このような段取りを踏んだ上で C-114 以降の回想シーンから立花と井田は、当たり前のようにその中に登場するようになる。

千代子の映画の記憶と実人生の記憶を区別せず観客に見せるために、冒頭からこのように騙し絵感覚あふれるさまざまな工夫が凝らされているのである。

A.C 風つなぎと O.L

先に映画の中の 1 シーンと現実の記憶がリニアに移り変わるのが、本作の特徴と書いた。この「リニアに移り変わる」というのを具体的に実行するために多用されたのが、A.C 風のつなぎと O.L だ。

たとえば A.C 風のつなぎは、アヴァンタイトルの部分で使っているのと同様で、C-229 から C-230 では「ホームで起きあがる千代子」と「アルバムから顔をあげる千代子」を

A.C 風につないで若き千代子と今の千代子のイメージが重なるようにし、回想から現実に戻ってくる際に、気持ちが分断しないように使われている。

なお本来A.C とは、一連の動作を２つのカットに割って表現するものを指す。ここでA.C 風と書かれているのは、逆に一見関連しそうにない２つのアクションを編集でつないでいるからだ。２つのアクションを動作の途中でつなぐことで、似たようなアクションに見せさせ、虚実の合間をゆるやかにつなぐ効果のために使われている。

また、C-233 からC-234 へのつなぎではO.L を使い、現在の千代子に少女の姿を重ねて、話題を回想へと戻している。ここのO.L の使い方も背景もとともにO.L で変化しており、C-113 からC-114 へのつなぎと同じ方法だ。

さらにC-161 からは千代子の回想の中で雪原のイメージシーンが挿入されているが、ここでも場面転換でO.L が使われている。まず千代子のアップに雪原の風景がO.L して、千代子が夢見ている様子が表現される。

逆に夢から戻る時には、イメージの中の風に吹かれる千代子と、少女の千代子の髪の揺れのアクションをポーズを重ね合わせてO.L している。

C-8 からC-9、C-229 からC-230 のようにA.C 風のつなぎではないが、イメージシーンあるいは映画の１シーンから現実へと場面転換をする際に、必ず何らかのアクションが盛り込まれるのは興味深い。おそらくアクションがあったほうが、前のカットの気持ちを引きずりながら場面転換したというニュアンスが出やすいという考えからではないだろうか。

また音響に関しても、前のカットの音を次のカットに少し残す方法で、場面転換の気分を誘導しているカットも多い。この方法を使おうとした場所は、絵コンテに「こぼし」などと指示が書かれているので、確認してみると面白いだろう。

■ C-113 ～ C-114
千代子の正面にカメラがT.U していく。先に背景がまず先にO.L し、そのあと千代子がO.L する。

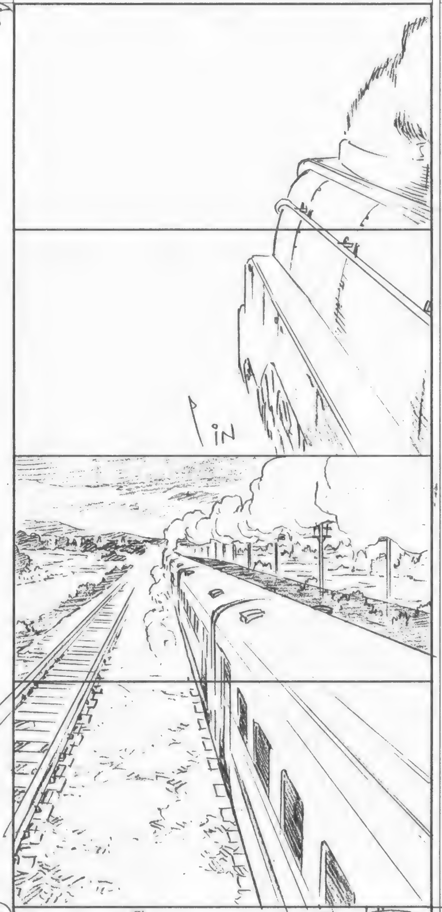
■ C-229 ～ C-230
ホームで転んだ千代子が立ち上がる演技と、アルバムから顔をあげるという演技が編集でつながれている。

千年女優

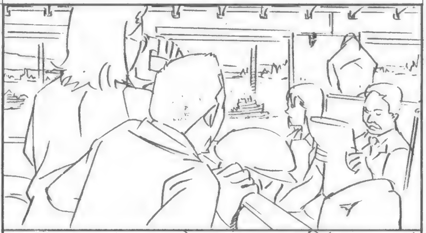
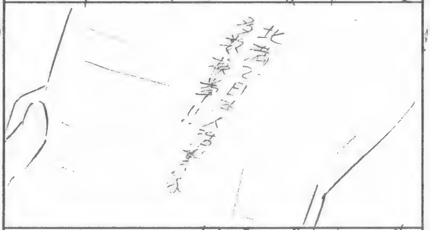
| Millennial Actress |

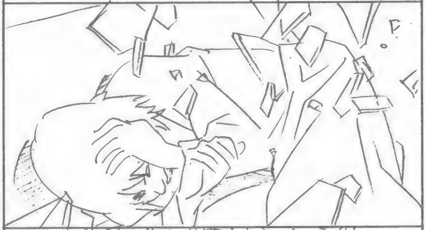
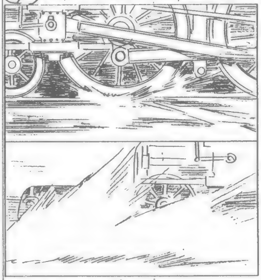
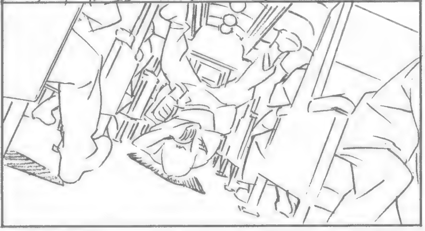
B PART

| Story Boards |

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
285		満州の荒野、夕暮れ間近。 地平線を目指し 黒煙を上げ 列車が行く。 P付けてPAN·UP		5+0
286		列車内 窓外の 流れる景色から →PAN·TB 窓ガラスに映る千代子	Fix 2+0 PAN 5+0 Fix 4+0 ⑪(off) 「撮影放っぽり出したンスか？ わかんねェッスねェ」	2+0

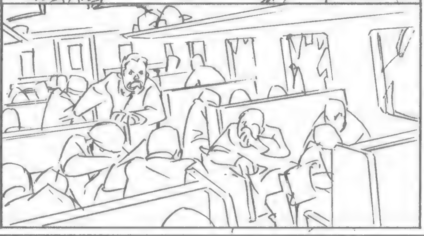
( )

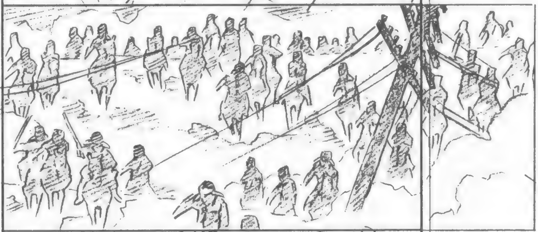
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
287		近くの座席から見守る立花・井田 BG・BOOK → ヒキ	(立)「一途なオトメ心が分からんのか!?」 (井)「社長にだけは言われたくないですわ」 カット尻、髪の毛をかきあげる	6+0
288		隣の乗客の新聞にハッとなる千代子 BG・BOOK → ヒキ		2+0
289		新聞誌面 『北満で日本人活動家多数検挙!!』の見出し		4+0
290	 	不安にかられ鍵を見つめる 窓外の景色 BG・BOOK → ヒキ	(off) (井)「しかし…ここまでして追いかけられるっちゅうのも、男冥利に尽きますなぁ…」	7+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
291		羨しげな立花	㊤「うう…追われてみたい…」	
		突然の爆発音と衝撃.	ドカン!!	
		画面動 車内灯消える(色変え)	㊤「うわ!!」	4+0
292(A)		対面の座席にしたたかに打ちつけられる千代子	㊥「キャア!!」 (SE) ガシャッ!!	1+0
		292(B) △——FOLLOW 	(SE) ギャアア… (ブレーキ音) レールを外れる動輪 ドカッ!!	1+12 画面動
293		列車内通路 転がる井田 画面動	㊀「おわあああ!!」 (カットいっぱい)	

( )

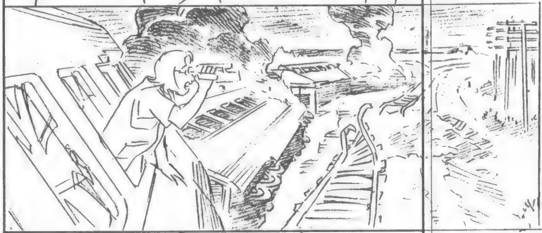
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
293		画面動		
		画面いっぱいまで転がって来る.		1+12
294		AC 1 車両端の木製トビラにぶつかって止まる井田	(井)「ッだあッ!!」	1+0
295		混乱した車内 千代子の元に駆け寄ろうとする立花 BGスライド→ 画面動止め.	乗客たちの悲鳴. (立)「千代子さん!」	

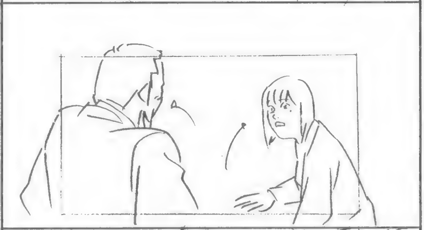
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ 295				3+0
296		窓外を見やる乗客たち. 井田 INして カメラを向ける.	乗客Ⓐ「国民党か!!」 Ⓑ「共産軍か!?」	4+0
297		井田. 寄り 唖然とした表情に変わる	乗客Ⓐ(off) 「見ろ!あれを!!」	3+0
298		← PAN. 丘を越えて押し寄せる騎馬の群れ	乗客Ⓑ(off) 「馬賊の襲撃だあッ!!」	4+0
299		襲撃する騎馬 寄り 発砲する		3+0

( )

マッドハウス

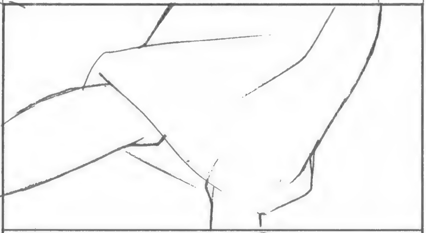
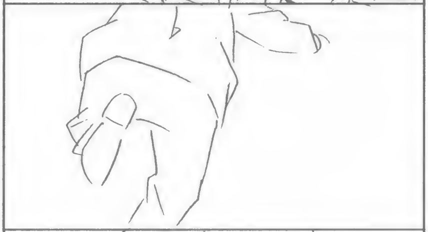
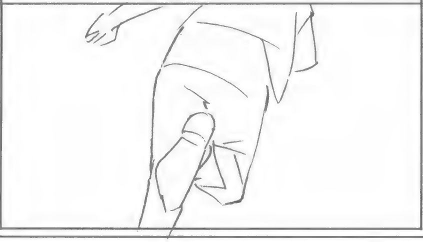
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
300		気を失なった千代子を起こす立花	(立)「藤原さん! 千代子さん!」	
		その前で逃げて行く乗客	口々に悲鳴	2+12
301		爆破された線路から脱線し横転している車両. 窓から身を乗り出して撮影している井田 ← PAN (3+0)	(井)「うわあ! ホンマモノやないか!?」	
		井田の周りを弾着が洗う 大きく火の手を上げる車両	「うわっ!!」	5+0
302		立花なめて千代子	(立)「千代子さん!	

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
302		気がついて… つぶらな瞳で 立花を見返す 千代子 カット尻、事態に気がつき、ハッとなる	(立)「しっかりして下さい、千代…」	5+0
303		A.C 身を起こす 2人	(立)「あ…これは失礼を！」	
		そこへ井田 IN PAN UP + T.B 車両奥、火と煙に包まれている 千代子が、ハッと 上を見やり、 サッと身をかわす (A-)と。	(井)「社長！ 早よ逃げんと!!」	
		焼け落ちて来る 車両の一部	(井)(立)「うわっ!!」	7+0

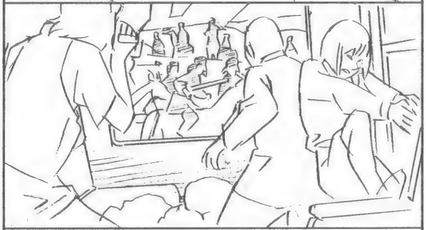
No. 126

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
304		AC 千代子の足元 大きくINして。		
		奥へ。 足元に煙有り		
		扉を開けようとするが開かない。 両手かけるまで。		
		立花と		
		井田も続いて IN		

4+12

( )

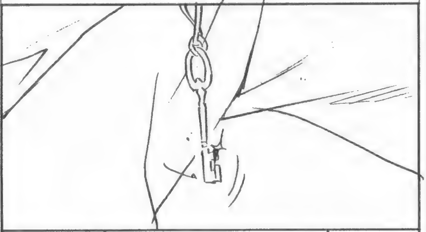
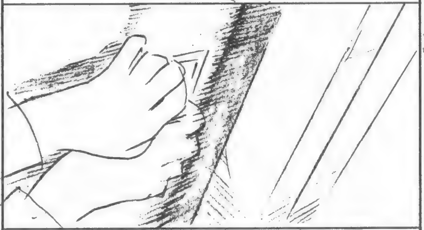
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
305		力を込めるがガタガタとするだけで開かないドア。		4+0
306		窓の向こうには列車を取り囲む騎馬の群れ。	(井)「ひゃああ!!」	3+0
307		305同ポジ 必死な千代子		2+0
308		井田の背後で炎が激しく燃え上がり迫る。	(井)「わあ!!」	2+0
309		火の粉が千代子にも振りかかる。		1+12

( )

マッドハウス

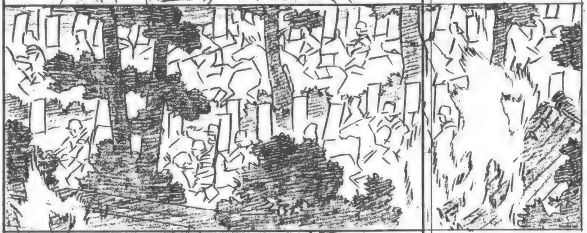
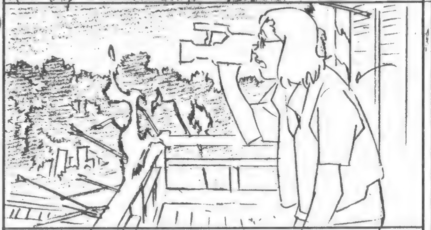
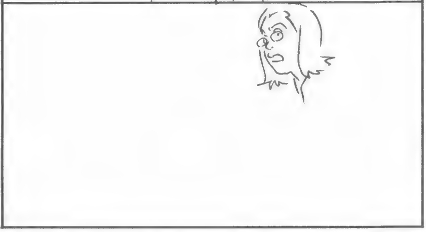
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
310		C.308兼用 C.308の井田が無しで少し寄った状態。		1+0
311		駆け抜ける騎馬 ＊C.306を大判で作成して、このカットと兼用したい		1+0
314		C.310の更に寄り。		0+18
312		千代子の手元ブレ。		1+12
313		C.309同ポジ 懸命な千代子		1+18

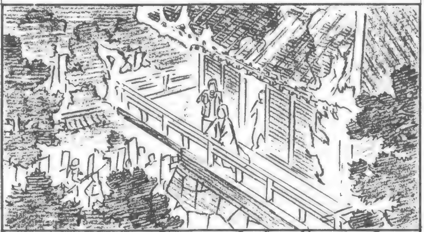
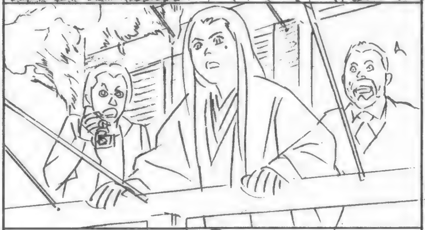
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
316		千代子の胸元で揺れる鍵	※このカット無音に	1+18
315		C.309同ポ ハッとなる千代子		0+18
317		ウソのように横に扉が開く C.312同ポ	ガラッ	0+6
318		AC 扉を勢いよく開け、その勢いが余って		
		一、二歩前へ出る千代子。 ※コンテの絵は間違い。もっと手前へ 外の様子に気が付き怪訝な顔になる立花と井田		5+0

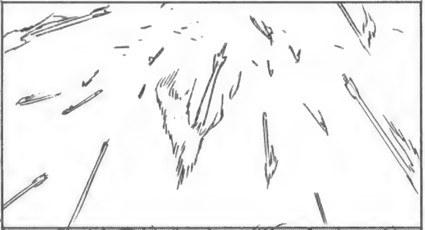
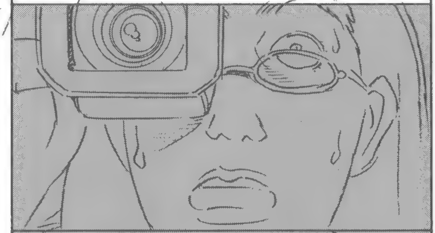
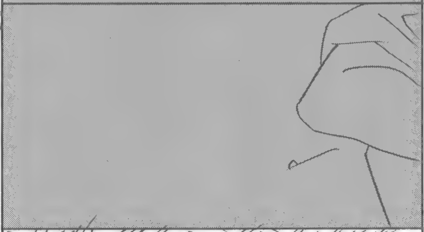
テレコ（316 ⇔ 315）

(　　)

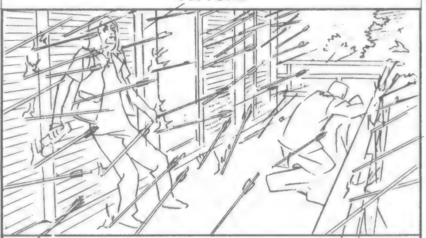
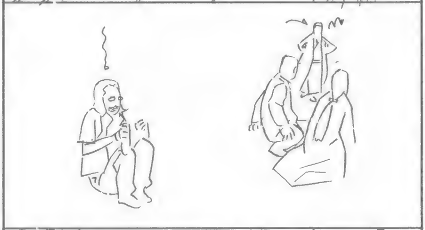
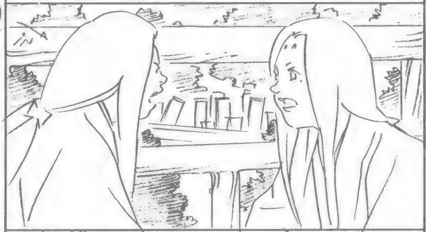
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
319		呆れ顔の井田	SE. 馬の蹄に混じって 法螺貝や鬨の声も 聞こえて来る. (井)「……ど」	3+0
320			(井)(off)「どこが 馬賊ですねん!?」 ←PAN. 木立の間に旗指物をした騎馬武者の軍勢が疾駆する.	4+0
321		望楼の井田 燃え始めている 欄干		
		打掛姿の千代子, 小走りで INして下を 見やる	(千)「これは… 何としたこと!?」	
		井田. 千代子の 姿に気が付いて…		4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
322		望楼俯瞰	(井)「こっちが聞きたいですわ!!」	3+0
323		呆然と見下ろしている千代子	(井)「満州はどこに行ったんですの!? 満州は!!」	
		千代子と立花が上方に気付く		
		慌てて千代子をかばおうとする立花 (欄干の陰に身を隠す)		6+0
324		夜空を背景に飛んで来る火矢 少しこんなかんじ		

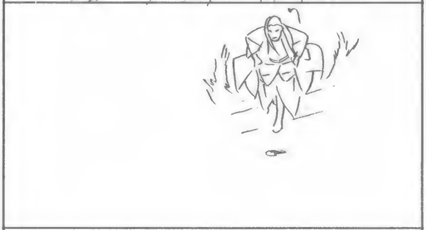
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
324				1+0
325		蒼白になる井田のアップ。		
				0+18
326		慌てて逃げようとする井田（in気味）		
		無数の火矢が凄じい音をたてて板戸に突き差さる	(井)「わあっ!!」 ズダダダ	1+12

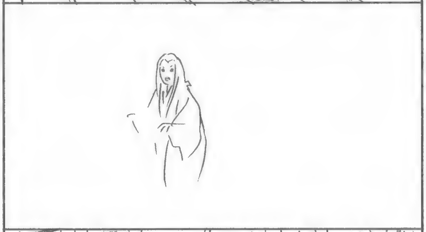
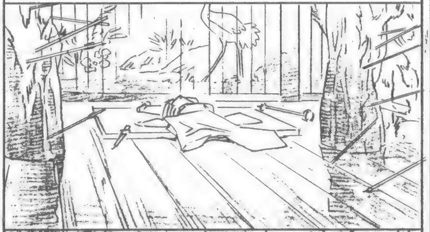
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
327		更に井田を襲う 火矢、火矢 手前から奥へ (1+12)	(井)「ギャアアア…!!」 ダダダ。。。	
		矢が止む ヘナヘナと座り込む 井田。 奥から侍女が 走り込む。	(侍)「姫様!!」	6+0
328		千代子の傍に ひざまづく侍女 奥に動く 旗指物 (スライド)	(千)「あの御方は!?」 (侍)「と…殿は まだ天守に!!」	
		すかさず立ち上がり 駆け出す千代子。		5+0
329		炎上する天守に 向かって来る 千代子 (パン気味) 角曲がって OUT	(侍)(off) 「なりませぬ! 姫様!!」	4+0

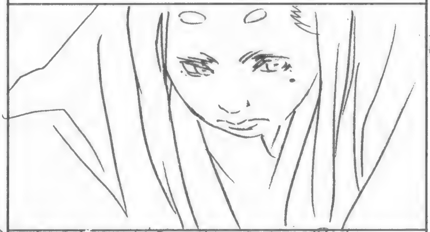
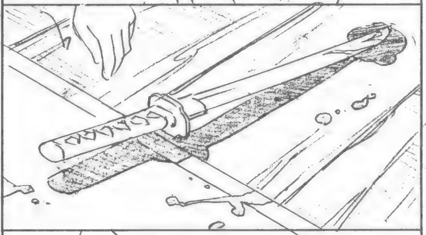
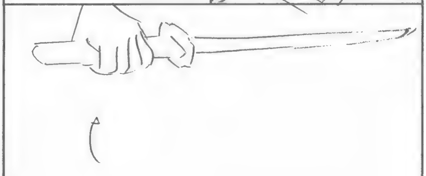
( )

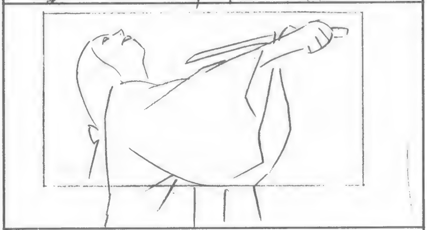
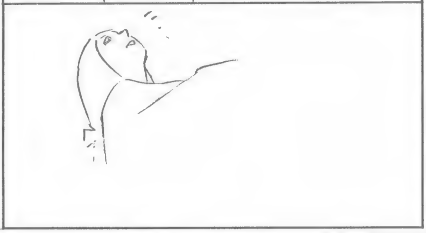
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
330		火の手が回った渡り廊下を走って来る千代子		
		ヒラリ!!		
		後を追って来る立花、井田		
		立花OUTくらいまで		5+0

( )

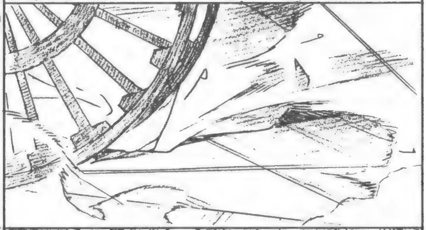
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
331		天守内 梯子を上がって 来る千代子 (PAN気味)		
		ハッとなって 足を止める		4+0
332		具足姿で倒れている その体には陣羽織が かけられている 燃え始めている天守内		4+0
333		呆然となる千代子 T.U (4+0)	(千)「…殿…」	
		駆け出して OUT.		7+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
334		倒れている殿(首無し)に 縋る千代子(PAN) 茫然と うなだれる	(千)「……殿!!」	6+0
335		号泣する千代子	(千)「なぜ 姫を お待ち下さらなんだぁ ……!」 (セリフ尻から糸を引くかんじで 嗚咽になる)	6+0
336		陰から見守る 立花と井田	(立)「う…う… お…俺は…」 (井)「何遍泣いたん ですの?」	4+0
337		C.335同ポから 大粒の涙を浮かべ 目を開ける (カット頭 1+12間)		

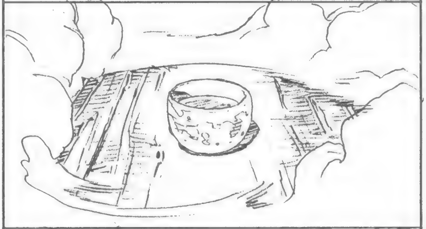
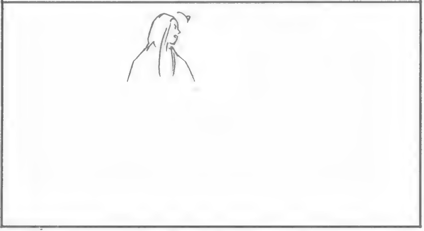
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
337		すっと身を起こす 千代子に付けて PAN.UP.		
		硬質な表情で 視線を右へ		5+0
338		血にまみれた 脇差が落ちている (2+0) 千代子の手が ゆっくりとINして		
		思いきったように 取り上げる (OUT不要)		5+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
339		C.336同ポ寄り	㊣(M) 「!」	0+18
340		PAN・UP 喉元に狙いを定め。	PAN 1+12 (ケツドツメ) フィX 1+12 ポン寄り 4+0.	
		自刃を突き立てようとする千代子。 中無しでポン寄り		
			(婆)(off) 「お待ちなされ」	2+0

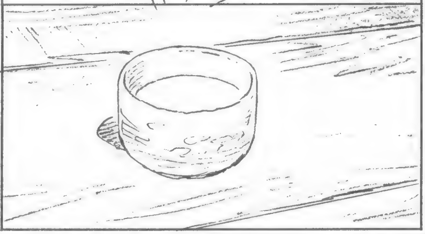
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
341		C.336 同ポ 2人の前に妖しげな白い霧のようなものが流れて来る	(SE) ……キィ…… ……キィ……	3+12
342		回る糸車		3+0
343		妖しげな雰囲気に訝しむ千代子		4+0
344		煙の中に現れる妖婆 "キィキィ…"と軋む糸車を回している 顔は影になっていて見えない PAN UP (4+0)		8+0

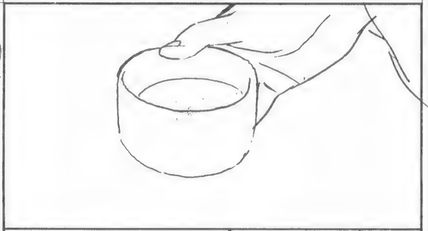
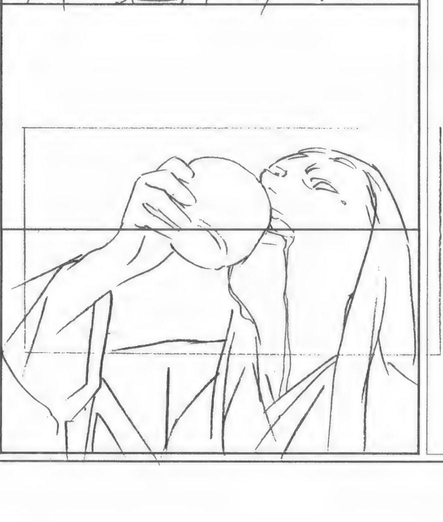
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
345		C.343 同ポ 刀をかまえる千代子	(千)「この城に棲むという…あやかしか？」	4+0
346		老婆 寄り 糸車回しています	(婆)「何とでも呼ぶがよい…私はお前様が生まれる前からお前様のことをよく知っている」	11+0
347		千代子 寄り 不敵な表情から	(千)「そのあやかしが何用じゃ？…」	
		一転 P ちょっと付ける		4+0
348		一歩 強く踏み出す千代子	(千)「死出の介錯でもしてくれると申すか!?」	3+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
349		煙の中から…		
		現れる不気味な茶碗	婆(off) 「……それを 飲むが良い……」	6+0
350		C346 寄り カット頭、糸目 止めて、セリフ	婆 「この世でひとつに なれぬ身も、 冥府魔道の地なら それも叶いましょう ……」	8+0
351		妖しげな煙の 中、対峙する 2人 BG ← 千代子・BOOK ← 妖婆 → (ものすごくゆっくり なスライドです。)	千「人の身を 捨てよ…と？」 婆「かの君も 待ちかねておる…」	
		振り返る千代子		9+0

( )

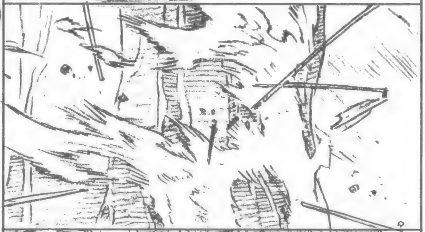
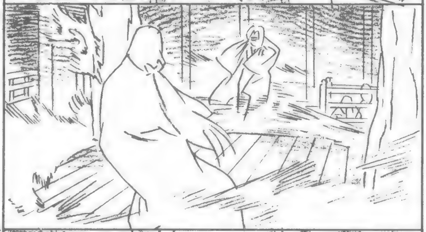
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
352		殿の亡骸		3+0
353		見ている千代子 (2+0)		
		意を決して		
		振り返る		5+0
354		机の上の茶碗		

( )

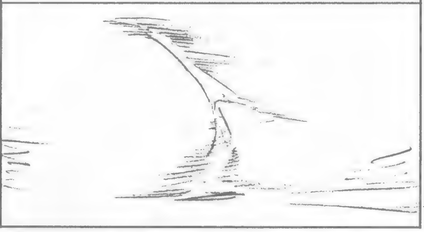
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
354		千代子の手が INして		
		取り上げる (OUT)		4+0
355		ちょっと躊躇うように茶碗を見つめ . (~3+0)		
		一気に呷る ↗ 付けてPAN		3+0

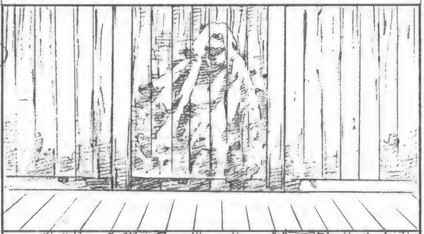
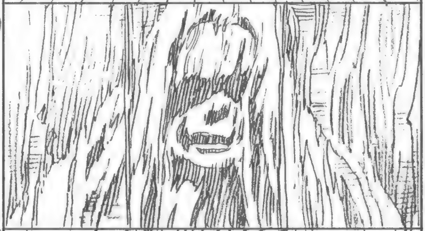
( )

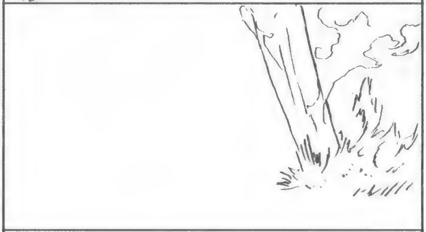
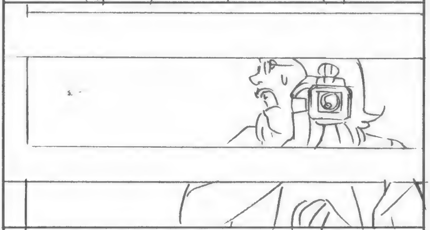
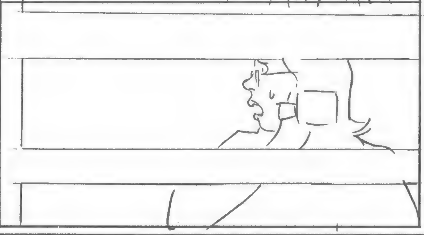
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
356		ニヤリと歪む 妖婆の口元 （インサートです）		1+12
357		C.355 同ポ 茶を呑みます 千代子		
				3+0
358		A.C 挑むような 表情の千代子（このカットで目を開ける） 背後の板壁に 描かれた鶴が 羽を広げている		
		不意に起こる風が 妖気と千代子の髪の 毛を揺らす		6+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
359		突風が玉虎と井田を襲う C.336.同ポ	㊤㊥ 「わあぁ!!」	2+0
360		柱を焼く炎が狂った様に風に踊る		1+12
361		天守内を荒れ狂う突風 炎が風にちぎれ板が飛んで	(婆)「わあっはっはっはっはっ!! それは千年長命茶!! これよりそなたは未来永劫、恋の炎に身を焼く定め!!」	10+0
362		轟音の風の中千代子が叫ぶ	(千)「たばかったか!!」	1+0
363		千代子を見返す妖婆	(一転して静かな調子で) (婆)「われはそなたが憎い、憎くてたまらぬ……」	↓

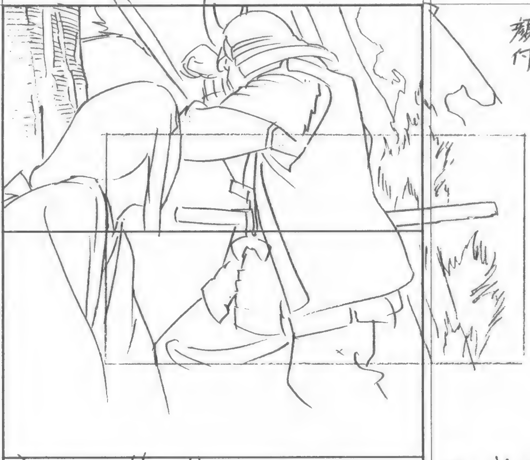
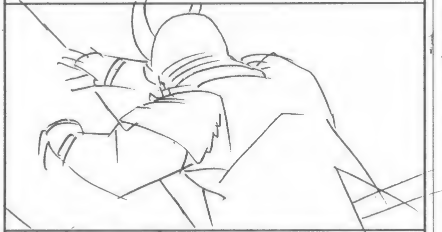
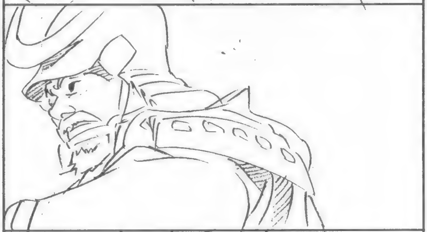
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
363		己が身を抱えるように妖婆	……そして愛しい…愛しくてたまらぬのじゃ……」	1+0
364		C.362同ポ	(千)「!?」	1+12
365		突風に巻き込まれるかの様に消え去る妖婆 ※何か面白い消え方があればよいのですが…	(婆)「いずれ分かるときが来よう!! あぁっはっは、はっはっはっは…」	
		BG.2枚ブレ? ~ ノーマルにO.L (6+0)	(実体が消えても笑い声が少し残るかんじ)	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
365		妖婆のいたあたりの 後の板壁に しみとも 木の目ともつかない 模様が浮かび 上がっている それは正に妖婆の姿		10+0
366		木目の妖婆 寄り うっすらと笑み		3+0
367		呆然としている千代子	☆音がノーマルに帰って来る	
		脱力		7+0
368		A.C 力無く跪く千代子	ゴオオ°° ☆火の勢いが一気に増したかんじ	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
368		焼け落ちた梁が倒れて来る	ドシャッ。。 グヮン	
		そのひとつが千代子に向かってゆっくりと倒れて来る。		5+0
369		慌てる井田。	(井)「うわっ!! やばいッスよ!!	
		← PAN	社長!!	
		そこに立花の姿は無く 替わりに…	!?」 (立) (off) 「ウオオオオ」	

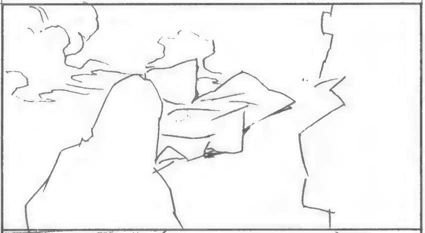
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
369		駆け上がっていく一人の鎧武者		5+0
370		千代子に向かって倒れかからんとする燃える梁		
		そこへ鎧武者が立ちはだかり		
		身を挺して梁を受け止める 気付く千代子 (3+12)		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
370		顔を向ける千代子に 付けてPAN UP		
		梁を放り 振り返ろうと するところで 次カットへ Ac	立「デェェェイ!!」	8+0
371				
		振り返った鎧武者は 立花その人 前カットで放られた 梁が倒れ 火の粉を 巻き上げる。	(SE) ドォー!! 立「姫ェ!! 長内弁源衛門に ございます!!」	5+0

( )

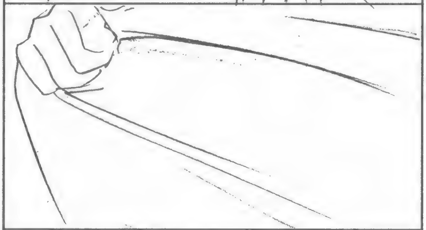
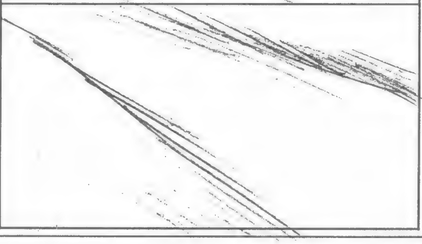
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
372			(井)「いつからやねん!?」 (土)「拙者 命に替えても 姫様をお助け申しますぞ!!」	6+0
373		覚悟を決めたような表情の千代子.	(千)「姫は… 殿の元を離れませぬ…」	
		異変に気付く千代子.		8+0
374		消える殿の亡骸.		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
374		陣羽織だけが残される.		5+0
375		C.373 兼用	千「おのれ…あやかし…」 五(off)「殿は…無念にも敵の手に捕えられまして ございます」	
		パッと明るい表情になり、顔を上げる千代子 ↑ 付けPAN	千「殿が…生きておられると!?」	
		この絵は不要でした.		10+0

( )

 マッドハウス

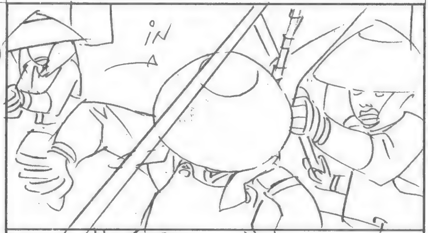
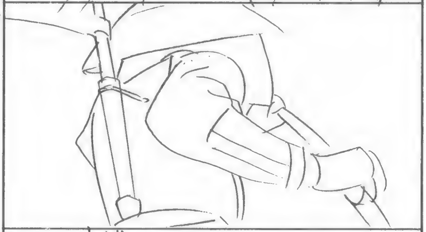
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
376			(士)「姫様は 一刻も早く国元へ!」	3+0
377		立ち上がりながら 打ち掛けを、		
		勢いよく 脱ぎ捨てる	バサァァァ	
				4+12

( )

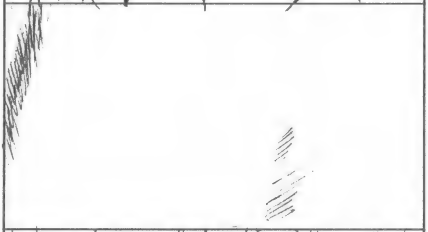
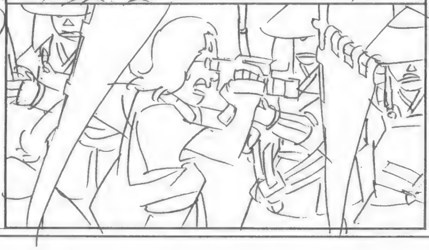
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
378		カット頭 前カットからの 打ち掛けの繋ぎで 	FIX (1+0) PAN·UP (3+12)	
		千代子の背後で ゆっくりと打ち掛けが 舞う。		
		決然と。	(千)「殿を救いに 参る!!」	8+0
379		門への道 前カットの千代子の セリフを受けるかんじで ザワッと身を引く足軽たち。		

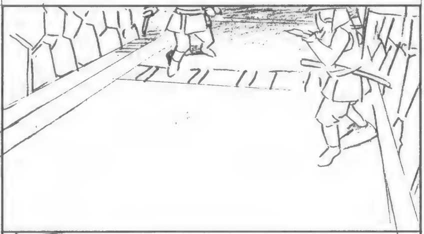
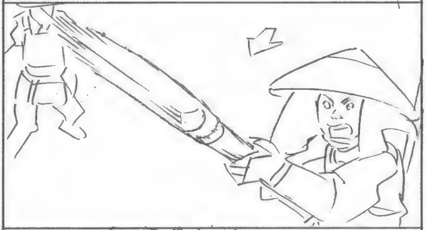
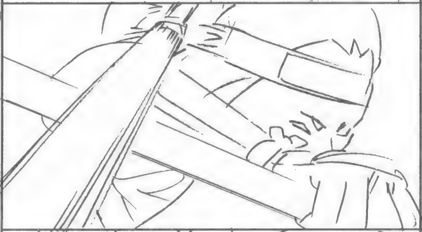
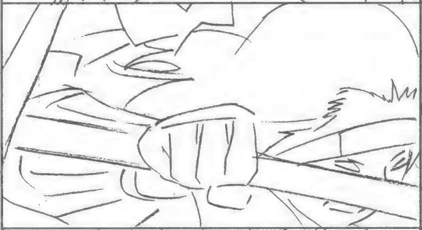
( )

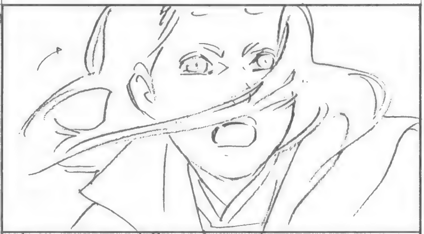
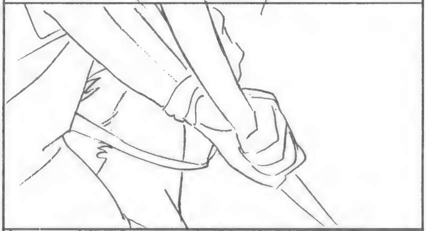
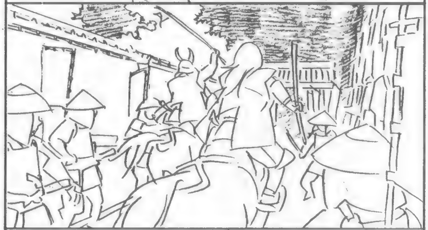
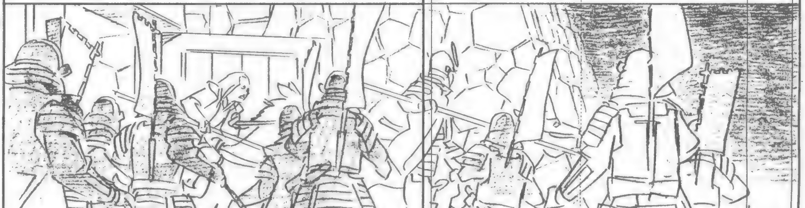
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
379		吹っ飛んで 来る足軽	足軽A 「ワアアッ!!」	3+0
380				
		気合と共に 足軽を倒し 馬を駆る立花	(立)「デエヤアアア!!」	
		立花に続く 千代子 背後に燃える 天守		

( )

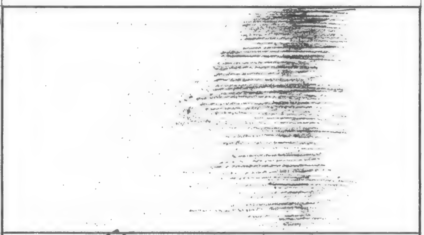
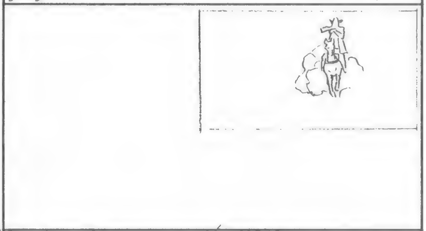
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
380				
		千代子の馬が画面いっぱいに迫る。		6+0
381		→ Follow 馬を飛ばす2人。 千代子 若干スライド (→)	(女)「続けェッ!! トラ吉!!」	3+0
382		必死にかける井田 → Follow ※Follow素材は大きめに作成の上 C.381と兼用。	(井)「誰がやねん!!」	2+12

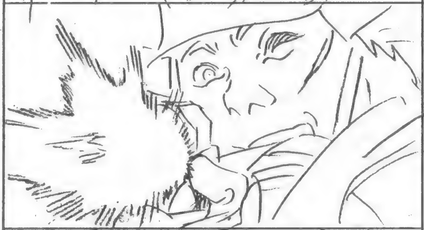
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
383		襲いかかる足軽 背動		
			(足軽B) 「でああぁ!!」	1+12
384		足軽の槍が千代子を掠め、 (タ Follow) というか 流背の置き換え	(千)「クッ!!」	
		鉢巻を切り落とす		1+12
385		叫ぶ立花 →Follow	(立)「姫ッ!!」	1+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
386		C.384同ポ 顔を上げる千代子 長い髪が激しく舞う	(千)「必ずや殿の元へ!!」	3+0
387	 	門へ向かう2騎 ☆コンテの絵より"門"の位置近めに		1+12
		門を越える2騎 千代子に付けてPAN→		2+0
388				

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
389		カット頭. 足軽の旗指物 — OUT.		
		→ 千代子 Follow. ハッとする.		2+0
390		足軽たちの 奥から駆けて来る 一騎の武者.		
		カットいっぱい T.U		1+18
391		騎馬武者 寄り. "傷の男"である. 火縄銃をかまえ 狙いを定めている		2+0

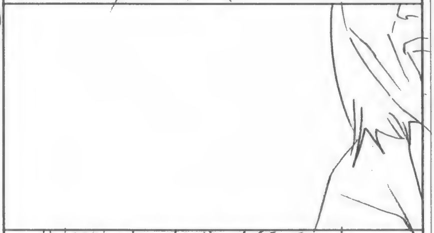
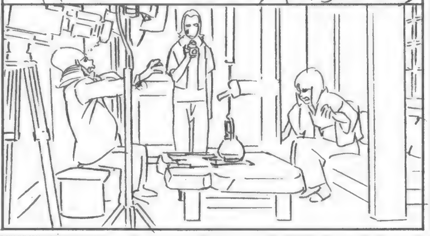
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
392		絶望的な 表情に変わる 千代子.		
		☆カット尻スロー風に つなぐ		3+0
393		傷男 寄り 発砲	(SE) パアーンッッッ!!	1+0
394		ギュッと目を つぶる千代子.		
		しかし何の異変も なく、ハッと顔を 上げる.		5+0

(　)

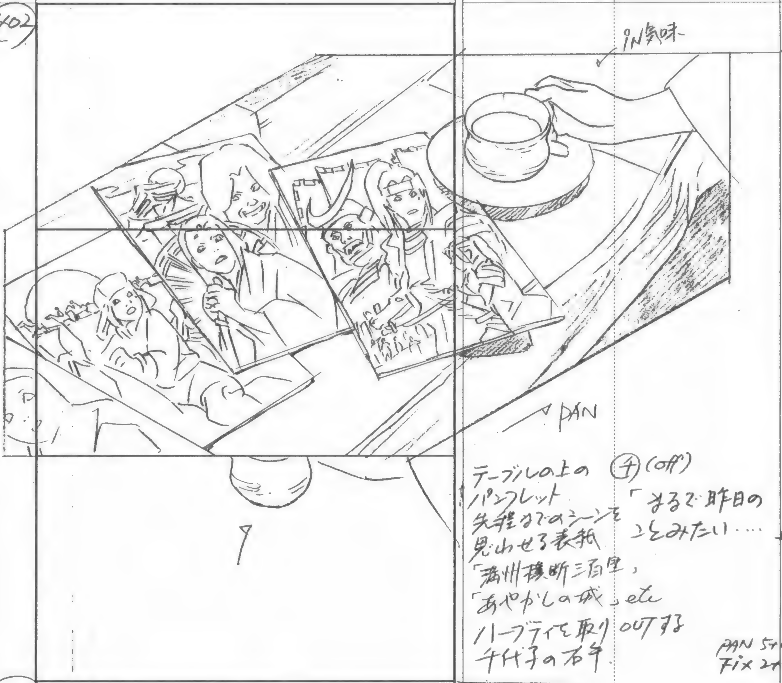
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
395		千代子の楯となり被弾した立花。		
		落馬。 （スロー）		3+0
396		愕然として固まる井口。	(井)「エエエッ!?」	2+0
397		落ちる立花 （スロー） ← Follow	(立)「姫ェェ…!!」	2+12
398		立花を見返す千代子 ↘ Follow （スロー）		

（　　）

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
398				2+12
399		AC 現代の山荘 千代子(75)が 前カットを受けて 叫ぶ (このカットはノーマルです)	(千)「長門オオッ!!」	3+0
400		必死な形相で 芝居している立花 頭には先程と 同じ兜	(立)「御武運をォ……!」	3+0
401		応接室で 芝居の再現を 続ける2人 呆れている井田	(千)「その方の志は 忘れぬぞ!」 (立)「…姫ェェ……!!」	7+0

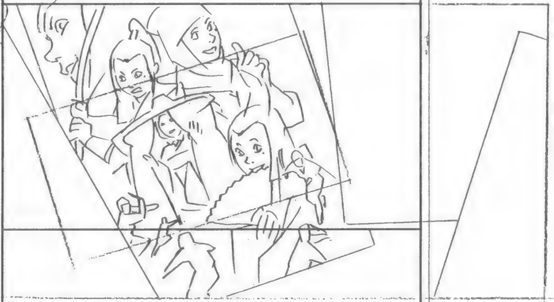
No. 163 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
402		iN気味 PAN テーブルの上のパンフレット 先程までのシーンを見出せる表紙 「播州横断三百里」 「あやかしの城」etc ハーブティを取りOUTする千代子の右手	(千)(off) 「まるで昨日のことみたい…」	PAN 5+0 Fix 2+0 7+0
403	 	C.230同ポ 一口飲む千代子	(千)「いいのかしら？ こんな調子で…」	5+0

(　　)

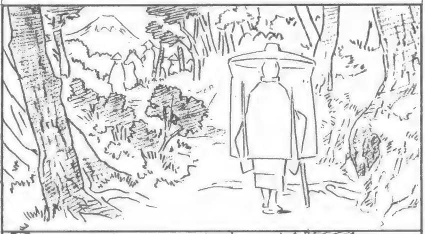
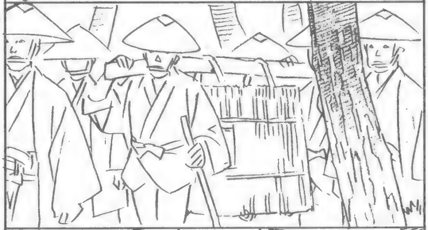
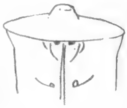
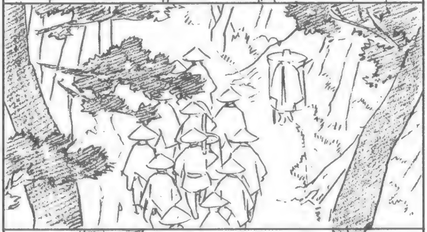
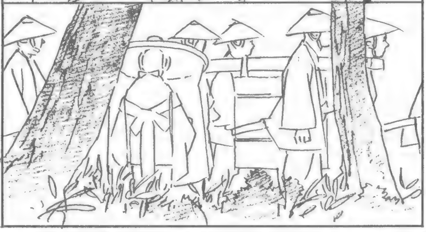
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
404		兜を脱ぐ立花	立「いやあ — もう、藤原さんのお好きなように話していただければ光栄です」	
		その兜を美濃が受け取り。		
		← 付PAN		
		美濃OUT. 奥に、呆れ顔の井田。 ※BG12 C.406と兼用		6+12
405		笑顔で見返す千代子 ちょっと記憶を辿るかんじ	千「ありがとう ええ…っと、それで どこまで話したかしら？」	6+0

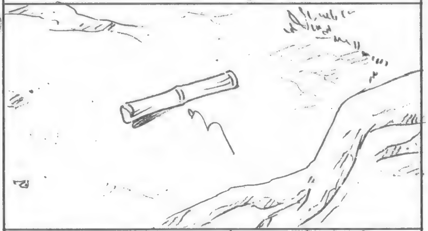
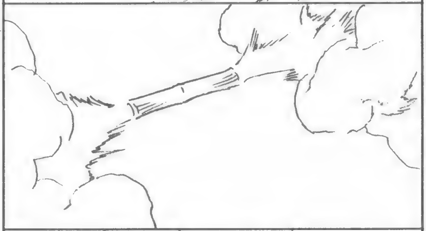
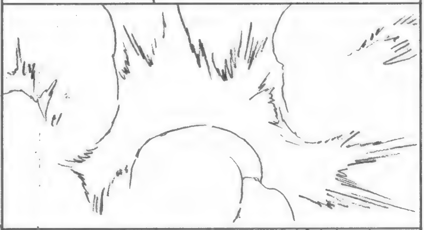
No. 165 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
406		"やれやれ"といった態でカメラを重そうに構える井田	五「は…敵の囲みを突破したあたりで…」 千(off)「そうそう…」	5+0
407		テーブルの上のパンフレット（「千代子の忍法七変化」）にT.U 表紙に映っている壺装束の千代子が動き出し、周囲もオーバーラップして行く	千(off)「捕まってしまったあの人を、何としても助けたいと思ったの…」	4+0 (3+0)
408		O.L. 山間の道を歩く千代子 ← FOLLOW	SE.鳥の声 ※壺装束参考 "時代衣裳の着つけ"	4+0

(　　)

マッドハウス

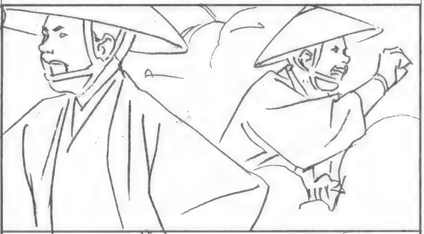
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
409		道の向こうから 武士の一行が 来る		4+0
410		武士の一行 ←Follow 罪人を乗せた唐丸籠を 護衛する様に 侍が その周囲を固めている ※"罪人"ということが 分かりにくいか？ 参"図説 江戸の警察司法事典" P165		3+12
411		市女笠の中から 鋭い目で一行の 様子を窺う千代子 ↓Follow  カット尻 顔隠す		3+0
412		山道俯瞰 脇にそれて 立ち止まる千代子 武士一行が 進んで行く（↑スライド）		4+0
413		千代子の前を 通り過ぎる一行（←スライド）		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
413		武士の一人が ふと足下の何かに 気づく		5+0
414		コロコロ…と 転がって止まる 竹筒.		
		突然 白煙を 吹き出し.	(SE) シューッ	
		爆発!!	ボムッ	3+0
415		C.409同ポ 広がる白煙. 混乱する一行	口々に叫ぶ武士. 「何ごとじゃ!?」 「曲者!曲者!!」	4+0

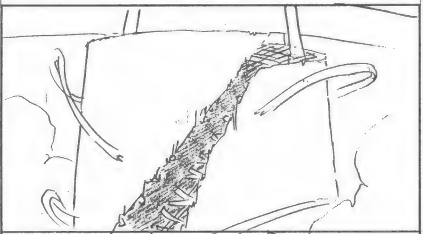
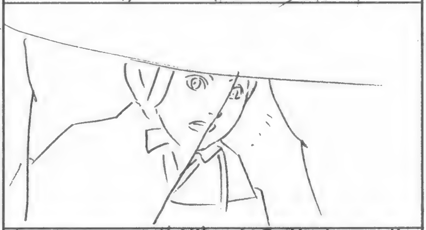
( )

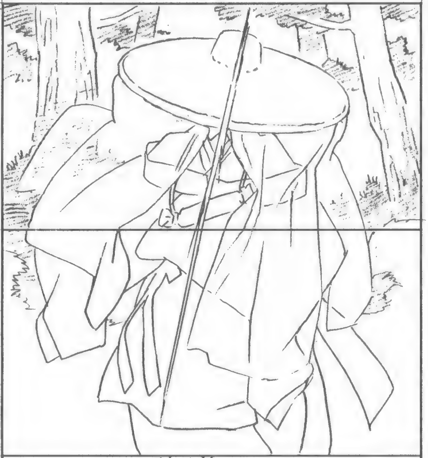
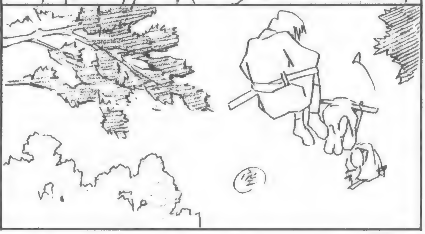
No. 168

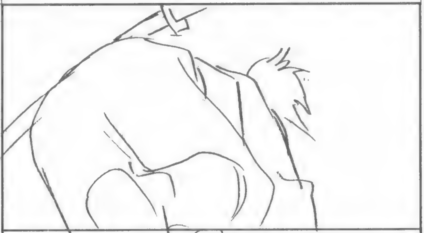
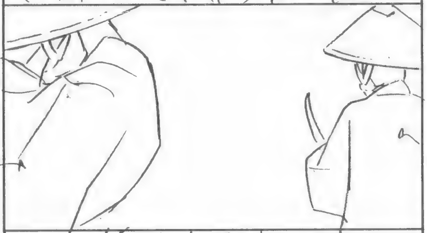
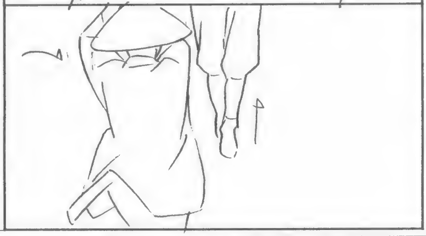
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
446		右往左往する武士。 左右それぞれへOUT	武A「籠だ! 罪人を守れ!!」	
		その瞬、白煙の中から現れる千代子 (作画+アップ)		
		画面手前まで走り寄り。		
		仕込杖を一閃! 		3+12
447		切り口鮮やかに裂ける唐丸籠	バサッ	

( )

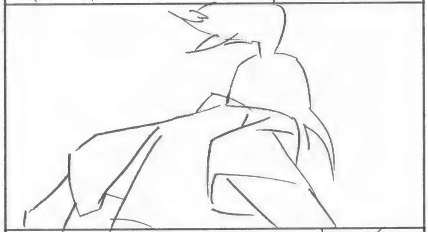
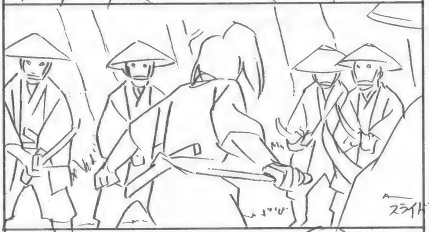
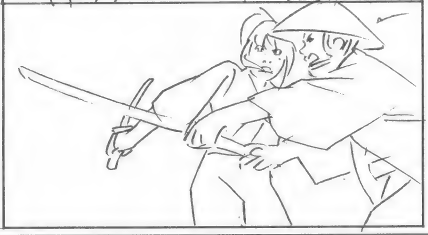
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
417				2+0
418		篭に向かって叫ぶ千代子	千「私です!! 助けに参りました!!」	
		ハッとなる	「!?」	2+18
419		篭の中にいたのは忍者姿の詠子である	詠「私を出し抜こうなんて10年早いのさ」	
		言うが早いか抜刀する!!		4+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
420		↑ PAN UP 真二つに切り 裂かれる千代子	ズバッ	
		しかし、千代子は いない (スロー気味)		PAN UP 0+12 2+12
421		周囲に視線を 走らせる詠子 ラスト画面左上へ		2+0
422		上方、クルクルクルッと 空中回転して落ちて 来る千代子(忍者姿) ↓		

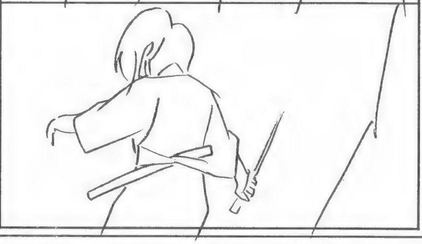
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
422				1+0
423		AC スタンッと着地し。 (P付ける)	※このカットから白煙は完全に無し	
		サッと刀を抜く千代子。その背後に井田と立花	(井)「お姫様やったんちゃうんかい!?」 ~4+12	
		すかさず切りかかる武士たち		
		サッと飛び上がる忍者千代子	(武A)「デェアアアア!!」	6+12

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
424		武士の刀が木に喰い込んでのけぞる井田	ズバッ 井「だ……!!」	1+0
425				
		千代子、着地と同時にT.B (千代子のみ作画T.Bプラス)		
		武士たちに囲まれる千代子		
		右から切りかかる武士の刀をよけて		

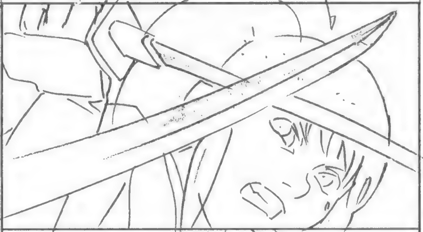
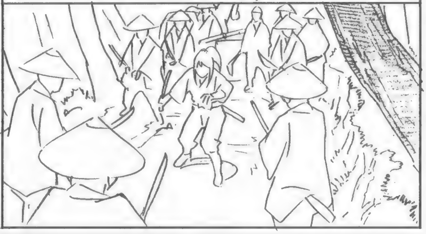
( )

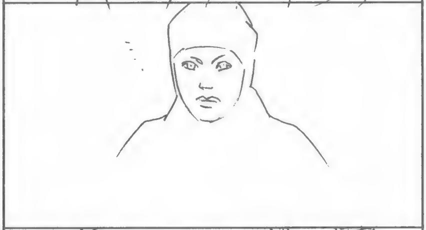
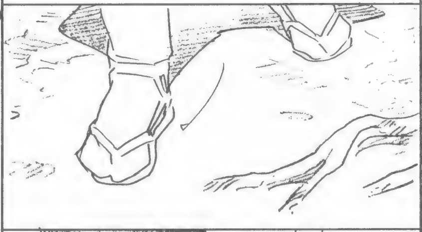
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
425		手刀を食らわす		
		その千代子の背後から 別の武士が襲いかかる		
		サッと白刃をかいくぐり つつ、相手を切り裂く (←カメラ付ける)		
			武A 「ぐああっ!!」	
		次の攻撃に 身構える千代子 作画T.U (全体に少しT.U)		

( )

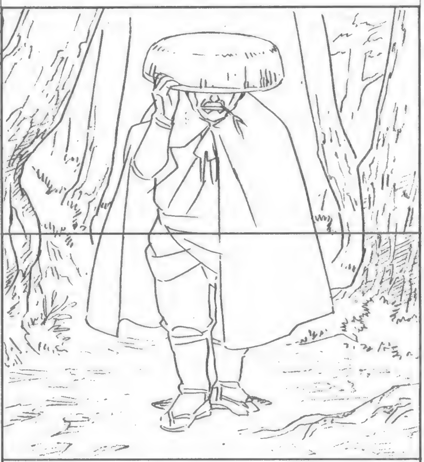
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
425		背後に気付き		
		身をかがめると同時に別な武士がIN.	武C「デアア!!」	
		下から切り上げる千代子(←付ける)		
		間髪入れずに背後からまた別の武士が襲う.	武C「グアア!!」	10+0
426		思わず身を乗り出す立花.	立「千代子さん後ろに!!」	1+12

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
427		危うく刀を受け止める千代子 飛び散る火花	ガギッ	0+12
428		さらに刀を受ける千代子	ガッ	0+6
429		防戦一方の千代子	キィンッ	
		サッと飛びのく		1+12
430		AC 1 劣勢の千代子 手前の侍たち 構え直すかんじ		2+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
431		余裕の微笑を浮かべて指図する訓子	訓「さっさと片付けておしまい!!」	
		大音声に視線を移す	立(off)「待ちな!!」	3+18
432		スイッと踏み出される立花の足（股旅姿）		1+0
433		立花の方を見る千代子、武士 ← PAN（BOOKスライド有）カメラを構え呆っている井田。	武A「な…何者だ!? 貴様!!」 井「（小声で）…やっぱりや…」	6+0

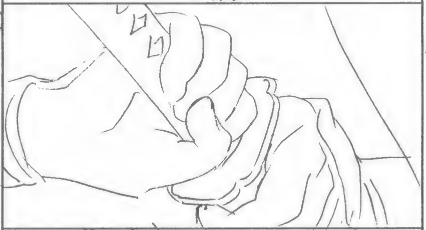
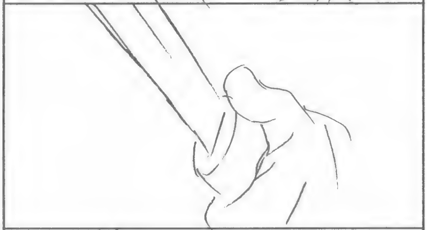
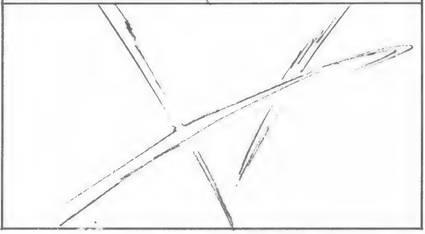
No. 177 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
434		股旅姿の立花 ▶ PAN UP 立花、草をくわえてます	(立)「へ・へ・へ へ・へ……」	
		笠を上げ 不敵に笑う 笠上げつつセリフスタートです	「名乗るほどの 名前もねエ奴 でさ」 PAN 4+0	6+12
435		驚く千代子	(千)「…あんた… ついて来ちまったの かい!?」	
		すかさず襲い かかる3人の武士 ▶ 付けてPAN UP	(詰)「面倒だ 斬れ!!」	7+0

(　　)

No. 178

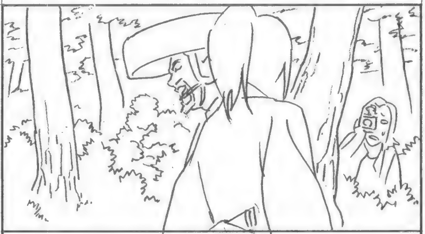
マッドハウス

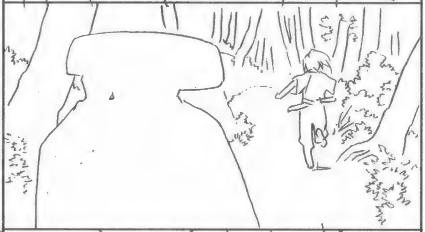
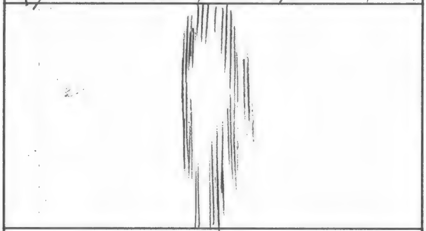
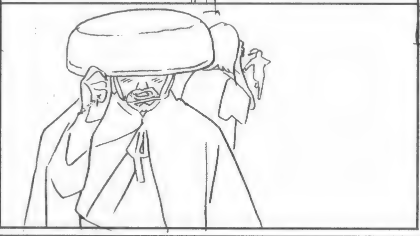
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
436		立花アップ		
		くわえていた 草っぱを吐き捨てる	立「プッ…」	2+0
437		サッと刀を抜く		
				0+12
438		立花の鋭い 刀の軌跡 BG. BLベタ	(SE)	1+0

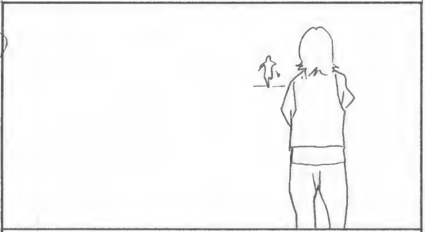
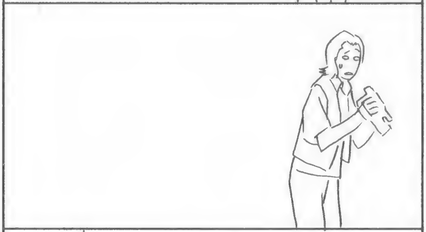
( )

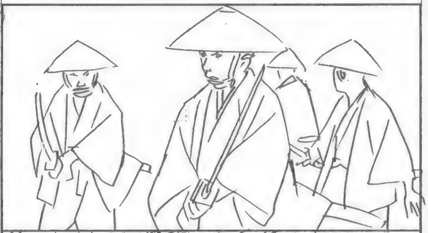
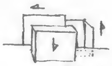
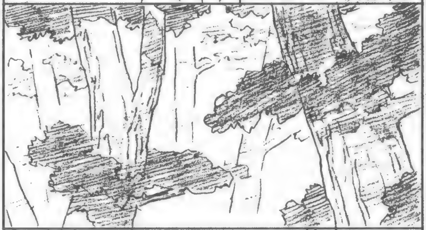
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
439		ゆっくりと地面に舞い落ちる葉っぱ (PAN) 間。		
		勢いよく倒れる武士	ドサッ (offで他の2人が倒れる音も)	3+12
440		刀を鞘におさめつつ歩いて来る立花 ↳Follow その後に倒れる3人の武士	立「オレぁ、しつこいのが取柄でな」	4+0
441		千代子に歩み寄る立花 C.435とBG兼用できるように →付ける	千「何だって私なんかにかまうんだい？」	
			立「気になっちまうものは仕方がねぇ…」	5+12

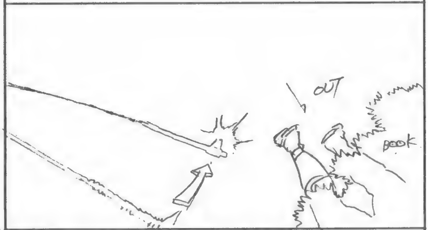
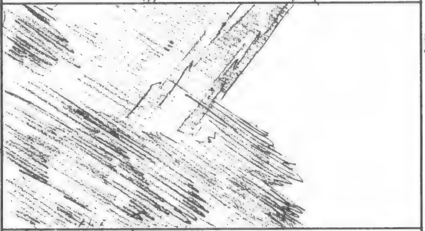
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
442		勿体ぶった かんじで かなり 芝居がかってる 立花 千代子の傍で 立ち止まる 奥の茂みに 井田	(立)「お前さんが その男を助けようって気持ちと 何が違うってんだ？」	
				6+0
443		立花を見返す 千代子		
		股旅・立花の 好意にとまどう 千代子	(千)「でも… 私はあの人を…」	4+0
444		千代子の前で かっこをつける 立花	(立)「ぐだぐだ言って ねェで行きな」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
444		サッと一礼し、クルリと向きを変え 走り出す千代子。	(立)「この喧嘩は俺が預かるぜ。よしてくれ。礼なんか要らねェよ」	
				9+0
445		走り去る千代子を睨む詠子		
		フッと消える。		2+0
446		C.444同ポ 遠く走り去る千代子に気付かずセリフを続ける立花。 井田がIN.	(立)「へへ…死ぬのも本望よ……は…惚れた女のためならよ」	

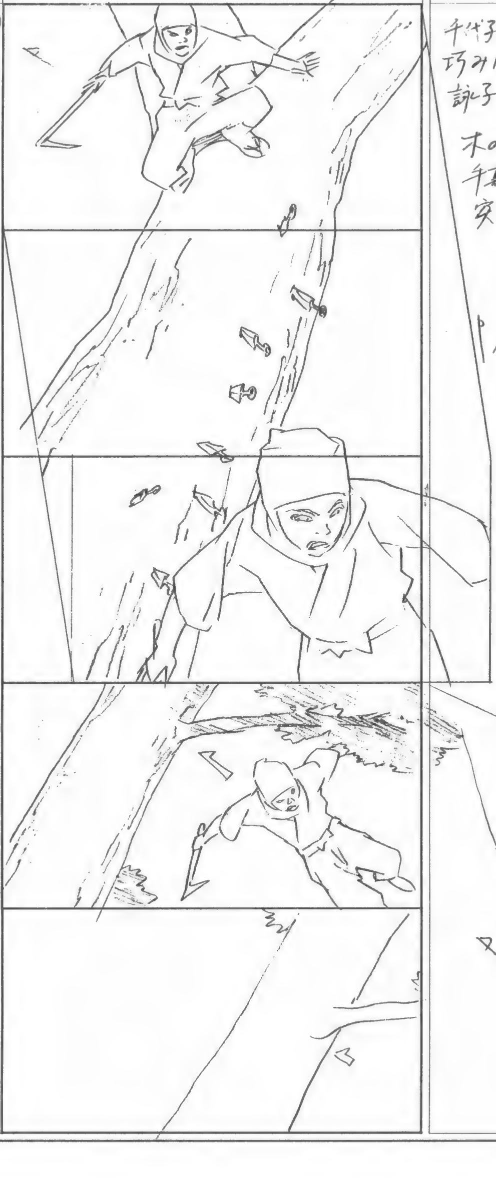
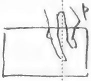
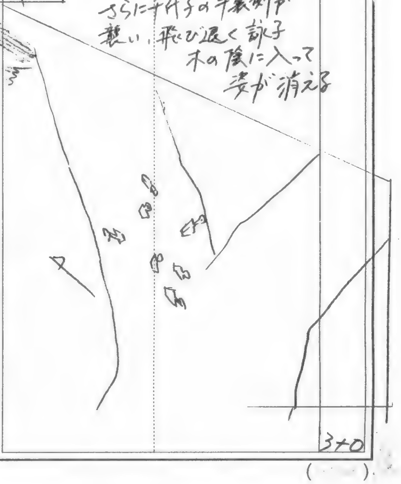
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
446				
		立花を振り返る井田		6+0
447		井田、寄り ☆BG. C.443と兼用でいいかも	(井)「クビにしてもらおかな…この会社…」	3+0
448		勇ましく抜刀する立花	(立)「さあ!!	
			束になってかかって来やがれ!! サンピンめ!」	4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
449		背後を振り返る武士たち	武士たち「おお!!」「有難い! お味方ぞ!!」	
		道の向こうに砂煙を上げた一団 (Pスライド)		3+0
450		武士の大群 スライド  こんな図なり	ドドドドド	3+0
451		流れる森の木々 ⟶スライド		
		(2+0) 忍者千代子 スタッとIN.		

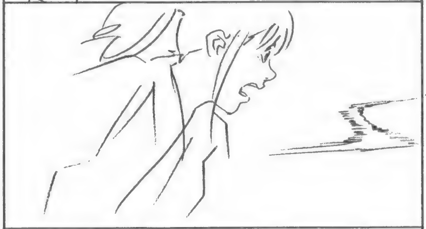
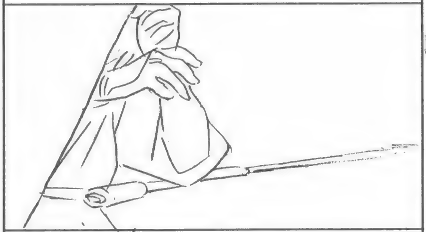
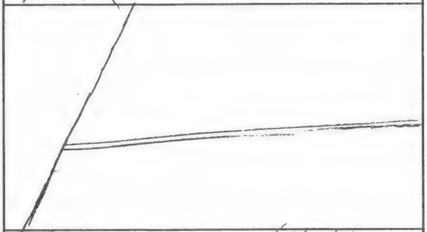
No. 184 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
451		ハッとして すかさずBOOKの 陰にOUT. 同時に韶子の 鎖ガマが突き立つ.		
			カッ	4+12
452		カット頭、よぎる木.		
		飛ぶ千代子 → Follow		
		手裏剣を放つ		1+12

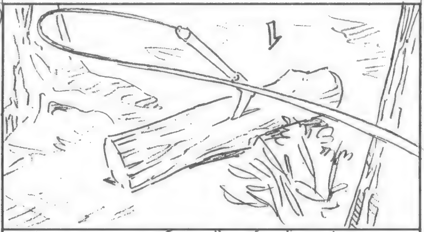
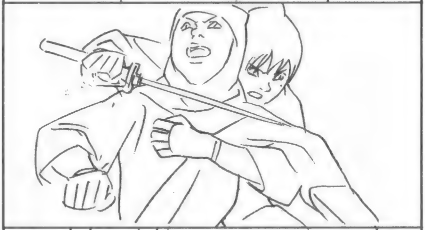
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
453		千代子の手裏剣を巧みにかわす詠子 木の幹に手裏剣が突き刺さる PAN・UP  OUT カット頭 詠子 ジャンプしてOUT. FIX 0+12 PANUP 1+0 FIX 0+18 PAN 0+18 さらに千代子の手裏剣が襲い、飛び退く詠子 木の陰に入って姿が消える 		3+0

( ).

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
454		詠子を見失なった 千代子		
		気配にハッとなり (Q.T.B) 振り向いた途端に 鎖ガマが 千代子を襲う	(H0) ④「あ……!	
			あうっ!!」 ドスッ	
		木の陰にOUT.		2+12
455		してやったり.の詠子.		1+12

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
456		鎖ガマが刺さった木がドサリと落ちる	ドサッ	1+12
457		C.455同ポ 悔しがる詠子	詠「こしゃくなマネを…!!」	
		その背後に千代子がPN(P)飛び上がって来たかんじです		
		詠子の喉元に刀を突きつける ↑ちょっと付ける	詠「く…!!」 千「あの方をどこへやった!?」	7+0
458		刀を杖にし よろけた足取りで 急ぐ立花 ←Follow	立「フン… 口程にもない 連中よ」	4+12

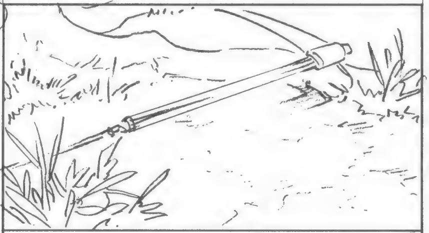
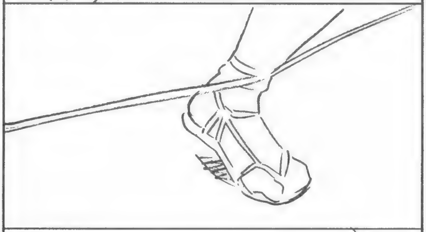
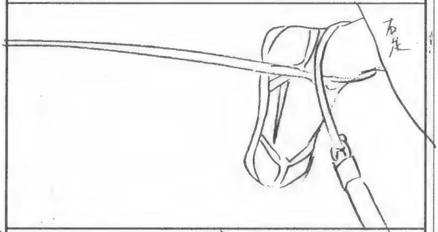
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
459		ボロボロになっている女狐 後ろに井田 ↑ FOLLOW	(井)「千代子さん 待ってて下さい！ 今行きますぞ」	4+0
460		詠子を脅す 千代子	(詠)「あの男なら 今頃は京の河原で さらし首さ」 (千)「京の都に!?」 (詠)「生意気な娘の 出番はここで終りだよ」	10+0
461		ハッとなる 千代子	(千)「ハッ!!」	
		強い閃光！		1+0
462		爆発する詠子 千代子 間一髪 脱出し OUT.	ボム〃	2+12

( )

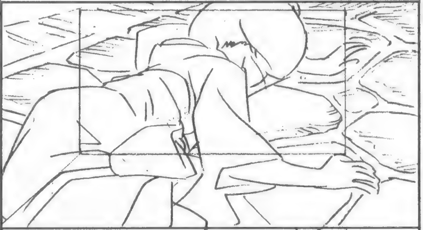
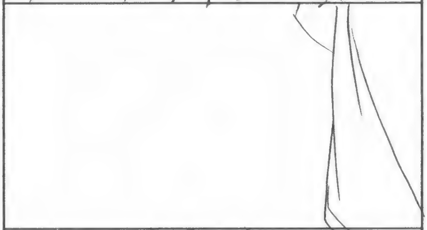
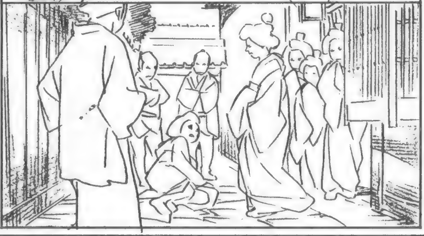
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
463		苔むした巨岩に 着地し、(PAN気味)		
		軽やかに地面に 飛びおり。		
		走って来る		
		画面いっぱいまで		4+0
464		林の中を駆ける 千代子 ——→ Follow	(チ)「あの方が 京都に!!」	3+0

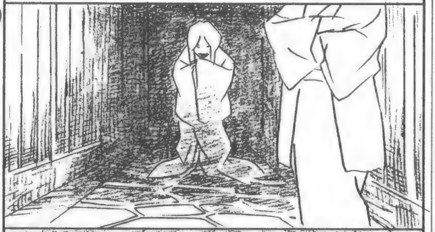
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
465		鎖ガマが飛ぶ		
		足を取られる千代子		
				1+0
466		バランスを崩し倒れる千代子 (スローっぽくたおってから落下)	(千)「しまった!!」	
				2+0

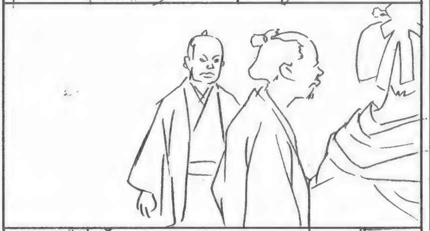
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
467		A.C 敷石に突伏す千代子 (遊女姿) Q.T.B (0+6)	FIX 1×12 千「あ!!」	
		スイマセン。 左の「INする詞子」は 詞子のOFFセリフに 合わせるようにします		
		振り仰ぐ千代子 ↑付けて PAN.UP ここでIN	千「後生です!!」 詞(off) 「いいや!」	6+0
468		やはり遊女姿の 詞子	詞「ぜったい逃がさへんえ!!」	2+0
469		露地　千代子を 囲む使用人や遊女 	千「必ず戻って来ます!! 一目あの方に会って 大切な預かり物を 返したいんです!!」 詞「上手いこと言うて!」	8+12

( )

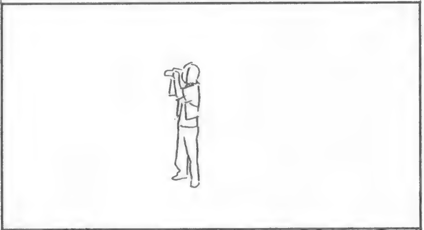
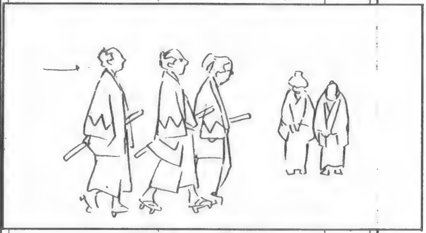
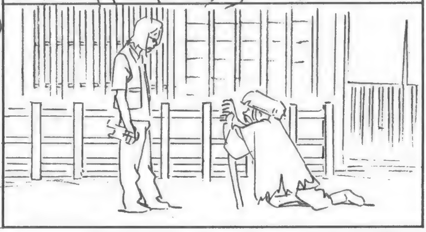
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
470		まくし立てる 詩子 その後ろに ヒソヒソ話を している感じの 3人娘(イ)(ロ)(ハ)	(詩)「だいたい おまさんが狂うてるぅ いうその男は、お上に たてついて打ち首に なる罪人え!!」	6+0
471		キッとした 顔で見返す 千代子 何か言い返そうと するところに「声」	(詩)(off) 「今更何が必要な もんかいな」	
		「声」に振り向く	(妖婆)(off)「哀れようのう…」	7+12
472		陽も届かない 露地の闇に 立つ、妖婆 (スーパーT.B.) 足元に向かって BLグラデーションマスクで 消し込で こういう感じ → スライド	(婆)(~140 内)「幾千年、幾千里、君を追い続けようと 定めからは逃がれられぬ…」	8+0
473		妖婆 寄り (スーパーT.B) F.O カラ(~3+0) 声が後に残るかんじです。	そなたも その女も… ひっひっひっひ…」	9+0

マッドハウス

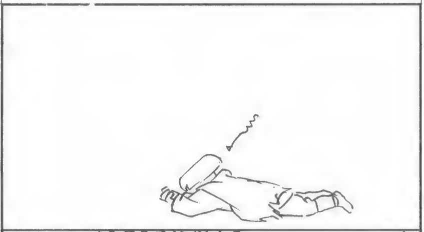
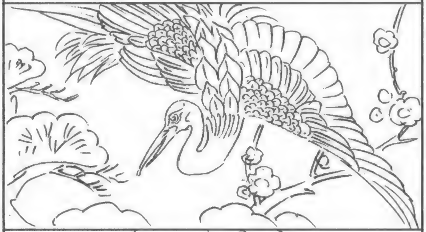
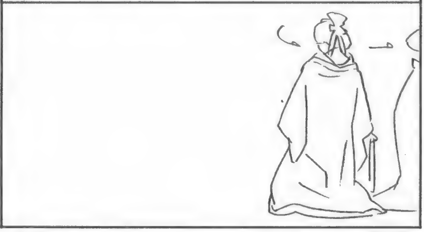
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
474		呆然としている千代子	(OFF) 詠「何ボサッとしてるんえ！早よつれて来！」	
		使用人、INして千代子を立たせ	千「あ！」	6+0
475		A.C 連れて行かれる千代子 周りの者も後を追うようにして右へOUT	千「放して！お願いです！放して下さい！	
			私どうしても行かなければならないんです！必ず戻って来ます！お願い！放して！放せェ！放せって言ってるのよォ!!	
		一番後ろにいた人物が去ると その奥に立っていた井田が見える	：(F.O)」	

( )

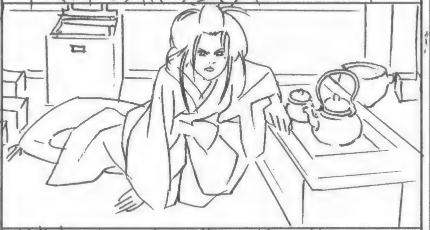
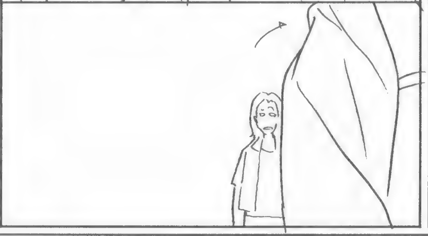
No. 194 マッドハウス

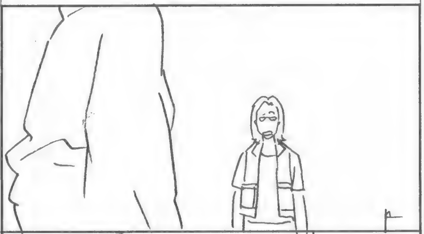
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
475		振り向く。		1+0
476		京都（一応 島原）の街並（夕刻）	㊎「…京都… 新幹線よりよっぽど速いわ…」	
		井田の目の前を新選組隊士が横切る。		
			㊎「…幕末だし…」	
		立花の声に振り返る井田。	㊋(off)「ト…トラ吉」	13+0
477		ボロボロになった立花。股旅姿のままである	㊋「ち…… 千代子さんは…!?」	3+0
478		立花を見下ろす井田。	㊎「衣裳、合うてへんちゃいますの…?」	

( )

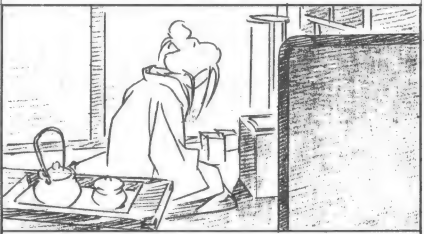
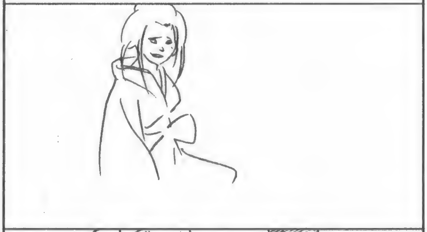
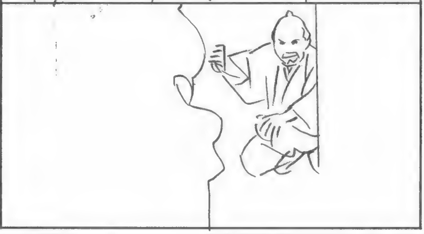
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
478		力尽きて、ガックリと突っ伏す立花。		8+0
479		鶴の屏風絵（～3+0）	㊟ 美術ヨリの資料館図録Ⅱ P24	
		その手前、千代子が起き上がるかんじでiN。顔にも痣が出来髪も着物も乱れている。挑むような目。	㊚「（荒い息）…ハァ…ハァ…」 ㊙（off）「何や!! その目ェは!?」	8+0
480		遊女部屋 千代子と詠子 詠子の右手には竹刀 ※室内の物の配置設定と変えてます。タンスと屏風を逆にしました。	㊙「育ててやった恩も忘れて、うちの顔に泥塗るような真似はさせへんえ!	
		セリフ吐きつつ詠子、去る（OUT気味）	道理いうもんを覚えとき!!」	9+0

（　　）

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
481		詠子、右へOUT.		
		千代子の様子を覗いていた3人娘 ①㋺㋩	①「あほやなぁ 詠子姐さん怒らせてしもて」 ㋺「いい気味やわ 千代奴はん、生意気やもん」 ㋩「ちょっと人気あるっ思て図に乗ってはるん違う?」 OFFでかぶせる	11+0
482		キッと睨む千代子	①㋺㋩「キャアキャア」等。 }カット頭に続く	3+0
483		廊下. 奥で①㋺㋩がドタドタと右へOUT. 詠子が手前の男にセリフを言って右へOUT.	(詠)「ええか! 逃げへんようにしっかり見張っとき!」 (男)「へえ」	
		と、その陰に井田.		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
483		フレーム修正PAN	井「……我々が作ってるのて、ドキュメンタリーですやろ……？」	15+0
484		すっかり馴染んでいる立花	立「当り前じゃねェか！これこそ……	
		T.B.（作画T.B？） イメージ（BG置き換え） 桜吹雪舞う	"七変化 藤原千代子伝説"!!」 (SE) チョーン（拍子木）	8+0
485		呆れる井田	井「……ったく 近頃の年寄は……」	4+12

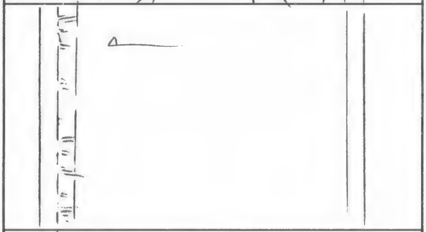
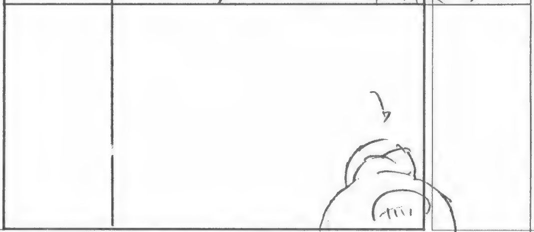
No. 188.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
486		しょげている千代子（〜440）	(SE) 襖が開く音. ㊤(off)「大丈夫ですかい？太夫。」	
		その声に気付き.		
		振り返る千代子 ↑頭が苦しいようならちょっと付ける	㊥「私なら平気」	11+0
487		切り返し 千代子なめて 士花.	㊤「私にお任せ下さい」	
		障子をサッと開ける.	(SE) タンッ	3+0

マッドハウス

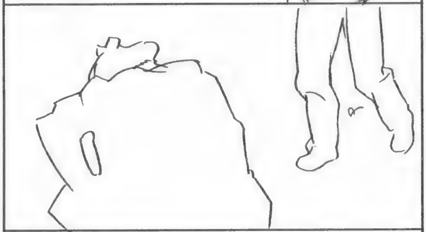
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
488		立花の後ろに ぽっかりと開いた 抜け穴	(立)「さ、ココから 早く!」	3+0
489		パッと表情が 明るくなる千代子		
		立ち上がって 右へ(OUT)		2+0
490		訳知りの立花	(立)「あの男がこの町に 来てるんでしょう?」	
		千代子 急ぎ足で パスして 不意に立ち 止まる (立ち止まる動きの 余韻を次カットへ)		4+0

マッドハウス

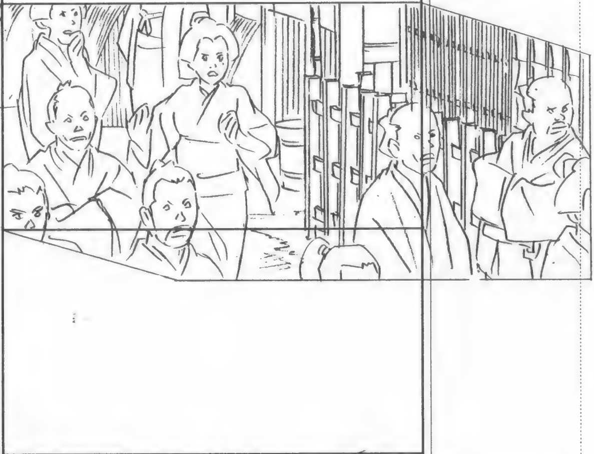
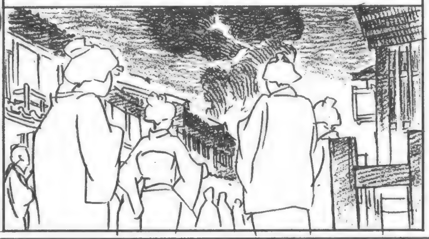
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
491		A C 自らの姿に ハッと気付き。	(千)(off) 「それを知りながら、 私がお前さんを ココに止められると 思いやすか…？」	
		襖をピシャンと 一旦締める。		
		再び現れた 千代子。 髪も化粧も 整っており、町娘と いったいでたち。		
		キビキビと 動き		
		抜け穴に 下りる。		6+0

( )

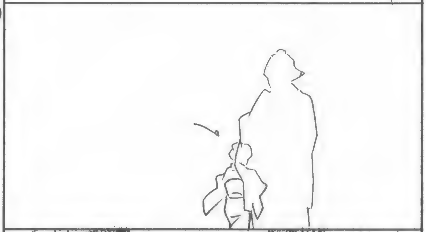
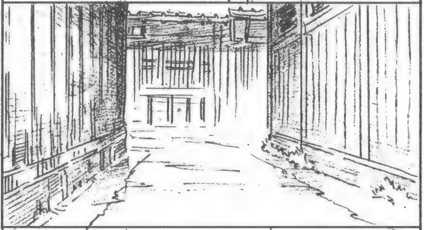
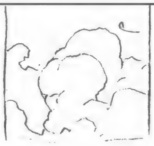
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
492		A-C	㊇「（口早に）この御恩は一生忘れません」	
		千代子、抜け穴にOUT. それに気付かず喋り続ける立花	㊉「なあに…私はね、お前さんがここへ来たときから初めて会った気がしなかった…	
		井田がIN	以来、お前さんの力に少しでもなってやりたい…そう思ってた…	
		千代子の去った抜け穴を覗き込む井田.	…そして… そして その時から…」	
		井田が顔を上げるのと同時に立花が振り向く. A-C		19+0

( )

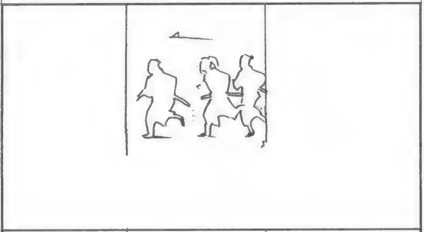
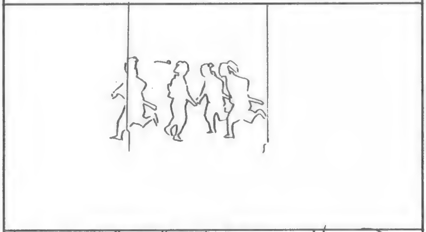
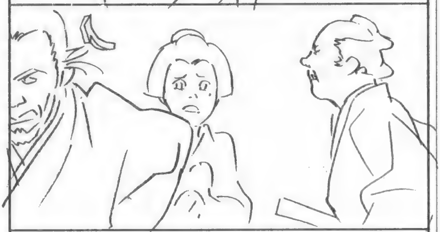
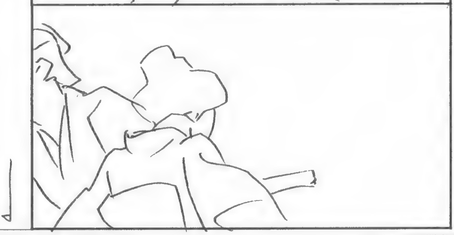
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
493		顔を見合わす テンションの違う 2人	㊤「千代子さん!!」 ㊥「……ちゃんと しましょうって…」	5+0
494		走る千代子の足元 ——→ Follow 地面，雪がうっすら 積もってます.		3+12
495		走る千代子 望遠Follow 通行人が一点を 見てザワめいている.		4+0
496		夜空を焦がす 炎と煙（BG描き） 千代子 INして 立ち止まる	「牢破りやて!!」 「お上にたてついた 浪士が逃げた らしいで!!」	6+0

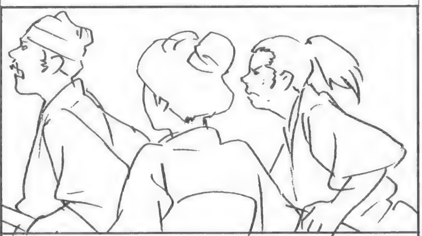
(　　)

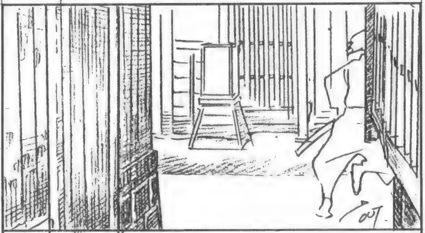
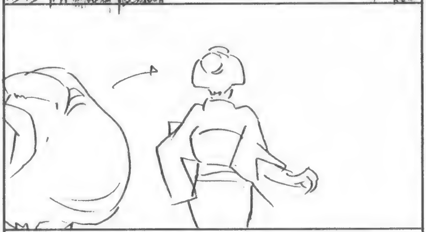
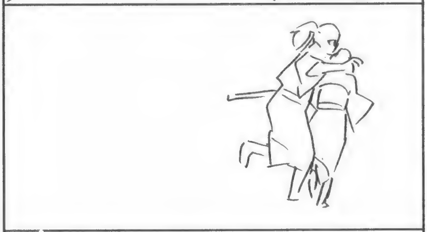
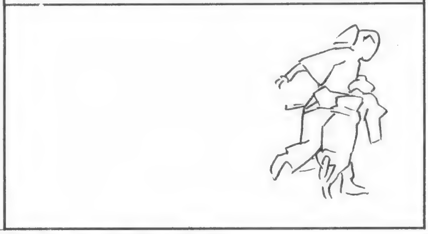
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
497		驚く千代子の顔		
		駆け出す		2+0
498		C.496 同ポ 495からA.Cで走って人陰へOUT		2+0
499		路地。 奥の通りにはうっすらと煙が漂っている（白煙）	逃げる浪士たちの声が聞こえる。 ㊜"京都の意匠Ⅱ" P106	
		(〜3+0) 更に大きく煙がIN。		

(　　　)

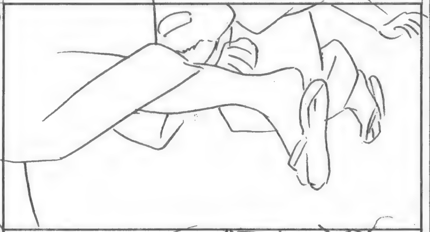
マッドハウス

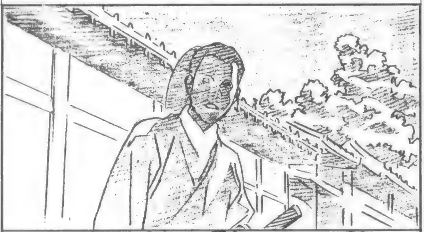
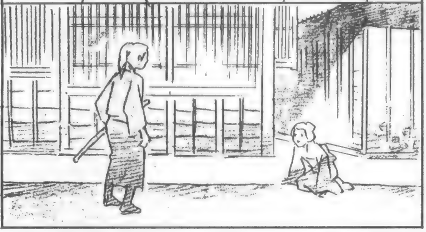
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
499		煙に続くように、逃げる浪士たちの影が IN.OUT (←)		
		後からも続く浪士たち。反対側から千代子がINして立ち止まる。		9+0
500		逃げる浪士たちの中に、"君"を探す千代子。	浪士Ⓐ「散れ！固まるな!!」	
		手前に走って来る浪士を目で追うと		
		他の浪士にぶつかる	(千)「あ!!」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
500		右往左往する、千代子の周りを浪士たちが幾人も走り去る		
		どっちへ行っていいのか迷い、		
		手前に駆け出して来る千代子。 (OUT)		10+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
501		カット頭 右へ走り去る浪士		
		同時に千代子 走ってIN.		
		※カットいっぱい ゆるく[T.U] 両側のBOOKスライド有(←→) (ラストフレーム もう少し 寄りで、更にもうちょい右へ) 千代子が露地を 抜けたあたりで、 左から走って来た 浪士にぶつかる		
				
		[A.C]	(千)「あ!!」	4+0

( )

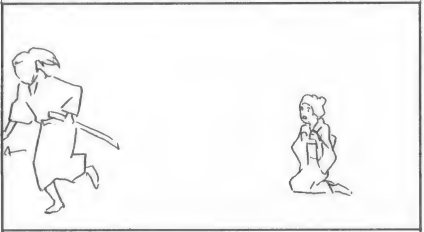
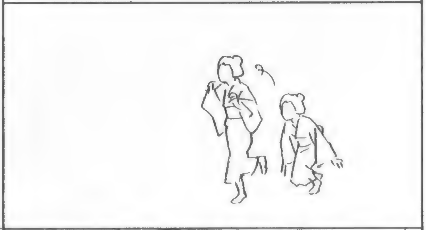
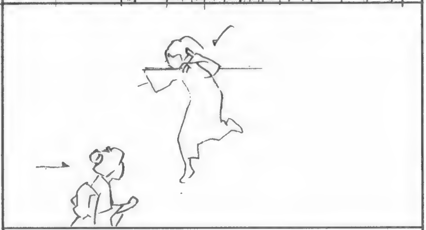
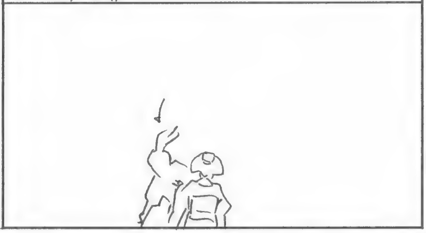
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
502		A C 転ぶ千代子に 付けてPAN(↙) 男はOUT (←)		
		突っ伏す千代子	(千)「…痛っ!!」	
		その声に ハッとなり	(男)(off) 「すまない!」	
		見上げる千代子		5+0
503		千代子寄り あおりの驚きに 表情が消えている感じ (BG ボケ) 雪が降り始める		5+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
504		影になって顔は見えないが"君"である シルエットに近い その男の衿元に 千代子がかつて傷の手当てに使った赤いマフラーがはっきり見える		5+0
505		一気に喋る千代子	(千)「私です!! 覚えておいででしょうか!! あの冬の日にも こうしてあなたと偶然に……!!」	6+0
506		一歩踏み出す "君" [C.504を大版にして兼用]		2+12
507		万感胸に迫る千代子	(千)「ずっと…… ずっと探していたんです……」	7+0
508		しんしんと降る雪		8+0

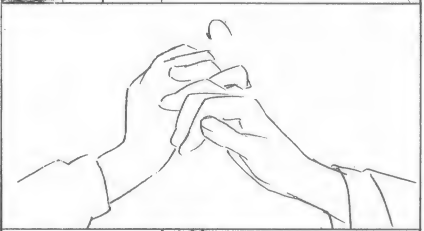
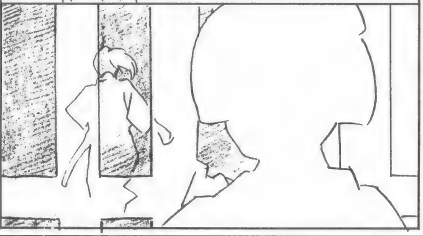
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
509		つと気が付いて		
		首にかけた「鍵」を外す	㊛「これを… これをお返ししたくて……」	
			声 (OFF)「向こうだ!! 向こうに回れ!!」	6+12
510		追手の声に駆け出す男	(OFF) 声「一人も逃がすな!!」	
		A.C		1+18

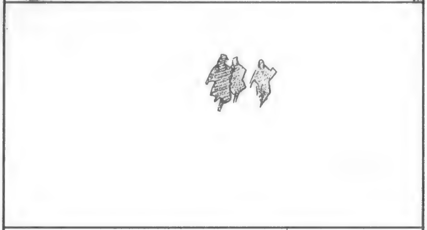
( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
511		C.508同ポ A.C 男 走ってOUT.	(千)「待って! ｜	
		立ち上がり追う 千代子	これを、この 鍵を!!」	5+0
512		暗い露地への 門をよじ登り		
		またいで越える男 千代子、小走りに IN.		
		男が着地するのと 同時に、門に駆け 寄る千代子. A.C		3+12

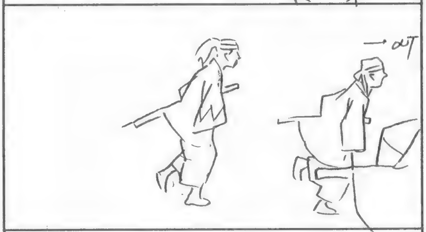
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
513		A.C 格子に手をつき、 背伸びする千代子 格子の奥、立ち上がる男	男「いつか約束した場所で！」	5+0
514		C.176、ラストあたり。		1+12
515		千代子アップ 目を見開くかんじ		1+0
516		C.513同ポ 走り去る男 暗闇にF.O	声(OFF) 「向こうだ！」「急げ！」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
516		慌ただしい足音に 必死に振り返る 千代子		6+0
517		露地から走り出て 来たかんじで		
		3人の男の影が 千代子目指して		
		すごい勢いで 走って来る		
		その先頭に 立っているのは.		

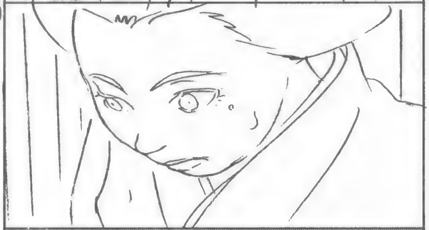
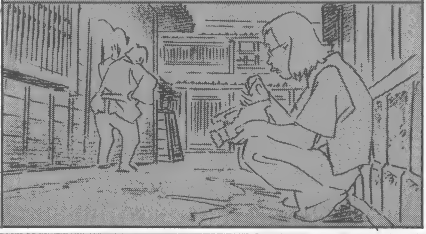
( )

No. 213　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
517		傷男である。 ラスト、立ち止まるあたりで、傷男の顔に付けて ↑PAN.UP	傷「女！今ここに浪士が逃げて来たであろう！」	1+0
518		傷男なめて千代子 A.C	傷「どっちへ行った!?」	5+0
519		サッと指差す千代子	千「あっちへ行きましたえ」	
		慌ただしく駆け出す一行		
		が、傷男だけ立ち止まり、千代子を振り返る A.C		6+0

(　　　)

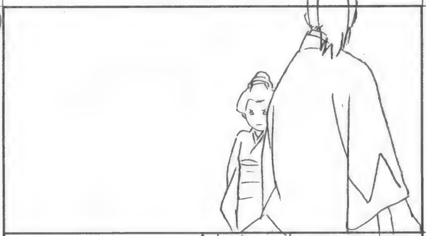
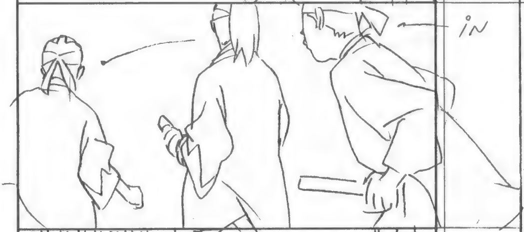
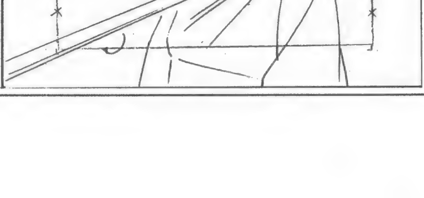
No. 214 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
520		A.C 千代子を鋭く睨む陽男.	陽「女……見覚えがあるな」.	3+12
521		ギクッとなる千代子.		2+0
522		井田のDVカメラ寄り カセットがイジェクトされる つまみ上げる井田の手		4+0
523		露地にしゃがみこんでいる井田. 奥に立花. 立花 疲れ果て. 壁を支えに2-3歩歩く	井「まったく… 見失ってどうすんねん ……」(独り言風に)	

本カット内容変更 → 別紙

欠

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
522		傷男なめて 奥に千代子	(傷)「その方…何か隠しておるな」	
		IN 言いつつ千代子にゆっくりと近づく傷男 その手前を走り戻って来た藩士がよぎる		
※ C.523 〜 C.529 は (欠)		傷男 スラリと刀を抜く A.C		2+0
530		白刃にさらされながらも耐える千代子	(傷)(off)「言え!	
		刀が返る	逃げた男の行方を知っておろう!!」 (SE) パァァァン!!	

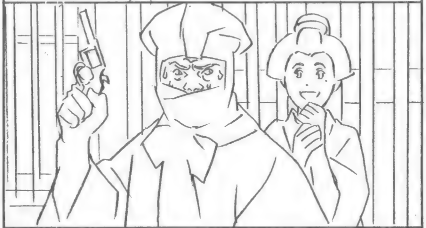
( )

No. 217　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
530		不意の銃声に 刀が引かれる		6+12
531		飛び退く 猪男		
				0+18
532		AC 千代子の前に ヒラリと降り立つ 黒い影		
		ちょっとよろけて たたらを踏むが ふんばる		3+12

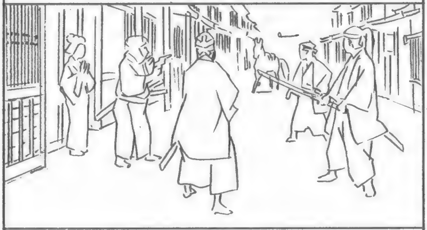
(　　)

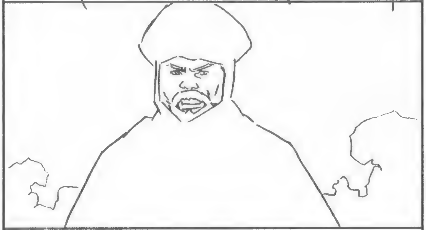
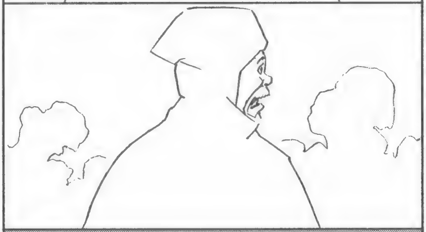
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
533		A.C		
		スックと立ち上がったのは 黒頭巾の立花 汗だくである その右手には 短銃 歓喜の千代子	(ゼーゼー喘ぎつつ) 立「娘さん! 安心なさい」	5+0
534		ヤケクソになって喚す井伊	井「いよ!! 待ってましたぁ!! だ、ったくもぉ!!」 備「おのれ御公儀に 楯突く謀反人め!!」	7+0
535		C.533 同ポ 頭巾を下げ	立「貴様らこそ 時代の見えぬ 愚かな犬よ!!」	
		指笛を鳴らそうとする立花 が、不発。しかし 息が切れる程 吹き続ける	プウウウウ…	

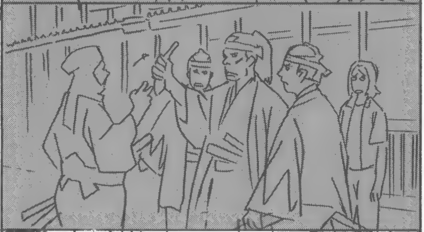
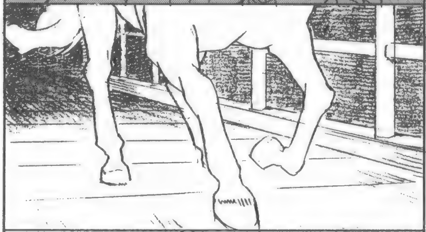
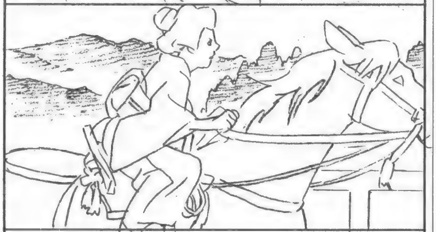
( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ 535		顔を真赤にしながら吹き続け、千代子も心配になって来た頃、ようやく音が出る。	○○○○・・・・ ・・・・ ピィィィィ	14+0
536		どこかの露地。立花の指笛に呼応し、白馬がいななく。 OUT気味	ヒヒヒィィィ ィィィン	3+0
537		白馬が露地から現れ（PAN）。		
		駆け寄って来る。		3+0

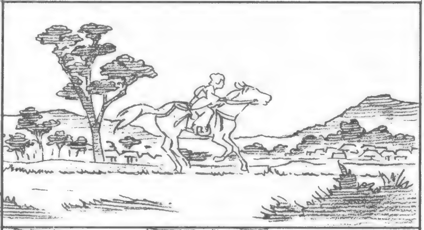
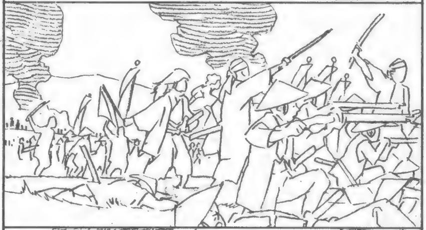
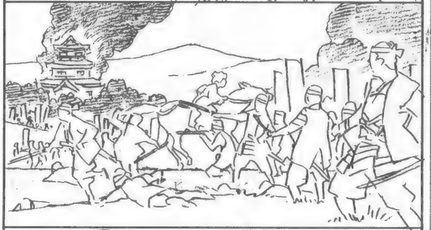
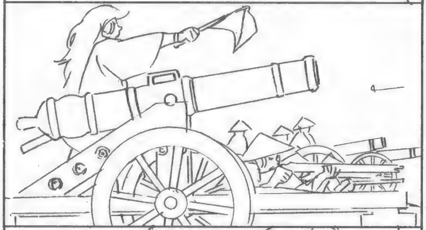
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
538		C.533同ポ	㊤「娘さん、 早くそれに乗って！	
		駆け抜ける白馬に 飛び乗り、あっという 間に消える千代子。		
			あとは拙者に 任せなさ……」	
		振り返ると、そこには 白馬が残した 土煙。		
		ガックリとなる 立花		12+0

No. 221　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

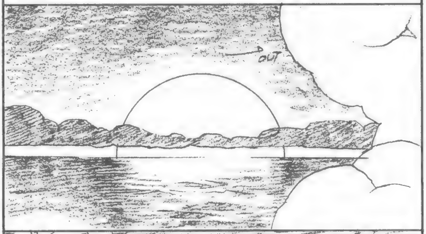
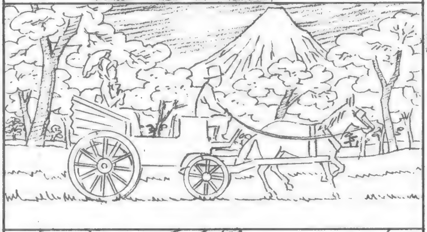
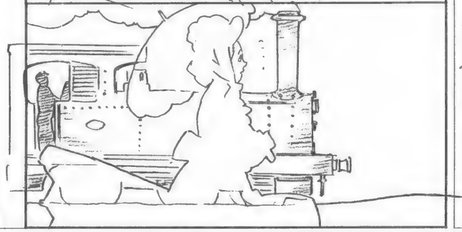
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
〃 不変		一転、決め ポーズ。 (BG 置き換え) ポン引き。もう少し コンテサイズより引く。	(五)「トラ吉!! ニッポンの 夜明けは近いゾ!!」 (SE) チョーン (拍子木の音)	19+0
(久) 539		あっさり銃を 取り上げられる 立花頭巾。	(五)「……あ」	3+12
540		疾駆する馬の 足元。 背動 橋の上。。 〃 夜。	〃 音楽スタート。	3+12
541 (A)		騎上の千代子 ——→ Follow 〃 夜。		3+0
541 (B)		騎上の千代子 引き。 作画で奥へ。		

(　　　)

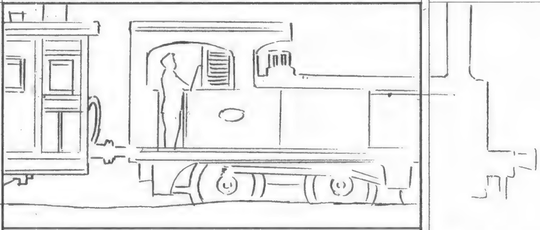
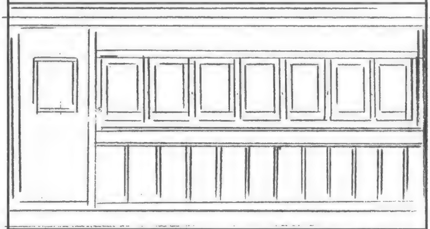
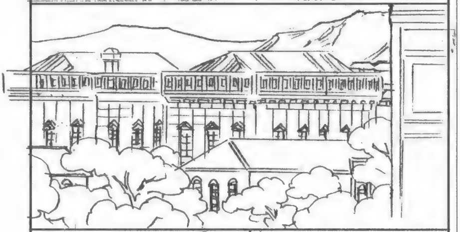
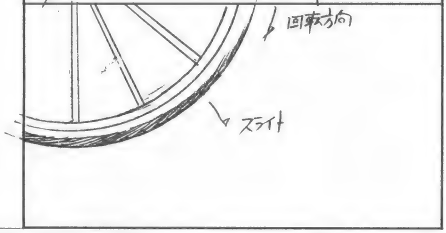
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
541		千代子この位の ポジションで リピート	(〜3+0)	
		戊辰戦争らしき 戦の様子.(止メ) 官軍の中を 駆け抜ける千代子. 千代子以外は基本的に 止メです.		
		幕軍も顧みず ひた走る.(リピートだから.) ☆幕軍不要か? L/O時再考.		
		官軍の大砲が		
		火を吐く. 派手に黒煙.	ドオン!!	

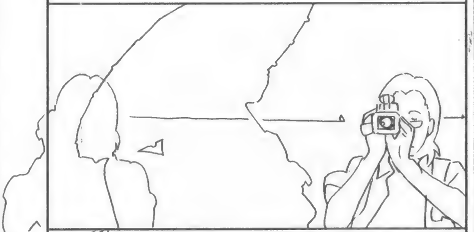
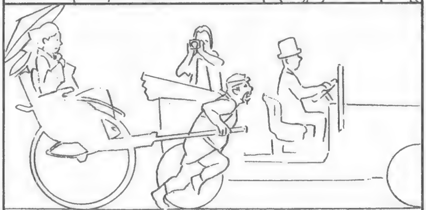
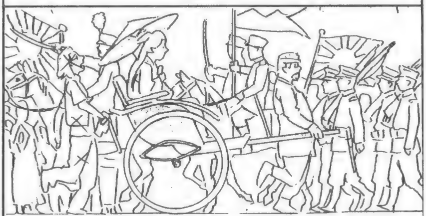
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
541		黒煙が画面 いっぱいに広がって ∫		
		ワイプ. 日本の夜明け.	(~10+0)	12+12
542		朝陽に照らされて 来る馬車 奥には富士山 満開の桜. 		3+12
543		華族のお嬢様と いった風の千代子.		
		その奥、馬車を 追い抜いて行く 陸蒸気(BOOK) 煙のみ作画リピート. 参"日本国有鉄道百年 写真史" p60.62.	(2+0)	

( )

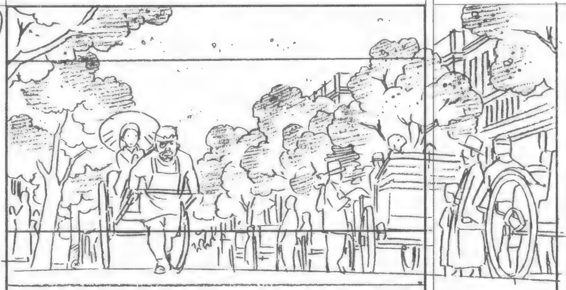
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
543				
		陸蒸気が 千代子を追い抜き ながら手前へ来る (オプチカん?)		
		客車でワイプすると そこには明治時代の 建物.	☆汽車のIN&OUTで 5+0位	
		人力車の車輪が スライドしながら. F.I さらに次カット O.L (5+0)		12+0

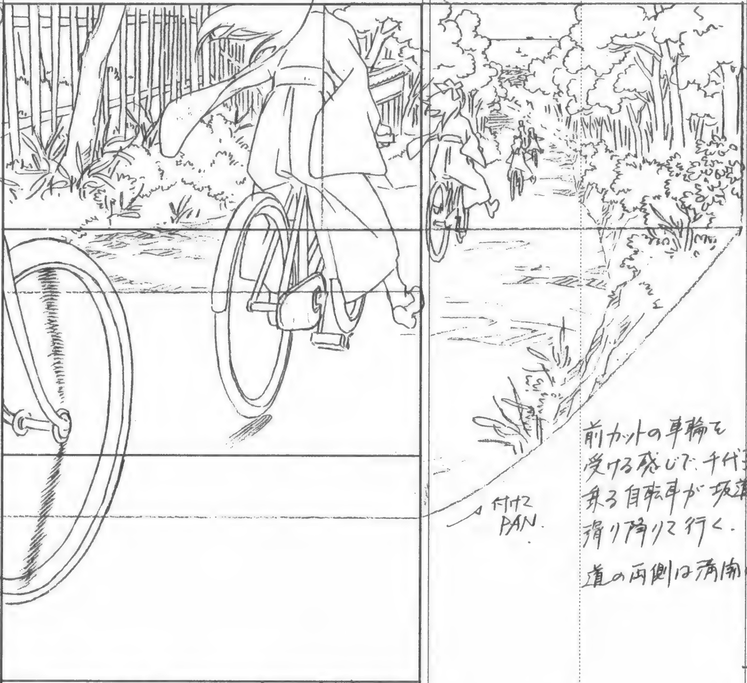
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
544		人力車に揺られる千代子。(→ Follow) 背景はやはり明治期のモダンな建物。 街行く人々も洋装である。 PAN-UP (前カットからのO.L中)		
		その千代子の向こう、 カメラを構えた井田が 滑る様に(スライドで) 追い抜いて行く (IN～OUT)。		5+0
545		立花が必死で 引く人力車 カメラは井田の乗る 車をFollow(→)する。 但し、車もスライド(→)有り。 立花人力車、必死に 走るが車に遅れて行く。		
		☆左の絵、参考だと 思って下さい。 立花や井田の車の向こうを、 日露戦争当時の近衛兵の隊列が、 過ぎて行く。その奥に日の丸の小旗を 振る一般市民。BGは明治の街並。		5+12

( )

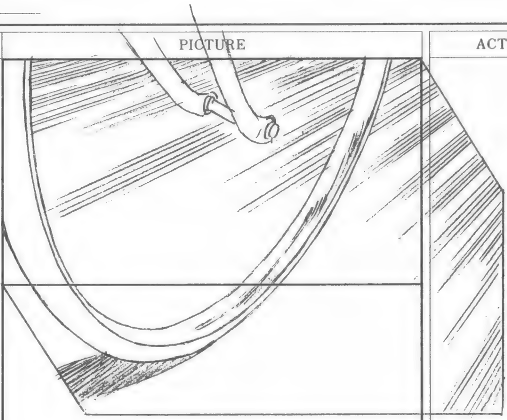
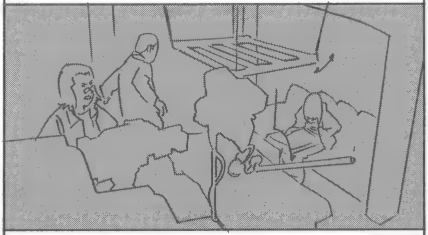
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
546		心配げな千代子 — Follow	㊥「あまり無茶をしては、体に毒ですわ」	3+12
547		千代子の言葉に感激する立花。	㊤「あっしみたいな男に何てお優しい……	
			グス…	
		更に勢いよく駆け出す。	お嬢!! この御恩、決して忘れやせんぜ!! …」	7+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
548		勢いよく走って来る人力車。		
		が、玉花がつまづいて大きく転ぶ。		
		(玉)「あうっ!!」		
		突っ伏す玉花の上を走り去る人力車。車輪、大きく手前へOUT。		
		動きに付ける感じでT.B.		
				240

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
549		付けて PAN	前カットの車輪を受ける感じで、千代子の乗る自転車が坂道を滑り降りて行く。 道の両側は満開の桜。	3+0
550 (A)		風を切る千代子 → Follow. 桜の花びらはやめようかと思う……		
		カーブを切って千代子 OUT (L)		7+0

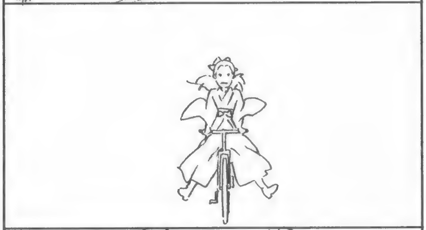
No.

マッドハウス

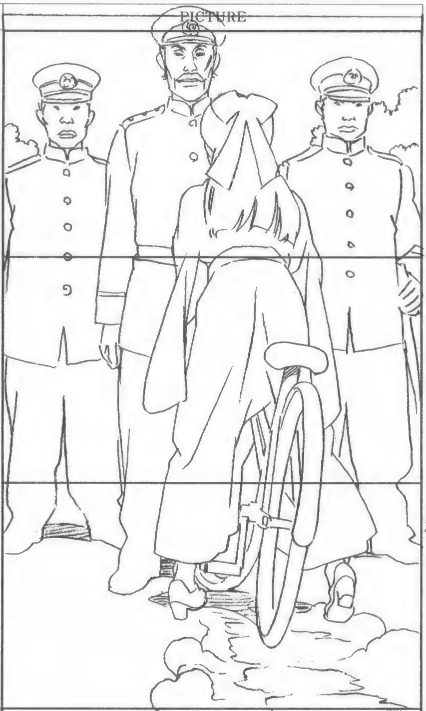
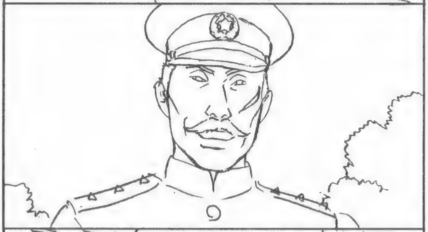
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
550 (β)		銀輪を輝かせて 来る自転車 (B4 置き換え) カットいっぱい PAN UP (尺次第で PAN巾短く なるかも)		3+0 (暫定)
		← コレは 関係ありません		

( )

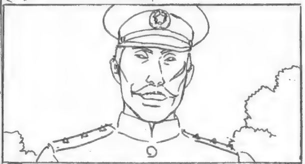
No. 229 マッドハウス

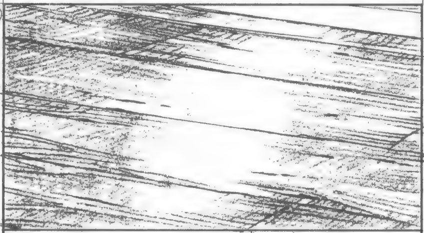
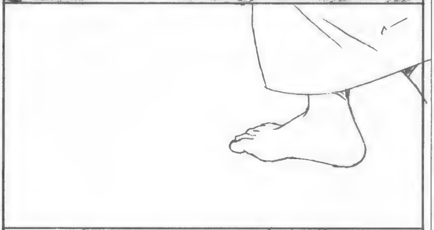
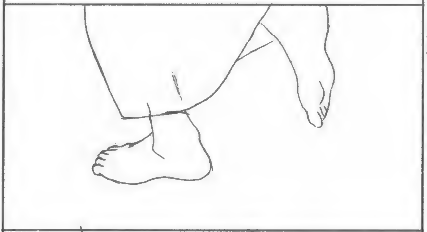
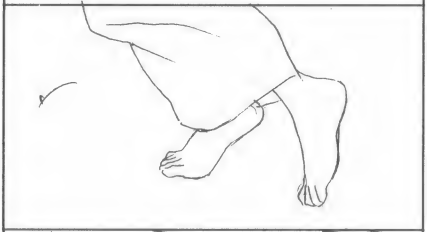
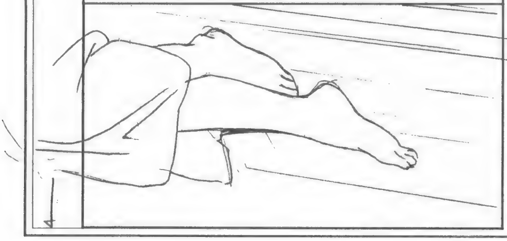
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
(7) 551		地面にはいつくばる土佐 見下して立つ井田	(土)「お嬢……!!」 (井)「……社長……」	
552		坂道を走り下りて来る千代子		
				
		前方に気付き ハッとなる千代子 急ブレーキ		
		画面いっぱい どアップまで来て 止まる	(SE) キキキキキキキ…	6+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
553		急停止した自転車の前に立ちふさがっている傷男（ヒゲ有り、明治時代の警官姿）と2人の巡査。 自転車のタイヤ周りの土煙が、左右に広がりつつ F.O ↑ PAN・UP FIX 3+0 PAN・UP 3+0 FIX 5+0	(傷)「学校を抜け出してどこに行くつもりかね？」	11+0
554		傷男、寄り。強い口調で威圧する。	(傷)「あの民権運動家と逢い引きでもするつもりかな」	4+12
555		ドキッとしてうつむく千代子	(千)「！……あ…あの 何のこと（でしょうか）」 傷男のセリフに遮られる (傷)(off)「証拠は	

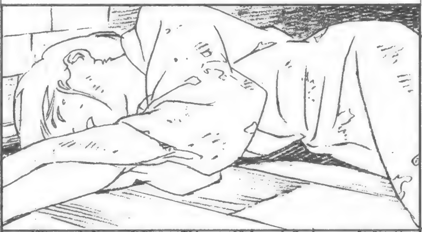
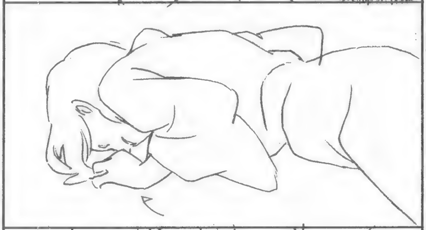
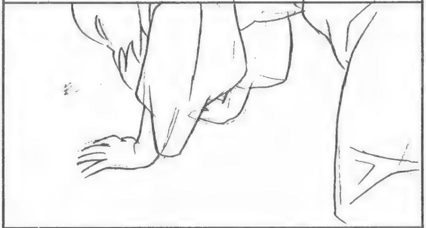
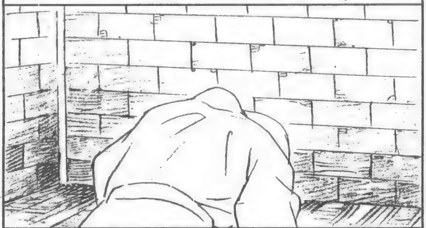
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
555			上がっている!!」	5+0
556		C.553ラスト位置同ポ	(向) 陽「君の家の蔵から 他愛もない 置き土産が 見つかってね」	5+12
557	 	ハッと顔を上げる千代子. (BGボケ. C.554から作成可) 言った後、言葉の迂闊さに気付く	千「あの人が 何か!? ……!」 陽(off) 「奴を知っている…」	5+0
558		C.554同ポ ニヤリとする陽	陽「それで十分だ　続きは署の方で…」	4+0
559		C.557同ポ 狼狽する千代子 カットいっぱいまでT.U	陽(off) 「…たっぷり聞かせて もらおう」	4+12

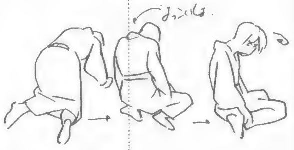
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
572		黒光りする床板。 牢屋内 錠が開き 扉が開く音が 聞こえる。	(SE) ガチャ… ギイイイ… (4+0)	
		INする千代子の足。		
		覚束ない足取りで トトッと歩き		
		足がもつれて		
		つんのめって 転ぶ 扉が閉まり 施錠の音。 PAN	IN~付けPAN~FIX了 2+0~2+12 ガゴン。。 ガチャリ。 ※ 遠ざかる看守の足音。 FIX 5+0	

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
572		横たわる千代子を 舐める様に PAN (↩). 体は 痣だらけ 着衣も 乱れている. 詠子の声にうっすら目を開ける.	PAN 7+0 FIX 5+0 詠 (off) 「まったく 強情だねえ. あんたも ･･･」	23+0
573		牢内 柵にもたれて. けだるげな 女囚. 詠子である.	詠 「とっとと 白状しちまえばいいじゃないか」	5+0
574	 	C.572 兼用 渾身の力をふりしぼって. 懸命に起き上がる 千代子	千 「知らないことは言えない･･･」 (苦しげに)	5+0
575		AC やっとの思いで 起き上がる千代子.	千 「でも ････」	

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
575		P 付けて PAN↓	知ってたって言うもんですか…」	
		振り返るその顔は、涙だらけで鬼気迫る程である	(千)「あの人を裏切るなんて、絶対にしない」	9+0
576		 呆れる詠子 (C.573のポン寄りだと思って下さい。)		
		千代子の純情を嘲笑う	(詠)「フン… おめでたい女だね」	5+0
(次) 577		C.575 兼用 詠子の皮肉を真に受ける千代子	(千)「そのくらいしか… 取り柄がないもの」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
578		暗い牢屋内… 詠子の奥に 三人娘㋑,㋺,㋩	詠「そんなこと 言ってられるのも今の うちだけさ 人の気持ちなんて 儚いものよ」	
		詠子の方を 振り向く千代子		7+0
579		A.C C.575 兼用 ムキになる 千代子…	千「私は違う!! 今だって毎日 あの人を好きに なってくんだもの!!」	5+0
580		健気な千代子の 言葉にウッと 詰まる立花. ※牢の外側通路に います.	立「…ウッ…」	2+0
581		C.576 同ポ 自嘲しているかの ような詠子.	詠「みんな… 同じだよ…」	5+0

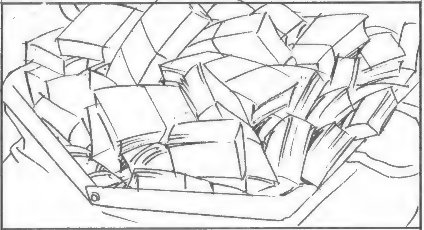
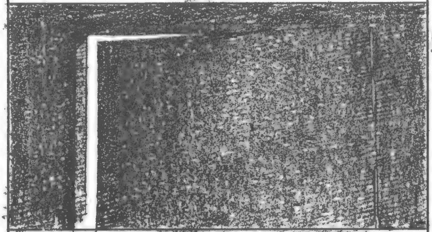
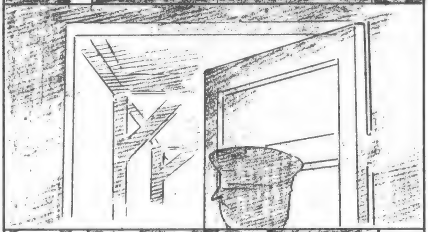
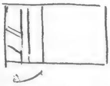
( )

No. 241 マッドハウス

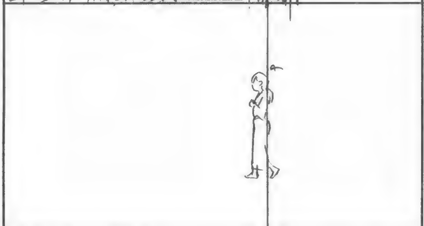
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
582	※ PANの長さを控えめにしたいので、井田が顔を出している位置を½時、一段低くします。	コソコソと噂する三人娘㋑㋺㋩ PAN.UP 牢の柵から顔を出している井田。ふと気が付いて体を戻す。	㋑「詠子姉さんって仕事の稼ぎを全部男に貢いじまってたって…」 ㋺「挙げくに男は他の女とトンズラ…」 ㋩「へェ…ェ」 (off) ㊀「いっぺんくらい貢いでもらいたいもんやねェ…」	17+0
583		A.C 牢屋の通路に一人立つ井田。 立花がいない。 金属の扉が開く重たい音。 テロの光に照らされた感じで BG・キャラ共にO.L.	㊀「…あれ？」 (SE) ギイイイ…	( )

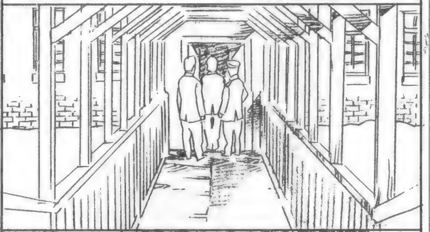
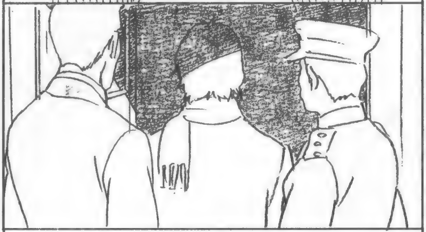
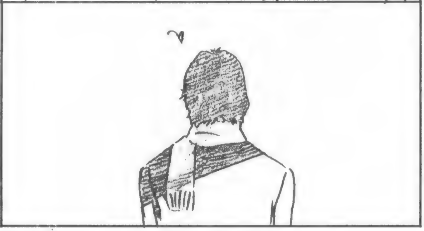
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
583		振り返る井田	㊀「今度は何ですの？」	8+0
584		アイパッチの立花. 牢屋の狭い柵の間からはみ出るような大きな顔には感涙.	㊀「お嬢ォオ!! 助けに来やしたぜ!!」	4+0
585		立花なめて. 牢屋内の千代子 ちょっと顔を上げてセリフ	㊀「あなたは…？」 ㊀「お忘れですかい!?」	4+0
586		C.580兼用 呆れる井田と 熱涙の立花.	㊀「車引きのゲンの字でさぁ!! あの時の約束通り… ↓ C.588へ.	5+0
(欠) 587		成金の立花 桜. 朝日. 富士山をバックに札ビラが舞う…というつもりで絵を描きましたが絵柄は一考.	ほれ、この通り出世して御恩を返しに参上しやした!!」	

No. 243 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
588		鞄から溢れる札束. 札束を動かすには無理があるので Q.T.BとかカメラワークT一考.	(SE) バサ°° ㊤ (off) 「御覧を返しに参上しやした!!」	4+0
589	BL画面	画面BL.		
		金属の軋む音と共に. 扉が開き光が差し込む	(SE) ギイイイ。。。	
		白くとび気味のBG.		5+0
590		 カット頭ドアOUT. 眩さに顔を伏せる千代子.		

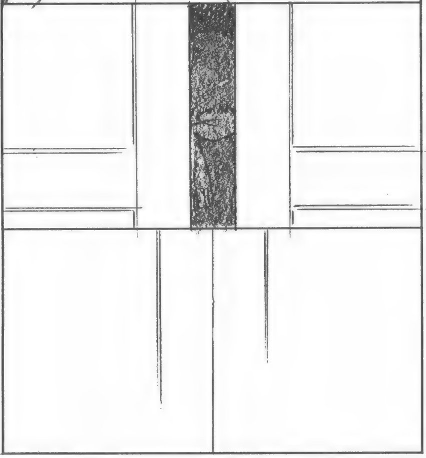
( )

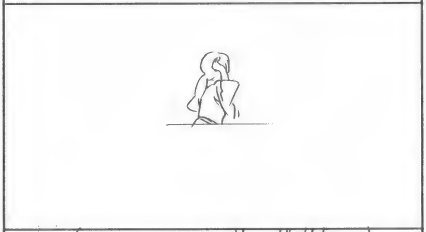
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
590	 	看守がOUT(←) 顔を上げる 千代子に付けて 少しPAN.UP. 足元段差有り 釈放を不思議に思いながら、看守に付いて出て来る千代子. その後から立花、井田が暗闇から出て来る. ★スイマセン. 立花帽子有りです.	(千)「私…本当に出られるんですか?」 (立)「あっしの言った通りでしょ!? お嬢」	10+0
591	 	渡り廊下. 外は雪景色. 歩く一行. Follow(←) 手前の柱、スライド有り. ★立花帽子有り.	(看)「もうお前に用はない. 本人が捕まったんだからな」	4+12

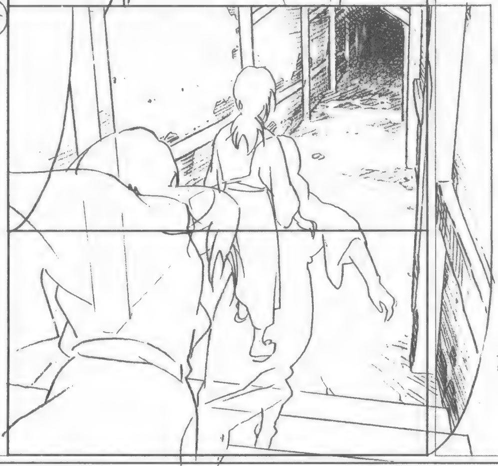
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
592		看守の言葉に ハッとなって立ち止まる 千代子	(SE) ガチャ‥‥ギィ‥	
		鍵が外れ 扉が開く音 音の方に目をやる 千代子		2+0
593		渡り廊下の奥 2人の男に護送 された囚人が 暗い口を開ける 扉の前に立っている このカットで扉が 開ききる		2+12
594		囚人の寄り 襟元に赤いマフラー 鍵の君である 左に立つ男は 傷男 ※すいません、扉は両開きに 変更です		
		闇の奥へ歩く(4歩位) 鍵の君		4+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
595		愕然の千代子 (3+0〜)		
		駆け出すのに 付けてPAN. → 立花たちをカメラが 捕えて、PANストップ 千代はOUT(←)	立「あれは…!?」	
		千代子OUT		3+0
596		階段を駆け下り 渡り廊下を走る 千代子 → Follow ※Followスピードは カット頭から定速		
			千「待って!!」	3+0

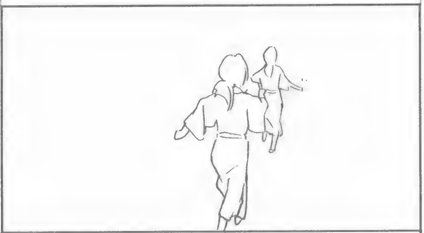
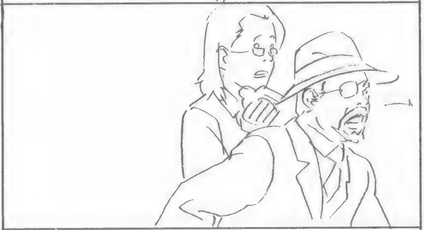
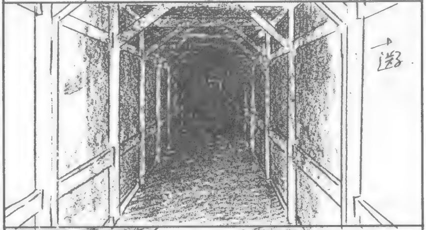
( )

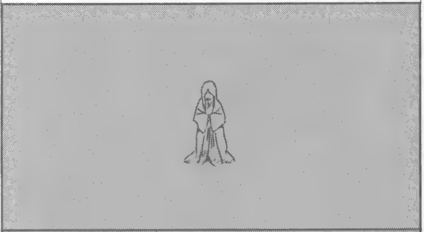
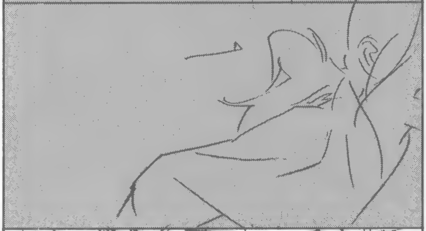
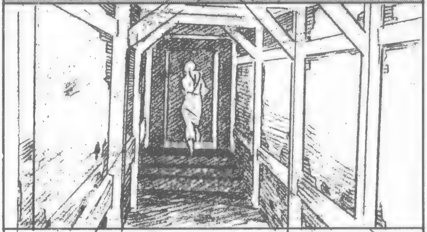
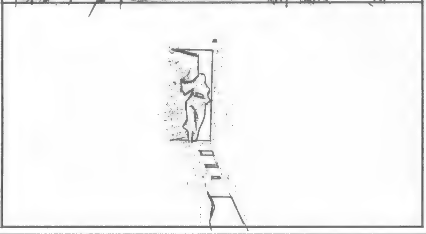
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
597		C.594 兼用 傷男が千代子に一瞥をくれ。 歩き出す。 その間も扉がゆっくりと閉まって行く。（コンテの絵より少し前から） ☆扉は傷男が閉めるわけではありません、勝手に閉まります。 ↓香井と傷男は歩きリピートで少し下へスライド＋F.O.気味。	(SE) ギィイイ…	3+12
598		走る千代子寄り。 → Follow	㊉「待って！お願い!!」	3+0
599		無情に閉まる扉。その奥に微かに見える鍵の君。 ← C.598インサート(0+6)	ギィイイ… ガシャアン	4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
600		走って来た勢いのまま、扉に両手をつく千代子	バンッ ㋠「開けて!! 開けて下さい!!」 バンッバンッ	
		2回叩く セリフ後半をかぶるくらいで		4+0
601		鉄の扉を叩き 必死に訴える 千代子	お願いです!! 一目……一目会いたいんです!! 開けて!!」	
				5+0
602		C.593同ポ 千代子を見守る 立花と井田	バンバン…… ㋠「お願い! 開けて下さい!	10+0

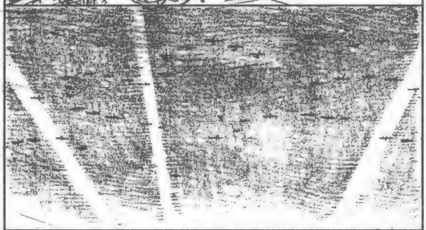
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
603		涙をこらえる女性 内心 ちょっと切なく なっている井田	バンバンバン…	4+0
604		C601同ポ 扉を叩く千代子 一発叩いて 二発目で	バンッ	
		突然扉が開き バランスを崩す 千代子	バァン 「あ!!」	3+12
605		A.C 真黒な闇へと 長く暗い通路に 出る 立ち止まって ちょっと 暗闇を見つめ		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
605		奥へと駆け出す		2+0
606		C.603同ポ 千代子の後を追って駆け出す 立花，井田		
		井田，走り出しつつセリフ 井田OUTまで	(井)「今度はどこにつながってますの？」	4+0
607		暗闇に続く通路 千代子主観．背景動画． (グラデーションBG+セル)	千代子の荒い息	4+0
608		通路を走る千代子． 背景動画． ☆処理は前カットに同じ．	(千)「はあっはあっはあ……」	5+0

	CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
(欠)	609		C.607同ポ 暗闇の中に現れる 謎の妖婆 スーパーF.I (暗の方はブラシマス)) 〜F.O ※F.O後も笑い声が残る	(声が先行) 婆「……定めからは 逃がれられぬ… ひっひっひっひっ……。	
(欠)	610		C.608同ポ 更に深度を上げる 千代子	笑い声こぼれる。	
			→OUT		
	611		暗闇の突き当りの 扉にぶつかる千代子	バンッ	
			扉が開き 光が漏れる (もう少し扉開くくらい) A.C		1+12

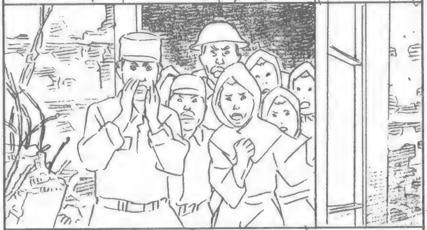
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
612	※このカットから千代子ちょっと大人びた顔にします.	A.C で. 扉の陰から飛び出して来る千代子 (A— 付けて PAN) 衣装が変わっており. 頭には防空頭巾. もう少し頭巾長めに. 転びそうになりながらも バランスを取り戻し. 目の前の光景に気付いて ハッとなって立ち止まる. ラスト止メ 4+0位. 空襲の音やら警報やらがF.I.		7+0
613		焼土と化した東京の街. 夜空を焦がす炎に 浮かび上がるB-29の 編隊.	㊜"痛恨の昭和" P94等.	6+0
614		B-29の群れ. ※編隊の様、いい加減です 3段スライド (P)		4+0
615		瓦礫の中に 立ちつくす千代子 立花と井田が 立ち止まる.	㊓「おわぁ….! SF映画ですか!!?」 ㊤「バカ〜」	6+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
616		呆然と見つめる千代子 (2+0)		
		ハッと思い出し		
		駆け出す千代子の肩を詠子の手がPANして掴み		
		ぐいっと引き戻す	(千)「あ…!!」	5+12
617		A.C. 恐い顔で千代子を叱る詠子	(詠)「まったく世話の焼ける子だねェ!!」	

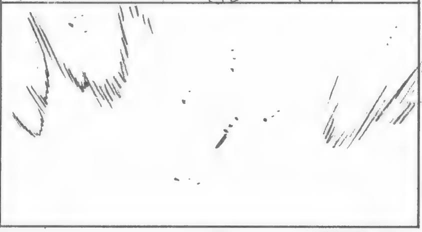
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
617		千代子 振り返って セリフ	千「だって！家(うち)が 蔵が燃えちゃう!!」	
		その千代子を 更に振り向かせて 平手打ちしようとする 詠子		10+0
618		殴られる千代子	バシッ!!	0+18
619				
		怒る詠子	詠「このバカ娘！ いい年して 勝手に 死ぬ権利があると 思ってるのかい!?」	6+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
620		C.617同ポ 千代子の背中越しに 防空壕の入口に 集まった人々が見える	(母)「千代子ォ!!」 (専)「千代子君!!」	2+0
621		防空壕入口 口々に呼びかける 千代子の縁者たち 大滝、水山監督 専務、母親、三人娘 (イ)(ロ)(ハ)	(母)「千代子戻って来なさい!」 (大)「千代子君戻るんだ!!」 (専)「早く来なさい!」 (イ)「千代ちゃん!」 (ロ)「早く!」 (ハ)「千代ちゃん」 等々このカットにもoffでかぶる	5+0
622		C.618同ポ ぶたれて赤くなった 左頬を押さえ 呼びかける人々を 見返す千代子 (3+0)		
		その左手を 詠子に 強引に掴まれ		
		引っ張られる	(詠off)「さあ早く!!」	4+12

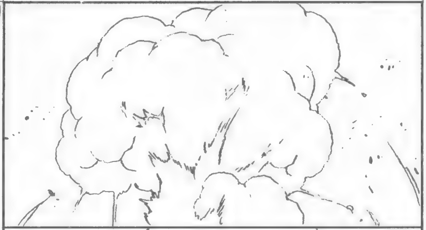
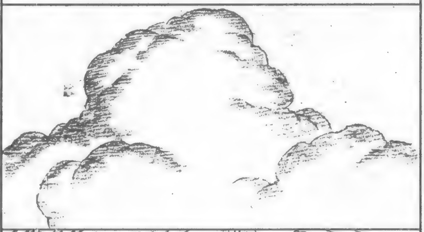
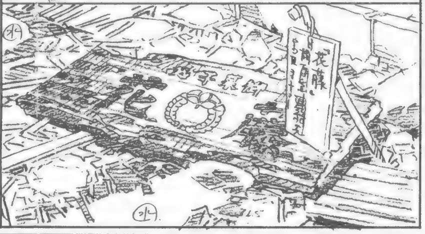
( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
623		C.613 BG兼用 千代子を引っ張って 駆け戻る詠子		
		←OUT		
		立花、井田の奥に 爆発が近付く	ドォン ドドォオン	
		慌てて逃げ出す 2人 手前へOUT	ドドドドド	
		画面近くで 大きく爆発	ドカンッ	9+0

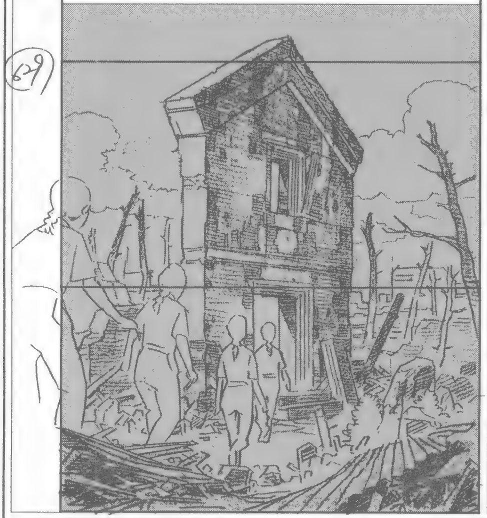
( )

マッドハウス

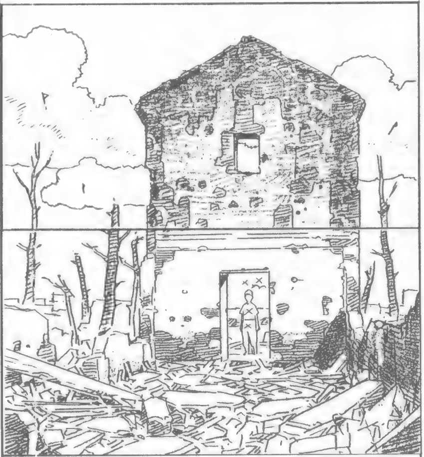
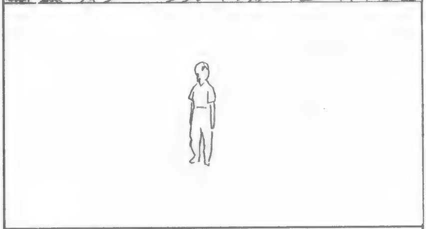
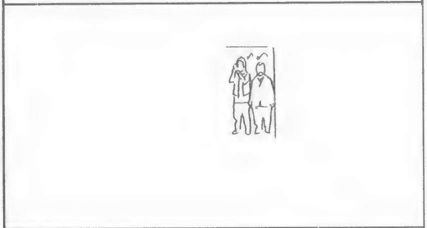
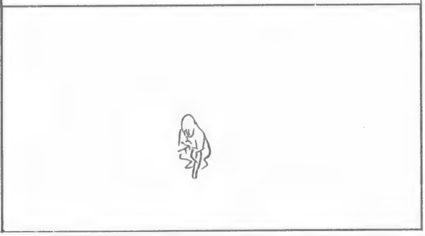
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
624		夜空に広がって行く爆煙 付けてPAN・UP		
		大きく広がる煙 ※次カットとアウトライン合わせる		13+0
625		O.L (6+0) 真夏の入道雲 黒いほどの青空 (BGオンリー)		9+0
※C.626は次ページ 626有り 627 入れ換え		焼け残った千代子の実家"藤花"(藤花堂改め)の看板.半分ほどが炭化している. 水溜りのハイライト作画.		5+0

( )

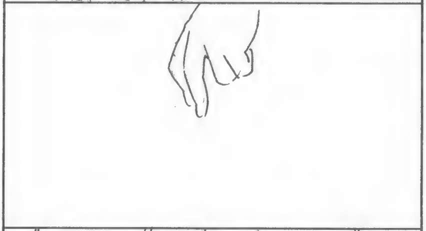
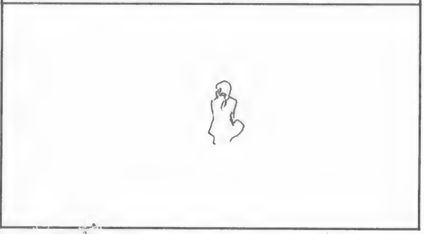
No. 258 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
テレコ 626		C.26 同内容 焼け跡に立つ千代子。 ※C.26 カット頭のトラックはココでは不要。 下向きに変更 次カットの看板を見つめてます		5+0
628		C.27 同内容 顔上げる千代子。		3+12
欠 629		焼け残った蔵の壁面。 雲2段スライド(←) 雲の落とす影(ムラ?)が移動 最初は壁面すべて影の中。 ↓ PAN.DOWN 千代子、瓦礫の山を踏んでIN. 蔵に近づいて行く。		(Fix 5+0 PAN.DOWN 5+0 Fix 3+0)

( )

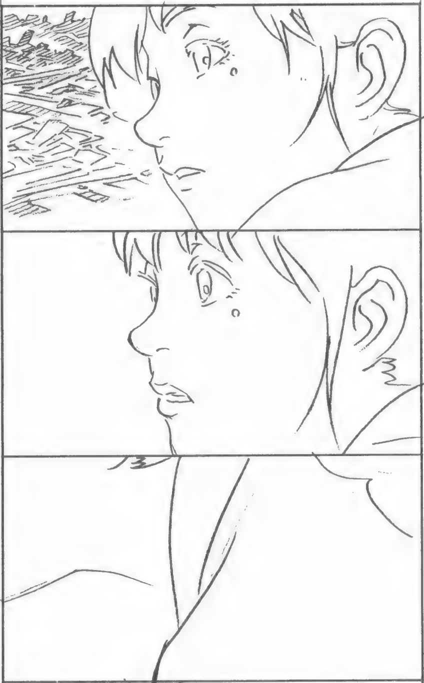
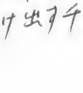
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
630		空襲の跡も痛々しい 蔵の壁 雲、スライド（↑↑） 雲の落とす影が移動（Wラシ） 最初は全て影の中 PAN・DOWN		
		瓦礫の中に 立ち尽くす千代子 呆然とあたりを 見回す		
		千代子の後ろ、ラロに 立花と井田がIN 千代子を見守る		
		足元の何かに 気付いてしゃがむ 千代子	FIX 5+0 PANDOWN 5+0 FIX 10+0	20+0

( )

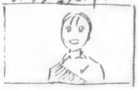
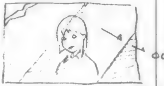
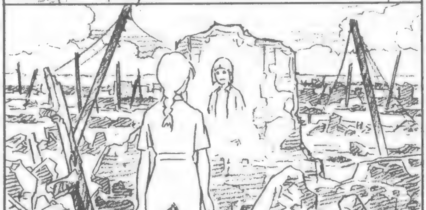
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
631		ボロボロになった小さな赤い靴。千代子の子供の頃の靴、というつもりです		
		千代子の指先がそっと靴をなでる		5+0
632		瓦礫の中にしゃがんでいる千代子の後姿 (4+0) 	雲の影が覆う。	
		画面外で瓦礫が崩れ、破片が転がる。	(SE) ガラガラ…	
		ふと目をやる千代子。		12+0

(　　)

マッドハウス

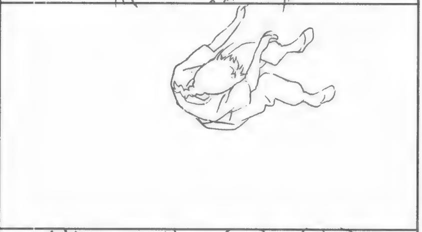
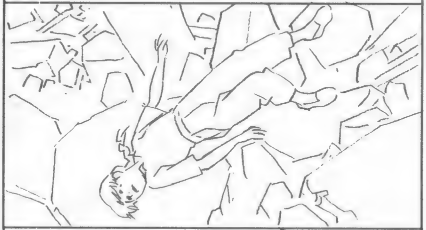
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
633		千代子のアップ (3+0) その目がみるみる大きく見開かれる. 中付ける 弾かれたように立ち上がりつつ駆け出す千代子.		8+0
634		瓦礫を踏んで急ぐ千代子の足元 (a-IN) PAN・UP(P) その先に焼け残った壁の一部. そこに"絵"が残されている  ちょっともたつく.		5+0

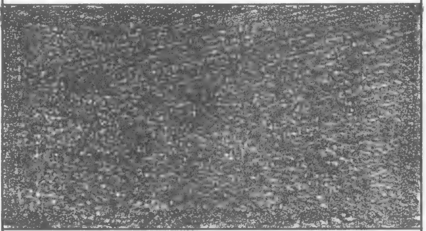
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
635		驚く井田、立花 2人と残の壁はWラシ影の中。	(立)「……あ…」 (井)「あれは…!?」	3+0
636		瓦礫を這い上がって来て、その絵の前にしっかりと立つ千代子 サッと一陣の風が千代子のほつれた髪を揺らす。（スンマセン風の向き逆でした←こっちです） 付けてPAN・UP 雲2段引き。(←) ※スタート位置もう少しカメラに近いところから	カット尻で雲の影が払われて行く。それまではWラシ影の中。 	7+0
637		壁に描かれた千代子16才の肖像と『いつかきっと』の文字	 カット頭、雲の影が払われる。	5+0
638		鍵の君が残した肖像の自分と向き合う千代子。 地平線まで広がる瓦礫。 (←風有り) ←雲スライド。	遠くで工事の音が聞こえる。（小さく） ガーンガーン……	9+0

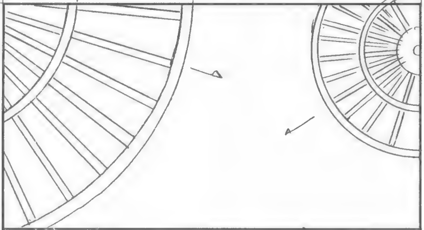
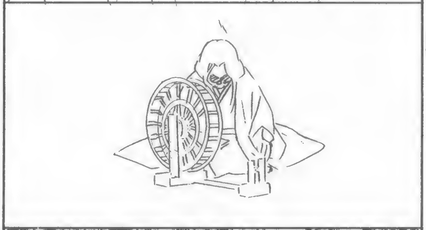
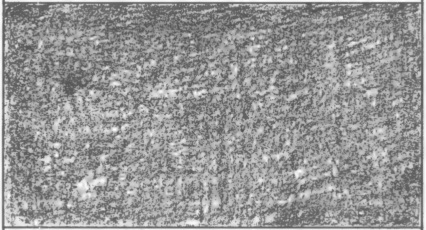
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
639		感無量の千代子 (← 風有り) 雲 スライド	ガーンガーン……	5+0
640		肖像画 寄り		
		不意に雲の影が差し 画面が暗くなる (O.L) フォーカスも 乱れる	工事の音 大きくなる ガーン ガーン ガーン …	6+0
641		意識が遠のいて 行く千代子. 雲の影が差す (作画) カット頭、風がやむ	更に大きく ガーン ガーン ガーン …	
		朦朧として		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
641				
		気を失ない。 膝から力が抜ける様に 倒れて行く。		9+0
642				
		瓦礫の上に 倒れる千代子		2+12
643		C.635同ポ 慌てて駆け出す 立花。	(立)「千代子さん!!」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
643		遅れて井田が続く。		2+12
644		C.642 同ポから ゆっくり回転+T.B. 立花と井田がINして千代子に駆け寄る。 F.O (5+0)	井「千代子さん！ 千代子さん。大丈夫ですか!? 千代子さん！」（セリフラストはF.O）	17+0
645	 	画面BL. ※微妙なテクスチャが欲しいので一考。 回る糸車。スーパー.F.I ゆっくりT.U.		

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
645		画面両側より やはり回る糸車が F.Iしつつスライド	(婆)(off) 「逃がれられぬ…	
		謎の妖婆(C.346使い回し)スーパーT.B. F.I～F.O.	～(ON) 「逃がれられぬわ…	
		(C.344使い回し) スーパーT.B. F.I～F.O.	いっひっひっひっ ひっひ……」	(F.O)
		画面B.L.		25+0
	☆ Bパート 終			

Commentary of Story Boards B Part

劇中映画が物語を進める

『千年女優』絵コンテ　Bパート解説

文：藤津亮太
text by Fujitsu Ryota

連想ゲームのようにすすむBパート

Aパートが本作の“ルール”の紹介編だとすると、Bパートは、その応用編ということができる。Aパートでは、比較的わかりやすく現実と虚構の行き来が描かれていたが、Bパートは、Aパートよりもはるかにめまぐるしく、さまざまな映画の場面が連想ゲームのように展開する。同時にAパートでは傍観者だった立花が、千代子出演の映画の重要な脇役として次々登場するようになる。Aパートでの助走を生かして、虚実がない交ぜとなった「騙し絵感覚」を積極的に打ち出したブロックに仕上がっている。

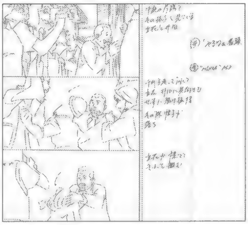
Bパートでまず驚かされるのは、C-298でいきなり馬賊が登場する部分だろう。

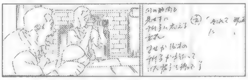
もともとAパートの終盤で千代子は鍵の君の行方を占ってもらう。その占い師の言葉を信じ、鍵の君を追いかけて撮影現場から失踪……というのは実際に起きた千代子の体験だったはず。Aパートの“作法”にならえば、間に現在の千代子の姿をはさんでそこからO.Lで馬賊がらみの映画のシーン

へと転換、というような段取りがあってもおかしくないのだが、ここでは千代子の実体験からいきなりなんのクッションもなしに馬賊の登場となっている。さらに馬賊から逃げるために列車の扉を開けると、そこには戦国時代の合戦絵巻が広がり、そこから後はつづけてさまざまな映画のシーンが次から次へと登場するという怒濤の展開となっていく。

Aパートでも、少女時代の思い出がいつの間にか、映画『君を慕いて』の一場面になってしまうという展開があったが、Bパートはそれをさらに押し進めた内容となっている。はっきり千代子の現実の体験だろうとわかるのはBパート冒頭の「撮影中の失踪」と、同じくラストの「瓦礫の中で発見する自分の肖像画」の部分だけ。その間にはさまっているのは、全て映画かそれに類するエピソードであり、Aパート以上に「虚構を通じて千代子の真実を描く」という姿勢が前面に出ている。そしてここで描かれたさまざまな映画のシーンはやがてCパートで、一つの大きな流れにとまとめられる。

立花が映画の登場人物に





■(上から) C-200、C-232
千代子の語る回想の中で帽子を手にする立花。現実でも千代子の帽子を持っている。

Bパートのもう一つの特徴は、現実では取材者であり、Aパートの回想ではあくまでも傍観者だった立花が、映画の中の重要な脇役として再三登場するようになることだ。

立花を映画の中の登場人物として登場させるまでにも丁寧な段取りが組まれている。

まず、"伏線"としてAパートのC-232が置かれている。このカットのト書きには「なぜか16歳の千代子のかぶっていた帽子を持っている」と書かれている。その通り、このカットの立花は、千代子の回想シーンの中で拾った帽子を現実で持っているのだ。これだけ見ると回想と現在が混乱してくるような不思議な描写になっている。が、絵コンテを見る通りこれはあくまでも確信犯的に仕組まれたものだ。

次はBパート冒頭の列車事故のシーン。Aパートでは、立花と千代子が同じフレームに収まるカットは非常に少ない。同じフレームに入ったとしても、視線をかわしたりするような演技はほとんどなく、立花（と井田）は一種の幽霊のような傍観者としての立場を強調されている。二人は千代子とは、同じ時間と空間を共有してはいないのだ。

だが、馬賊に襲撃された直後のC-300。立花は気を失った千代子に駆け寄り、千代子を起こそうとする。ここで立花の手は千代子に触れているように描かれているように見える。続けてC-302では、ト書きに「つぶらな瞳で立花を見返す千代子」と書かれているように、はっきりと視線を立花と交わす。

ただしC-303からの千代子の演技は、よく見るとまるで立花など関係ないように行動するため、さきほどの視線の交錯は偶然で、傍観者としての立花の立場は変わっていないことがわかる。しかし、あたかも千代子と立花が同じ時間と空間を共有し、意思の疎通があったかのような錯覚の感覚だけは観客の中に残る。

そしてこの余韻を残したまま、C-369となる。燃えさかる天守閣の中、姫である千代子に梁が倒れかからんとするその時、鎧武者が現れる。鎧武者の顔はなかなか見えないが、C-371で振り返ると、それが立花であることが明らかになる。かなり突然の登場のため、どうして立花が映画の一場面に絡めるのかまったく理由はわからないが、先に一瞬、千代子と立花が同じ時間と空間を共有したかのようなカットがあったために、この登場が心情的には納得できるようになっている。

この時代劇のシーンの後、カメラがA.C風のつなぎで現在に戻ると、実は千代子は映画の名場面を熱演し、立花もそれに合わせてお芝居をしていた、という展開となる。この場面は立花がなぜ映画の中に登場できたかを合理的に説明す

■（上から）C-300、C-302、C-371
千代子に近寄り、やがて目が合った（ような）演技を展開する立花。その後、立花は映画のストーリーの中に、千代子と絡む武将として登場する。

る役割のシーンなわけだが、ここであれっと思わせるのが、立花が時代劇の中と同じ兜を被っているという点だ。

回想や映画の中の“小道具”が、現実の中に登場してしまう。ここまで映画を見てきた観客は、本作がそういう種類の虚実の混交をする種類の映画ではないことはわかっているはずだ。しかし、同時にAパートの帽子のことも覚えているから、再び兜で似たようなことが起こったとき、自分がこの映画の中で「現実」と信じているものが頼りなく感じられ、不安な気持ちにもなるだろう。

この不安な気持ちはあっさりC-404で覆される。立花は兜を脱いで、お手伝いさんの美濃に兜を手渡すのだ。おそらく千代子が輿に乗って話すのにあわせ、立花が借りて被ったものなのだろう。そうするとAパートの帽子が突然現れたことも説明がつく。Aパートの帽子の場面は、この兜が登場した時の効果を狙って、挿入されていたのではないだろうか。

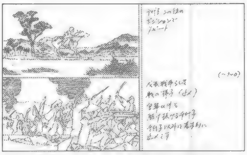
そして立花が映画のシーンにいる理由を説明した後、『千代子の忍法七変化』のパンフレット表紙からO.Lして、再び場面は映画の1シーンへと戻っていく。

実は立花が映画のシーンに登場できる本当の理由はCパートにあるのだが、この時点では観客はまだそれを知らず、劇中映画のコメディリリーフとして立花を受け入れることになる。

時代を駆け抜ける千代子

本作において千代子は、鍵の君を追いかけひたすら疾走するキャラクターだ。それを象徴するかのように登場するのが、C-540からC-545までの一連のカット。千代子が馬や馬車、人力車に乗りながら、戊辰戦争から明治時代までを一気に駆け抜ける内容になっている。ここは背景などが

■（上）C-353、（左）C-381、（下）C-542 より



■赤絵の画風で描かれた人物は、セル画の千代子と違って「絵」にしか見えず、千代子が現実ではなく、絵の中を駆け抜けているような印象を与える。
（C-541 より）

赤絵とも呼ばれる明治浮世絵のトーンで描かれているのが特徴だ。また絵コンテの段階から音楽シーンになることが想定されており、音楽スタートの指示が書き込まれている。本編ではサントラの「ＲＵＮ」が流された。

本作に登場するカットは基本的に３種類にわけられる。一つは、立花が千代子をインタビューしているという現実。もう一つは、千代子自身が回想する彼女の思い出。３番目が、千代子が出演した映画の１シーンに属するもの。ただし特に後ろの二つは、入り交じり厳密に分類することはできないものもある。１番目は現実だが、２番目、３番目は広い意味で虚構の範疇に入る。

このシーンも３番の範疇に近い内容ではあるが、そのほかの場面と比べると存在感が違う。まず第一に音楽シーンであるし、全編が抑えた色使いでまとめられている中、ひときわ目立つ赤のトーンを使っているのも印象に残る理由だろう。

だがなによりも印象的なのは、千代子が赤絵の中をかけぬけていくというスタイルそのものが、そのほかのシーンに比べてひときわ抽象的だからだ。

たとえば冒頭、千代子の生い立ちを紹介する時には、それぞれの時代を現すさまざまな写真がコラージュされ使われていた。これはそうした時代の中で千代子が育ったということを伝えようとする狙いがあった、写真は時代風俗を伝えるものとして極めて具体的に使われている。

ところが、このシーンにおける戊辰戦争や明治の風景などは、千代子とはまったく関係ない。さらに赤絵独特の様式化された背景の効果もあり、それまで続いてきた映画的な時間と空間から完全に切り離されている。

ここで描かれているのは「流れる時間の中を千代子が走り抜ける」という本作の中核に位置する「概念」とでもいうべきものだ。それがそのままビジュアル化されたのがこのシー

ンなのだ。つまりこのシーンは現実でも虚構でもない、もう一つの位相──抽象──にあるのだ。本編の中でこれと同じようなポジションにあるシーンをあえて探せば、さまざまな場面をストーリー順に従わずつなぐことで、本作の持っている世界の広がりを表現した、タイトルバックぐらいしか見あたらない。が、これもまた性質が違うのはいうまでもない。

ところで今監督はインタビューでこのシーンについて、千代子が出演した舞台をイメージしたという趣旨のことを語っている。

舞台演劇は映画に比べてはるかに抽象的なメディアだ。たとえばそこでは日本人が外国人や動物を演じることが許され、それをウソだと否定する人はいない。つまり演劇で役者は常に抽象的な「キャラクターという概念」を演じているのだ。

とするとこのシーンが、千代子というキャラクターを象徴するような抽象的なシーンとなっているのは、今監督の言う「舞台」というキーワードと密接に結びついた結果とも思える。もしかするとこうした抽象的なシーンを挿入するために、今監督は「舞台」というキーワードを考え出したのではないだろうか、とも考えたくなるシーンだ。

さらに興味深いのは、この抽象化した場面が目立ちつつも、そのほかのパートと遊離していないという点だ。本編を見ていても音楽の力もあって、普通のシーンからこのシーンへの転換はいともあっさりと受け入れることができる。

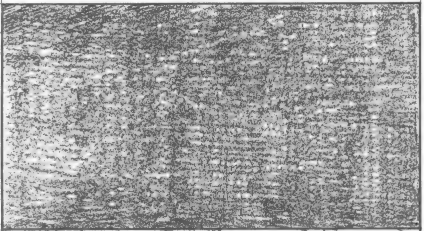
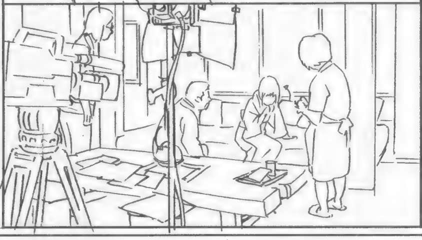
これはおそらく、本作に登場するキャラクターの多くは、そのほかのシーンの中にあっても生身の人間というより、千代子の主観によって再構成された概念といったほうがふさわしい存在だったからだろう。本作では現実のシーンにしろ、虚構のシーンにしろ、背後にある抽象的な概念の影響下にあり、それが映画を１本にまとめ上げるよう働いているのだ。

千年女優

Millennial Actress

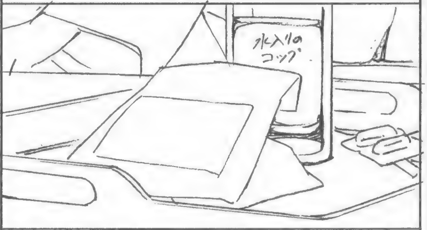
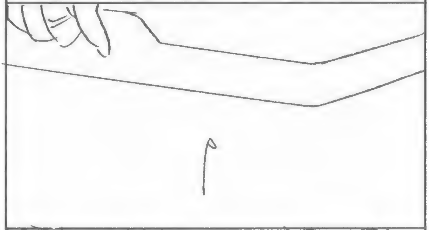
C PART

Story Boards

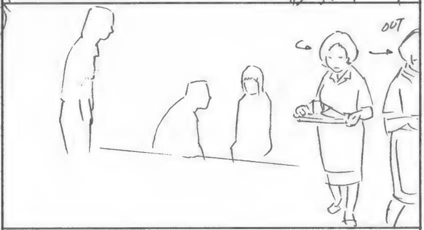
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
646		画面BL F.I (4+0) 山荘 応接間 少し息の荒い 千代子 (3+0)		
		立花の呼びかけに、目を開け	(立)(off)「大丈夫ですか？」	
		しんどそうに起き上がる		13+0
647		A.C 心配そうに見守る一同。 胸元をおさえて起きる千代子	(立)「どちらかお加減が悪かったのでは…？」	

No. 267.

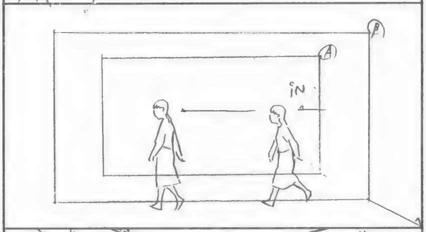
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
647		美濃がテーブルの上のお盆を見る.	(千)「大丈夫. お医者に言わせたら・・・」	6+0
648		盆の上の薬袋(要資料)『藤原千代子様. 県立中央病院』等々. 記載されている.	(千)(off)「年寄りはみんな病人になっちゃうもの」	
		美濃の手がinして. 盆をつかんで持ち上げる.		
		OUT気味.		4+0
649		千代子に視線を走らす美濃. (前カットの千代子のセリフを受ける芝居です). 盆を持ち上げる動作の途中, 左図くらいのところで一旦止まって目をやったかんじです。		

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
649		美濃、完全に上体を起こし、次カットへ		3+0
650	 	C.647 同ポ 盆を持って美濃右へOUT	五「取材はまた日を改めてでも…」 千「いいえ…」	4+0
651		千代子寄り、やや悲しみを帯びた顔。 →PAN.（Fix 2+12 セリフ後半でPANスタート） 日差しを受けて眩しい障子。木々が陰を落としている 障子全体にT光スーパー。木陰以外強めに。 カット系 露出オーバー・ホワイトアウト気味。	千「明日（あした）になれば思い出せなくなってしまうわ……」 （独り言に近い感じです）	10+

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
652		カット頭 白コマから F.i (1+0)		
		闇市のスチル（白黒） ごった返す人々 G.I の姿も	Ⓝ（75才・N） 『戦後の混乱は みんな生きるのに 精一杯……』	
		静止画の中で、千代子（22才）が ヒョイと起き上がり（IN） タタタッと左へOUT。 ※千代子はほんのり カラー。	参 "占領下の日本" 25.50 "1億人の昭和史・全3" 117. "戦後50年" 14. "カストリ時代" 41. F.i 1+0 止メ 2+0 千代子IN・OUT 3+0	6+0
653		銀映撮影所前 記念写真 千代子が小走りに INして、位置に 付く。 （ここまでフレームⒶ）		
		白コマ～F.i + 役詰め T.B （フレームⒷ～） 参 "懐かしの新東宝" 115.	(SE) ポシュッ Ⓝ『食べ物も 着る物もない…』	

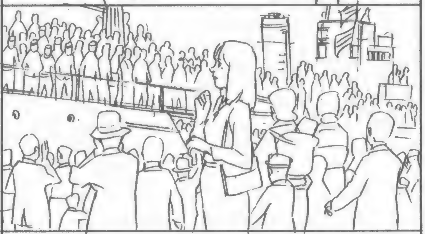
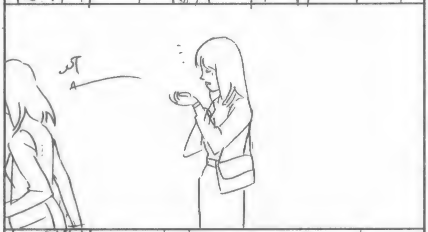
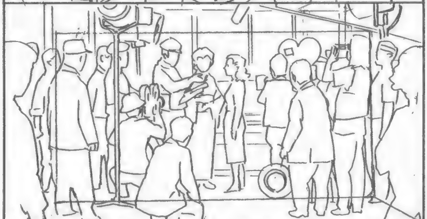
( )

マッドハウス

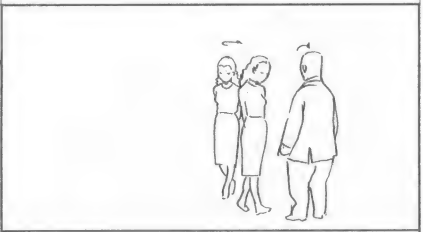
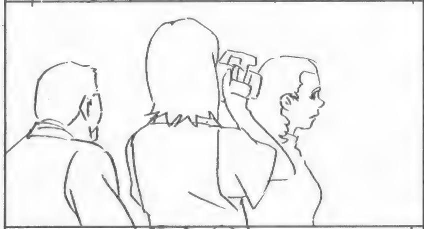
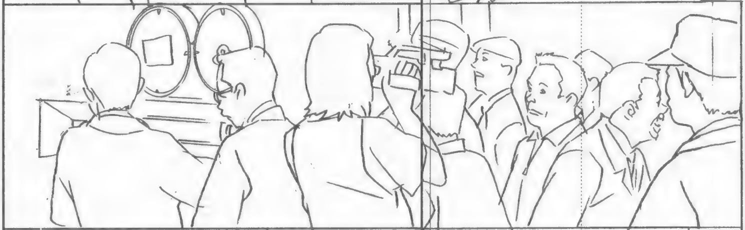
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
653		千代子小走りに OUT.	（千代子IN～ 2+0 T.B. 1+12 FIX 1+12 ～千代子OUT.－O.Lの間）	6+0
654		O.L. (2+0) 映画のスチル写真 千代子がINして. 相手の男優に 手をかけて ポーズを取る.	Ⓝ 『いいシャシンを 作ろうって希望が みんなの支え	
		㊟「君の名は」の ポスターのパロディです. "戦後50年" 168 "日本20世紀館" 657. 658		3+12
655		白コマ～F.I + 後詰めT.B. 前カットの絵柄が 印刷されたポスター "千代子巻"(笑)を 真似した2～3の女性の 姿が見え その奥を 何やらデモ隊が 横切っている(止メ). それを見ている 立花と井田.	(SE) ボシュッ Ⓝ『本当に忙しい だけの毎日だった』	4+0
656		O.L. (2+0) ☆前カットと千代子の 位置を揃える 怪獣映画の 舞台挨拶. ストロボ 4～5回瞬く. (1ハイコン置き換え) ㊟報道陣 ·1億人の昭和史·全集" 214	『でも、いつの 時だって 私には…』	4+0

( )

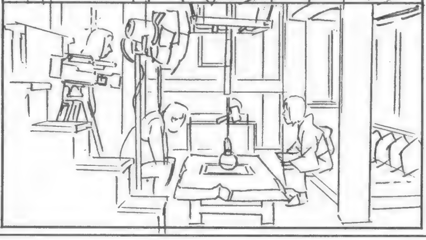
No. 271　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
657		千代子の胸元に下げられた鍵 T.B.｜後詰め		
658		(ㄓX) 引き揚げ船を迎える人々に混じる千代子	Ⓝ『いつか会える…って信じてた	2+12
		時計を気にし小走りにOUT. (参)"1億人の昭和史・6" 167. "戦後50年" 102	世の中はすっかり変わって手がかり一つなかったけど……	5+0
659		映画撮影中のスチル. 大滝と詠子. 千代子IN.		
660		白コマ～F.I. 後詰めのT.B. 前カットの引き. 十花、井田がそのスチルの中にいる. 千代子の周りはスポットライトを浴びた様 (参)"懐かしの新東宝" 118, 155. "懐かしの大都映画" 80, 88	(SE) ボシュッ もしかしたら…』 (ここまで千代子(老)のN.)	2+12

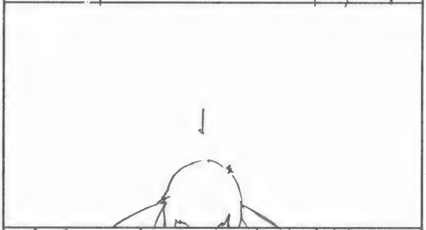
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
660		千代子が動き出す.	(千)「あの人が私の映画を見てくれるかもしれない…」	7+0
661		歩いて行く千代子を追うようにして立花が後に続く. 井田がカメラで追う. カット全体も付けPAN(→)	(立)「昭和30年前後はもっともお忙しい時期でしたね」	
		PANしつつも千代子, 立花はOUT. 井田のカメラが, スタッフの一人の顔で止まる.		
				
	井田がそのスタッフにカメラを近付ける.	←カメラ戻る.		10+0

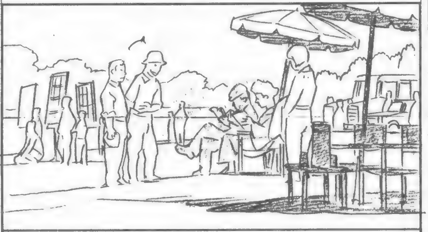
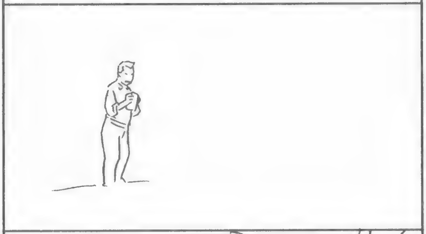
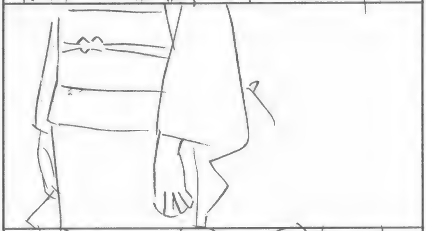
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
662		そのスタッフ寄り 若き日の立花 (以後ゲンヤ) である 止メ スチル写真の寄りです	(#)(off) 「あれェ～!?」	3+12
663		山荘・応接室 バツの悪そうな 立花	(立)「……バレたか」	3+12
664		C.113兼用 驚く千代子 カット頭アルバムから顔を上げるかんじで「エ!?」 同時にQ.T.B	(千)「エ!? 立花さん、銀映にいらしたの!? 大滝の組に!? じゃ……私たち同じシャシンを……!?」	8+0
665		悪戯がばれた子供のようにモジモジする立花 千代子同様、驚いている井田	(立)「は……いえ…… 私なんぞは藤原さんから見れば雲の下でしたから……」	6+12
666		応接室引き	(千)「意地悪だわ。黙ってるなんて……」 (立)「いや…その…	5+0

マッドハウス

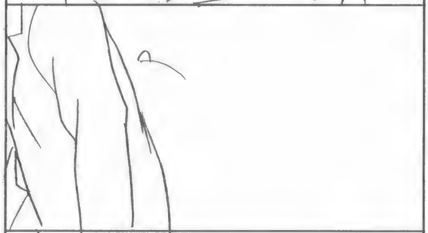
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
667		ロケ地でのスナップ写真. カットいっぱいT.U. スタートフレームもう少し寄りで。全体にフレームもう少し左へ修正. O.L.	立(off) 「結局.監督どころか!チーフにもなれずじまいでした(大滝監督に怒られてばかりでした……」 O.L. (1+12)	4+18
668		前カットの寄り. 写真の奥にゲンヤ.	S.E.波の音F.I.	5+18
669		O.L(2+0) とあるロケ先.快晴. 海岸.昼間.	ゲ「立花ゲンヤです.宜しくお願いします.」	
		深々とお辞儀 OUT.		5+0
670		難しい顔で台本に目を落としている大滝.パラソルの下の日陰. チラッと視線上げて.すぐに戻す.	(1+12) 大「しっかり働けよ.」	5+12

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
671		一同 引き。 左から、ゲンヤ、助監、大滝、詠子、その付人。 助監が 詠子に ゲンヤを紹介する。	(助)「詠子さん、見習いで入ったゲンヤです」	
			(ゲ)「あの…藤原千代子さんとのかけ合い、いつも楽しみにしてました」	8+12
672		読んでいた台本を勢いよく閉じる詠子	(SE) パンッ (詠)「引き立て役なら十八番(オハコ)だよ!」	
		立ち上がり。		
		←OUT 付き人が追う(OUT) 奥の大滝が『ち!参ったな』という顔。		7+0

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
673		突然の訓子の不気嫌に戸惑うゲンヤ。助監が叱る。	~1+0 (助)「バカ、そのネタは御法度なんだよ」 (大)(off)「よく覚えとけ」	5+0
674		c.672 兼用 軽々しい演出論をぶつ大滝。	(大)「お客も女優も一緒だ。テキトーにウソを織りまぜて乗せてやるんだよ	
		立ち上がる。	ま…」	7+0
675		A.C ゲンヤの前を歩き去る大滝。 ＊視線はゲンヤには向いてません	(大)「そのうち手本を見せてやる」	
		言葉の意味が飲み込めないまま見送るゲンヤ。 大滝 OUT. (~4+0)	(玄)「は…！ はい…？」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
675		大滝が持っていた 紙コップがスルして 落ちて来る．		
		反射的に受け止めるゲンヤ． ＊ゲンヤの動きに付けてPAN(←)． そのまま更にPAN(←)		
			ゲンヤの奥に． 井田．立花．千代子(75)	10+0
676		千代子たち寄り． 立花の記憶に触れ． 当時を思い出す 千代子． セリフ受けて．2人見る	㊉「……まんまと その手に乗っちゃったのね…私」 (～5+0)	
		作画回り込み． BG ←ヒキ	＋作画T.U.	

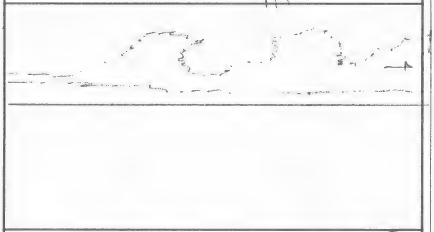
( )

No. 278

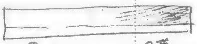
マッドハウス

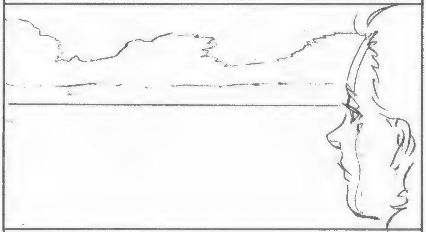
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

676



千代子(75)→OUT.
空と海が夕焼け色に変わる.
★O.Lではなく 以下のような BG.

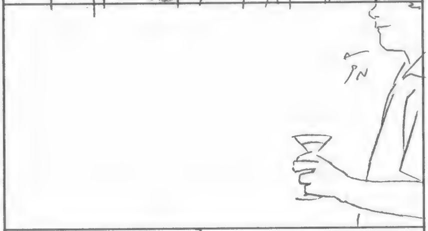
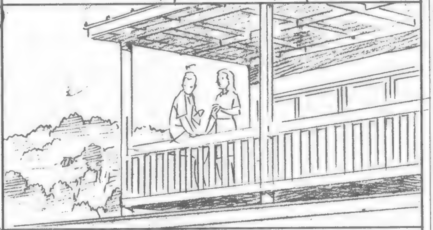




←当時の千代子(32)がINして. 引き続いて回り込み.
ここからのシーン
影有りで.

回り込みの速度がスピードダウン
ベランダの柱(BOOK)がIN(←)
作画T.Bも有り

(　　)

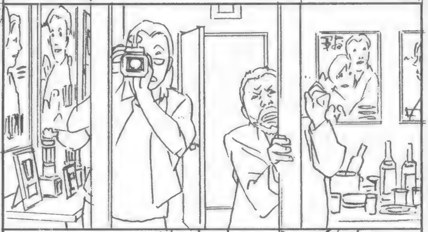
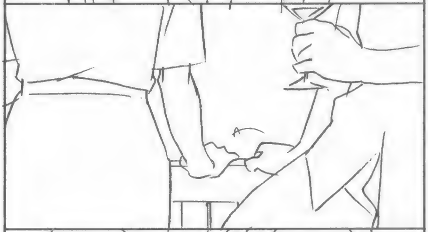
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
676		近くの家並など(BOOK) ←IN. カメラ、FIXになる。 そこは海辺の別荘の ベランダ。	(回り込み 7+0)	
		大滝がカクテル グラス片手にINして。		
		手すり(画面外)に 腰をかける		17+0
677		A.C ベランダの大滝と 千代子。 ★一応、大滝の 別荘という設定 です。 水平線に 目をやって セリフ。	(4+0) ㊅「千代ちゃん、映画 監督って仕事はさ、 絵を描くのに似ている んだ…」	9+12
678		「絵を描く」という 言葉に…フッと 大滝の顔に 目をやる千代子。	(off) 「画家は自分の 気に入った色で カンバスに絵を 描くだろう？」	5+0

(　　　)

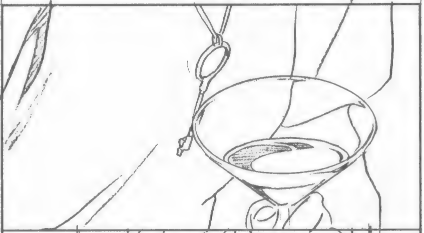
マッドハウス

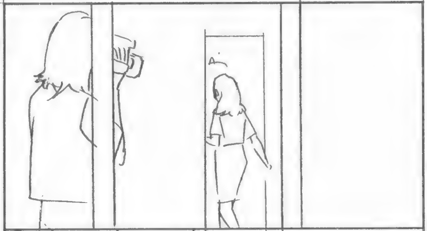
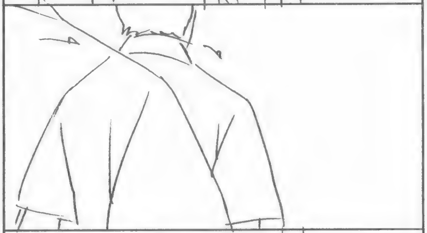
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
679		格好つける大滝	大「僕も、素晴しい絵具に出逢えたんだよ	
		千代子を見る	君、という色にね」	7+0
680		気分に酔う千代子		(3+0)
		少し照れてうつ向く		5+0
681		夕陽をバックにムーディな2人 気持ちT.B.(カットリッパii)	S.E. 波の音やや高まる 五(off)「ヌゥ～～～ッ」	6+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
682	ガラス ガラス 	室内から窺っている井田と立花 *ガラス面に前カットの素材を反転させてスーパー *室内、パーティの後という設定です	(立)「そんなキザなセリフで千代子さんを……」 (井)「今度使わせてもらおうかな」	5+0
683		大滝の手が千代子の手に重なる		
		PAN.UP	(Fix 2+12 PAN.UP 2+12 Fix 5+0	
		付ける 口づけしようとする大滝、受け入れる千代子 ハッとなる	(SE) カチャー	10+0

( )

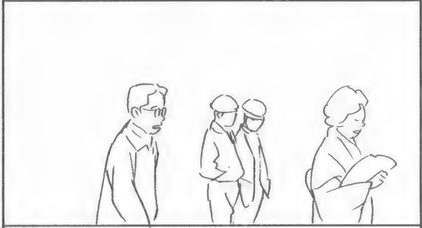
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
684		胸に下げた 例の鍵がカクテルグラスに当たっている。		2+0
685		鍵を見ている2人 千代子 切ない顔になって。	(3+0)	
		サッと振り返って OUT. (→)	(千)「ごめんなさい!」	
		千代子を追うかんじで上体を起こす大滝 (♪ 付けた方が良いですね。)		5+12
686		C.682 同ポ 動揺して走り去る千代子		

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
686		ドアの向こうへOUT (←)		
		手前から大滝がIN. (小走り) ※大滝がINする前に窓ガラスに映るようなことはありません	〜 (2+0) 千代子OUTから大滝INまで (1+0)	
		窓ガラスに手をかけ立ち止まる.		7+0
687		不快と不可解を抱えて立ちつくす大滝. その大滝を睨む立花. 面白がってカメラを向ける井田.		4+0

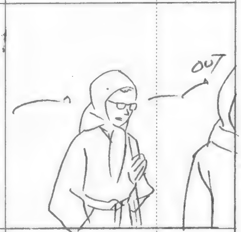
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

688

昭和30年頃の街の一角
横断する人々



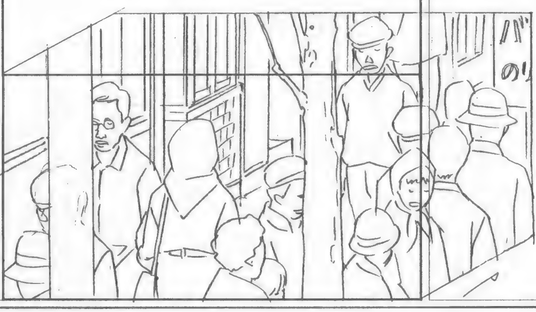
サングラス、スカーフ姿の千代子が
INして 足早に横切って行く。後半 歩み緩める
千代子に付けてPAN(→)、千代子にOUT.



千代子 INして
3+0 位

8+0

689

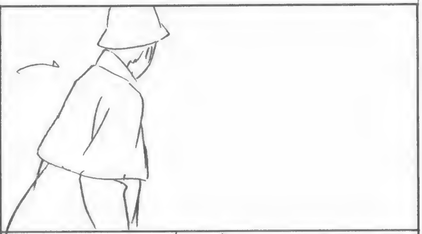


雑踏を歩く千代子.
(→)Follow (望遠風です).
※C.133と同じ感じです.
モブユー3人 歩き有り.

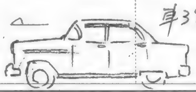
千代子、トボトボ歩いてる
かんじです.

( )

No. 285 マッドハウス

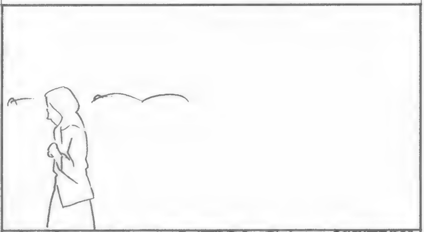
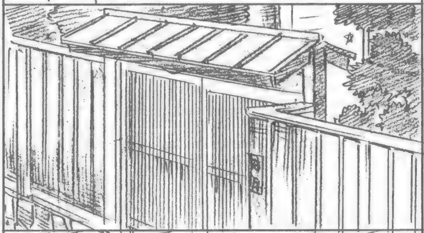
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
689		よそ見をしながら 小走りにINして来た インバネス姿の男が、		
		千代子にぶつかる	(千)「あ！」	5+0
690		AC 倒れる千代子に 付けて少しパン(↙)		
		千代子 ハッと"鍵の君"との 出逢いを思い出し、		
		「もしや…！」と思い 男を見上げる、 付けてPAN(↗)		4+0

( )

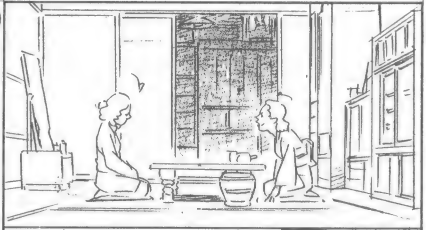
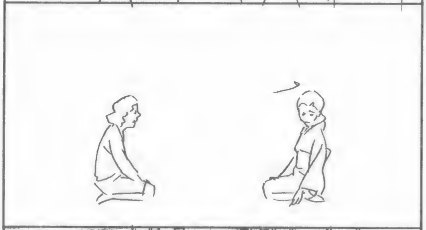
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
691		千代子にぶつかった マント男 千代子の主観風の アオリ.	(マ男) 「失敬！」	
		急いでいるらしく 足早にOUT.		3+0
692		C.690兼用 俯いて.		
		立ち上がる千代子		4+0
693		A.C 立ち上がって（息をつき.）歩き出す千代子. 対面のビルの壁面に上映中の 映画の看板. 絵の中で微笑む千代子. (タイトル等未定). 映画館の入口には長蛇の列 車3台程 IN OUT. 	(歩き出すまで3+12 OUT後2+0位) *看板に"マドンナ"の文字 メイン.	

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
↓ 693		トボトボとOUT.		8+12.
694		千代子の自宅. 玄関. 夜. 引き戸の音と共に少し明るくなる. 	S.E. ガラガラ (千)(off)「ただいま」	5+0.
695		茶の間. テーブルの上の 見合い写真.		4+0
696	 	困惑顔の千代子. *左の絵 障子の設定間違ってます. 座る. A·C	(千)「ちゃんと断わってって言ったでしょう?」	4+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
697		AC 母親と対座する千代子。 ちょっと身を乗り出して、早口でまくしたてる母親	母「そんなこと言って、お前は、マドンナだ何だって、いつまでもちやほやされる訳じゃないんだよ」	7+0
698		初老の母親。 背後のガラス戸に対面の千代子が映る。(スーパー)	母「女の幸せってのは、きちんと家庭を持って」	3+0
699		勢いこんで言いかける千代子。 ※この辺の会話は「これまでに何度も繰り返して来た」というかんじです。	(遮るように) 千「でも、私には…!」	1+12
700		C.697同ポ 母親、いなすように少し上体を引く。	1+12内 母「思想犯はみんな、とうの昔に釈放されたっていうじゃないか…」	6+0
701		奥の部屋にかけられた千代子の絵。 ※蔵の壁に残っていた絵です。	母(off)「なのに礼にも来ない男をいつまで待ったって…」 千(off)「違う!!」	4+0

手前の襖。(マルチボケ)

( )

No. 289

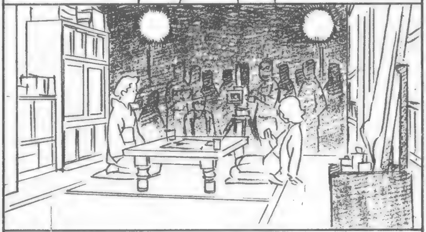
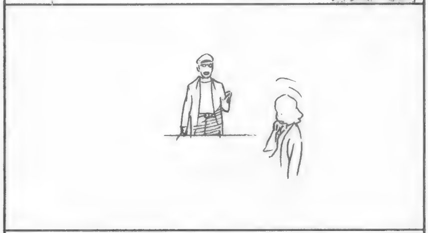
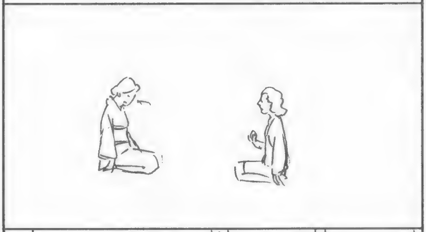
マッドハウス

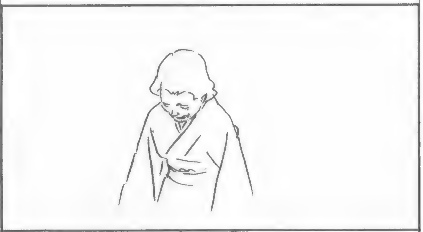
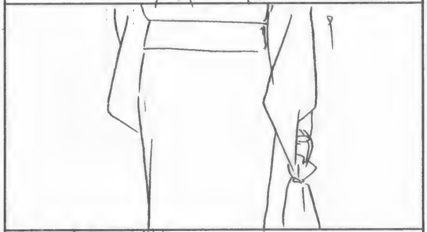
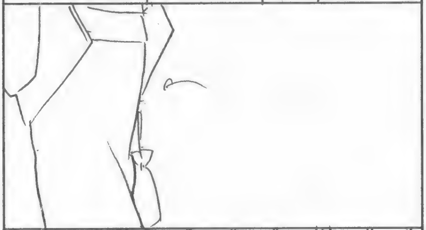
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
202		C.699 同ポ 感情的に反論する千代子 カット頭 少し身を乗り出してセリフ (セリフinまで0+6くらい)	㊕「私が逢いに行くの!」	1+18
203		C.698 同ポ 口調に鋭さが増す母	㊙「生きてるか死んでるかも分からないじゃないか!」	2+18
204		C.699 同ポ 言葉に詰まり (2+0)		
		両手で顔を覆う千代子	㊕「あの人はきっと生きてる!」	3+12
205		C.698 同ポ 母親の姿に詠子のイメージが混じる ※ 母親と詠子の顔の"中割り"の顔を想定していますが、あまりに変わらず、声をO.L.するだけに留めるつもり	㊙「お前だって、いつまでも若くはないんだよ!!」 (母から詠子の声にオーバーラップ)	2+18

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
206		C.699同ポ 涙をこらえて、理屈の通らない反論(笑)をする千代子.	(千)「いつか逢おう…って …約束だもの!」	3+0
207		C.698同ポ 完全に詠子にすり替っている	(詠)「小娘みたいな夢を見てる歳じゃないだろう!?」	3+0
208		C.699同ポ 何か言おうとして顔を上げる千代子. ※ラストに詰まるかんじで.		1+12
209		C.698兼用. 詠子の背後のガラス戸に.例の妖婆が映る. (先程まで千代子が映っていたのと同じ位置). ※フレームもう少し右に婆さん中央寄り.		2+0
210		C.699.同ポ 驚いて言葉を失う千代子		

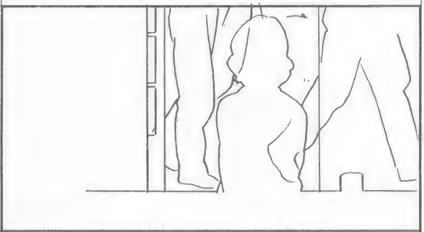
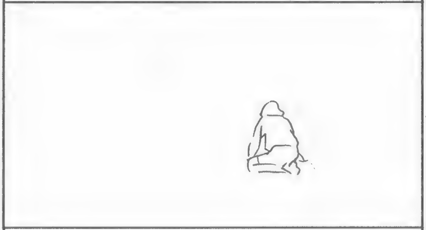
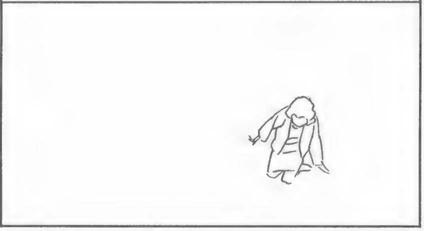
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
710		怯えて.上体を 引く. 710 . 711	(off)「カァーーット!!」	4+12
711		A.C. 撮影所内.セット. 茶の間のセットに 先程までと同じ状態で 対坐している詠子と千代子. 外された壁の奥に映画のスタッフ. 千代子.あたりを見回す.		
		カメラの横に 座っていた大滝が 立ち上がって. 2～3歩近づく. (ライトが届く範囲に 入る).	(セリフinまでフィクス) (大)「千代ちゃん. どうした？」	
		詠子が皮肉を 言い.千代子が 詠子の方に目を やる.	(詠)「やれやれ… 疲れるねェ…」	12+0
712		詠子がさらに 皮肉を重ねつつ.	(詠)「年寄りは ちょっと休憩させて もらうよ」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
712		さも疲れた…という様子で。		
		立ち上がる 右手に巾着を持っている		3+0
713		A.C 立ち上がった詠子が		
		左へOUT		
		気まずげに座っている千代子 助監督のオフゼリフを受けて 背後の障子の奥が少し明るくなる (ライトが灯ったということです) 同時に障子にスタッフの影が映る	助(off) 「休憩入りま～す」 ↗ざわめき大きくなる	(2+0)

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
713		スタッフが障子を開けて → OUT. ぼんやりした千代子とは対照的に周りはバタバタと動いているかんじです.	障子を開けきるまでにトータル6+0くらい.	
		千代子の奥に、井田と立花が見える. 千代子、ふと何かに気づき、あたりを探す素振りをする.	気づくまでにトータル9+0	
		ハッと胸元に手をやり卓袱台の下に目を走らせる.		13+0
714		C.711. 同ポ 次第に慌てた様子であたりを探す千代子		
		A.C.		4+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

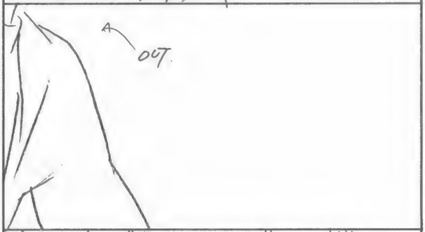
715

ハッと顔を上げて セリフ

マルチ ピン上

(〜0+12)

千「…鍵が無い!」



身を翻すようにして千代子OUT.

こんなかんじ

(〜トータル3+6〜12)

千代子OUTしつつ同時にピン送り

カメラを構えている井田と、驚いている立花。

立「そうだ… 確かこの時…」

立花、セリフ後半を言いつつ、背後に目を転じると、丁度詠子がスタジオの扉を開ける。外光に照らされる詠子。

9+12

716

撮影所内 廊下(昼 晴天)

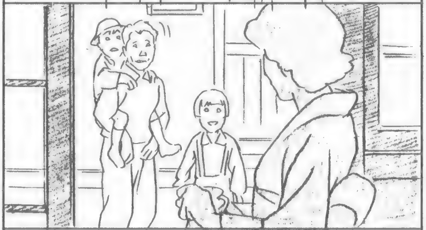
歩く詠子(Follow→)

手元を見つめてます

カット頭 IN有り

BOOKで詠子隠れているところからスタート.

( )

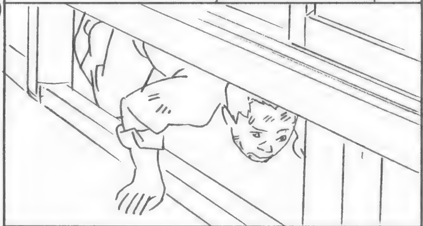
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
716		立ち止まる 詠子 手に光る物を持っている (鍵です)	(子役A) (off) 「詠子母さん!!」	5+0
717		屋外に子役らしき子供のお守りをしているゲンヤ 照れくさそうにお辞儀する	(子役A) 「もうお弁当!?」	
		子役(女の子)が詠子に近づく 詠子そそくさと鍵を巾着にしまう	(詠)「それどころじゃないのよ	
		顔をゲンヤに向け 嫌味な口調で セリフを吐きつつ OUT (左)	ゲンヤ君、ステージで大変よ お・ひ・め・さ・ま」	
			(ゲ)「…エ?」	12+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
718		取り乱し、大声を上げる千代子 撮影スタジオ、セット内	(千)「お願い、ちゃんと探して！あれがないとダメなの!!	
		カット頭 マルチボケでよぎる人（→OUT） （左の絵くらいからスタート） ＊暗い影の中にいると思って下さい		
		千代子の後ろを横切るスタッフ		
		千代子 画面左手に目をやり、駆け出して次カットへ		5+12
719		A.C セット内のあちらこちらで鍵を探すスタッフたち 千代子 カット頭すぐにBOOKの陰へOUT 千代子のOUTを待たずに…↓		

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
719		手前、大滝がIN 千代子の方を見ながら 歩いて来て、ふと気付く		
		正面を見て 大声で怒鳴る	㊅「何ボサッとしてんだ!! オマエも探せ、ゲンヤ!!」	5+0
720		C.715同ポ 立花 条件反射で 思わず背筋を 伸ばし返事を しかける その隣に丁度戸口から 顔を出したゲンヤ (c.715で詠子が出て行った ドアです)	㊐「ハ…!!」 (ゲ)「ハイ!! ただいま! …… 	
		威勢よく返事した ものの戸惑い顔に なってセリフ. ゲンヤの背後で ドアが閉まる.	……って、何を ですか?」	
		立花、振り返り 次カットへ A.C		4+12

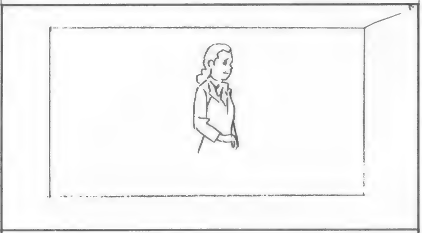
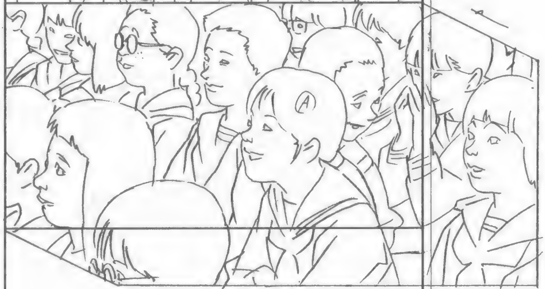
(　　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
721		立花と大滝に怒鳴られるゲンヤ ＊上手くすれば C.719とBG兼用できるかも	立 大 「千代子さん（大は千代ちゃん）の大事な鍵だ!!」	
		弾かれたように駆け出すゲンヤ。 立花と井田が目で追う。	ゲ「ハイ!!」	4+12
722		ゲンヤが去った方を見ている井田と立花。		
		立花を見て興味ありげに聞く井田。 立花セットの方を見たままセリフ。	(~240) 井「島尾詠子の仕業ッスか？…やっぱし」 立「実際のところは分からん…」	2+0
723		セットの廊下で埃まみれになって探すゲンヤ。 立花のセリフが終わるあたりで……	立(OFF) 「ただ、結局鍵は見つからなかったんだ」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
723		千代子がIN～一旦OUT ゲンヤが振り仰ぐ芝居をきっかけにPAN UP. FIX 5+12 PAN 3+0 FIX 5+0 T.U. 2+0 FIX 1+0 千代子、スタッフたちを見る 顔を上げるスタッフ スタッフの気持ちを代弁するような声が背後から聞こえる。 T.U. このセリフの最中。 ラストFIX ラスト振り返りかけて A.C	㋠「無くすはずないのよ！どこかにあるわ！」 (スタッフA)「千代子さん…一体何の鍵なんです？」 (OFF)(声)「そうそう！」「それ私も聞きたい！」「聞きたい聞きたい！」「教えて先生！」	16+12

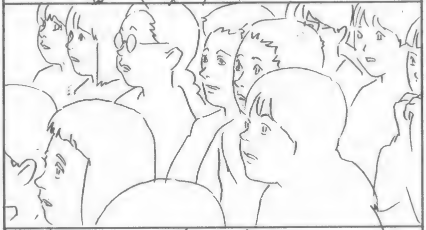
( )

No. 300　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
724		黒板の前で 振り返る千代子先生 [T.B] 後詰め → 女子高校の 教室		
		机に手をかけて 生徒たちに向かって 話す ✱ 英語の授業に するつもりですが 板書の内容は%0時 考えます	(~3+0) ㊥「それはね 先生の大切な人からの 預かりものなの」 ♪ざわめき大きくなる	9+12
725		嬉々として囃し たてる女生徒たち カットいっぱいPAN(←)	(生徒A) 「それって先生の 好きな人ね？」 (β) 「ステディよ！」	
			©「どんな人かしら？」 (A)「顔はどんな？」	6+0

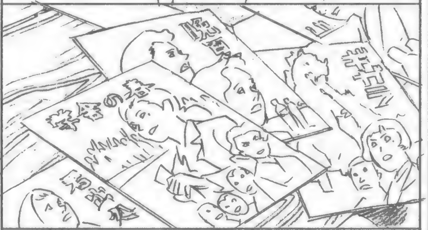
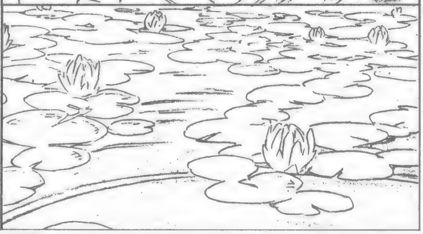
(　　)

No. 301

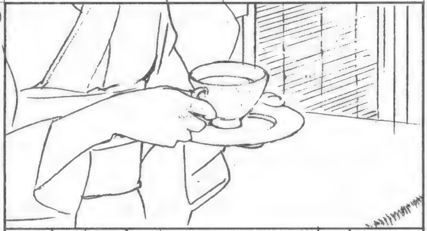
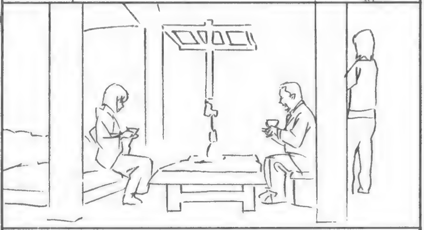
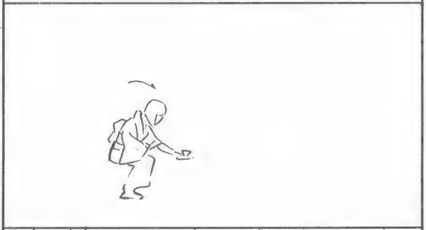
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
726		生徒たちの頭ごしに千代子 スライド有り。 黒板→ 千代子と机 止め 生徒 奥の列← 〃 手前の列←	生徒 Ⓓ「ハンサムかしら?」 千「どんな顔…?」 (off)「きっとハンサムよ、ね、先生」 (off)「俳優でいえばどんな?」	
			千「……どんな…」	
		千代子の顔がみるみる曇り。 顔を押さえようとして次カットへ		8+0
727		A.C 両手で顔を覆う千代子。	千「……うっ!」	1+18
728		シーンとなる生徒たち。 C.725 ラスト位置 兼用	千 (off)「…う……うう」	4+0
729		肩を震わせて嗚咽を漏らす千代子。 T.B.	千「…思い出せない……もう…顔も…」	6+0

( )

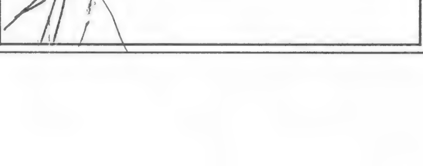
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
730		女生徒たちに混じって座っている井田と立花。 背景が教室から、山荘の応接室にO.L.しながら。 女生徒たちが前後の列の順にF.O.して行く。	(off) 千代子の嗚咽。	8+0
731		C.664同ポ (C.113兼用) 顔を覆って泣く老・千代子	千「あんなに好きだったのに……もう…顔も思い出せない……」	6+0
732		テーブルの上のパンフレット ＊表紙の絵やタイトルは暫定です。	＊嗚咽、F.O.	7+12
733		C.81同ポ 池の睡蓮 小雨が降っている		6+12

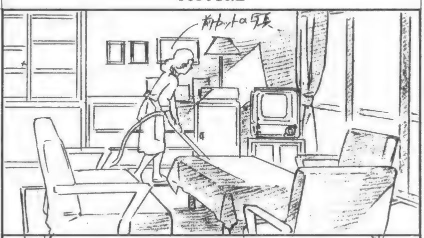
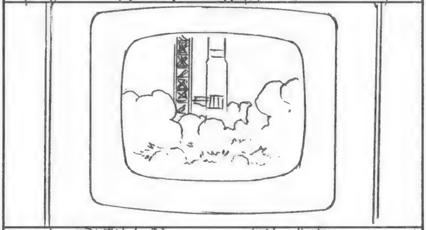
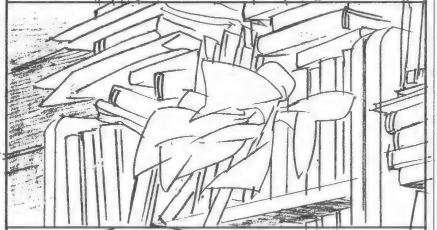
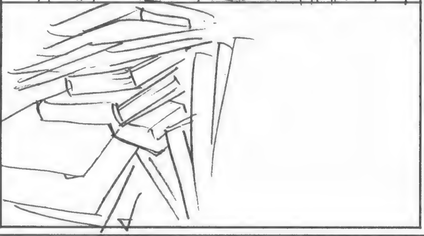
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
734		ティーカップを持つ千代子の手元。	(off) (千)「ごめんなさいね」 (off) (立)「あ…… いえ……」	4+0
735		C.79同ポ 沈んだ雰囲気に話題を転じる立花。	(立)「……このお茶…いい香りですね」	
		千代子 言いつつ ティーカップをテーブルに置く。 ラスト 上体戻す。 	(千)「庭のハーブなの 体にもいいんだそうね」	8+0
736		C.80同ポ A.C 上体を起こす千代子。 表情 微かに苦しげ。		
		軽く胸を押さえ 一転 明るい表情でセリフ。	(千)「さ…… 先を急ぎましょうか」	4+0

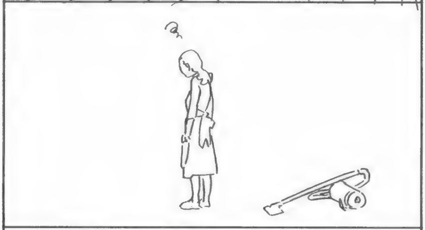
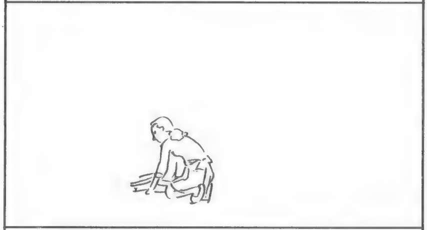
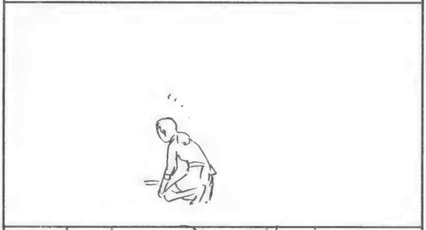
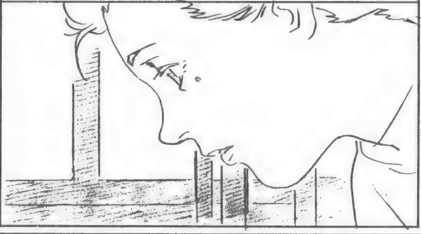
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
737		C.70同ポ 表情が曇り 口ごもり気味の立花	(立)「……あの… 鍵の紛失事件の すぐあと……結婚なさるんですよね」	7+12
738		C.87同ポ アルバムの頁の一枚を繰りながら さらりと口にする	(千)「ええ、大滝と」	2+12
739		驚いた顔の井田と 表情の暗い立花		1+12
740	 	千代子と大滝の結婚当時の記念写真(カラー) 千代子の隣に立つ婦人が千代子の母の遺影を手にしている T.B. 掃除機をかける千代子がIN (T.B. 14+0 FIX. 3+0	千代子(75) (off) 「鍵を無くして ぽっかり胸に穴が開いちゃったのね」 (★遠くから友人たちの祝福の声がF.I.) 「私も、とうに夢見る年頃を過ぎてた……」 ★掃除機の運転音が祝福をかき消すように近づいて来る。	17+0

No. 305　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
741		当時の大滝家（昭和37年、千代子39才） 茶の間を掃除機がけする千代子 テレビがニュースを流している（ロケット打ち上げ） 窓の外はだるさを誘う程の明るさ（T光）	☆テレビ音声	5+0
742		テレビ画面 ロケット打ち上げシーン	☆ニュースナレーション有り（未定　要資料） ☆一応　1962年2月打ち上げのマーキュリー6号（フレンドシップ7）の予定	4+0
743		陽差しいっぱいの廊下を掃除機がけする千代子の後姿 ☆窓の外　T光	☆テレビの音声が遠く小さく聞こえている	7+0
744	 	大滝の書斎 雑然と書籍や小物が並んだ本棚をハタキが形状に叩く こういう動き 積み上げられた書籍の一角が崩れる		4+0

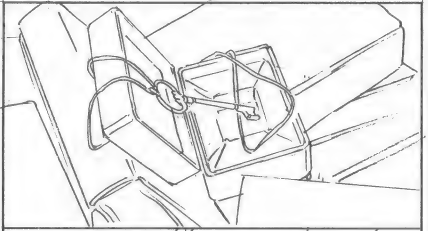
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
745		書斎 引き バラバラと落ちる 書籍類に飛びのく 千代子 ☆窓の外 T光		
		軽く悪態をつく	千「ッもオッ!!」	
		散らかった荷物を てきぱきとまとめる 千代子の手が		
		ふと止まる		9+0
746		固まる千代子の 横顔 怪訝な顔に変わる ☆窓の外 T光		6+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

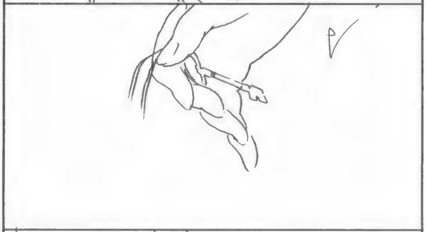
747



散乱した書籍に
混じって 紛失した
例の鍵.

鍵をしまっておいた
らしい小箱が
開いている.

(～3+0)



千代子の右手が
INして そっと鍵を
拾い上げる (OUT)

7+0

748

上体を起こし
鍵を見つめる
千代子.

その顔いっぱいに
疑惑が広がる.

千代子の背後で
ドアが微かな
音をたてて開き.
大滝が入って来る.

千代子. サッと立ち
上がりつつ 振り返る.

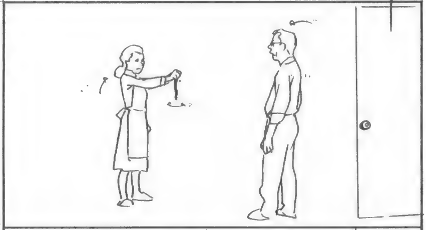
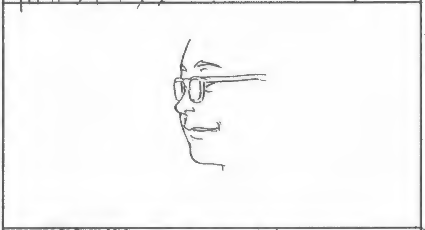
A C

7+0

(　　)

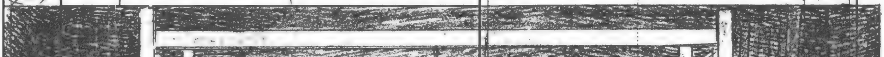
マッドハウス

C.745フレーム

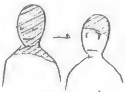
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
749		C.745.兼用 前カットから.A・Cで 鍵を大清の目の前に 突き出し、決然と立つ 千代子. 驚いて立ち止まる大清.		5+0.
751		事態を呑み込む 大清. 驚いた顔が.		
		だらしのない笑いに なる.		4+0.
750		鍵を突き付け. 大清を問い詰めるような 顔の千代子. ← PAN.（中もう少し短く?） 鍵.少し揺れ有り. ☆窓の外はT光.		5+0

( )

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
752		C.750同ポ（ラスト位置） 千代子の表情が 締めに変わる 窓の外のT光がF.OLして 闇に変わり、室内の照明も 薄暗く変わる。（BG O.L）	(～5+0)	
		詠子の声に振り 向く千代子。	(off) 詠 「あーあー ばれちゃった」	7+12
753	 大滝の書斎から、大きくT.Bして来ると、 そこは、撮影ステージ内に組まれたセットである セットの右端には、立花と井田。 詠子が、千代子と大滝に近づきながらセリフ。 ※カットいっぱい詠子を歩かせますが、 1歩1+12くらいのゆっくりした歩きです。		千「詠子さん……どういうこと!?」 詠「鬼才カントク様が書いた茶番劇さ… 売れっ子女優を手に入れるためのね… コソ泥で一役買わされた私も大バカさ」	16+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
754		詠子、立ち止まって |	詠「けど…	
		千代子の方に顔を上げる。  こんなかんじ。	あんたについちゃ、あたしも脛に傷持つ身でね」	6+0
755		C.752（ラスト位置）同ポ 詠子の言葉に疑問の千代子 目パチくらい。	千「……？」 詠「満州の占い師」	3+0
756		C.279の老人 T.B.（←→）しつつ [O.L]すると。 ※オプチカル。	[T.B+O.L]で2+0.	
		顔を見合わせる立花と井田。	詠(off) 「あんな小細工して…」	4+0

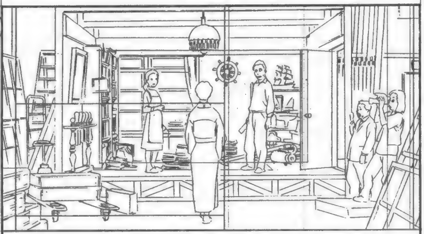
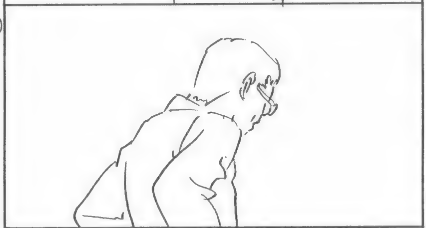
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
757	 	C.754.同ポ 不器用だが一応謝ってるつもりの詠子.	詠「ひどいことしたと思ってるよ… でも、あん時はどうにもあんたを追い出したくてさ!」	6+0
758		C.752.兼用 思わず身を乗り出す千代子.	千「じゃあ、あの人の行方は!?」	2+0
759	 	千代子なめて詠子. 詠子の言葉を受けて、千代子、サッと大滝の方を振り向いて次カットへ. A.C	詠「あたしが知るわけないさ… ところが、あの小細工を誰かさんに尻尾つかまれててさ」	8+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
760		A.C 千代子の厳しい(“見下げ果てた男!”みたいな)視線に目を逸らし		
		右手で首筋をポンポンと叩きつつ、大滝 歩いてOUT.		
		千代子、詠子に向き直る.	(千)「でも…」	6+0
761		詠子なめて千代子	(千)「私が詠子さんに何をしたっていうんです!?」	3+0
762		大声を出す詠子の口元.	(詠)「羨ましかったんだよ!!」	1+12

(　　)

マッドハウス

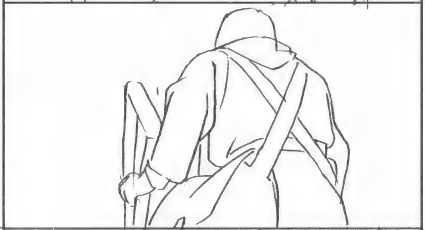
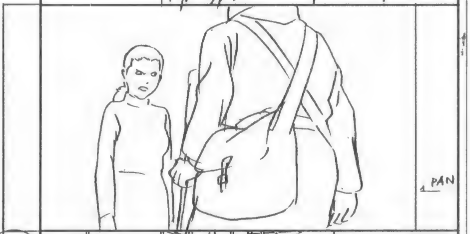
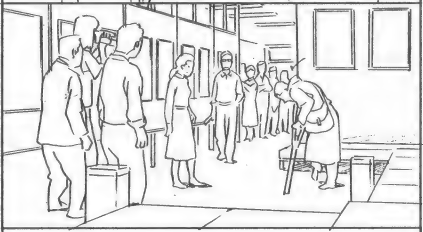
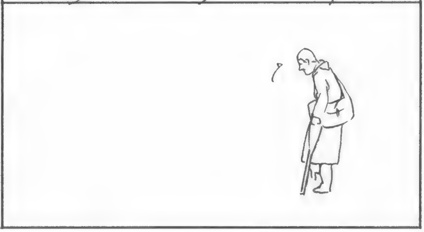
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
263		C.753.兼用 753より.気持ち寄り.	(前カットからセリフの余韻有り) 詠 「あんたの若さがさ たった一人の男を 追いかけてあんたは いつまでも若いまんま」	
		キャラのポジションは こんなかんじ.		9+0
264		C.752 兼用. 前カットの詠子の セリフを受けて. 内心"そんなことない" というかんじで少し 上体を引く.	詠(off) 「…… それに引き替え」	2+12
265		自嘲する詠子. ＊C.754を少し 引いたかんじの 絵です.兼用出来る かも. 	詠「こっちは老け役の 引き立て役…… あんたを憎む元気も もう無くしちまったよ」	7+0
266				

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
266		振り向く大滝。事の重みをちっとも分かっていない軽薄な笑いを浮かべている。	大「なあ…もう とうに過ぎた話じゃないか」	3+12
267		大滝なめて 千代子。大滝 ひるむ（肩が少し下がるかんじ） 絶縁を投げつけるような軽蔑の眼差し。	S.E.（遠くでドアの開く音） ガチャリ…	
		声の方を向く大滝。	(off) ゲ「…あの…」	6+0
268		一同の奥のドアから顔を出す人影。ゲンヤである。 エラソーに胸を張る大滝。	大「リハーサル中だ！ 後にしろ」 ゲ「それが…」	4+12
269		戸口のゲンヤ寄り 釈然としない口調。 千代子には不似合いな客だからです。	ゲ「千代子さんに お客…さんなんですが…」	5+12

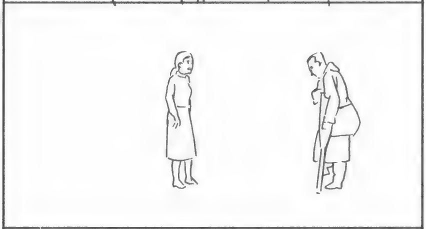
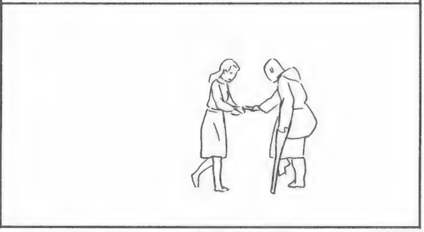
No. 315.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
770 付けPAN ここまでPAN 少し加速 ここまでゆっくりPAN このくらいスタート		銀映撮影所 内 ロビー。 ソファに腰かけた 白髪の老人。薄汚れた姿。 紙コップのコーヒーを 両手を暖めるようにして 持っている。（湯気有り）。 老人の左足は膝から 下は無く。脇に松葉杖 が置かれている PAN.UP. ラスト、傷男が顔を上げる のに、付けるかんじです		
		顔を上げる老人。 傷男である 右目は失なわれた らしく 白目だけで ある		ゆっくりPAN 2+12 〜 PAN 4+12. 付けPAN 1+0 Fix 1+0 9+0
771		戦慄する千代子		1+12
772		驚く立花、井田。 千代子の様子に 不審な顔のゲンヤ		1+12

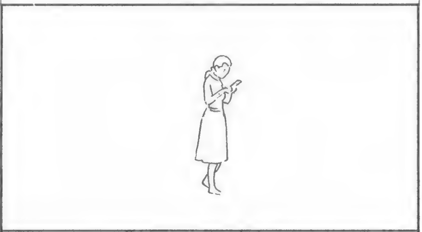
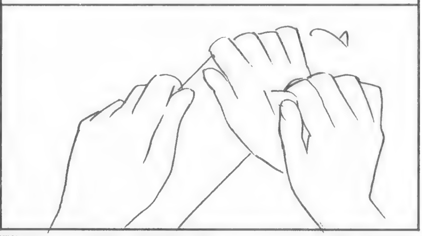
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
223		傷男の後姿なめて 千代子、右に大流 傷男、不自由な体で立ち上がる ＊画面外で松葉杖握る	(〜1+18) 傷「あんたが	
		立ち上がりつつセリフ。	藤原千代子さんだね。」	
		千代子に一歩近づく傷男 身構える千代子	千「今度は何のつもりです!!」	7+0
224		一同引き 頭を下げる傷男 ＊事態を見守る一同 奥にヤジ馬	(〜4+0) 傷「申し訳ない…… 私を知っているんだね？」 千「帰って!!」 (〜10+0)	
		体を起こす。 A·C		14+0

No. 317 マッドハウス

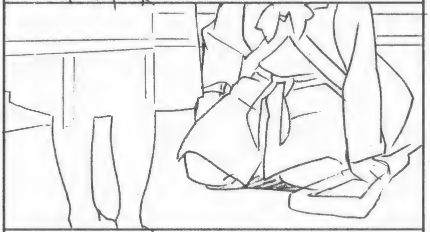
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
775 (A)		A.C 前カットを受けて上体を起こし。 松葉杖に体重移動。 語る傷男。	(~1+12) 傷「憎まれるのも道理です… 戦前、権力の走狗として、非道を尽くしたのも同じ私… (off) 今はせめてもの	10+0
775 (C)		懐に手を入れる	贖罪のため…こうして旅を続けております」	3+12
775 (B)		C.771.同ポ。 恨みのこもった目で見据える千代子。		3+12
776	 	C.774.同ポ 傷男、言いつつ懐から手紙を取り出し、千代子に一歩近づく 千代子、傷男の"絵描きの見・現・犯"という言葉に反応し、傷男に近づき、手紙を受け取る	傷「これは、絵描きの見・現・犯があなたに宛てたものです」	

( )

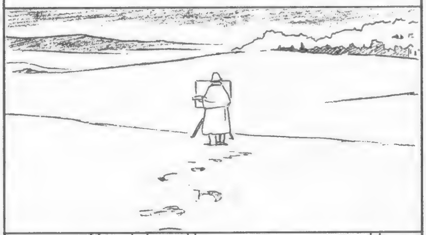
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
276				4+12
277		"鍵の君"からの手紙.	(源)(off).「一言……恩のあるあなたに、せめてお礼を言いたいと……」	3+12
278		万感胸に迫る千代子.アップ.		
		ハッと息を呑むようなかんじ		4+0
279		C.277同ポ 手紙の封を切る.		1+0

( )

No. 319　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
280		封を切る音を聞いて 脱力したように 傷男が膝をつく		
				
		土下座する傷男	(傷)「本当に申し訳 ありません!」	5+0
281		傷男のことなど 気にかけもせず 一心に文面を 追う千代子 歓喜と切なさが 入りまじった表情が	(4+0)	
		驚きを伴ない、	(~6+12)	

(　　)

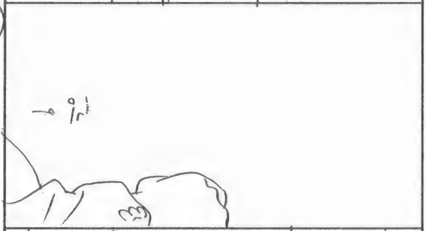
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
781		感極まる千代子 感情の高ぶりに 思わず天を仰ぐ PAN・UP+T.B		(~9+12) 10+12
782		C.161の絵 インサート（カット頭 白コマから6Kくらいの下り） 前カットのPAN・UPの 勢いがこの絵につながる かんじです. T.B (———)		1+0
783		O.L 放心したような 表情から一転 我にかえり		(1+12) (~2+12)

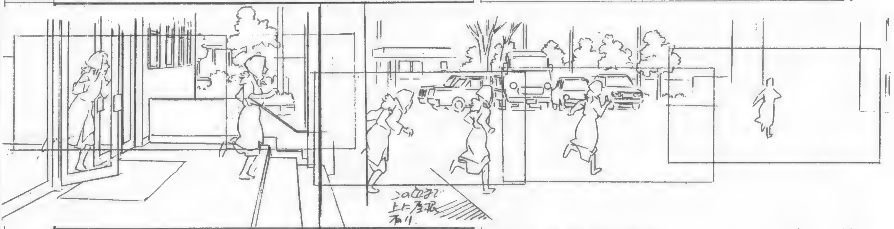
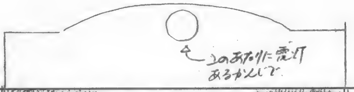
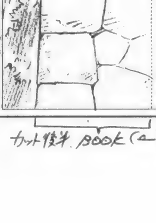
No. 321 （前のコマのフレーム右端） マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
283	突然駆け出す千代子（→付けPAN） その先に大滝が立っているが押しのけるように走り去る		（大）「千代子？」	5+12
284		唖然として見ているゲンヤ。 驚いている立花、井田。 （立花は、これまでの千代子の昔語りと、"ゲンヤ"の時に見たこのシーンがリンクして色々と複雑な意味で深い驚きの表情、ということになります） 慌てて千代子の後を追う立花。		（～1+12）

（　　）

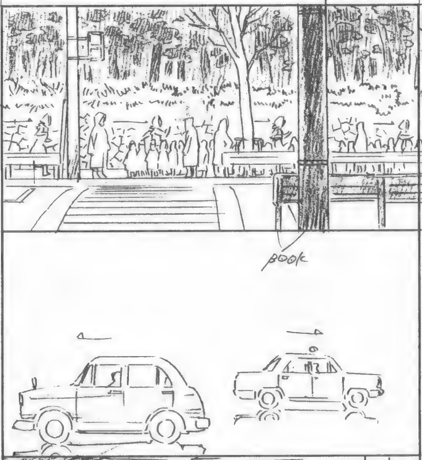
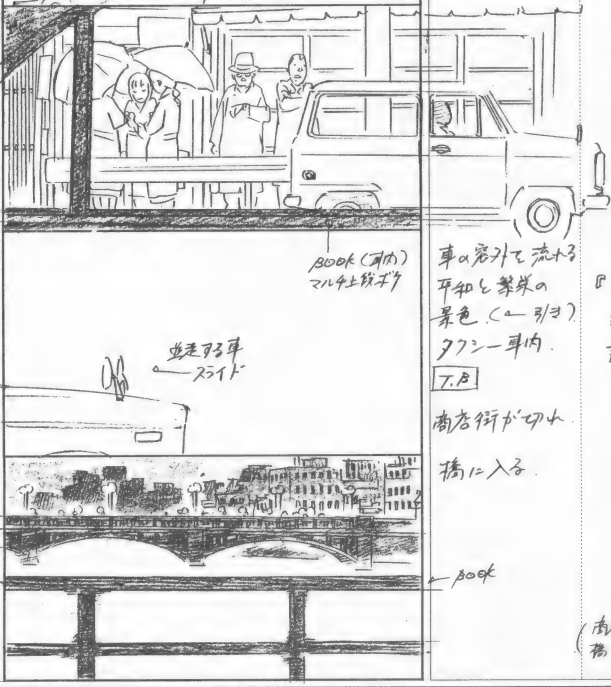
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
284		井田が続く。 2人OUT。 事態をさっぱり 呑み込めないゲンヤが、 呆然とした顔で歩き かけるが、ふと 足下に気づく。		
				5+0
285		走って来た圭花 INして。		
		立ち止まり 振り返る。 井田はちょっと遅れて INして走り去る（OUTさせたい）		2+0
286		土下座したままの 傷男の傍にしゃがむ ゲンヤ。		4+0

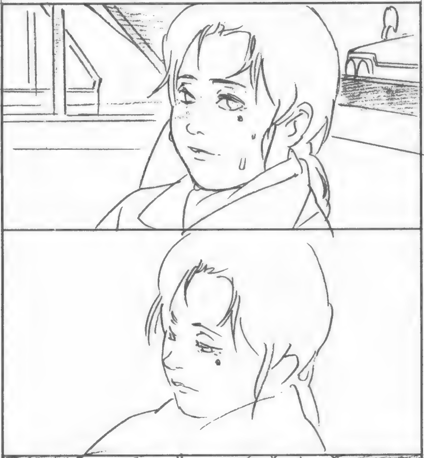
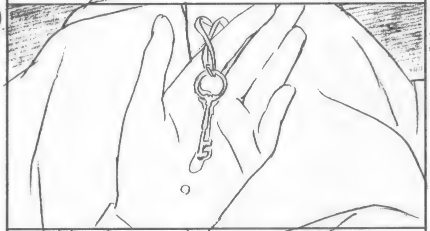
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
287		銀映撮影所. 玄関 飛び出して行く千代子. 付けて(→)PAN. 外はどしゃ降りの雨. カットラスト. 千代子. 雨に溶け込む ように. シルエットになる. ＊雨の処理一考.	(SE) ザァァァァ	5+0
288		雨の中走る千代子 Follow(↑) セリフ途中から "鍵の君"の手紙の 文面が O.L. (→スライド) ＊処理一考 次カットの頭にひかぶせたい.	↓ 以下雨続く 男(off. 手紙文面) 『助けてもらったお礼を 出来なかったことが 心残りでなりません ……	7+0
289		走る千代子. Follow(→)	すぐにでも逢いに 行きたいのですが	3+0

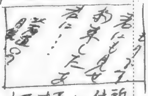
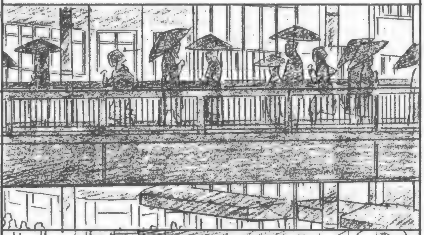
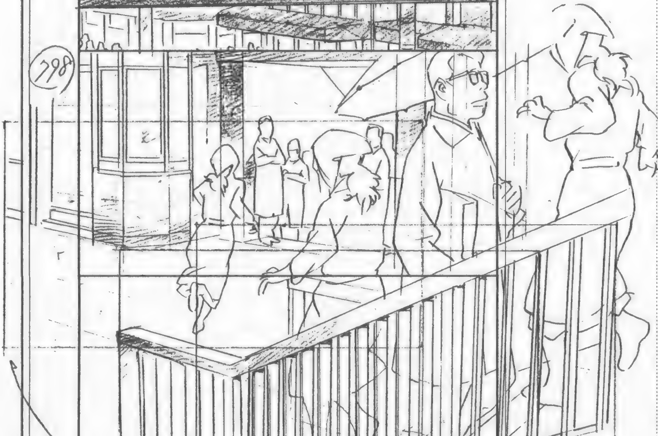
カット後半 BOOK (←IN.)

(　　)

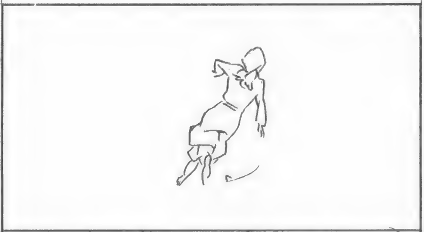
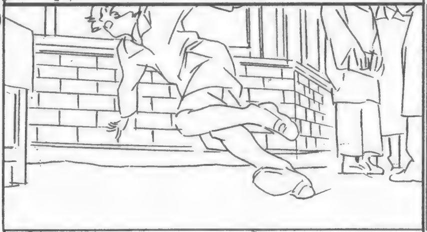
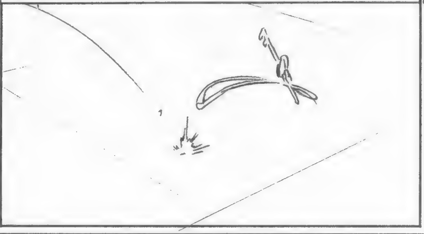
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
290		信号待ちの小学生の一団。 カットいっぱいPAN(←)。 千代子INして、まっしぐらに駆け抜ける(←OUT) 車IN.OUT.	男(off) 『戦争は日々激化の一途を辿っています』	4+0
291		車の窓外を流れる平和と繁栄の景色(← 引き) タクシー車内. T.B 商店街が切れ 橋に入る.	『いつか戦争が終わり、真の平和が訪れたら…』 商店街 2+12 橋 2+12.	5+0

( )

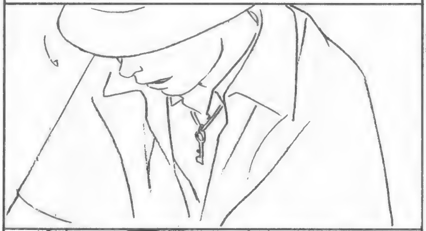
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
292		タクシー後部座席に座る千代子 ぼんやりと窓外を見ている 窓外の景色 引き (→) 愛しげに手元に目をやる	男(off) 『僕は故郷の北海道に帰って あの絵を仕上げるつもりです』 ↓	6+0
293		掌の鍵 (千代子主観) 止メ		2+0
294		C.292 同ポ 車が止まり ふと前方に気づく 隣の車がスライドで停止		2+0
295		渋滞の列 車の陰から走る千代子IN ↙こんなスライド	↓ 『いつか あの星空を君にも見せてあげたい…』 カット後半 千代子顔 アップ ↓	5+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
396		前カット 寄り。 走る千代子 望遠Follow (↓) 手紙文面 F.O.  文面末尾に住所	『約束したあの場所で 君に…』	7+0
397		歩道橋 横切る 千代子 IN.OUT. (←)		2+12
398			千代子足元からIN. 歩道橋を駆け 下りて 右手の 地下道入口に 走る	

マッドハウス

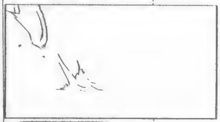
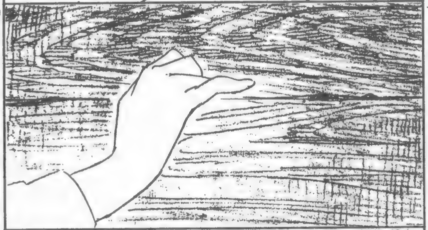
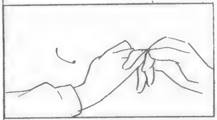
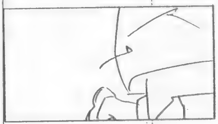
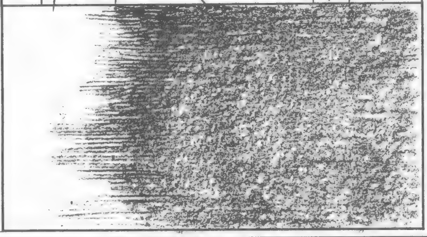
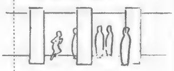
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
298		が濡れた歩道に足を滑らせる		2+12
299		A.C1 転ぶ千代子アップ 固く目をつぶる	(千)「あ!!」	0+6
300			C.210 同内容 を使い回し	0+18
301		歩道に跳ねる鍵		0+12

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
802		ハッと顔を上げる 千代子 (ﾌ)付けてPAN ╱ ラスト止めきらない.	男(off) 「これかい？」	1+6
803		C.172 同内容 ※使い回し.	男「一番大切なものを開ける鍵さ」 ↓次カットにこぼれる.	2+0
804		C.186. 同内容(前半) ※使い回し	千(off〜on) 「一番	1+18
805		C.173 同内容 ※使い回し.	大切なもの？」	1+12

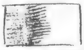
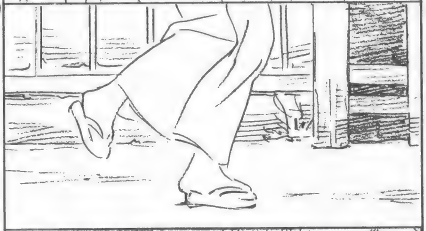
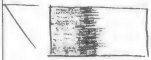
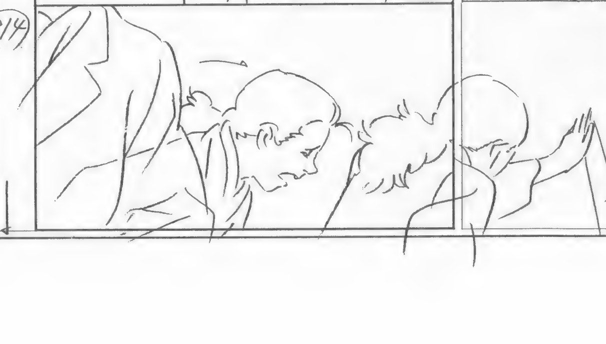
(　　)

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
806		C.210.同(後半) ☆使い回し. 	④(off) 「明日までの 宿題にして! 約束よ!」	1+0
807		C.176.同. ☆使い回し. 		2+0
808		C.187.同. ☆但し.鉢花.手前は無し.  千代子OUT		1+12
809	 	地下街.人ゴミの中 走る千代子.Follow(→) ☆こんな場所  手前の人影(らしきもの) でワイプ. ☆マルチボケ.		3+0

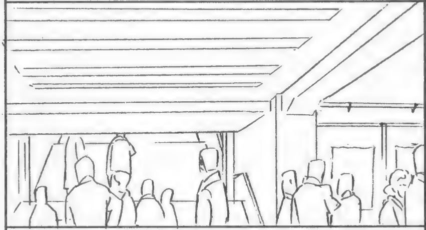
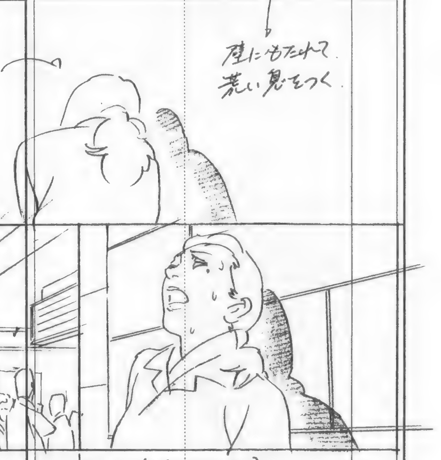
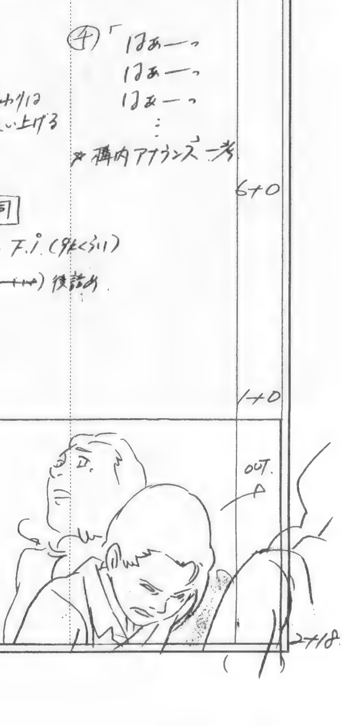
( )

No. 330　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
810		C.208 同 ※カット頭 ボケシルエットよぎる  		1+12
811		 C.494 同	※カット頭にワイプ	1+12
812	 	 	C.501. 同	1+0
813		C.221. 同 		0+12
814			駅構内 人の陰から 転ぶように INして	

(　　)

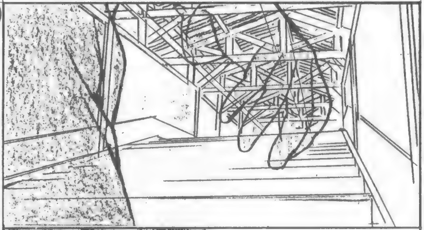
マッドハウス

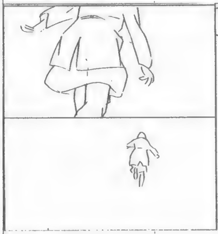
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
814	  構内の絵、テキトーです。 要資料	↳ book（スライド〜有り） 壁にもたれて 荒い息をつく ☆カット終わりは 息を吸い上げる ところで	㊥「はあーっ はあーっ はあーっ ： ☆構内アナウンス一考	6+0
815		C.640.同 白コマから F.I.（9k くらい） T.B.（←→）後詰め		1+0
816	C.814.同ポ （814.ラスト位置） 苦しさをこらえて 走り出す。千代子 OUT. ☆発車を知らせる アナウンス欲しい。			2+18

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

817

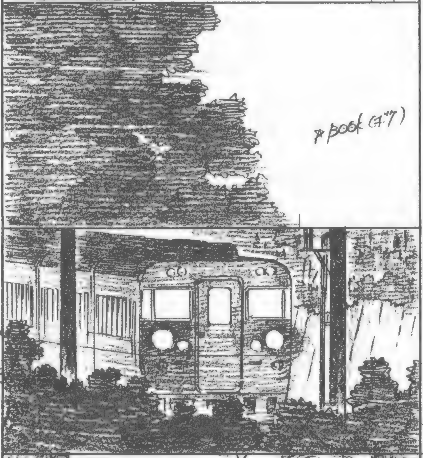




C.216 同

2+12

818



疾走する列車. 夜. Follow(→)

カット頭. BOOK(セルナメ)

陰からIN気味

O.L.
(9kぐらい)

ガァァー…ッ

3+12

819

列車内.
デッキで壁にもたれ
ぼんやりと窓外を
見ている千代子.
BG ヒキ(←)
列車の外側も影が
何かが流れているかんじ
欲しい.(実景+BOOK重ね?)

(PAN.)

千代子の背後.
ジャージ姿の女子高生の
一団がIN
先頭の子が友達2人に
冷やかされている

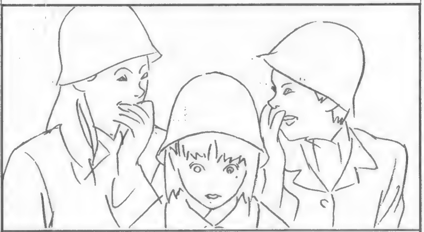
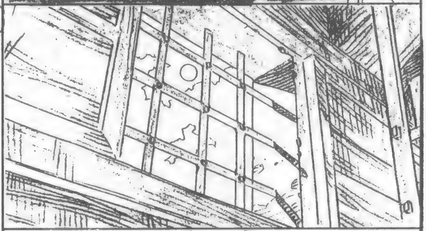
女子1 「ねェ.
教えてよォ!」

女子2 「いるんでしょ.
好きな人!?」

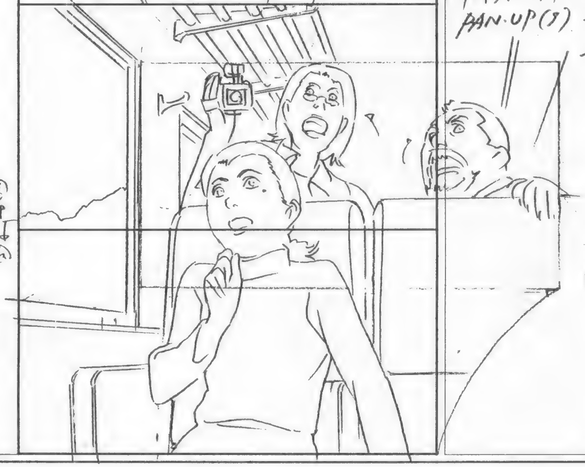
5+0

次カットと6~9kくらいの O.L.

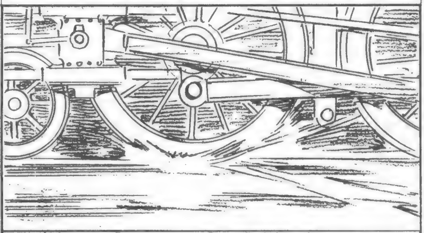
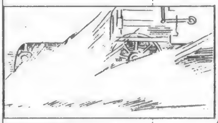
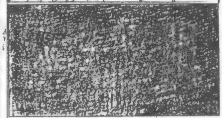
(off.) 千代子の友達A.B 『キャアキャア』

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
820		C.178 同	友達A.B 「初恋!?」	1+12
821		列車の窓に映った千代子が振り返る。 T.B. (—+—) 後詰め		
		雲間からぽっかりと月が出ている ※次カットと月の画面上で位置を合わせる。	男(off) 「満月は明日だな」	4+0
822		C.165 同	O.L (0+18くらい) 男(off) 「14日目の月には	2+12
823		C.167 同	まだ明日がある」	1+18

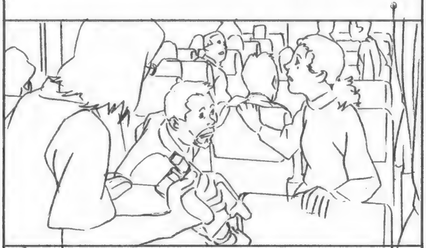
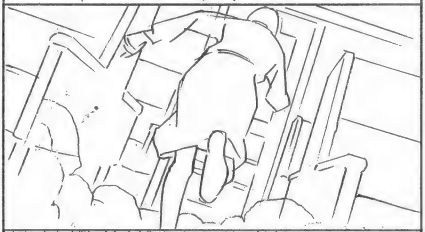
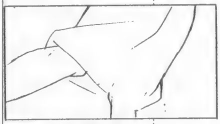
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
824		C.168.同	男(off)「明日という希望がね」	2+12
		O.L (1+0)		
825		列車内 鏡を見つめる千代子 ＊前カットと目の位置合わせる		
		突然のブレーキ音と共に 画面動	(SE) (~2+0) キキキキ…	
		ハッと身を起こす千代子に付けて PAN.UP(?) 千代子の後ろの席に井田と立花	井「馬鹿ちゃいますか!?」 立「バカ!」	6+12

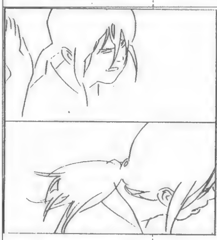
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
826		C.292(B)同. 	(SE) ギャア… ドカッ。 ガシャン	1+0
827		C.292(A)同	(千)「キャア!!」	0+12
828		 画面.BL. C.350 素材兼用 妖婆 F.I～F.O スーパー 7B		3+0
829		ハッとなる千代子 列車の急ブレーキで 軽く頭を打った後、と思って下さい。 カメラ前 立ち上がりかけて 次カットへ	アナウンスの声 「乗客の皆様、」	3+0

マッドハウス

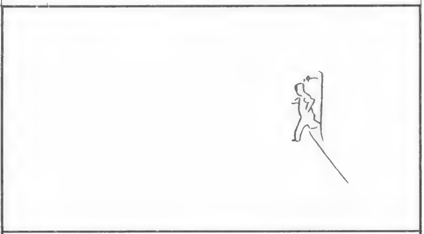
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
830		A.C 立ち上がる千代子 心配げに見ていた 立花がちょっと 驚くかんじで目で 追う。	(アナウンス) 「本線前方に おいて土砂崩れが 発生した影響で 臨時停車致して おります」 (カット内に収まらなくて可)	
		千代子 アナウンスの 声に少し耳を傾け		
		気ぜわしく オーバーを拾い 上げ(BOOKの陰) 走り出す(OUT気味)		5+0
831		 C.304.同.		1+0
832		C.600.同.	㊀「開けて!」	1+18

マッドハウス

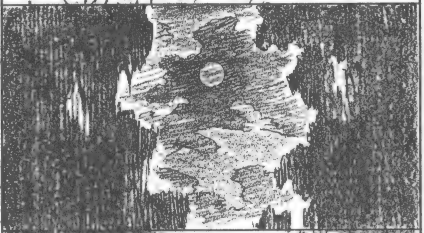
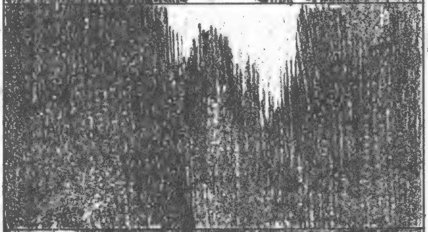
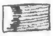
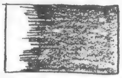
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
833			C.604.同 ※601ではありません パン… パァン	2+12
834		列車から地面に 飛び降りる千代子 (画面いっぱいから)		
		着地して少し よろけつつも 草 砂利		
	 	走り出してOUT.		2+12
835		停車中の列車 その前方、ライトに 浮かび上がった 土砂崩れが行く手を 塞いでいる. 左手の森(BOOK)に 駆け込む千代子. (BOOKの陰にOUT)	(乗務員)「この下の国道に バスが迎えに来ます!! 乗客の皆様、申し訳 ありませんが係員の 指示に従い徒歩で 移動して下さい」 (このカットに収まらなくて可です)	

( )

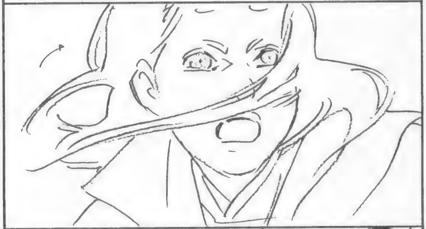
No. 338 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
835		千代子、OUTしてから、立花、続いて井田が後を追って、車輌から飛び出す。		
		千代子を見失い、あたりを見回す2人。		5+0
836	 	真暗な森の中、斜面を下りて来る千代子、(IN↙) 方向を右に転じて走ってOUT。 カメラ少し付ける。 森の中、霧ってます。		7+0
837		森の中、駆ける千代子 Follow (← 気持ち右下がり)。 月光が微かに照らす。 手前にも木々。		

( )

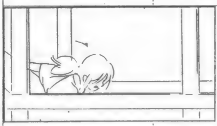
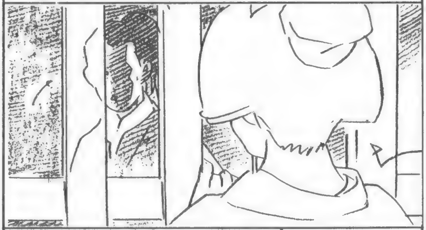
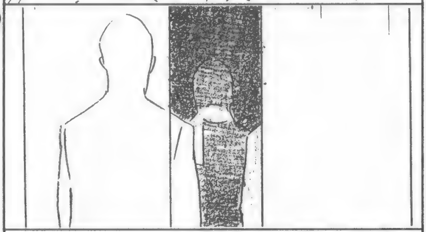
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
837		月明りが翳る。 ＊処理一考。		4+0
838	 	雲に隠された月。 画面左右、流れる木々のシルエット。 カット尻、真黒なシルエットに覆われる。	婆(off) 「わぁーーっ はっはっはっは…!」	5+0
839		闇を駆ける千代子 Follow(→) 樹木越しに妖婆が現れては消える (F.I~F.O) ＊同時にたくさんの妖婆が映るわけではありません。 <  ワイプ。	婆「哀れよのう」 「定めからは逃がれられぬ」 「未来永劫｜(次カット)恋の炎に身を焼く定め!!」 ＊セリフの定位不安定なかんじです。 セリフ次カットにこぼします。	7+0
840		走る千代子 寄り。 Follow(→) カット尻、ワイプ。 		3+12

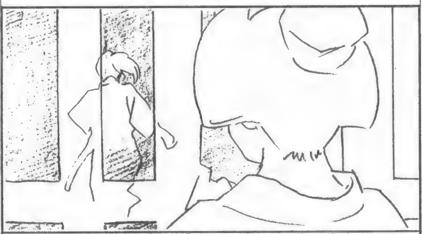
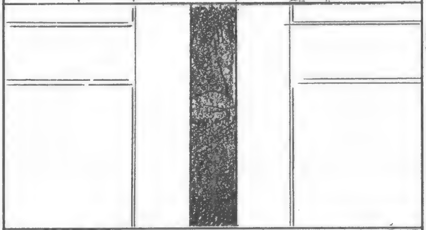
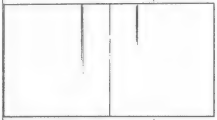
No. 339-(B) マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
841 (A)		C.464同	(千)「あの方が都に!」	2+0
841 (B)		C.386.同.	(千)「必ずや殿の元へ!!」	2+0
841 (C)		C.598同	(千)「待って!」	1+0
841 (D)				C.189.同 1+0
842		C.466同	(千)「あ!」	0+18

( )

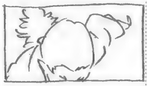
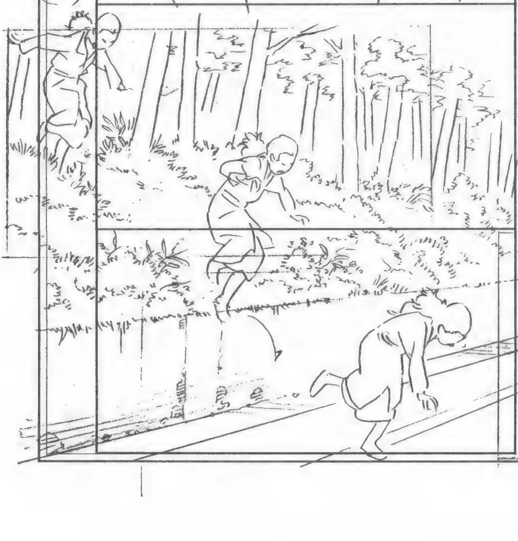
マッドハウス

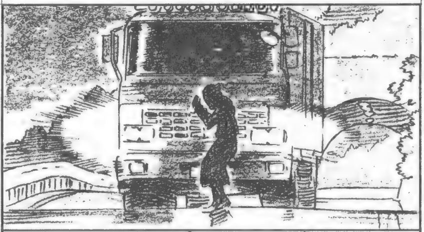
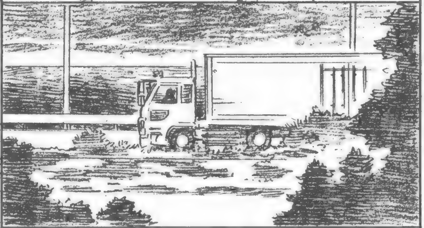
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
843		 C.596.同.	㊀「待って！」	2+0
844		C.513.同	男「いつか 約束した場所で！」	2+0
845		C.392.同 		1+12
846		C.597 同		1+0
847		C.840.同.	㊀「はぁっ はぁっ …！」	1+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
848		C.862 同		1+0
849		C.467 同	(千)「後生です」	1+12
850		C.599 同 	(SE) ガシャァァァ!…	0+18
851		C.352 同		1+12
852		C.704 同	(千)「あの人はきっと生きてる!!」	1+18

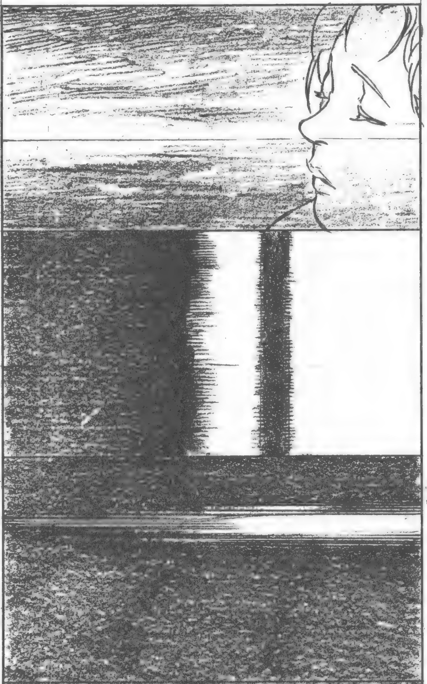
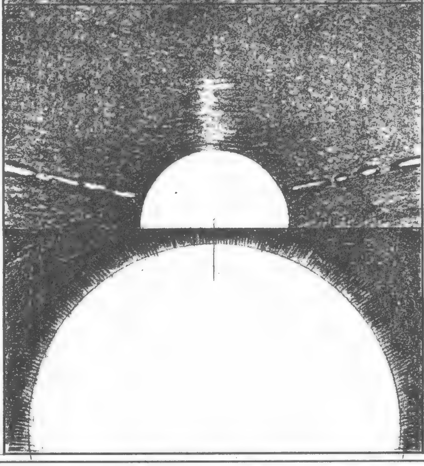
( )

マッドハウス

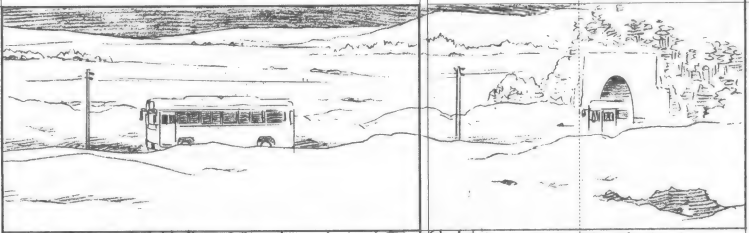
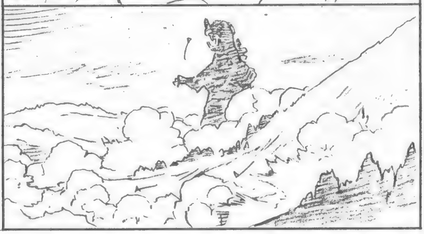
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
853		C.837同	④(off) 「私が逢いに行くの!」	2+0
854		C.579同	④「今だって毎日あの人のことを好きになってくんだもの!!」 ↓ 後半こぼれ可	2+0 (2+18) 0.L (0+18)
855		ヘトヘトになりながらも走る千代子 Follow(↘) 	ラスト、足を取られて次カットへ	4+0 (4+18)
856	 	森から道路に飛び出す千代子 └ 付けてPAN その千代子を車のヘッドライトが照らす。	ゴオオオオ キキキキ!!"	(　　)6+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
857		千代子の奥に停車している大型トラック。 ☆電飾等派手な飾りつけにしたい。要は"トラック野郎"です。	...！	2+18
858		見上げる千代子。		2+0
859		トラックの運転席から顔を出す立花。助手席に井田。	(立)「訳有りだなマダム!! 乗りな！」 (井)「社長、似合いますね」	6+0
860		海沿いの道路を爆走するトラック Follow (←) 激しい降雪。	(立)(off)「すかしとるな!」	3+0
861		トラック運転席内。BG(←)ヒキ。はしゃぐ立花とカメラを構える井田。後部シートに疲れきった千代子。	(立)「北海道なんざ 一ッ飛びだ！」	2+12

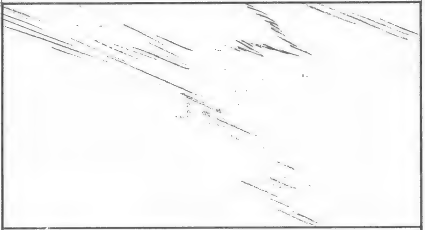
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
862		ガラス窓に映る千代子の横顔 カット頭 うっすらと目を開けていて ゆっくり閉じる カット頭から PAN(←) トンネル(BOOK) IN(←) 暗闇の中 トンネル壁面の灯が流れ過ぎる	窓の外は雪が降りしきる冬の夜，BG(→)ヒキ 電柱 IN.OUT	4+0
863		O.L トンネルの出口(弱めの光がDF)が近づいて来る (作画) 出口が画面いっぱいに来る ラスト もう少し 寄る		OL.(3+0) 2+0

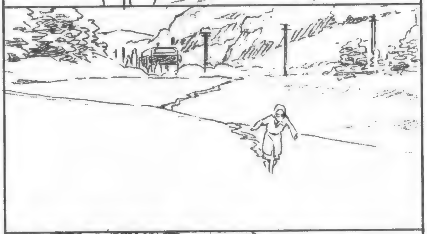
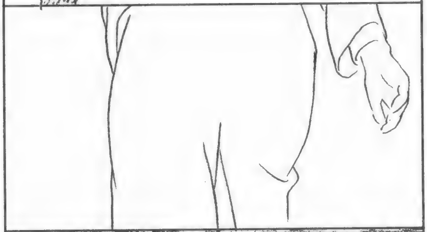
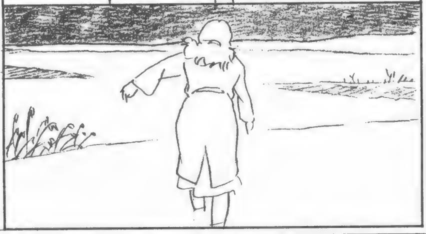
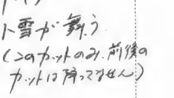
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
864		トンネルを抜けるとそこは 雪国だった。 降り積った雪の間をバスが走る (←)Follow		2+12
865	 	バス車内. 色とりどりのスキーウェアに 身をつつみ楽しげな乗客たちに 混じって、サングラスをかけ窓外を 見つめている千代子. BG(窓外)(P)上H カットいっぱいPAN(←). 手前の客が前方の 何かに気付いたかんじで 不意に立ち上がり、周りの 2〜3人と千代子もその 視線を追う.		4+10
866		千代子寄り. 目を瞬いて大きく 開く.		1+12
867		雪山の向こうで 怪獣ギガラが 大きく立ち上がり 咆哮する. 手前の山から雪崩 ※構図一考.	『ギャオオオ!!』	2+12

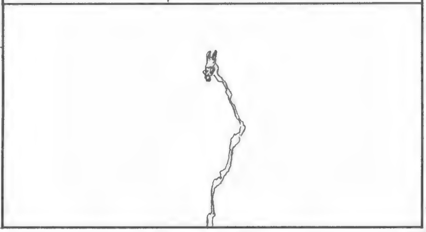
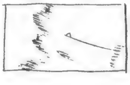
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
868		画面を覆う雪煙 激しい流れです(←)		
		雪煙の流れの中から 自衛官(佐官級)姿の 立花が現れる(短いF.I)		
		声を限りに叫ぶ 立花自衛官 その背後には 超兵器(群)の 砲列、キョロキョロと 周りを見回す 井田	(立)「危険です! 千代子博士!!」	3+12
869		荒れ狂うギガラを バックに叫ぶ 千代子 越の雪煙	(千)「あの人が 待っているわ!!」 「ギャオオオ」	
		言うが早いか 駆け出す (8K O.L.)		3+0

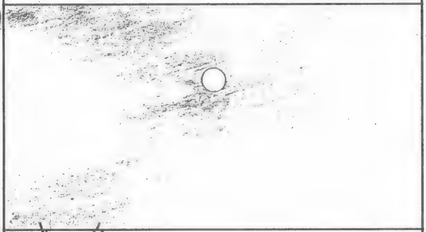
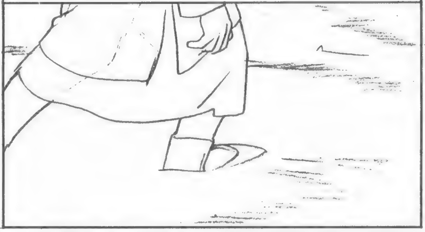
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
870		雪崩に行く手を阻まれているバス 乗客と、気の弱そうな運転手が、唖然とした様子で見ている。（止メ）		3+0
871		雪原を漕ぐように歩く千代子。奥に前カットのバスが見える。		3+0
872		山道を歩いて行く千代子 小雪が舞う（このカットのみ。前後のカットは降ってません）		4+12
873	 	雪原を歩いて行く千代子 カットいっぱい T.B  雪煙（ブラシ）が残る		3+0

( )

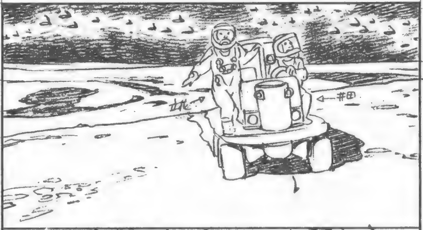
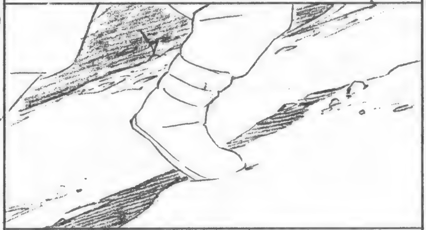
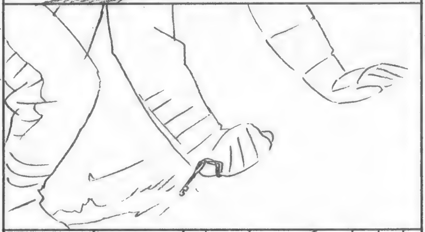
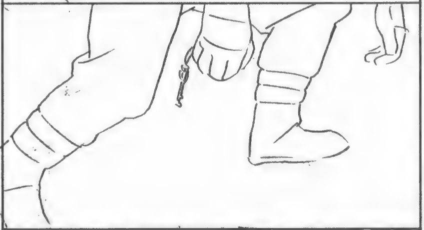
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
874		雪原を漕ぐ千代子（フカン） Follow（→） かなりしんどそうな顔で。	このカット中半から、工事の音のような金属音 F.I	5+0
875			…ガーン ガーン ガーン ガーン ガーン ガーン	
		苦しげに歩いて来る千代子。 不意に胸を押さえて立ち止まる （心臓です） 膝から力が抜けるかんじで倒れる（OUT）	→歩きに合わせて金属音 一歩一歩と大きくなり、最後の一発を特に大きく 	9+0
876		雪原に倒れている千代子（フカン） P ほんの少しPAN UP  O.L (2+12)	雪煙（IN・OUT） 男（off） 「あの大きくて真白な風景の中にいると…」	6+6

（　　）

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
877		倒れている千代子、寄り。 空を見つめている ←	まるで遠い星にいるような、不思議な気持ちになるんだ」 (セリフ次カットまでこぼれるくらい)	4+18
878		昼間の月 薄い雪煙(ブラシ) →引く		2+12
879		力強く進む千代子の足元。 カット頭 IN気味で一歩。		
		その後 Follow (→) 雪煙引く(←)	※このカットIN後 千代子の荒い息使い… ↓	4+0

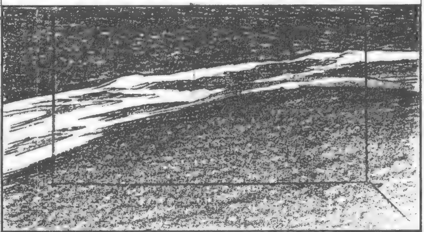
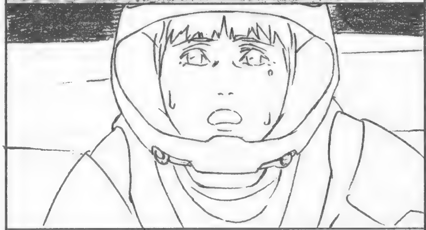
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
880		必死で歩く千代子の アップ（アオリ）Follow（←） 天上に星の月 キャラの手前と奥に 雪煙（ブラシ）ヒキ （奥 ← （手前 ←	(千)「はあっ… はあっ…」	3+0
881		C.879 兼用 歩く千代子の足元 Follow（→）		
		濃い雪煙が 画面を覆い（←） OUTすると…		
		月面を踏んで進む 千代子の宇宙服に 変わる（同様にFollow続く） ※月の重力については リアルに考えませんので 普通に歩かせます		6+0
882		月面を歩く千代子 Follow（→） 千代子ナメ スライド（←）	(千)「はあっ はあっ ……」 (士)(off) 「千代子様！」	3+0

マッドハウス

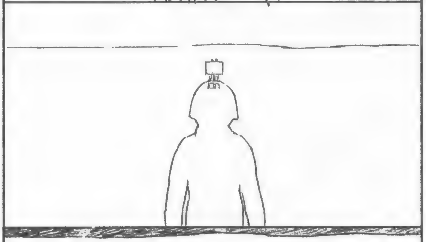
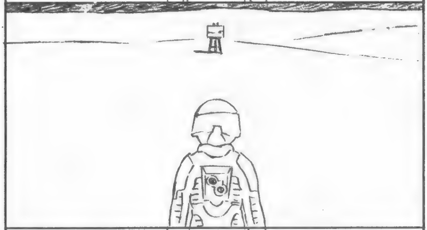
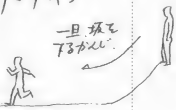
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
883		月面車に乗った立花と井田. Follow (↓) BOOK (↑) ヒキ. BGはほとんど止メ. 奥の宇宙空間を謎の円盤群が横切って行く (← スライド).	㊤「戻って下さい！博士!!」	2+12
884		坂を踏む千代子の足 (IN) が.	ズザッ (月面ですが音有りです).	
		ズルッと滑り. 手をつく. その右手に"鍵"が握られている.	㋠「あ！」	
		休みもせず再び登って行く. OUT.	㋠「あの人にこの鍵を！」	5+0
885		斜面を上がって行く千代子.		3+12

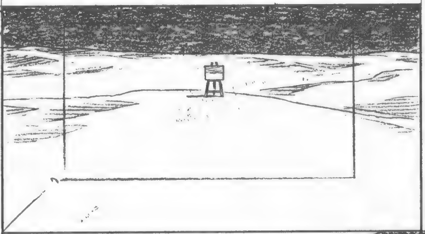
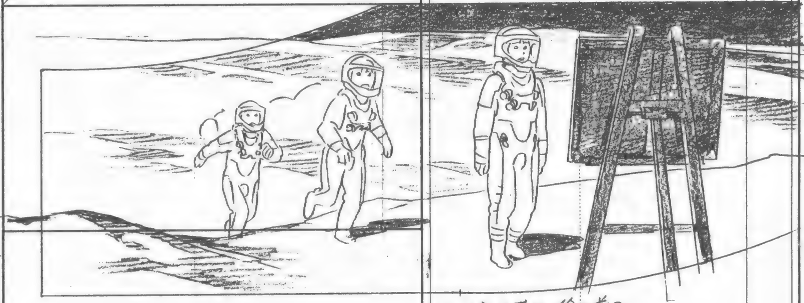
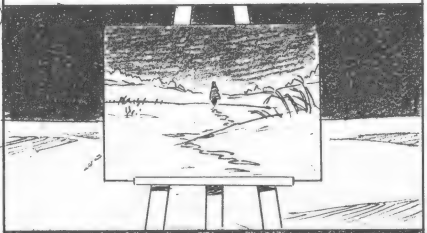
( )

マッドハウス

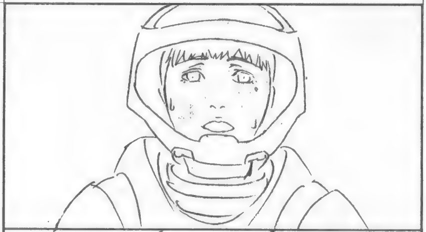
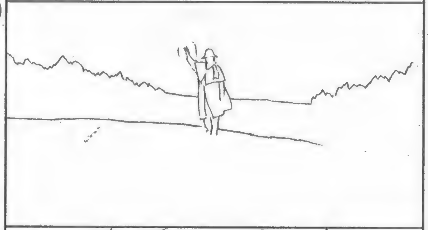
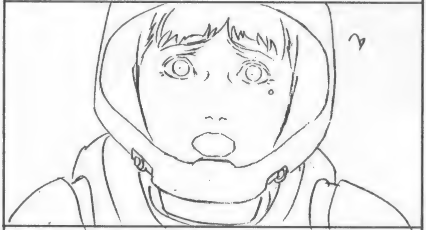
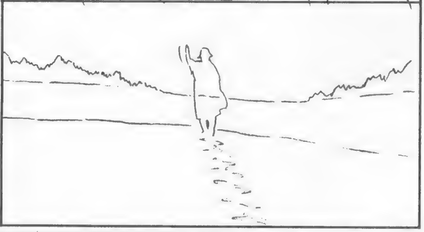
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
886 BOOK 引き		稜線が近づく (千代子主観風) T.U.		3+0
887		懸命に登る千代子 Follow (↑) BOOK 引き 全影から → 明るくなる		3+0
888 引き		稜線に近づく千代子の後姿 (BGは C.886を大きめに作成して兼用)		2+0
889		斜面を上がりきって 立ち止まる千代子 (IN気味)		
		上がりきって		

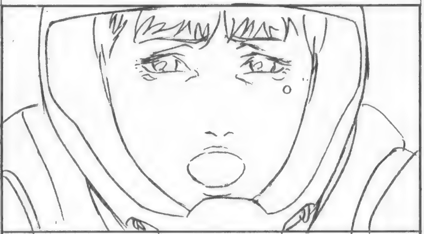
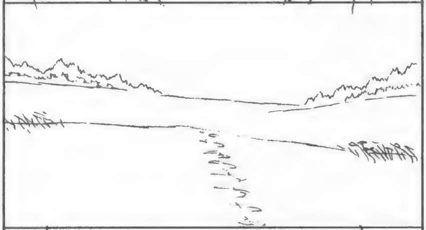
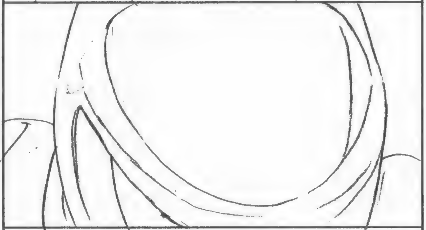
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
889		驚く.		4+0
890		開ける視界 平原にポツンと イーゼルに乗った絵が 立っている. BG ↑ BOOK ↑ スライド → T.B (3+0) 千代子 ↓		
				
		絵に向かって駆けて 行く千代子. 		12+0
891		走る千代子. Follow (↑) T.U. BOOK OFF		3+0

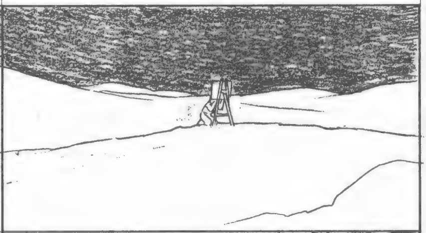
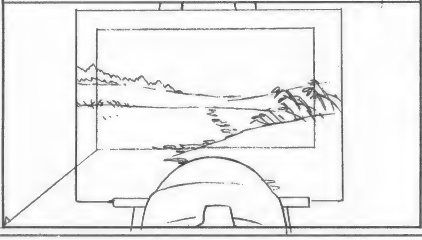
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
892		近づいて来る絵 T.U.		3+0
893		駆け寄って来て、絵の前で立ち止まる。		6+0
894		イーゼルの上の絵。 一面の雪景色の中に 一人立つ男のシルエット。		5+0
895		絵、寄り。 佇む男の襟元に 赤いマフラー。 鍵の君である。		3+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
896		絵を見つめている千代子 荒い息.		
		ふと怪訝な顔に変わる.		5+0
897		C.895 同ポ 絵の中の男が振り向き、別れを告げるように手を振る (T.Oスタート?)	千 (off) 「…待って」	5+0
898		身を乗り出し叫ぶ千代子 C.896 同ポ	千 「待って!!」	1+0
899		C.895 同ポ 手を振りながら消えて行く男. (消えきりません)	千 (off) 「お願い! 待って!!」	2+12

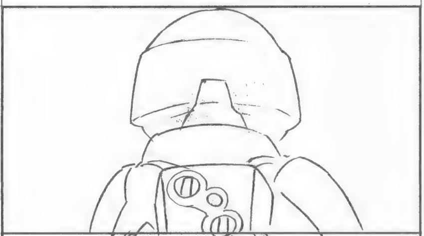
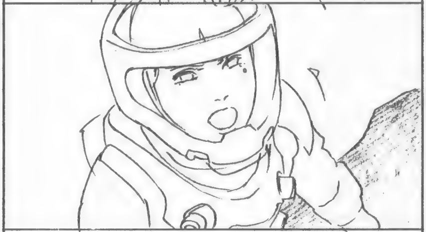
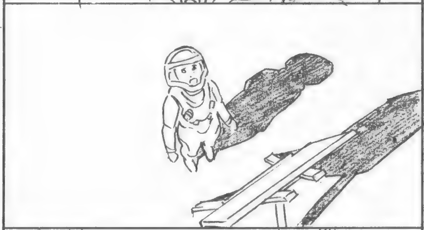
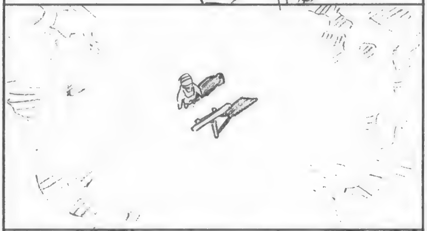
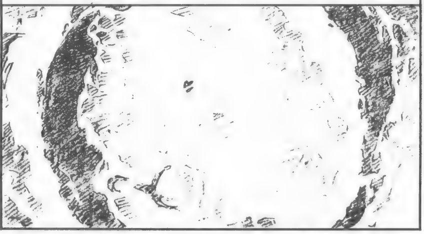
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
900		目に涙を溜めて叫ぶ千代子. BG(宇宙) C.895 兼用	(千)「お願いです!! 待ってエエエエッ!!」 こぼす	2+0
901		C.895.同ポ 男が完全に消え去り、風景だけが残された絵		5+0
902		C.900.同ポ 泣き崩れる千代子.	(千)「……待って……」	
				
		OUTはしません. A・C		7+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
903		力無く絵の前で しゃがみ込む千代子. BG(宇宙) 止メ BOOK Ⓐ → Ⓑ 止メ Ⓒ ← カメラ 回り込むかんじで ラスト 奥に 立花と井田が見える		10+0
904		立花と井田 寄り		4+0
905	 	涙する千代子の 横顔. (~4+12) 目を開けると 涙の 最後の一滴が 流れ落ちる. 潤んだ瞳で 絵を ふり仰ぐ. 付けPAN.UP		9+0
906		C.894 兼用 男の消え去った部分から T.Bしつつ 千代子が 力強く立ち上がって来てIN. T.B.は頭詰め		

( )

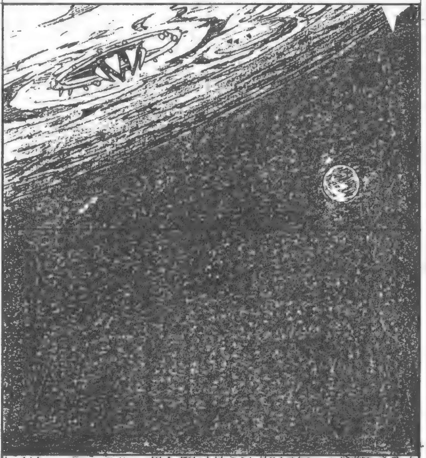
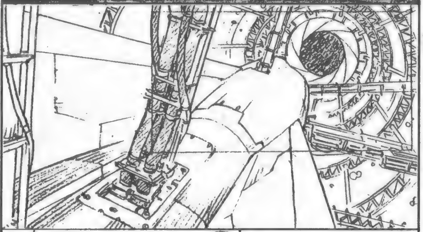
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
906				3+12
907		A.C 叫ぶ千代子(フカン)から、大きくT.B. ※方法論については相談。3カットくらいに分けて、OLでも仕方ないかな。	㊄「私、行きます！ どこまでも追いに!!」	
				
				
				9+0

( )

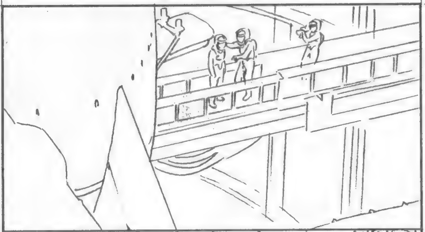
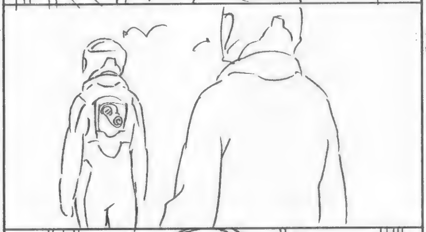
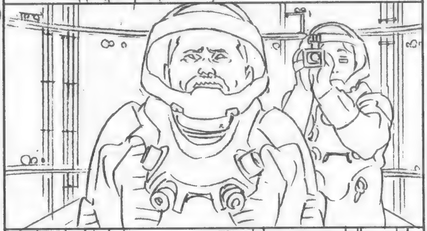
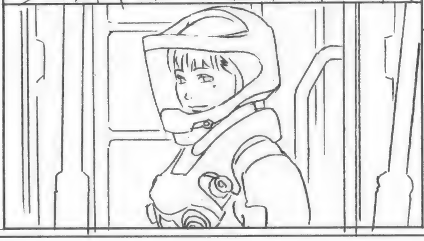
No. 359.

マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
908		C.1 素材兼用 宇宙 ↑ PAN・UP 月面．ナレスライドでIN(↓)		15+0
909		C.3.兼用 ※T.B巾小さく		4+0
910	 	宇宙ステーション内． タラップの上． 千代子なめて． 泣き顔の立花． （※ここのBG.C.9Bを流用）． 千代子． 振り向きかけて 次カットへ． A.C	㊤「どうしても行くんですか!?」	4+0

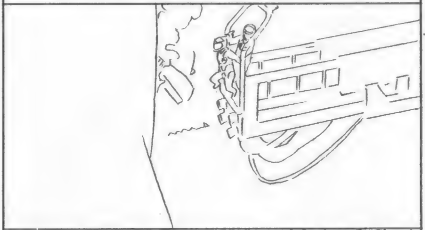
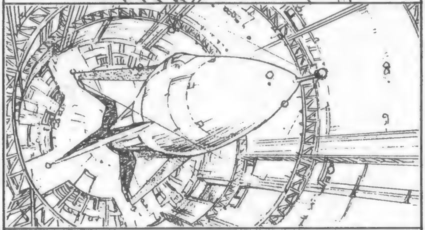
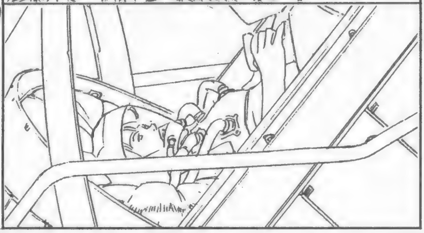
(　　)

マッドハウス

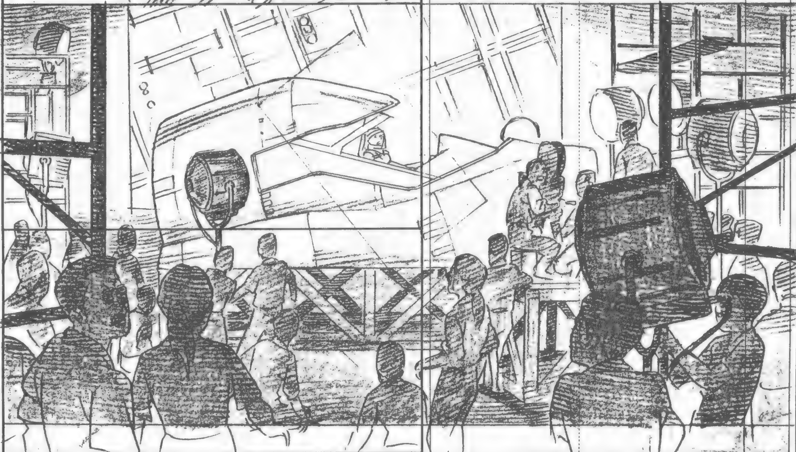
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
911		C.4 同ポ クラップの上の 千代子.立花.井田. 立花の手が力無く 下がる.	千「約束したのよ」	3+12
912		C.5.BG兼用 千代子.立花に 顔を向けて セリフ.	千「必ず逢いに 行く…って」	
		ロケットへと 歩き出す千代子.(C.5に同じ) 上体を引く立花		4+12
913		叫ぶ立花.	立「行けば2度と 戻って来られません!!」	3+0
914		C.6 同内容 (C.6の後半だけ使用) 微笑む千代子.		

( )

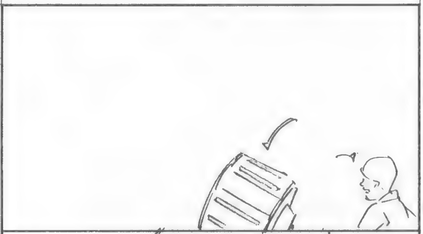
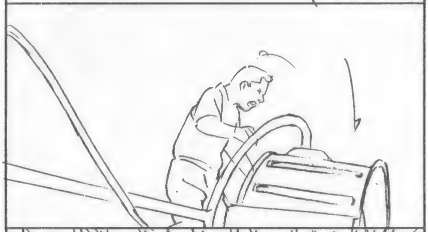
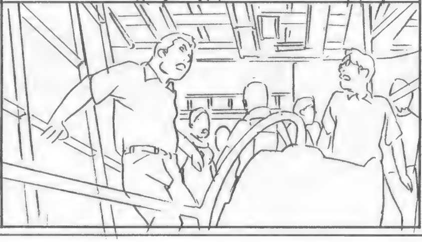
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
914			(S.E) バゴッ	3+0
915		C.4.同ポ ロケットから離れるタラップの先で喚く立花. 後ろで引き止める井田.	(立)「千代子さん!!」 (井)「社長危ないッス」	2+0
916		C.8.兼用. 喚く立花. (BG スライド (←) BOOK セル (←)	(立)「千代子さん! 私は、私はあなたを ……!!」	4+0
917		C.10.同	(声)(off) 「…フォー」	3+0
918		C.11.同	「スリー…」	1+12

( )

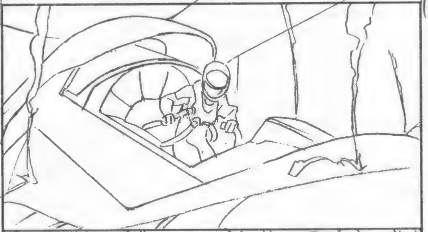
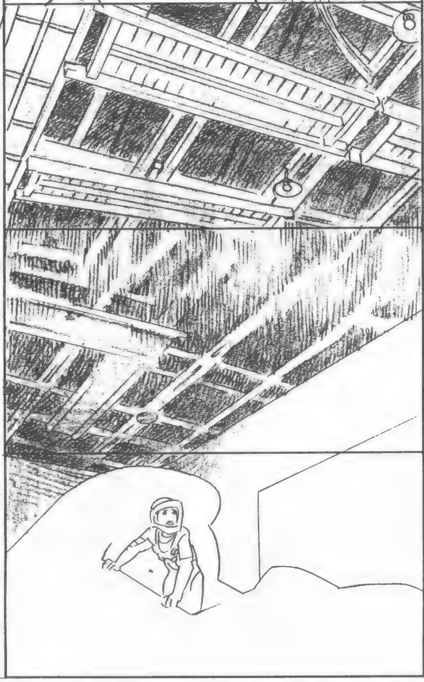
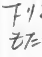
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
919		C.12 BG兼用 ガラス越しに ロケットを見ている 井田．立花．	(手)(OFF) 「トオ…」	1+12
920		C.14．同ポから	「ワン……」 (～2+0) ゴゴゴゴ…	
		激しく突き上げるような地震．		
		画面動 （縦揺れのかんじ） カットラスト 次カットにつながるかんじで		Q.T.B+回転． 5+0
		回転T.B．すると．　＊左右のナメ物スライド有り（←→） そこは 撮影所内 ステージ．ロケットのセット内に 千代子． 地震に驚くスタッフたち． ＊カット後半．照明がいくつか消えて．セットが暗くなる	スタッフのざわめき	
921				

No. 363　　マッドハウス

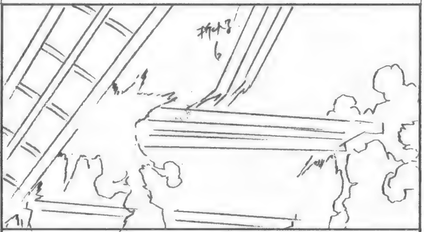
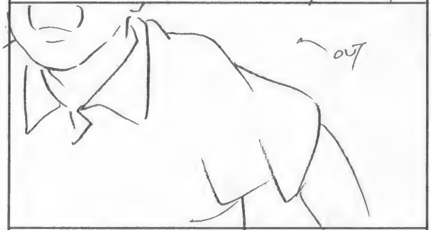
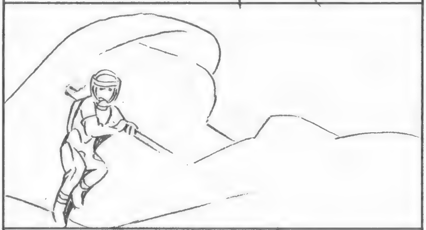
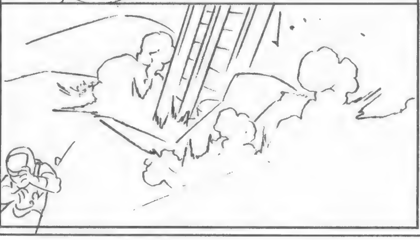
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
921		カット尻、手前のライト（最初から灯いていない）倒れかける。	（回転T.B. 5+0（後ヅメ）Fix 2+0	7+0
922		画面動	スタッフ「大きいぞ！」	
		倒れて来る照明具、それを避ける様に右へ下がるスタッフの足。		
		ゲンヤがよろけて	(S.E.) ガシャーン	
		たてかけてあった大道具に手を付く。 ※このカットものすごく暗いです。	ゲ「うわ！」	2718

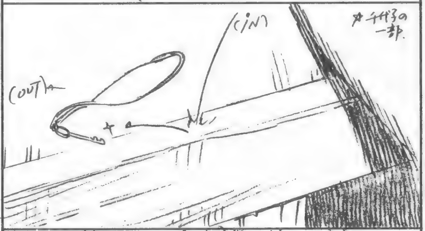
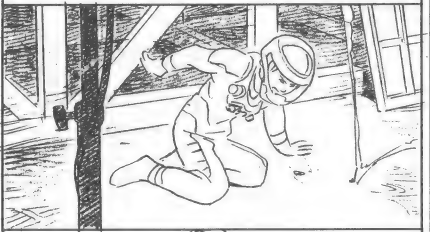
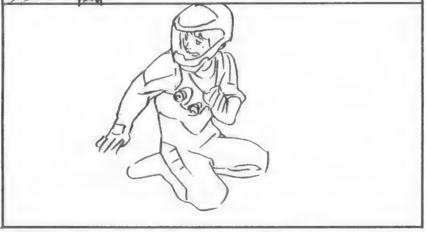
(　)

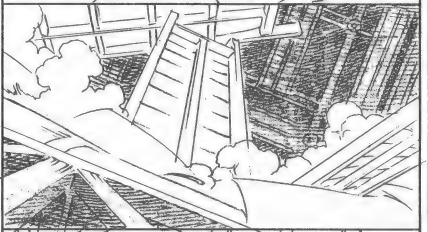
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
923		画面動 セットの千代子 激しい揺れの中 逃げようとしているが 宇宙服に繋がった パイプ類を外すのに 手間取っている バラバラと天井から 何やら破片が落ちて来る		2+0
924		セットの方を見る ゲンヤ (C.922寄りのかんじです) 画面動		1+0
925		バラバラと破片やら埃やら 流背景(少しフォーカスアウト) ※2フレームくらい C.923同ポから 千代子、セットから 下りようとするが もたついている  ※下を見てるようにします P PAN.UP (途中、流背っぽくなる位速いPANです) ぐらついている天井の 構造物 Fix 1+0 PANUP 0+12 Fix 2+0		

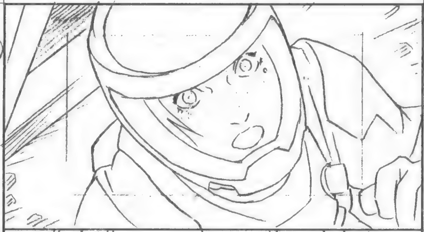
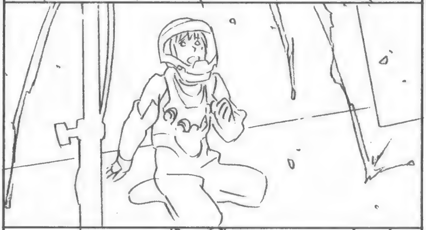
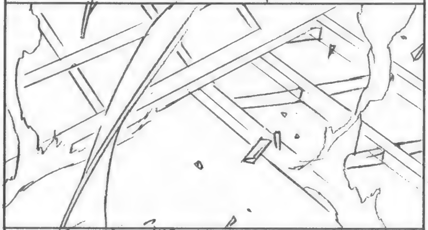
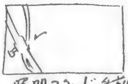
( )

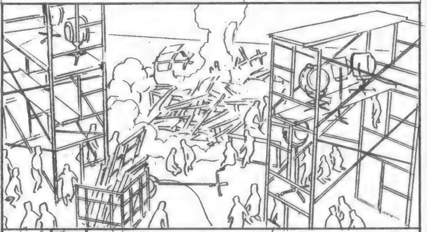
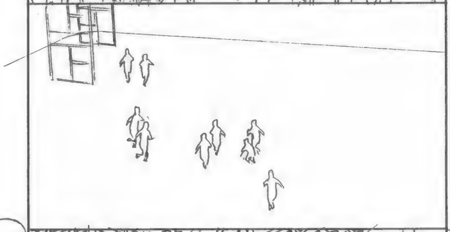
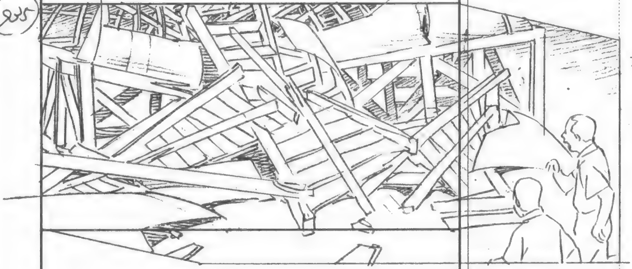
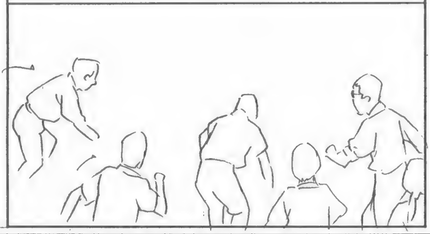
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
925		接合部が外れたかんじでガクッと崩れる 何かに引っかかったかんじで、左の絵からもう少し崩れたくらいで一旦止まる	(S.E) ガコン	3+12
926		C.924 同ポ 駆け出すゲンヤ 画面動	(ゲ)「千代子さん！危ない!!」	
				2+0
927		C.923 同ポ 千代子がセットから下りようともたついているところへ。		
		天井の構造物が落ちて来て突き刺さり、その衝撃で滑り落ちる千代子。(OUT気味)	(S.E) ドカ (千)「あ!!」	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
927		更に手前にも落下。 セットが壊れ ベニヤ等が跳ね上がる。	グワン	1+18
928		滑り落ちる千代子(体の一部)から 鍵がこぼれ落ちる。 画面動	キンッ	0+18
929		床に滑り落ちて(IN気味) 画面動		
		膝をつく千代子。	(画面外左手で 鍵の転がる音) チャリンッ	
		慌てて鍵を探す。 鍵が転がった方に目をやるくらい。		2+12

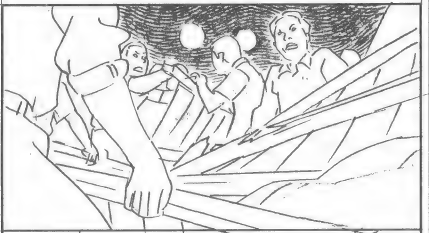
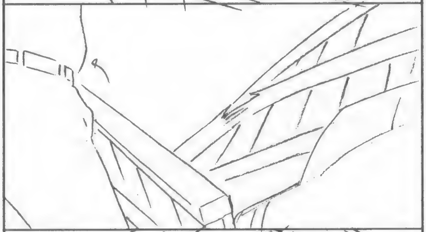
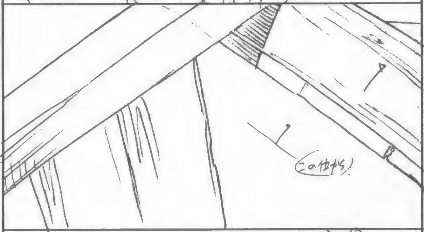
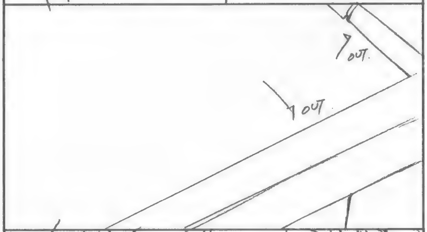
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
930		スタッフの間を 千代子の元に 駆け寄るゲンヤ (←—) Follow 画面動	(ゲ)「千代子さん 逃げてェ!!」	1+12
931		倒れて来る構造物 (千代子主観風)	ギギィイイ…	
		付けて PAN-UP 画面動		2+0
932		見上げる千代子 画面動		

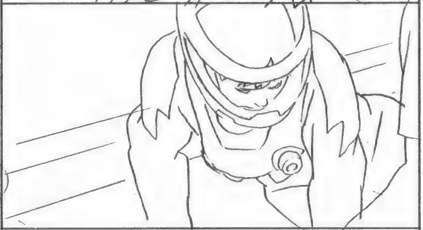
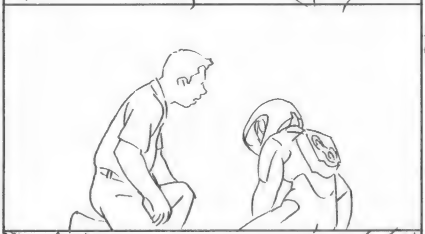
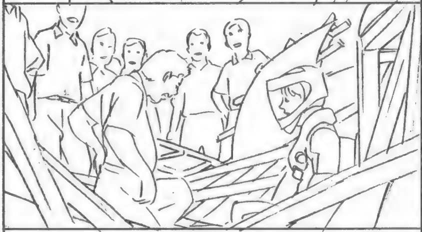
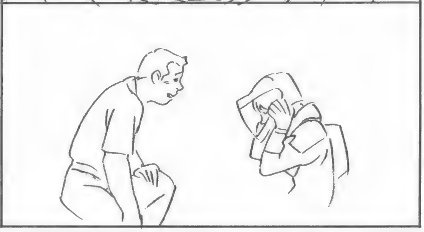
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
932		驚き、目を見開く T.B	(チ)「!」	1+0
933		C.929 同ポ 体がすくんで動けない千代子 画面動		
		ゲンヤがINして千代子を庇うように飛びつく..		
		と、同時に一斉に落下して来る構造物	(ゲ)「わ!!」	
		セットの破片、埃などで画面いっぱいになる  照明スタンド手前に倒れる	グワラガゴォン!! ガシャアン	3+0

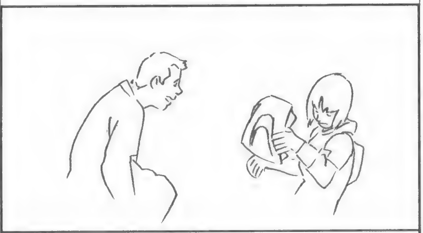
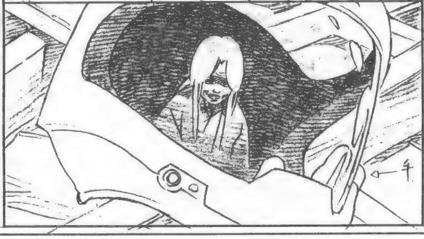
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
934	 	撮影ステージ 俯瞰 崩れたセットから 立ちのぼる埃 (F.O) (前カットを受けて 破片にも少し動きあり。) 画面動 止む (~3+0) (徐々に止む) 崩れたセットに 駆け寄るスタッフたち。	スタッフのざわめき 「千代ちゃん!?」 「大丈夫か!!」 「早くどかせ!」 等々	9+0
935	 	壊れたセット 寄り。 ← PAN (PANの後半 照明が回復して明るくなる) スタッフが駆け寄って。 散乱した木材を取り除く。	スタッフたち 「千代ちゃん!」 「みんな手をかせ!」 「早くしろ!」 「千代ちゃん! 千代ちゃん!」 「急げ!」等々	(PAN 3+12 FIX 1+12) 5+0

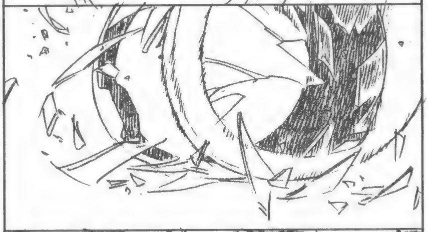
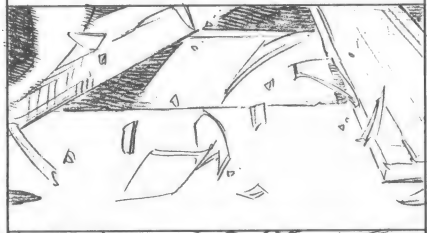
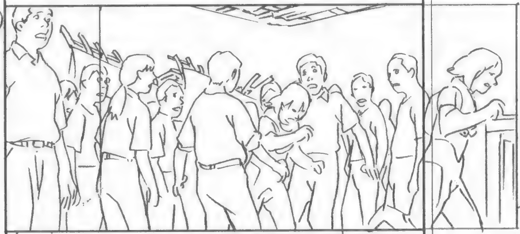
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
936		木材を急いで撤去するスタッフたち		
		右の男が渾身の力で構造物を持ち上げる ガバッと勢いよく グググッと持ち上げて	ガコン	4+0
937		木材がどけられると （木材の下明るくなる）		
			(OFF) スタッフ 「いたぞ！ ゲンヤも一緒だ!!」 湧くスタッフの声	
		(〜1+0) その下にゲンヤと千代子 ゲンヤが千代子に覆い被さるようにして四つん這いになっている	(画面外) ガラン ゴロン	

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
		ゲンヤが起き上がる ゲンヤの呼びかけに頭を上げる千代子 (まだ頭がボーッとしてるかんじ)	(ゲ)「大丈夫ですか!?」	
★938は欠番.		千代子が重そうに体を起こし、ゲンヤが更に上体を起こす A.C		12+0
939		起き上がる千代子と体を引くゲンヤ		
		不意に腰に痛みを覚えるゲンヤ 安堵しているスタッフたち	(ゲ)「…イテッ」 (千)「あなたが救ってくれたの?」	
		言いつつ、ヘルメットに手をかけて脱ぐ	(ゲ)「…はい」 スタッフ「ゲンヤの大手柄だ!」 湧くスタッフ	

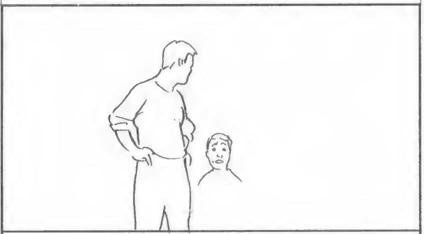
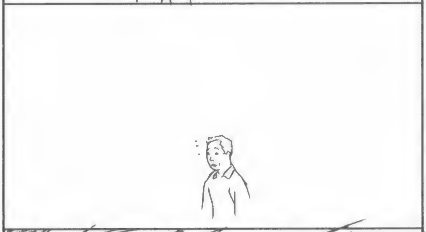
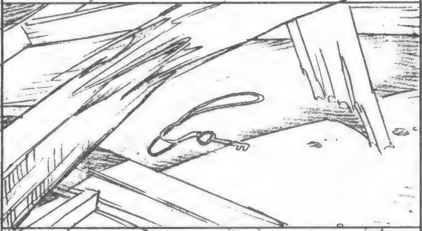
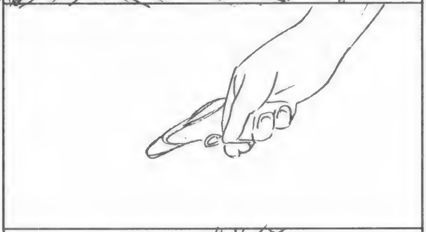
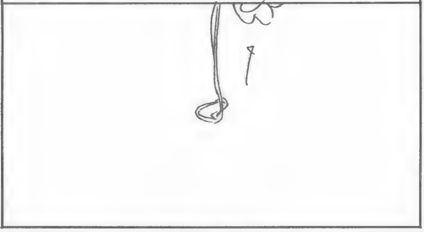
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
939				
		脱いだヘルメットに ふと目を止める 千代子.	(ゲ)「お怪我は ありませんでしたか？」	10+0
940		千代子アップ. ＊C.940で寄るので 大きめで		
		戦慄する. 目と口に震え.	(OFF) (妖)「わたしはそなたが 憎い…	5+0
941		ヘルメットに映る 件の妖婆.	そして 愛しくて たまらぬのじゃ…」	4+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
942		C.940.寄り 恐怖する千代子		2+0
943		床に叩き付けられるヘルメット。(IN) 透明のプラスチックが割れて弾ける。	ガシャッ	
		弾んでOUT (←)		1+0
944		取り巻いていたスタッフを押しのけて。(人影からIN気味) 千代子が走り去る。 OUT (→) スタートフレーム	スタッフ 「うわ！」 「千代ちゃん!?」 「千代ちゃん、どうした!?」 「千代ちゃん！」	
		千代子OUT後。 不審げな顔で千代子の去った方を見つめている一同。 このあたりまでは こっちのフレーム。		

No. 374.

マッドハウス

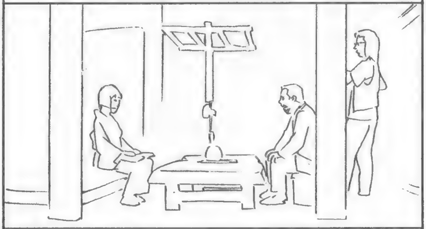
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
944		言いかけて、仰向き。	スタッフ「ゲンヤ、何したんだオメエ!?」 ゲ「僕は何も…」	
		ふと何かに気付く。	(Fix 6+0 PAN 2+0 Fix 4+0	12+0
945		材木の破片の下に落ちている手作りの鍵。 (~2+0)		
		ゲンヤの手がINして鍵を拾い。		
		OUT.(?)		5+0

(　　)

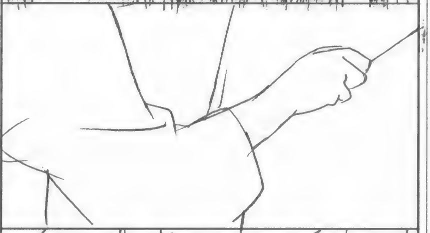
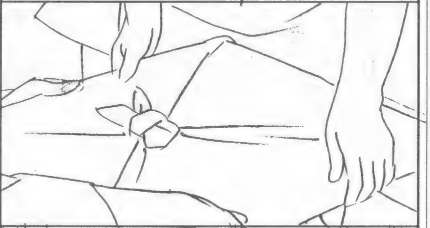
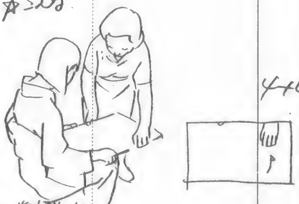
マッドハウス

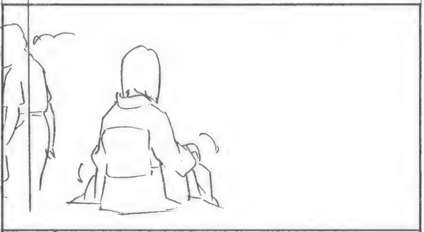
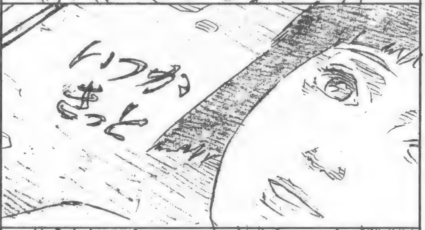
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
946		鍵を見つめながら 立ち上がるゲンヤ (「これは何か大切な モノなのでは…?」 というかんじ)		
		千代子の去った方に 顔を上げるゲンヤ. 次カットとシンクロレス. T.B しつつ O.L ☆キャラサイズ揃える	T.B時 BOOK(↑). BG(↑) スライド有り. (FIX 3+12 TB. 6+12 (O.L中含む))	
947		山荘 応接室. T.B 井田(→) BG(↑) スライド有り.	㊥(off) O.L から 「……私ったら. 命の恩人を忘れてる なんて……」	8+0
		照れる立花.	㊤「いえ…すっかり なりも変わってますし ……」	8+0

( )

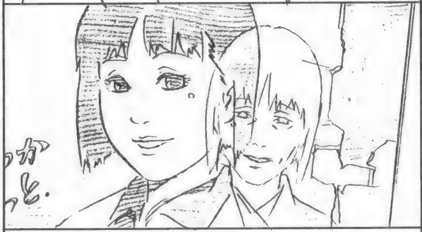
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
948		千代子の手の平の鍵（鈍い色） PAN.UP 立花のセリフにちょっと顔を上げる千代子。	㊥「あれから30年…私はひっそりと生きながらえて来ました」 (off) ㊤「何故だったんでしょう？」 （FIX 4+0 PAN.UP 4+0 FIX 4+0.	12+0
949		C.79. 同ポ ☆少し寄り. 応接室. 引き.	㊤「北海道へ失踪した後、再び映画界に復帰されたのに、あの撮影中の事故で……」	9+0
950		立花. 寄り. カット頭. 顔を上げ. 思いきったように聞く.	㊤「何故突然に姿を隠されたんです？」	4+0

( )

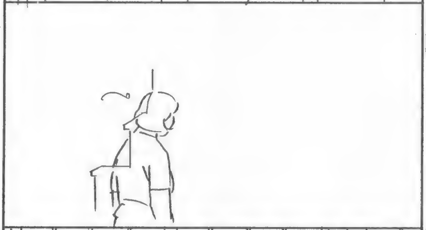
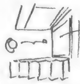
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
951		無言の千代子.		3+0
952		年輪が刻まれた 太い柱. 窓の外は雨.		5+0
953		四角い風呂敷包みを 受け取る千代子.		
		美濃が手渡してます. ☆こんな. 		4+0
954		千代子の背中越しに 一同. 美濃、前カットの アクション受けて. 上体起こす. 立花と井田は「何が出てくるのか?」 という感じですが、美濃は中味を 知っていて「どういう風の吹き回しかしら…」 という感じです.		

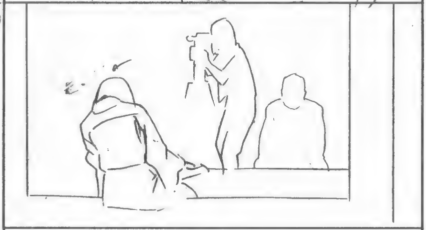
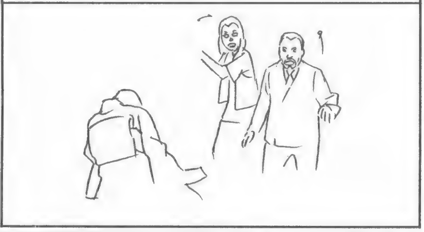
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
954		風呂敷包みを 開く千代子. 美濃 OUT. (a)		5+0
955		息を呑む2人 井田はファインダーから 目を離し. 立花は 少し体を起こす かんじです.		3+0
956		額装された件の絵. (ガラスはまってます) ☆多少パースが異なり ますが C.953と BG兼用出来ると 思います.	㊥ (off) 「もう…. 二度と 見ることもないと 思ってた….	5+0
957		絵の寄り.	どこまでも ….」	3+0
958		絵を見つめる 千代子. ☆カラナシ引き.	㊥「逢いに行こうって 決めたのに…」	3+0

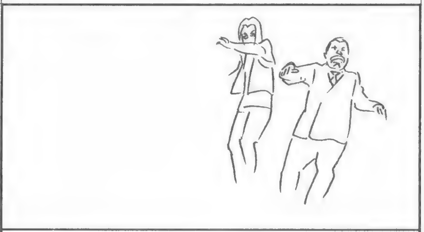
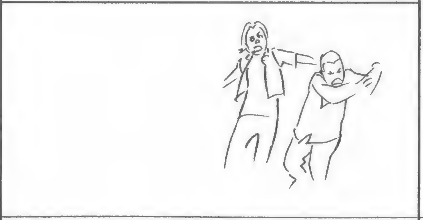
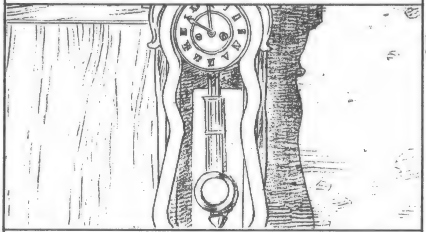
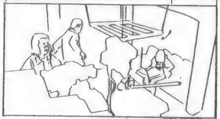
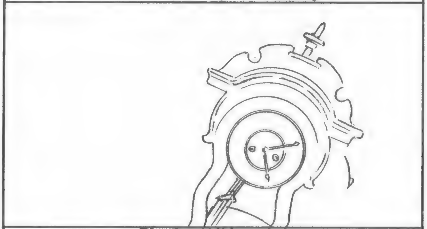
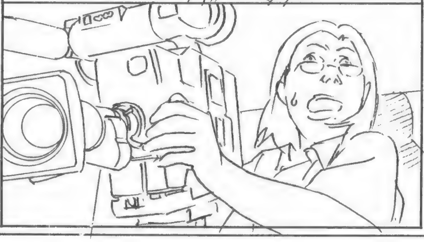
No. 379.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
959			㊤「なのに どうして!?」	2+0
960		千代子寄り. ※ C.958の寄り. なんですが. カメラ 自体が近づいた かんじなので. キャラと BG. 拡大率が違い ます. 但し. BGは兼用です.	㊥「あの事故の時. 私. 気が付いた ……」	4+18
961		絵を覆うガラス面に 映る千代子. (スーパー)	㊥「私はもう. あの人が 覚えている私の姿 なんかじゃない……」	
		鏡像の千代子が 妖婆に変わる (O.L. 3+0.) ※O.L中からセリフ スタート.	(婆)「わたしは そなたが 憎い……」	11+0
962		前カット寄り. 顔を上げる妖婆 その左目の下に ホクロ. 千代子の老いた姿 である. ※セリフ後半で 顔を上げるかんじです.	「憎くてたまらぬ のじゃ……」	7+0

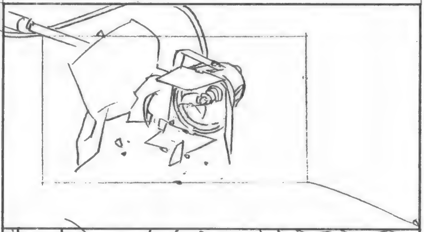
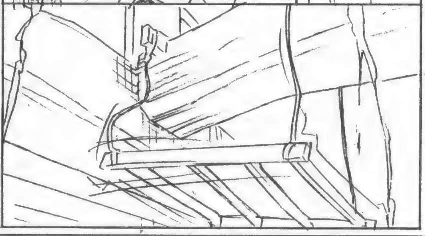
(　　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
963		千代子.アップ	千「あの人に. 老いた姿を見ら れるの、嫌だった …」	7+0
964		言葉を失なう立花. 井田.美濃.		
		美濃.静かにOUT.  ここにも 出入口が あるという 設定にします というかしました.		5+0
965		C.113.BG兼用 但し障子の向こう側は 暗くなっています. BOOK兼用かな. T.U. ――― こんな ☆出来ればオプチカルで 寄りたい.		
		☆S.E.の一発目が あってからT.Uスタート です. (FIX. 3+0 (T.U. 5+0	(S.E.) …ガーン ガーン ガーン ガーン.. (遠くから近づく かんじです)	8+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
966		絵がぼやける. 素材 C.961. 兼用. スーパー弱めに.	ガーン	1+0
967		胸の痛みに息を呑む千代子.	ガァーン	
		苦痛の表情に変わる.	㊥「ウッ!!」	2+0
968		A.C / C.954 同ポ / 苦痛に胸を押さえ姿勢が崩れる千代子.		
		異変に気付き立ち上がる立花. ファインダーから目を離す井田. その時.	㊤「千代子さん!?」	

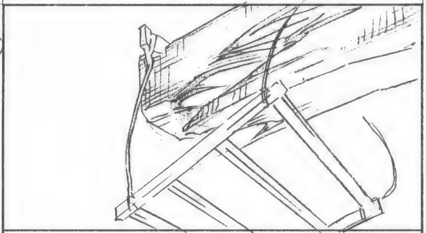
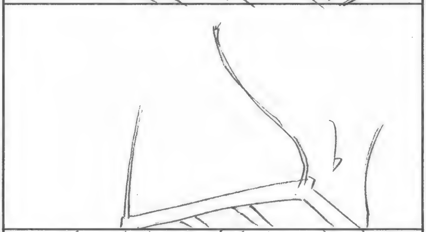
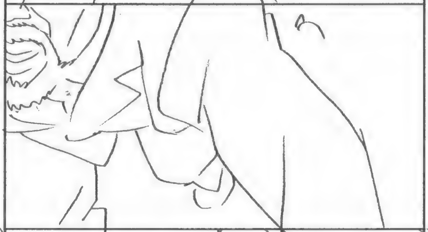
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
968 (A)		大地震 以下 画面動 ※一発目に大きく揺れて、その後少しおさえめにして、カットラストにかけて揺れ巾大きくする。	ゴゴゴゴゴ…	
968 (B)			(井)「うわ!」 (土)「わ!」	5+0
969		柱時計が落ちる。 C.63 同ポ ※但し時間が違います。5時10分くらい。	 C.95. 同ポ. 画面動 揺れる部屋フカン。自在鉤が落ちる	2+0
		OUT気味まで。 画面動		1+0
970		カメラをおさえる井田。 画面動	ガシャン… (前カットの時計の落下音。画面外から) (井)「大きいッスよ!!」	2+0

( )

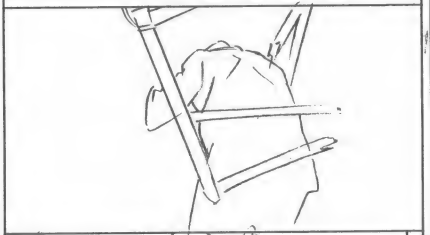
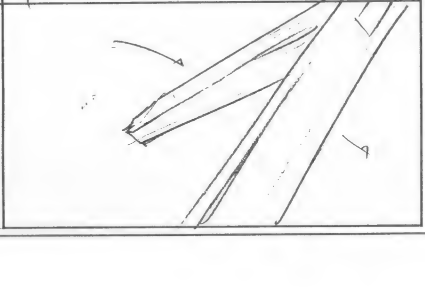
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
971		床に倒れ 弾けるライト。(T光 消える)	ガシャッ	
		よろけるように 立花がIN. (INと同時に Q.T.B)		
		画面動	(立)「千代子さん!!」	2+0
972		苦痛に耐えている 千代子 画面動		2+0
973		C.65 同ポ. 崩るように揺れる		

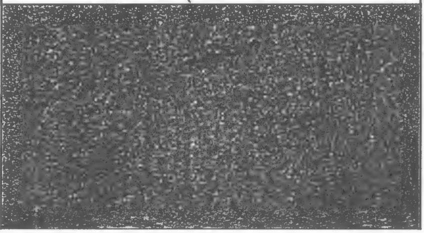
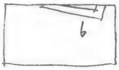
( )

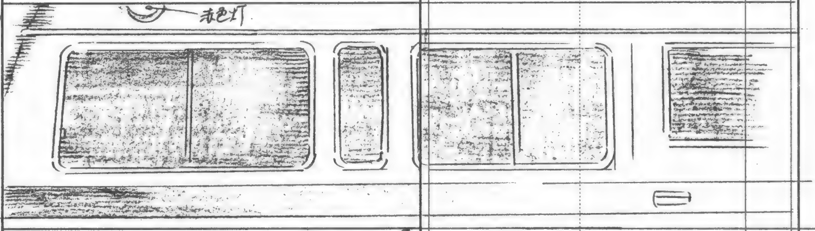
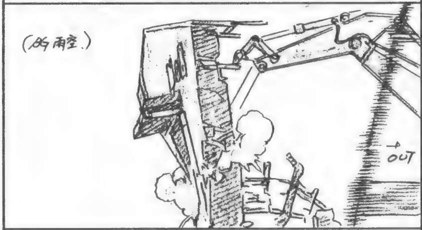
No. 383-(B) マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
973		柱が折れ… 吊ってあった紐が 切れる。	バギッ	
				2+12
974		C.971.同ポ 素早く飛び出す 立花。 画面動		
				1+0
975		C.972.兼用 同ポから 立花（in気味から） 千代子に駆け寄る 画面動		

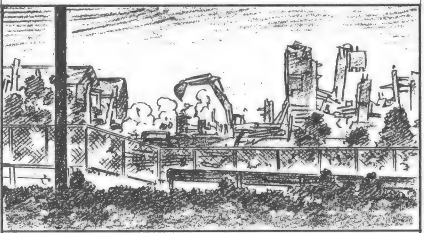
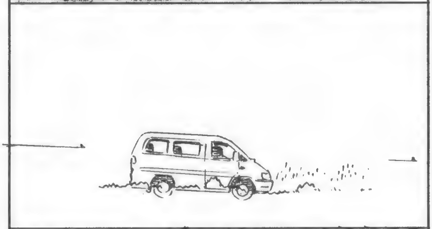
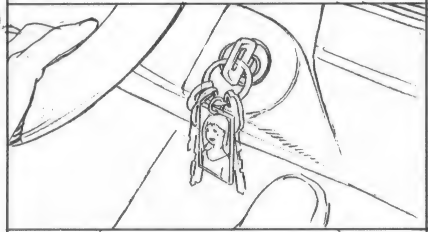
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
975		千代子の楯になる立花。	バキッ	
		立花に付けてPAN・UP	(立)「う！」	
		壊れる木枠		1+12
976		千代子をかばう立花。 画面動	(立)「痛ッ！」	
		前カットで壊れた木枠の破片、カメラOUT.		

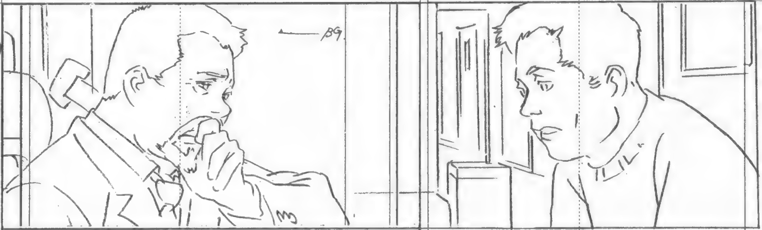
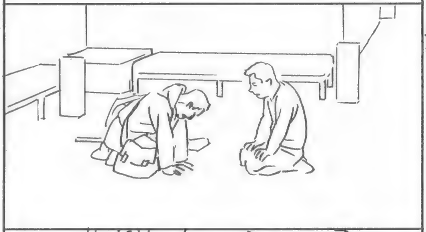
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
976		↓ PAN・DOWN (老人が下を向くのをきっかけに) 苦痛に耐えつつも、微かに笑顔を作る千代子。 老人、千代子を見る	(千)「あなたは、いつでも助けて下さるのね……」	
		力無く千代子の頭が垂れる。(意識を失ったのです)		12+0
977		絵が床に落ち、表面のガラスにひびが走る。 ピシッ 	(老)(off)「千代子さん？千代子さん!?」	
978		画面 B.L.  in気味		3+0

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
978		F.I 救急車内. 搬送されている千代子.	SE. 救急車のサイレン 走行音、と ガーン ガーン…という工事音 F.I	
		うっすらと目を開ける. (BL画面 2+0. F.I 5+0.)		14+0
979				
		カット頭 救急車 OUT (←) スライド、マルチボケ 解体中の撮影所 (夕方、小雨) 残っていた壁画が パワーショベルに 崩される (シルエット気味です) ＊小雨降ってます.		
				5+0

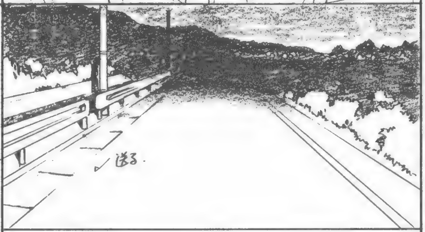
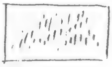
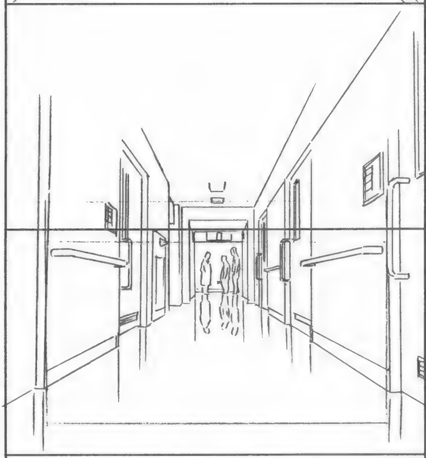
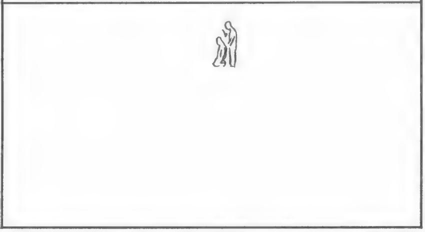
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
980		解体中の撮影所 引ヨ. 前カットで崩れた 壁面が地面に 倒れる.	ドオオオン	
		立花の車が手前の道路を IN～OUT.（スライド）		9+0
981		立花の車 運転席. キーホルダーに 千代子の写真	㊞ (OFF) 「結局…」	4+0
982		沈痛な面持ちの 2人. 立花にPAN.TU. 井田.（←）スライド有り. コンテの絵がラスト位置のかんじ.	㊞「鍵の君とは 逢えなかったンスね… 千代子さん…」	(　　)

マッドハウス

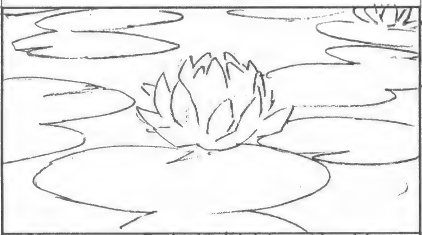
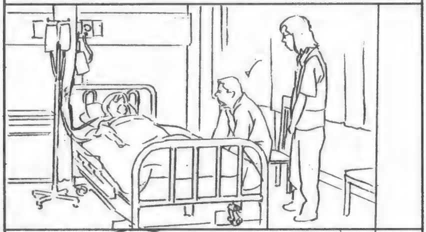
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
982				
	(PAN・T.U. 7+0 F.O.F.I 5+0 FIX 4+0	立花から更に 右へPAN. (※実際には上図程 PAN中必要ありません) 立花・車が左へスライドしつつF.O.しつつ 替りに、ゲンヤがF.I、(スライドしつつ) Follow BGが一せんに 遅れて、"銀映撮影所ロビー"のBGにO.L.	立「あの斧さんがな ……」 傷(off)「あの殺陣さは…」	16+0
983		C.286.同ポ 銀映ロビー. 対座する傷男とゲンヤ. (雰囲気の重さに 正座してる)	傷「最後まで頑かに 口を閉ざし…私は 拷問を重ねてしまった ……」	7+0
984		懺悔する傷男.寄り. 見えない右目から 涙がこぼれる. ※カット頭.息を吸って から.セリフ.	傷「私が殺した んです」	4+0
985		唖然とするゲンヤ. 誰を殺したのかは 分からねど、「殺した」と いう言葉に驚いた、という かんじです. O.L. (2+0)	井(off)「じゃあ…千代子 さんは…」	4+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
986		C.982 兼用	(立)「いない人の影を、追いかけていたんだ」	7+0
987		暗闇へと続く道路 背動  ライトの届く範囲は雨強めにスーパー. D.F. O.L (5+0)		7+12
988		病院内.廊下. 左から.医師.立花.井田. ☆ O.L頭から5T.U. O.L明け1+0まで T.U (計.6+0) T.U→O.L明けで. 少しPAN・UP 一同の手前 看護師が 急ぎ足で通過.		
		医者が力無く首を振り.立花ががっくりと膝をつく.		

12+12

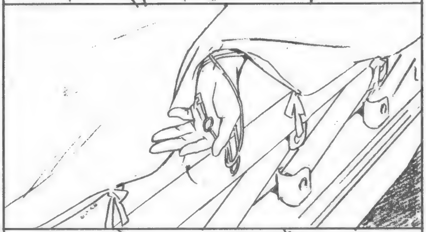
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
989		小雨に濡れる睡蓮.		5+0
990		D.F. 病室のベッドに横たわる千代子	(off) S.E. カチャリ 近づく足音.	6+0
991		ベッドの傍らの椅子に静かに腰を下ろす立花、その隣に立つ井田 	(立)「すいません. 私が無理をさせてしまったせいで…」 (千)「いいえ…今日は本当に楽しかった…」	10+0
992		千代子の横顔、寄り.	(千)「でも…. もうお別れですね」	4+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
993		見えすいた嘘を口にする立花.	(立)「そんな!! 医者も、きっと良くなると…!」	3+0
994		C.990 同ポ 立花の方に少し顔を向ける.	(千)「嘘は下手なのね…」	3+18
995	 	横たわる千代子なめて、立花、井田. 返す言葉に詰まり涙をこらえる立花. 仰向く井田.	(立)「…う…」 (千)「悲しくしないで…」	6+0
996		C.992 同ポ	(千)「だって…私	

( )

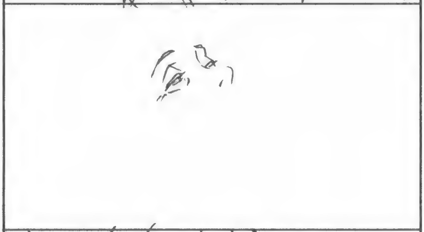
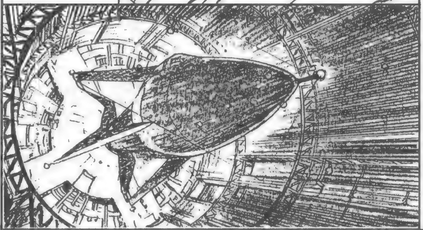
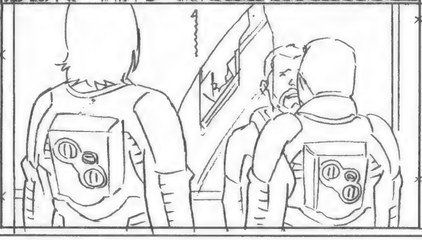
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
996		視線を遠くに向けて、セリフを続ける	「また あの人を追いかけて行くんですもの」	7+0
997		"あ…"となる 立花 ★千代子は"鍵の君"の死を知っていたのか!という驚きです。		
		★C.999でBG兼用するのでちょっと縦に長めに作成。		2+0
998		毛布の下から差し出される千代子の左手。	(千)(off) 「ほら…鍵もここにある… あなたのお陰ね…」	6+0
999		C.997 BG兼用 必死に堪える立花。	(千)(off) 「この鍵は、あの人の想い出を開けてくれたの…」	5+0

No. 393

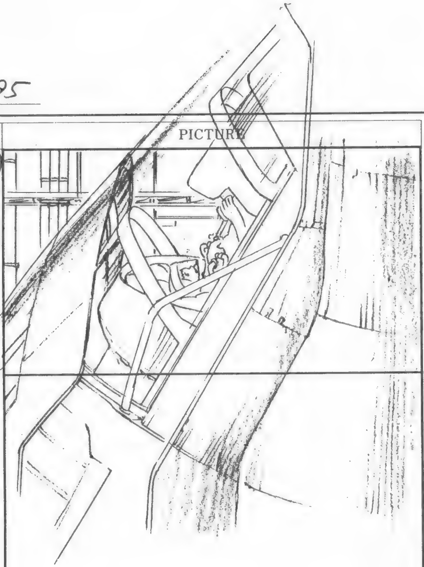
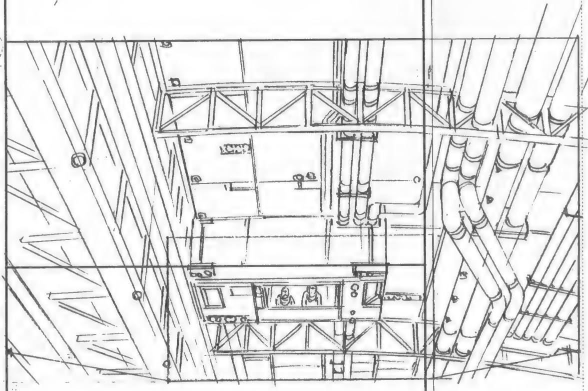
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
1000		C.992. 同ポ	(千)「あなたにお話を聞いてもらっているうちに…あの頃の私が甦ってきたみたいだった…」	9+0
1001		C.640 素材兼用 ※カット内容は C.815に同じ。 白コマから F.I 1+7B		1+0
1002		C.999. 同ポ 堪えきれず涙を流す立花	(立)「…今度は きっと逢えますね… あの人に…」	6+0
1003		C.990 同ポ	(千)「どうでしょう… でも、どっちでも いいのかもしれない…」	7+0
1004		C.993 同ポ 意外な顔をする立花、井田。		2+0

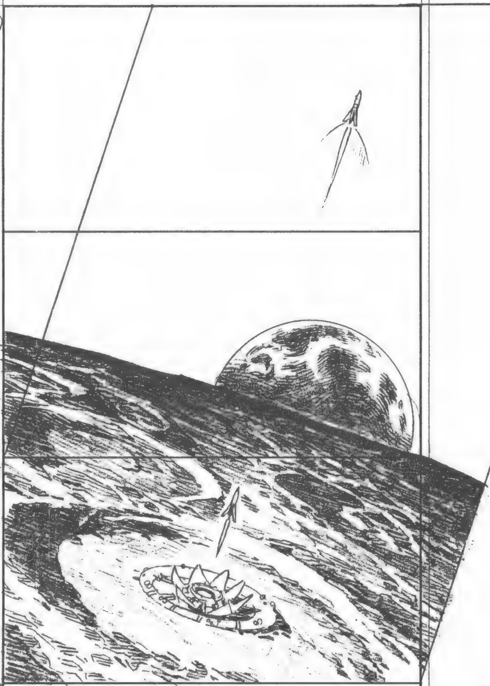
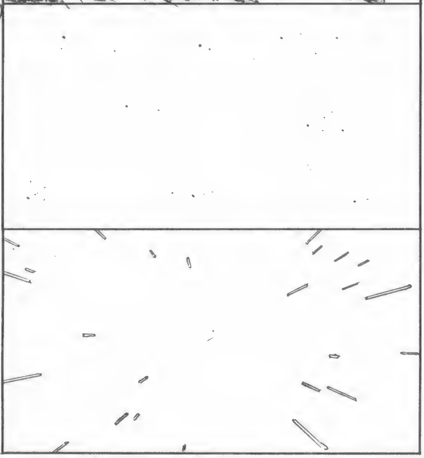
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
1005		遠くを見つめる 儚な千代子	(千)「…だって、 私……」	
		その目がゆっくりと 閉じられて行き、 次カットと O.L		5+0 O.L(5+0)
1006		C.14.同 ロケットの操縦席の 千代子。 ★絵ヅラがC.14と 異なっておりますが、 他をこちらに合わせ ます。 画面微振動 スタート。	(S.E) 高なる機関音。	7+0
1007		C.15(A)同 D.F.	ゴォォォォ	7+0
1008		C.12. BG BOOK兼用 管制室でロケットを 見送る井田、立花。 ロケットが上昇(スライド) して行く。 窓の奥 D.F.		5+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
1009		上昇するロケットの 操縦席、寄り。 Follow(P)しつつも、 船体もスライド(加速有り) 千代子の姿がOUTする くらいまで。 画面微振動 D.F.		5+0
1010		遠去かる管制室の 立花と井田。 PAN・TB (頭詰め) D.F. 画面微振動		5+0

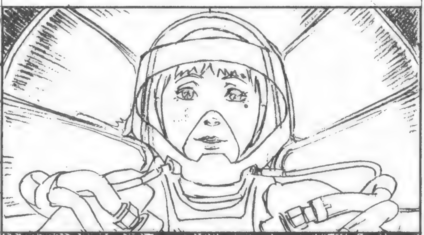
No. 396.　　　　マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
1011			花が開いたような 宇宙ステーションを 飛び出して行く ロケット. Follow(P) 彼方に地球が見える. カット後半. ロケット増速 ← BOOK, 少しスライド有り	15+0
1012		宇宙. ゆっくり T.U 光跡を残して. 流れ始める星々	(S.E) ロケットの機関音が 高まる.	9+0

(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME

1013



O.L＋T.U.

操縦席のチヨ子.

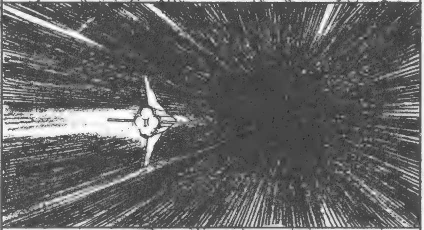
ヘルメットに
星の流れ映す.
カット後半にかけて
露出上げる

㋠「だって私…
あの人を追いかけている
私が好きなんだもの」

(S.E) 機関音が更に
高なる.

10＋0

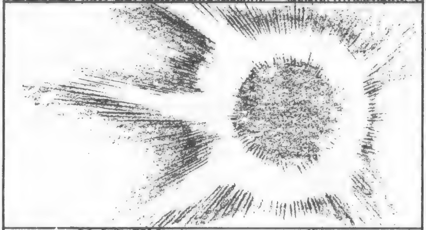
1014

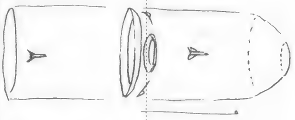


ワープ（あるいはデスドライヴ(笑)）に
入るロケット.
流れる無数の
星々.

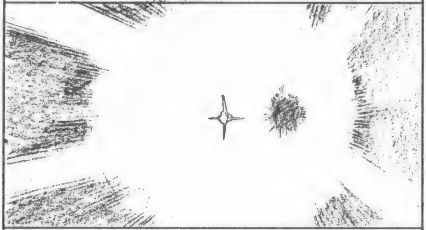
(S.E) 機関音と
ワープの音(笑)

何か"ゴオオ"というかんじ
ですが. 表現出来ません.





光の輪が発生する.

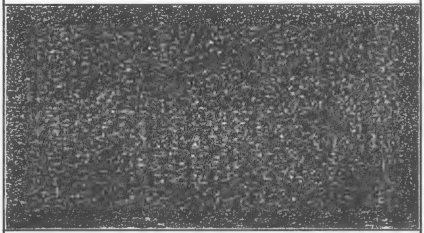


光のトンネルの
彼方に飛んで行く
ロケット

画面ホワイトアウト
して行く.
光の効果と露出オーバー.

S.E. いっぱいに高なって.
F.O.（画面ホワイトアウト
よりも先行）.

No. 398 マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
194		画面ホワイト..	無音.	
		O.L. 4+0 画面B.L.		16+0
	完.			

( )

Commentary of Story Boards C Part

アニメーションならではの騙し絵感覚

『千年女優』Cパート解説

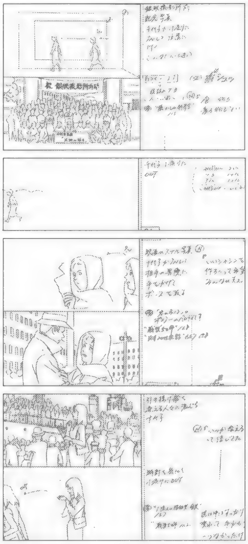
文：藤津亮太
text by Fujitsu Ryota

図と地が交わる一瞬

騙し絵の要素の一つに、図と地の関係が曖昧になる、というものがある。「図」とは、目立たせたい中心となる図柄、「地」はそれを目立たせるために支える広い部分のことだ。ワイングラスを描いた絵が、見方をかえると向かい合う二つの横顔に見えるという騙し絵がある。あれは２色に塗り分けられた図柄の、どちらを図と見るかで、見えてくるものが変わって来るという仕掛けだ。

千代子が戦後の思い出を回想するC-652から始まるシーン。世相を現す白黒写真(実際は背景として描かれている)の中に、千代子が入り込むというアイデアで表現されている。Aパートの千代子の生い立ちを見せるくだりでも白黒写真を使っており、こうしたアプローチの画面作りは２度目だ。どちらも普通の画面作りとは違い、騙し絵感覚のある映像なのが共通している。しかし、その騙し絵感覚のタイプは少し違う。

生い立ちのシーンは、一つの絵が気付くと別の絵に変容しているという点で夢に似ており、そこに騙し絵感覚がある。



■(上2つ) C-653、C-654、C-658
白黒写真の中を千代子だけが動き回る。そこに現在の千代子のナレーションが重なる。

それに対し、戦後の回想シーンは大きなカメラワークはほとんどなく、カットのつなぎの 0.L もごく普通で、生い立ちのシーンほど観客を幻惑するような演出はされていない。そのかわりここでは、当時の写真の中にセル画で描かれた千代子が登場し、写真の中を動き回り、時に静止して写真の一部になるという趣向が取り入れられている。写真の中を動き回る千代子は、背景となる白黒写真よりは若干彩度のある色で塗られており、絵コンテには「千代子はほんのりカラー」と注意書きがされている。

たとえば C-653 では千代子が撮影所の記念写真の中を歩いてきて、写真の一角に収まる。千代子が写真の中を自由に動き回る時、「地」である写真と「図」である千代子は、強い結びつきはない。たまたま背景が白黒写真である、といった感じで、千代子は写真とは無関係にそのまま通り過ぎる可能性だってある。事実、生い立ちのシーンでは C-104 では、運動会で走る千代子と背景のクラス写真は時に絡み合わなかった。

ところがこのシーンではその「図」の千代子が「地」である写真の一部になる。「図」であるはずのものがふいに「地」へと変容する、あるいは本来「地」であるものが「図」のように振る舞っている、こうした一瞬の変化が観客に不思議な感覚を生む。これが戦後の回想のシーンに通底する騙し絵感覚の源なのだ。

もちろん実写でも同じようなショットを撮影することも不可能ではないだろう。だが、それをしたところで、本作ほどの効果は得られないだろう。なぜならこの「図」と「地」の関係の変化の妙味は、セルアニメーションの本質と密接な関係があるからだ。

セルアニメーションの画面は、キャラクターを描いたセルがポスターカラーで描かれた背景の上に乗っている、というものだ。つまり、セルが「図」で背景が「地」という構造に

なっている。セルは基本的にどんな背景の上にも置くことができる。だからこそ通常は、セルと背景が馴染み、一つの空間に見えるよう注意を払いつつ、画面を作り上げていく。

しかし、千代子が写真の中を行くシーンでは、色調こそ白黒写真風で統一されているが、背景とキャラクターの関係は非常に微妙だ。静止した写真と千代子の間には明らかに距離がある。C-652で闇市の影から千代子が姿を現した瞬間から、セルで描かれているキャラクターが千代子だけのため、色調で背景には馴染んでいるものの、彼女が別の空間、あるいは別の時間の中にいるようなある種の違和感があるのだ。そして、そんな千代子がふいに背景である白黒の写真の一部となって、それまであった違和感が消えてしまう。

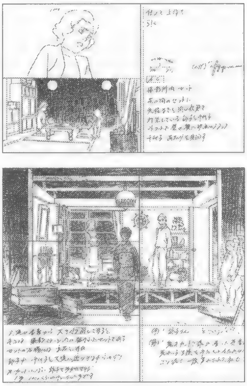
この騙し絵感覚の背後にはアニメーションの構造的な仕組みがあるのだ。これもまたアニメーションならではのおもしろさの一つと呼ぶことができるのではないだろうか。

反復されるシチュエーション

いうまでもなく本作の特徴に「繰り返し」がある。「鍵の君」との出会い、傷の男の登場などは千代子の思い出としてだけでなく、映画の１シーンとなってさまざまに反復されている。だが、そうしたストーリー上重要なエピソードだけではなく、細部にも繰り返し描かれるものがある。

たとえば、千代子の話に出てきた帽子や兜がいつの間にか現実にも登場するという展開。あるいは、白黒写真をつかって状況を説明するという手法。これらはそれぞれ２回ずつ登場している。こうした繰り返しは一種の既視感を生み、これもまた騙し絵感覚を刺激する。

Ｃパートでもまた繰り返されるシチュエーションがある。まずC-694から始まる千代子と母親が口論をするシーン。話している母親が、いつの間にか詠子に変わり、撮影中の映



■（上から）C-711、C-753
普通の家だったシーンが気付くと映画のセットになっている、という展開。千代子と母の口論のシーンと、千代子が大滝を問いつめようとするシーンと２回ある。

画の1シーンへと横滑りしていく。千代子の自宅と思われた家も、いつの間にかセットになっている。

この実際の家からセットへの転換が、もう一度登場する。それはC-740から始まる大滝との結婚生活のシーンだ。掃除をしている千代子は、C-747で、なくしたはずの鍵を大滝の部屋でみつけてしまう。大滝にその事実を突きつける千代子と、だらしのない笑みを浮かべる大滝。そこにふいに詠子が登場し、やがてカメラがこの部屋からT.Bすると、この部屋が実はセットであることが明らかになる。

ここでは前の母との口論のシーンとは違い、家からセットへの転換には、場面転換だけでなく、千代子と大滝の結婚生活そのものがハリボテだったという意味が加わる。

このように二度目に登場する場合は、単に前のシチュエーションをなぞるのではなく、少しずらしたり、変更したり、新たな意味を加えたりしてあるのも、本作の特徴だ。

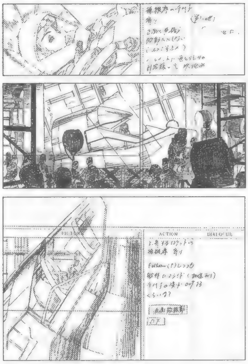
Cパートでもう一つ登場する繰り返しのシチュエーションは、ＳＦ映画の一場面、ロケットの発進シーンだ。これは冒頭、立花がビデオで見ていたシチュエーションの繰り返しだが、前回、画面の外からセリフをなぞっているだけだった立花は2回目となる今回は、千代子を止めようとする男の役でしっかりと登場している。

そしてビデオの時と同様、ロケットのコックピットからカメラが引くと、ロケットはセットであり、その振動が実は地震だったということが明らかになる。

このロケットのシチュエーションでは、二つの事実が明らかにされる。一つは大滝組で働いていた若き日の立花が、この地震による事故から千代子を守ったこと。千代子はそのまま失踪し、千代子が落とした鍵が立花の手元に残ることになったこと。

Bパートで劇中映画の中に入り込んだ立花は、再三、千

■(上) C-656、(左) C-699、(下) C-891 より



■（上から）C-14、C-921、C-1009
三度登場するロケット発進シーン。繰り返されながらも、それぞれ違うシチュエーションで描かれている。

代子を守る役割を演じようとしていた。しかし、劇中映画にも登場する鍵の君、傷の男はともに実際の千代子の体験が反映されているのに対し、立花だけはそういったシチュエーションが描かれていなかった。それがようやく登場したのが、このロケットのセットでの事故のシーンということになる。

また立花が鍵を入手したきっかけが明かされたことで、物語の導入部分についても合理的な説明が与えられることとなった。

冒頭のロケットのイメージを引き継ぎ、物語の導入の背景を説明して、Bパートの立花の活躍を思い起こさせる。さらには、ラストシーンへの橋渡しも行っている。

こうして分析すると２度目のロケットのシーンは、映画全体の結節点になっていることがよくわかる。

まず直前に置かれたC-787から始まる千代子の疾走シーンはBパートを中心に登場した、千代子の記憶と映画の場面を一つの流れにつないだもの。それまで断片的に見え隠れしていたポイントとなるシーンを集め、今監督の言葉通り、虚構を通じて千代子の鍵の君に対する真実を描いている。

それをふまえた上で、どこまでも追っていこうとする千代子の表現としてロケットのシーンが入ってくる。しかもこのシーンは本作の各所に対してリンケージがあり、それによりここまでの本作の全体像が浮かび上がるようになっている。こうした上で物語はいよいよ終幕へと動き出すわけで、千代子の疾走からロケットのシーンは、映画の中で「転」から「結」への導入の役割を果たしている。

そしてラストシーン。ついに三度目のロケットの発進シーンが登場する。ここでは、それまでは飛び立つことのなかったロケットがついに美しく宇宙へと登っていく。立花にできるのはそれを無言で見送るだけだ。こうして、本作は冒頭のシーンと綺麗に対称をなすシーンへと回帰し、さらにそこか

ら一歩進むことできれいに締めくくられる。この対称性もまた「騙し絵感覚」の一つである。

おわりに

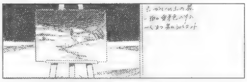
以上、絵コンテと本編を参考にしながら「騙し絵感覚」について考えてみた。

取り上げた場面以外にも「騙し絵感覚」のあるところは多い。たとえば月の地平線とキャンバスの絵の中の地平線が重なるように描かれている部分などは、まさに騙し絵らしい騙し絵になっていると思う。

映画とはもともと、現実とウソのはざまに成立している。そしてアニメーションは映画以上にさらに複雑な現実とウソの混交の中にある。アメリカ人キャラクターの声を日本人があてることは珍しくもなく、誰も不自然とは思わない。その一方で、なんでも絵で描けるのだからと、なんでもありにしてしまえば、それはそれで観客はしらけてしまう。絵のメリットは生かしつつ、「所詮、絵」と開き直ってもいけない。アニメーションで物語を語るにあたっては、このように足を踏み外してはいけない範囲が自動的に決まっている。

本作の騙し絵感覚あふれるシーンは、絵であるメリットを積極的に生かしつつも、「もしかしたら実写でも可能なのではないか」との誤解を生むほどのもっともらしさで構成されている。解説で取り上げた中でも、実はアニメーションらしさではなくて映画らしさに属する「騙し絵感覚」は「繰り返し」による効果ぐらいだろう。そのほかは実写でも可能に見えて、アニメーションでなければできないことばかりだ。このさじ加減が実に絶妙だ。そしておそらく、そのさじ加減は絵コンテを描きながら調整されていったに違いない。

改めて絵コンテの指示を確認しながら本編を見直せば、その絶妙なさじ加減を実感できることと思う。



■ C-894
北海道の雪の地平線に、キャンバスの中の地平線が重なる。はるかなる遠方へと人を誘うような風景だ。

千年女優

| Millennial Actress |

欠番絵コンテ集

| Story Boards |

Commentary of Delete Story Boards Page

欠番絵コンテ集 解説

文：藤津亮太
text by Fujitsu Ryota

ここでは絵コンテの内容が変更となり欠番となったものを集めて紹介する。

C-285 の欠番は、列車が走っていく様子が変更になったためのものである。当初は、縦方向への付け PAN で列車を見せる予定だった。

次に C-520 から始まる幕末の京都を舞台にした劇中映画の 1 シーン。新撰組の傷の男に追いつめられた千代子を黒頭巾の立花が助けにいくまでの部分だ。

ここでおもしろいのは、井田がカメラのテープチェンジをする描写があることだ。テープには「千代子　戦国乱世疾風ドトウ編」とタイトルがつけられるが、一体このテープには何がどのように映っているのだろうか。今監督のインタビューによると、応接室で熱演を繰り広げる千代子と立花が撮影されているらしいが……。

そのほか、走り疲れて肩で息をしている立花の頭から湯気が出ている描写がコミカルでおかしく、また、井田がペンを変な握り方で握っているという指示が、井田のキャラクター性を感じさせて楽しい。

さらに立花がジャンプして姿を消すと、やがて黒頭巾になって現れるという段取りが描かれている。本編ではその場その場にふさわしい格好で適宜登場するという印象のあった立花だが、最初の段階ではいちいち“変身”しているのだ、ということを見せる予定だったようだ。舞台裏を見せるという意味では、井田のテープチェンジと同じ狙いだろう。

次は千代子が幕末から明治までを一気に走り抜けるシーン。C-544 で人力車を追いかける井田が途中でへとへとになったと思ったら、車に乗り換えて追い越していく、という細かなギャグが描かれている。

本編では井田はへとへとになってフレームを左向きに横切るのではなく、いきなり自動車に乗って右へとスライドするようになっている。

C-630 は、千代子が空襲で焼かれた蔵の前に立つシーン。冒頭がフィックスで、千代子が扉をくぐって来るという内容だが、本編では千代子の立ち位置を画面手前に変更。また最初を蔵の 2 階部分からの PAN DOWN で始めるように改訂されている。

本編コンテに欠番となった C-629 が描かれているので、それと合わせて見ると C-630 の変更の理由がよくわかる。C-629 は、焼け

残った蔵を画面奥に置き、PAN DOWNで見せたあとに千代子が近づいていくという内容になっている。このため改訂前のC-630はPAN DOWNなしでスタートしているのだ。

C-629が欠番になった理由は不明だが、蔵へと接近するまでが段取り的で冗長だからだろうか。そしてその変わりに戦後の青空と蔵の全景を見せるためのPAN DOWNをC-630のカット頭に持ってきたというわけだ。

そしてC-553からは最も長い欠番で女学生の千代子が、民権運動家と交流があったことを理由に投獄されるまでのシーンである。

本編では、坂を自転車で走り下りてきた千代子の前に、傷の男が立ちふさがる。そして短い会話の中で言質をとられ、投獄されるという流れになっている。

欠番のほうでは、自転車の千代子の前に立ちふさがるのはまず詠子扮する女教師。音楽の教諭だろうか指揮棒を持っている。

千代子は校長室に連れて行かれるが、途中、遊女屋にいた３人と同じ顔をした女学生が顔を見せる。そして校長室に入ると、立花扮する校長先生が出迎える。

「女学生として恥ずべきことはしていない」と堂々と言い放つ千代子だが、校長から「民権運動家とやらをかくまった疑いがあると……」と言われると、急に言いよどんでしまう。

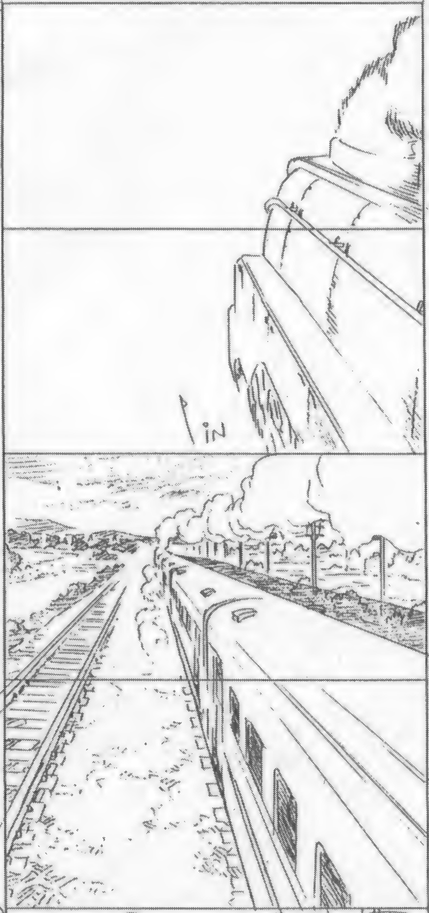
それまでイスに座って顔が見えなかった傷の男が立ち上がり、千代子を見る。「証拠は上がっている。君の家の蔵に他愛もない置きみやげが見つかってね」と言う傷男。驚く千代子は「あの人が……!?」とつい口を滑らせる。この傷の男とのやりとりは、本編と同じ。

この後、立花が「待ちなさい!!　うちの生徒には指一本触れさせませぬぞ！」と抵抗するが、カットがかわると、千代子は連れ去られ、痣(あざ)だらけの立花が残っているという展開となる。

欠番カットを見てみると、全てBパートのものばかりだ。劇中映画が多いパートだけに膨らめられるパートだったのだろう。そうして膨らんだ結果ストーリーに関係がなく冗長になりそうな部分をカットしていることがわかる。

キャラクターの描写や舞台裏の説明など、ディテールとしては魅力的な部分が多く含まれているが、映画全体を散漫にしないための判断としてはやむをえないところだろう。

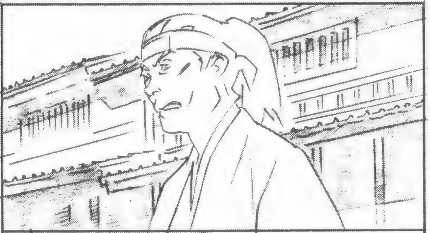
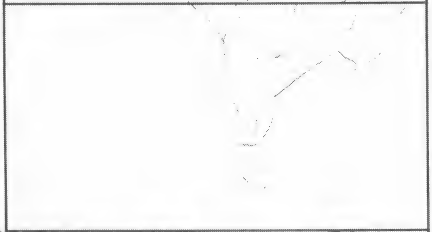
■ No.119 大陸の原野を走る満州鉄道（Bパート） マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
285		満州の荒野、夕暮れ間近。 地平線を目指し 黒煙を上げ 列車が行く。 P付けてPAN・UP.		5+0
286		列車内、窓外の 流れる景色から →PAN・TB 窓ガラスに映る二人	FIX 3+0 PAN 5+0 FIX 4+0 ㊥（off） 「撮影放っぽり出していいンスか？ わがままッスねェ」	12+0

( )

■No.214 テープチェンジする井田 -1（B パート）

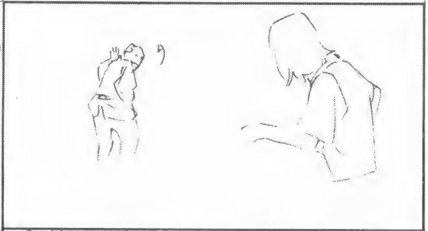
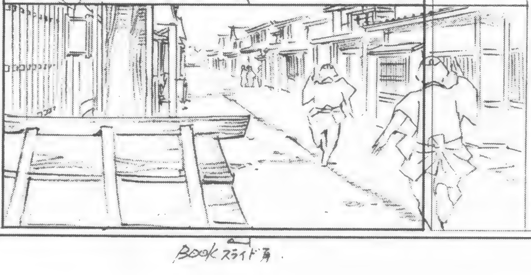
マッドハウス

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
520		A C 千代子を鋭く睨む倩男.	(倩)「女……見覚えがあるな」.	3+12
521		ギクッとなる千代子.		2+0
522		井田のDVカメラ寄り カセットがイジェクトされる		
		つまみ上げる井田の手.		4+0
523		露地にしゃがみ込んでいる井田 奥に立花 立花 疲れ果て 壁を支えに2-3歩 歩く	(井)「まったく 見失ってどうすんねん……」(独り言風に)	

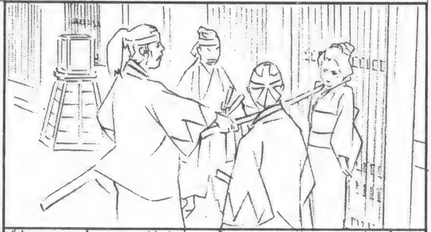
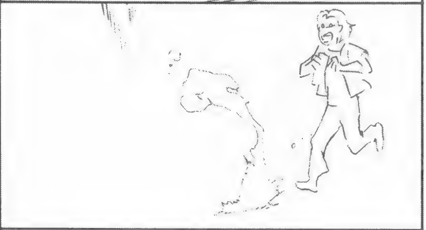
※カット内容変更…○別紙

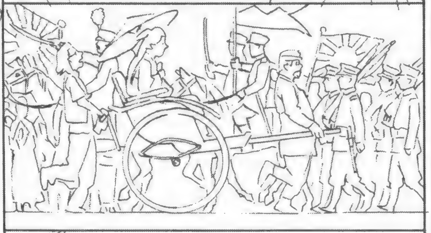
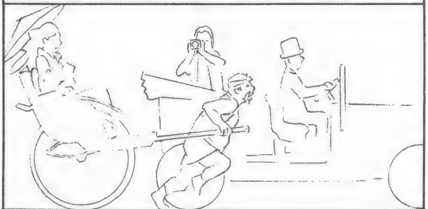
(欠)

( )

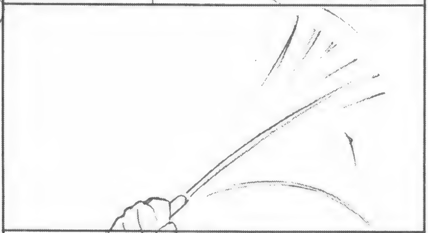
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
欠 523		立花、井田を振り返りセリフ	㊤「早くしろ！トラ吉!!」	6+0
欠 524		立花寄り 肩で息をしながらも見栄をはる。 頭頂からうっすら湯気	（苦しげに） ㊤「いい若い者がこれしきのことで根を上げやがって！ゼー ゼー」	5+0
欠 525		カセットのケースに、タイトルを書き込む井田の手。（変な握り方）	㊣（off）「へえ へ」 ㊤（off）「ああ～～っ!!」	4+0
欠 526	 	先程までの疲れもどこへやら、一目散に走り出す立花 通りの奥に新撰組に囲まれた千代子 →付けPAN	㊤「千代子さん!!」	3+0

BOOK スライド可

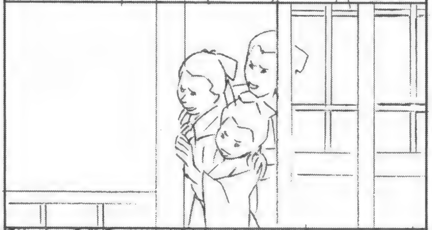
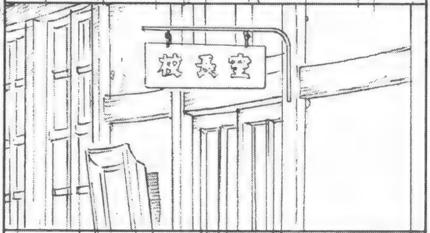
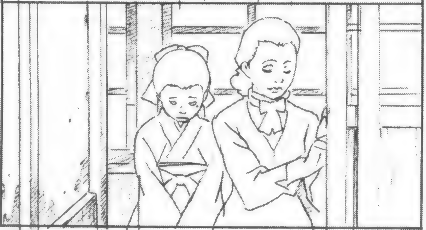
	CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
(欠)	527		新撰組に囲まれ責される千代子	(隊)「その方、何か隠しておるな!!」	4+0
	528		白刃にさらされながらも健気に耐える千代子	(隊)(off)「言え！逃げた男の行方を知っておろう!!」	3+12
(欠)	529		千代子の元に急ぐ立花、井田 [背動]	(立)「ぬおおお！千代子さんのピーンチ!!」	
			タッと地面を蹴り、フッと消える立花。	(井)「今度は何ですの!?」	6+0
	530		[C.528同ポ(寄り)] 刃が返る。	(隊)(off)「よかろう…屯所でゆっくりと聞かせてもらおうか」 (SE) パァァン	(　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
544		人力車に揺られる千代子 →Follow 背景はやはり明治のモダンな建物 モブも洋装 ↑PAN・UP（O.L中）		
		へとへとになって走る井田が（←）IN 千代子に追い越さんと？ 行く。（OUT気味）		5+0 (O.… 含
545		人力車 FOLLOW ← 車夫は立花。 遅れる井田が左へOUT。 日露戦争当時の近衛兵の隊列が行き過ぎる。 →その奥に日の丸の小旗を振る一般市民。 ㊫ 日本の軍装 BGはやはり明治の街並。		
		OUTした井田が自動車に乗って立花の人力車を追い越して行く。 懸命に走る立花。		5+12

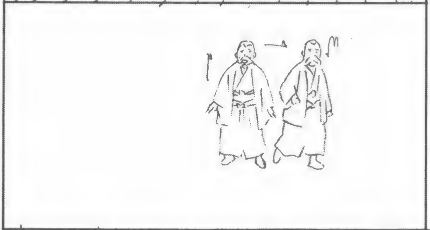
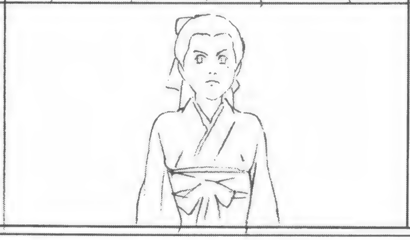
( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
553		急停止した自転車の前に立つのは詠子。 P PAN・UP. 詠子、手に持った指揮棒をしならせている。	㊉「詠子先生…」 詠「(また)勝手に学校を飛び出して、どこに行くつもり!?」 ㊉「あの…どうしても家に帰る用事が…」 Fix 3+0 PAN・UP 5+0 Fix 9+0	17+0
554		指揮棒が放たれる	ビィイイ…。	
		睨む詠子。	詠「あなた!今大変なことになってるのよ!!」	5+12

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
② 555		女学校 廊下. 瑛子の後を うなだれて歩く千代子 ← Follow.		
		Follow止まり 2人はOUT（←） 三人娘 ㋑㋺㋩ （※遊女屋にいた三人と同じ顔） 教室の戸から顔を出して噂をする	㋑「また何かやらかしたのね、藤原さん」 ㋺「今度こそ退学ね」 ㋩「いい気味だわ」	
556		校長室 前.	(SE) コンコン （ノックの音）	
		木戸が開く. （スライド）	カラリ (off)(瑛) 「失礼します」	5+0
557		校長室 内. うなだれて立つ千代子		

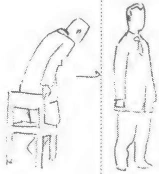
(　　)

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
557		窺うように 上目使いで顔を 少し上げる千代子	off でかぶる	4+0
558		立ち上がった校長 らしきその男は 立花。 机の前に2人の 男。（左は儒男 右は警官）	㊤「おおッ 藤原君！ よくぞ戻って来て くれた!!」	
		立花、机を回って 手前へ来る		4+0
559		C.557 兼用 千代子、すでに 室内に入っている。 しおらしく謝る その背後で、 意地悪そうな 表情で木戸を閉める（スライド）	㊥「ごめんなさい 校長先生…」	
		セリフ言って、 胸を張って 顔を上げる		5+0

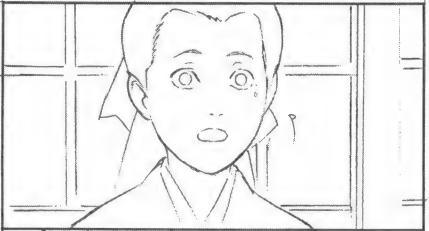
( )

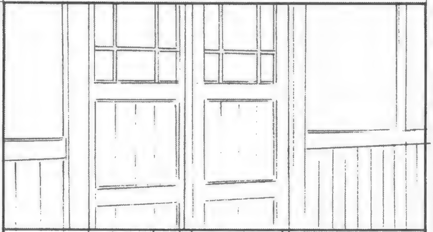
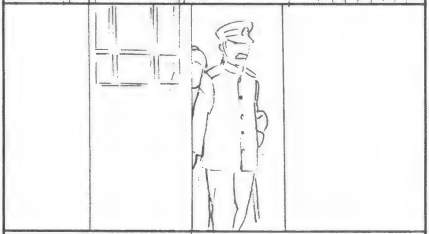
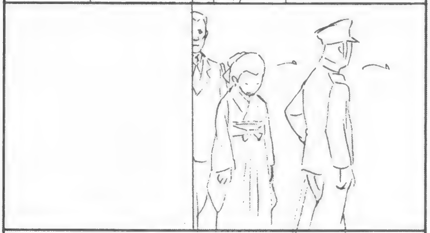
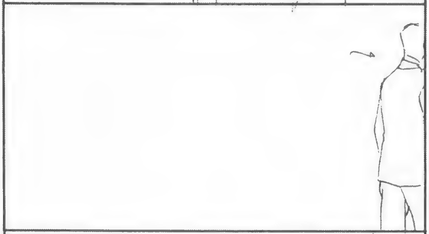
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
560		C.559 ポン寄り 堂々と言い放つ千代子	(千)「でも私、決して女学生として恥ずべきことはしていません！」	4+0
561		千代子なめて立花 カット頭 1歩半へ2歩くらい来て立ち止まる 左奥に出画	(立)「そうだろうとも!! よーく分かっている！	
		背後の警官を気にする立花	だがな… 警察は君が民権運動家とやらをかくまった疑いがあると…	12+0
562		ギクッとなる千代子		
		言い淀む 傷男の声にハッとする千代子	(千)「それは…」 (off)(傷男) 「その続きは警察でゆっくり聞かせてもらおう」	8+0

( )

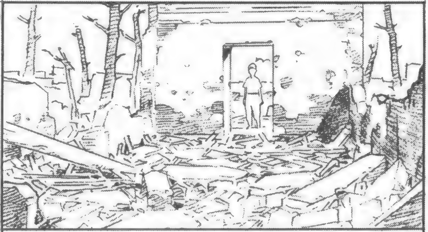
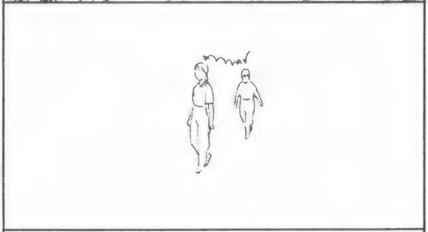
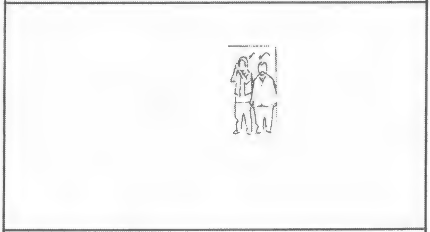
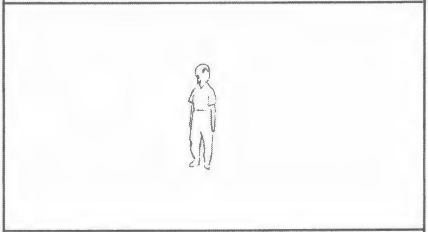
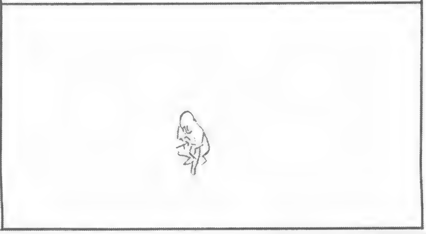
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
563		立ち上がる傷男 		3+0
564		愕然とし． 怯える千代子	傷 (off) 「証拠は上がっている」	4+0
565		C.561．兼用 後じさる千代子 近付く傷男． （1歩 1+18kくらいのゆっくりした足取り）	(ON) 君の家の蔵に 他愛もない置き 土産が見つかってね」	6+0

（　　）

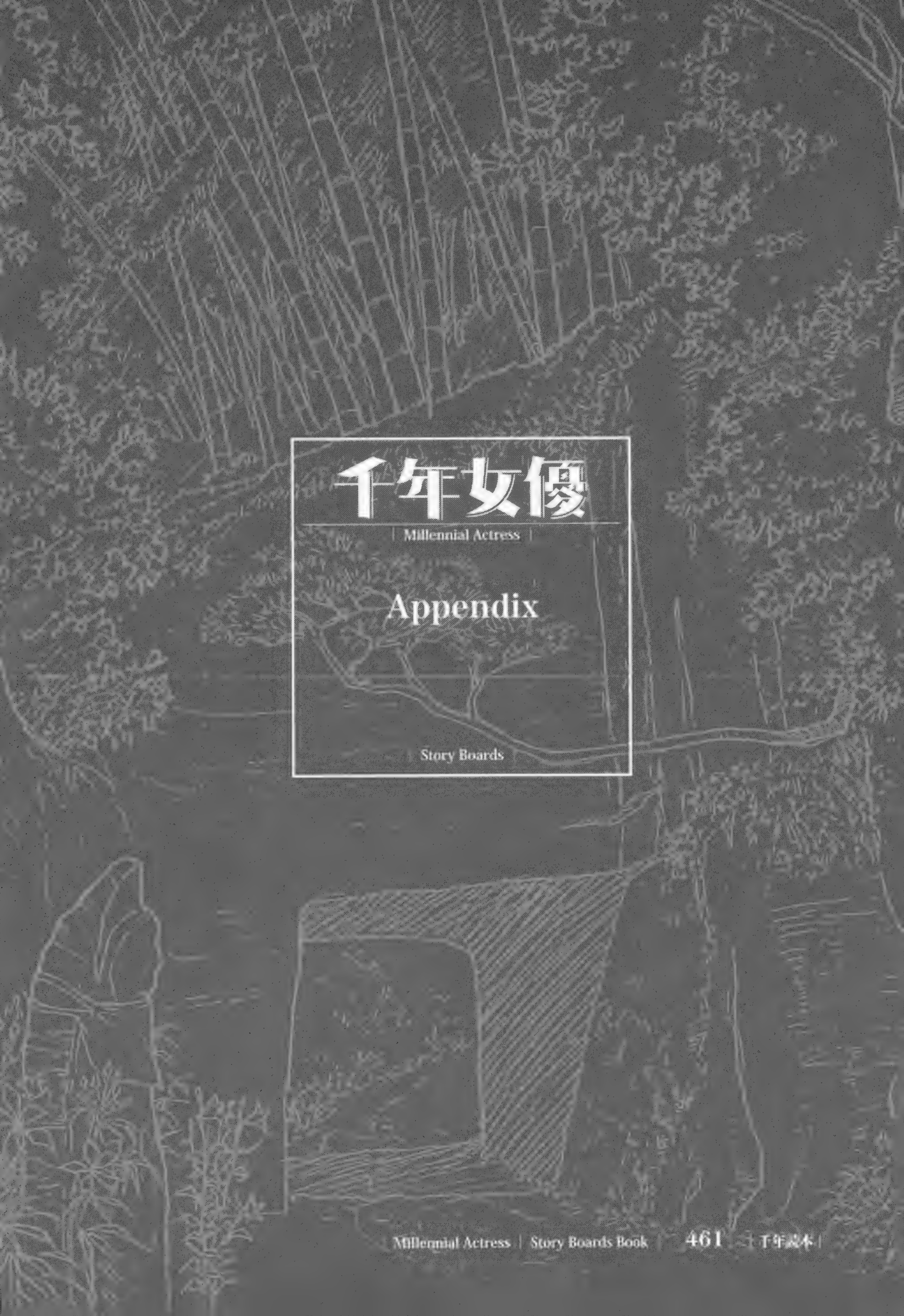
CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
567		傷男の言葉に驚く千代子。	㊉「あの人が…!? 私…知らない!!」	3+12
568		ゆっ〜くり近付く傷男。 〜Follow	(傷)「奴のことを知っている…それで十分だ。」	
		立ちはだかる様にINする立花。		5+0
569		AC		
		千代子をかばう立花。	(立)「待ちなさい!! うちの生徒には指一本触れさせませぬぞ!」	5+12

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
570		校長室前.		
		ドアが開き. 警官を先頭に		
		千代子を連行して行く.		
		傷男が最後に OUT.		2+0
571		校長室内. 泥だらけの 千花と 父の隣に しゃがんでいる 井田.	(立)「千 千代子君」 (井)「指一本触れさせへんのは 社長ですやん」	2+0

( )

CUT	PICTURE	ACTION	DIALOGUE	TIME
630		蔵の跡 戸口に千代子IN ちょっと立ち止まる		
		手前に歩いて来て 中央に立つ 呆然とあたりを 見回す		
		その後ろ 立花と 井田がIN 千代子を見守る		
				
		足元の何かに 気付いてしゃがみ込み 手を伸ばす		20+0

(　　)



千年女優

| Millennial Actress |

Appendix

Story Boards

Millennial Actress Story Boards Book Commentary 2

立花源也という「観客」

文：藤津亮太
text by Fujitsu Ryota

映画が映画であるためには、一体誰が必要だろうか？　監督？　プロデューサー？　それとも主演の俳優？　そのどれもが必要であることは間違いないだろうが、もっと重要な存在がある。それは、暗闇の中でスクリーンを羨望のまなざしでみつめる人物——観客だ。

なにしろ公開された映画で観客がゼロだった、という話は聞いたことがない。驚くべき事にどんな映画にもかならず観客は存在しているのだ。こうなると観客が存在しない映画は映画でないといってもいいだろう。映画は観客に見られるこ

とで、死んだフィルムの中から甦るのである。たとえ観客が一人だけだとしても。

『千年女優』は、そのタイトルの通り女優についての映画であると多くの人が思っているだろう。もちろん、それはその通りで、間違ってはいない。しかし立花の視点からこの映画を見ていくと、もう一つこの映画には「観客の映画」という側面が潜んでいることが浮かび上がってくる。そもそも先に書いたように観客がいなければ映画は成立しない。そして、映画女優の出番も永遠に現れないのだ。女優についての映画である以上、コインの裏側が「観客の映画」であるというのは、ある意味当然のことなのだ。

立花源也はいつも見てばかりいた。映画の中の千代子と詠子の掛け合いを楽しみに観賞し、大滝組のはじっこで撮影現場を見、大滝と千代子の修羅場を目撃する。懺悔する傷の男を最後まで見ていたのも立花だった。

それは長じても変わらない。番組制作会社の社長となった立花は、現実の記憶と映画の思い出が混ざり合った話を嬉しそうにする千代子をただただ見るばかりだ。その様子を見ていると、本当にあんな調子で番組が成立するのか心許なくなるほど、千代子の話に寄り添っている。立花はスクリーンを見上げて憧れ続ける永遠の観客なのだ。

立花は「鍵」を持っていた。引退後はマスコミにはあまり登場していなかったとおぼしき千代子が、立花の取材を受けたのも、「この『鍵』を返すから是非」というようなやりとりがあったからにちがいない。一方的に見つめるだけだった立花は、「鍵」があったからこそ千代子に近づくことができたのだ。

この「鍵」について、鍵の君は「一番大切なものを開ける鍵」と千代子に説明していた。だが、立花にとってもそれは正しかったようだ。「鍵」は千代子という映画に出会うため

のチケットとしての役割を果たしたのだ。

解説でも触れたが、千代子の家に向かうトンネルが、画面の中にもう一つフレームを作り、まるで立花がそのフレームの中に入りそうに見えるカットがある。この瞬間から立花は、千代子という映画を観賞する唯一の観客となったのだ。

千代子の語る物語は実に途方もない。記憶と映画の思い出が混ざり合いその境界線は判別不能だ。だが、立花はその一つ一つに相づちをうち、千代子の話を促す。観客である立花にとって、回り始めたフィルムの内容を選ぶことはできないのだ。観客に与えられた選択権はただ一つ。その映画を見るか、見ないか、だけ。映画と観客は常に非対称な関係なのだ。一旦、その映画の観客になろうと決めた以上、あとはその映画とともにラストまで歩むほかはない。

だが立花だって最初から観客になろうと思っていたわけではないだろう。銀映の撮影所に入った時は、やがては千代子と仕事をして、憧れのスクリーンの向こう側の人間になりたいと切望していたはずだ。そんな思いの残滓が、千代子の語る物語にも影響を残している。それまではまるで幽霊のように手を下すこともできず、ただ千代子の語る物語の中で右往左往していただけの立花だったが、やがて千代子が語る映画の思い出の中に登場人物として登場するようになるのだ。

わずかな瞬間だが観客の立場を抜けて、スクリーンの中へと入り込む立花。映画の中で立花が演じるのは千代子を助ける役回りだ。しかし千代子はほとんど、立花を顧みない。立花が切々と千代子に対する思いを語り始めるころには、すでに憧れの君の下へと駆け出している。実はここでも立花は一方的に千代子を助けるだけなのだ。映画の中に入ろうとも、二人の関係は一方的に見つめる観客だった時の立場と、結局ほとんど変わっていない。

立花は本作の冒頭で、千代子主演の映画のビデオをみつめ、

その中のセリフを口にする。ロケットで飛び立つ千代子を見送る立花を見た後、もう一度冒頭のシーンに帰ると、ここに観客としての立花の全てが凝縮されていたことがわかる。このシーンは「女優の映画」ではなく「観客の映画」としての側面をとても明確に示していると思う。

つまり「観客の映画」とは、「観客はスクリーンの向こう側へと足を踏み入れることはできるのか」という問いかけをもって、観客はあがき、挑戦し、多くの場合は失敗する物語なのだ。

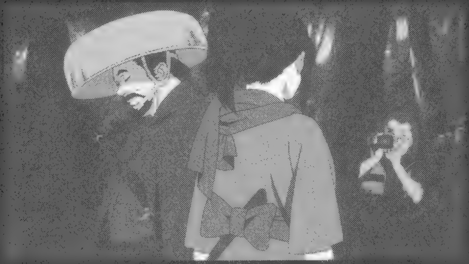
と、ここまで書いて、ふと思い出した場面がある。

それは月面にキャンバスが１枚たっているあのシーンだ。千代子が思いをかける鍵の君は、そのキャンバスの中の雪原に立ち、今まさに歩き去ろうとしている。別れを告げるように、月面にいる千代子に手を振る鍵の君。「お願いです。待って！」とキャンバスの中の鍵の君に叫ぶ千代子。しかし、その声は届かず男の姿は消えてしまう。

この時の千代子はまるで「観客」のようではないか。いや、考え直してみれば、千代子はつねに鍵の君に対しては観客だったのではないだろうか。千代子は「女優の映画」を語りつつ、その背後で「観客の映画」も演じていたのだ。

思い返せば千代子はいつも鍵の君が描いた絵や文章を一方的に見るだけだった。鍵の君が蔵の壁に残した似顔絵しかり、傷の男が戦後に持ってきた古い手紙しかり。そもそも月面に立っていた雪原の絵にしても、絵そのものは彼女は目にしていない。ただ鍵の君の話を聞きながら、彼女が一方的に想像を膨らませたものに過ぎないのだ。

千代子と鍵の君が出会ったのは１回だけ。戦前、傷の男に追われた鍵の君を自宅の蔵にかくまった時だけだ。千代子は結果的にこの時の一瞬の邂逅を、生きることになった。その人生はまさに「観客」としかいいようがないように思う。



月面に立ったキャンバス。それは観客を誘うようにも、拒むようにも見えるもう一つのスクリーンだ。千代子はその前で叫ぶだけしかできない。丁度、立花がビデオの前でセリフをつぶやくだけしかできなかったように。

しかし、千代子は最後に切り札を手にする。立花が持ってきてくれた「一番大切なものを開ける鍵」。この鍵は、立花を千代子のところに誘った、いわば映画館の“チケット”だ。チケットさえあれば、スクリーンの向こうにはいけないかもしれないが、立花と同じように、映画を見るように再び大切な人と出会うことはできる。

千代子は、死期が近いことを自覚した病院のベッドで立花に言う。「ほら、鍵もここにある……。あなたのお陰ね。この鍵はあの人の思い出を開けてくれたの」。ひとときき顔すら思い出せなくなってしまった鍵の君。しかし鍵というチケットが、再び鍵の君の姿を彼女の中に甦らせたのだ。また、彼女は「観客」として決意を固めており「悲しくしないで。だって私、また、あの人を追いかけていくんですもの」とも立花に語っている。ここで千代子が進もうとしている「スクリーンの向こう側」は既に彼岸だ。

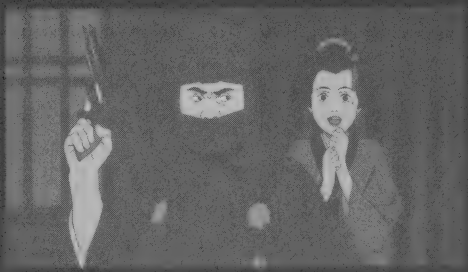
そして「鍵」によって千代子と再会を果たした立花は、またも一人で「スクリーンのこちら側」に残されることになる。

「観客」というのはどこか滑稽で、どこか悲しい。誰かが映画の観客は皆、風狂なのだ、と語っていたが、狂おしい気持ちの人間は道化の悲しさを演じなくてはならなくなる。

立花は千代子に言う。「……今度はきっと逢えますね。あの人に」。

だが、千代子は答える。「どうでしょう。でも、どっちでもいいのかもしれない……。だって、私……だって私、あの人を追いかけている私が好きなんだもの」

この映画で立花が最後に登場するのは、この千代子のセリ



フの途中。「どっちでもいいのかもしれない」の後だ。立花はこの意外な言葉に驚いたような表情を浮かべる。

そしてカメラが切り替わると、千代子は病室ではなくロケットのコックピットにおり、発進と共に残りのセリフを告げて、宇宙の果てへと飛翔していく。

このセリフを聞いて立花役の飯塚昭三は「俺がやっていたのはなんだったんだ」と思ったそうだ。確かに、この立花の最後の驚きの表情は、最後まで千代子のことを理解させてもらえなかった、悲しくも愚かしい「観客」の顔にほかならない。

「女優の映画」として千代子の最後のセリフを聞くと、徹底的に自分の情念に自分の存在を預けている女の姿が見えてくる。それまで語られてきた純な思いが、ややベクトルを変えて千代子自身へのこだわりへと転化する一瞬はその生々しさにドキッとさせられる。

しかし、これを「観客の映画」のセリフとして考えたらどうだろう。「観客」はスクリーンの向こう側へ行こうとはするが、自分たちが決してそちら側に行けないことも知っている。にも関わらず彼らが飽きずにスクリーンを眺め続けるのは、そうした無限に焦がれ続けている自分が好きだからではないか？

そう考えた時、千代子のセリフは「観客」として自分に焦がれ続けていた立花に、自分もまた一方的に焦がれ続けている「観客」に過ぎなかった、と告白しているようには聞こえてはこないだろうか。もしそうだとしたら、この一瞬だけ千代子と立花は同じ「観客」という悲哀と滑稽さを共有したことになる。

立花はたった一人の観客として、千代子という映画の最後のセリフを聞き取ることはできたのだろうか。

「観客の映画」としての『千年女優』はそんな物語なのだ。

Millennial Actress Story Boards Book —— Long Interview

千年流絵コンテ術

今 敏 監督ロングインタビュー

インタビュアー：氷川竜介
interview by Hikawa Ryusuke

KON SATOSHI LONG INTERVIEW

◉シナリオから絵コンテの間にあるもの

——絵コンテ作業の時期を教えてください。

今　'99年の4月イン。そこから'99年一杯、9カ月ぐらいというところですね。

——インする時は、シナリオはもう完成していたんですか？

今　いえ。スケジュールの都合で、シナリオが上がる前にコンテに入らなくてはならなかったんです。改稿しても冒頭は変更にならないという読みがあったので、順番に頭から描いていきました。

——実写の"順撮り"みたいな感じですか。

今　人によってはバラバラに描くこともあるようですが、私の場合、これまでの作品も最初から順に描いています。絵的な面で膨らませたり、セリフ内容の吟味や調子の統一については、コンテ段階でかなり踏み込んでやっていくので、順番に描かないと無理なんです。たとえばシナリオにはなかった映像的な伏線を張ったり、その落ちをつけたりということが絵コンテ作業中には多々あるんです。特に『千年女優』は複雑な構成の作品なので、絶対に頭から描くしかなかったです。

——絵にして初めて気づくこともあるということですか。

今　たくさんありますね。例えば、この最初に出てくる月面基地。これが蓮の形をしているということまではシナリオに書いてありません。外観は、コンテで絵を描く段階になって初めて考えました。こうして蓮の花にしてみると、後々意味が大きくなって活かせるという欲が出てきます。他にも、漠然と思っていたことが、描いてみてはっきりしたことは多いです。特に『千年女優』はあんまり設定をつくらない作品でしたから。

——すると、細かなビジュアルは、絵コンテが設定を兼ねていたということですか？

今　そうです。もちろん劇中に何度も登場する山荘などは、先行して美術監督にディテールの設定などを依頼しましたが、かなりの部分はコンテ上でデザインしました。結局、自分で描いてみないとわからないことが多くて、形に表してみて初めてシナリオの足りない面も見えてくる。でも、アニメーションのメリットはそこにあると思っていますから。

——メリットというのは？

今　実写だとシナリオが上がったら、そのまま撮影に入らなければならないのでしょうが、アニメの場合、絵コンテ期間を使ってシナリオをさらにシェイプアップできますからね。作画作業と並行しながらとは言っても、絵コンテにかけている9カ月ぐらいは、実はまだシナリオの決定稿を書いている状態だとも言えるんです。もちろんシナリオはシナリオとして決定稿を出すんですが。

——時間をかけて、もっと精度を上げていくという意味ですか。

今　実際、コンテで大きく変わりますしね。本

当は、一言一句変えなくてもいいようなシナリオが理想だとは思っていますが、どうしても決定稿から3カ月たてば3カ月分、作品に対する自分の考えも深化しますから、変わらざるを得ないんです。

——『MEMORIES』の中の一編『彼女の想いで』では今さんがシナリオを担当されています。そのときの感覚と、シナリオから絵コンテを描く感覚は、やはり違うものですか。

今　全然違いますね。『彼女の想いで』の時はシナリオだけで、コンテは当然監督の森本（晃司）さんが描いてます。なので私がシナリオで想定した映像とはずいぶん違ってます。違うから良い面もあれば、違うから不満という面も当然あって、すごくおもしろい経験でしたね。同じシナリオでも演出家の個性によって読み方がまったく変わる場合があるんです。

——結局、今さんがシナリオに求めているものとは何でしょうか？

今　シナリオ段階で絶対にやっておくべきことは、構成だと思いますね。コンテ段階で、セリフなど確かにいろいろ変えるのですが、構成を変えることはありません。エピソードの順番がこうなっているから、全体の流れがこうなるということだけはシナリオで決め込んでおく。もしコンテでそこに手を入れ始めると、それはもう改稿になってしまいます。そもそもコンテで構成に手を入れることになるようなシナリオを決定稿にはしませんけどね。

——精度は上げても改訂はしない、という感じなんですね。

今　自分でシナリオを書くこともあるのでわかるつもりなんですが、文字だけのときには文字だけで意味がつながるように書いてしまいがちなんです。しかし、それを映像にすると、絶対にくどく感じられるんですね。絵でわかることをさらにセリフでも語っていたりするんです。逆に絵コンテで「この部分は絵で伝わるからこのセリフは切る、あのセリフも切る」と編集した状態から、文字だけを抜き出してシナリオにしたら、今度は多分意味不明な部分が出てくるんです。ですから、自分がシナリオを書くときに、もし最初から最終的に必要な分しかセリフを書かなかったら、面白みが伝わらないと思うんですよ（笑）。

——読んでもわからないシナリオになってしまうんですね。

今　ええ、なので自分で書く時も、シナリオではわざとセリフを多目に書くようにしますね。現状ではシナリオにはシナリオのバランスが必要みたいです。シナリオは映像的な想像力で補って読まなければなりませんし、それだけの訓練をしている人は非常に少ないですからね。シナリオを面白く読むには技術がいるんです。

◉セリフの整理と編集

——今回の作品で、絵コンテにしていくときに初めて気づいたことを、具体的に話していただ

けますか。

今　シナリオ段階では、千代子の人物像がいまひとつよくわからなかったんです。この映画は、壮大な自己紹介の映画と言ってもいいですよね。なのに千代子がどういう人間かわからないと最大の欠陥になってしまいます。

——どの辺に不明点があったのでしょうか。

今　千代子が何をするかということは決めたんですが、千代子という人物をどう見せていくか、具体的な芝居が見えなかったんです。それがコンテ段階で「あ、これだ！」と見えてきたのが、最初に山荘に老千代子が現れて立花とやりとりをするあたりです。あそこでの会話は、シナリオだともっと意味が分かりやすいやりとりだった筈です。

——お互いに自己紹介をしあう感じだったんですか。

今　自己紹介というのではなく、二人の会話が1、2、3、4、5、6、7、8、9、10という具合にもっと論理的に段階を踏んでいたんです。それを途中を抜いて1、5、7、10という風にしてしまっても、流れはわかるんです。そうやって取捨選択して千代子のセリフを作ったんですが、その途中がとんでる調子が「すごく千代子っぽいなあ」と思えたんです。

——それで千代子が見えてきたわけですか。

今　このシーンに限らず千代子と立花の会話は、実はかみ合っていないんですよ。でも、初めて見るお客さんには流れとしてかみ合っているように見えなければいけない。意識的にかなりセリフを抜いたりして、立花の話を聞いているようで聞いてない感じにしていったんです。ただ単に聞いていないだけだと、嫌な女にしか見えませんから、コンテを描きながら、何だかニコニコしながら人の話はちっとも聞いていない（笑）というふうにしていって、そこで初めて「そういうキャラクターが千代子なんだ」とわかってきたんです。そのとき、全体の方向性もはっきり見えたと思いますね。

——なるほど。先ほど言っていた、セリフをいじるというのはそういうことなんですね。

今　そうです。だから、シナリオの構成を大きく変えることは全然ないんです。同じ人間をどう見ていくのか。演出の視点、広く言えば作品に対する視座、そういう問題です。今回は早い時点でそれが自分の中で定まったので、すごく楽でしたね。今回の村井さんということではないのですが、シナリオライターは得てして安直に受け答えするセリフを書くみたいですね。

——リアクションをつけてしまう？

今　セリフの頭が、「え、だって」「そうよね」とまず受け言葉から始まるんです。確かに、相手の話へのリアクションがあってから自分の意見を言うのが普通かもしれないのですが、そういうお約束をはずすと、千代子になる（笑）。その方が単刀直入なコミュニケーションじゃないかという気もしますし、千代子には潤滑油的な言葉は必要ないということは意識しましたね。その傾向は現在制作中の「東京ゴッドファー

ザーズ」でさらに進んでいます。

——現実の会話も意識されたのでしょうか？

今　女房とその友達、そして私の３人で話しているとき、彼女たちの話題の飛び方についていけないと感じたことがありました。彼女らは普段と同じように話が通じているんです。「きのう何とかの事件があったじゃない」って言われたら、私はその事件のことを一所懸命に考えます。ところが、２人はこっちが考えている最中にもう別の話題に突然行ってたりする。「あれっ」と思って新しい話題について考え始めると、また同じことが起こる。でも、平気で20分後に「で、さっきの事件なんだけど」と戻ってきちゃったりして（笑）。そういうのが、面白いと思いましてね。深く考えていないということでもないし、話題が散乱しているわけでもなくて、色々な話題を滑りながらつながって、ひとつの場をつくっている……千代子の会話はそういうイメージにしようと思ったんです。

——それはセリフだけではありませんよね。

今　作品そのものの構造がそうです。立花は一所懸命、千代子についていこうとするんですが、追いつく前にもう千代子は全然違うところにいます。映画自体もそういうふうにしようと思ったんです。お客さんも、普通の映画は論理的に構成されているものだと考えているだろうから、裏切る意味でもそういう流れにはわざともっていかない。そういうことは心がけましたね。

——カットの編集に、そういう感じが強く出ていると思いましたが。

今　出ていますね。カット内で「起承転結」を終わらせない、「結」まで行ってはいけなくて、「起」もないという風にね。「承転」しかなくて、「結」は次のカットに移っていて、そこでその「結」自体がもう「起」に変わっている。概念的な言い方になりますが、そういう考え方です。でも、多くのアニメ、特にTVアニメなんかだと、芝居やセリフなんかがそのカットに収まるようにできているんですよ。

――具体的に言うとどういうことでしょうか。

今　例えば、「どうしたの、元気ないじゃん」というセリフを言うとしますよね。するとセリフの最後でカットが終わって、次のカットは「うん、実はね……」という相手のリアクションから始まって、セリフをカットいっぱい描いて……と、全部セリフの終わりで切っていく。これだと段取りくさいという以前に、音声と映像の切れ（編集点）を一緒にしているためぶつ切れに感じられて、100カットがつながった一本の映像ではなく、単にバラバラの100カットを続けて見ているようにしかならないんです。カットの連続によって生まれるものが非常に少ない。もちろん、アクションが繋がっていたりするカットだと、両方のカットがそろわないとチェックできないとか、制作現場の事情があるのはわかるんです。でも、絵の切れ目を音でつないでもいいわけです。セリフの途中でカットを変えて、オフゼリフにして次のカットにかぶせるとか、やり方はいくらでもある。要するに1カット単位の発想では映像作品としての力は生まれない。私の場合、そういうことが非常に気になる方なので、オフゼリフやアクションカットが多くなるのかもしれません。

――実写のアクションカットのように多少長めに作画して、編集で詰めるということはできないんでしょうか。

今　可能ですが、私は後加工ということはほとんどしません。そんな無駄になることが分かっていながら作画で苦労するのは私なら絶対に拒否したい。やってみないと分からないこともたくさんありますが、やらなくても分かることも多い。アニメの場合はまず先に編集を行うことになりますが、編集するからには編集点が必要です。その編集点をシナリオ上で探りながらカットを割って行きます。

――シナリオで編集というのは？

今　シナリオ上で、セリフの切れ目や感情や芝居の流れをとらえ、どこに編集点があるか見出すかが、私のコンテ作業の第一歩なんです。ストーリー部分の完成度を鍛えていくのがシナリオ作業ですよね。でも、出来上がったシナリオを演出家が読むときには、違う観点で読んでいくんです。本来は、コンテ段階で編集対象であるシナリオは揺らがない方がいいに決まっているんです。でも、セリフ調整も同時にやらなければならないので、それがコンテの難しいところではあるんですが。

――理想的には、やはり実写のように先に各カッ

トを長めに作って編集段階で煮詰めていくほうが楽ということにはなりませんか？

今　いや、そういう「後で切ればいいじゃないか」という合理性が有効だとは決して思いません。作業上の無駄も大きくなる。シナリオ上でいい感じの編集点がない場合は、それを発生させるためにセリフを変えたり付け足したりということもします。内容ではなくて語尾を変えたり言葉の頭に呼びかけを入れたりね。「あっ」と一発入れておいてカットを変えてオフゼリフにするとか、つながりが悪くなりそうなところはセリフでつなぐようにしたりする作業も同時にしていますから、後でというわけにはいかないんです。

――編集点を選ぶ基準はありますか？

今　映画を見ている人間には、画面内で動く、音が急に大きくなる、そういう刺激に反応する習性があります。特にアニメーションの場合は意図がない限り動きはありません。だから、観客の意識が向いている動きや音の途中でつなぐと切れ目が意識されないんです。それが止まってからだと違和感を感じるんですよ。もちろん止めの余韻や間も編集によって生まれるものですが、とにかくお客さんが刺激にどう反応するか予想しながら編集点を探しています。

――どうやって見つけるものでしょうか。

今　シナリオにまずここが編集点、という線を引くんです。その段階で自分の流れに乗らない部分がはっきりしてきますから、そこを多少変更したりしながら、絵を描いてキャラクターに芝居をつけてみて、感情の流れなどを整理していくんです。ですから、シナリオ段階ですごく強い感情を持っていたセリフも、自分の流れから外れていると、感情の高まりを通り越した無表情な顔にするといった変更もあり得る。たいていは簡単なマルチョンの絵でラフを50カットぐらい作ってから、清書します。その段階で改めて「このままこの芝居はできない」と気づくこともあるので、そこからまたカット割りに戻る場合もあります。要するに、シナリオにある文字の都合と、絵の流れという都合を織り込んでいくのが絵コンテの作業というわけです。私の場合、さらにそこに設定と、場合によってはキャラクターデザインの作業も兼ねることがあり、それがコンテが遅れる原因にもなると（笑）。

◉コンテとレイアウトの差

――それで絵コンテのページ中にも、千代子の写真などキャラクターが描かれている部分があるのでしょうか（本書ではAパート末に掲載）。

今　決して多くない予算で作るためには、制作期間を短縮する必要がある。そのためには絵コンテ段階で基本的な芝居内容はもちろん、レイアウト的な問題も整理しておかないとならない。もし、絵コンテはマルチョンで描けばいいと割り切って3カ月で終わらせて、美術設定は別に作り、具体的な構図や大まかな芝居は担当原画マンと打ち合わせして……とやっていたら、結果的におそらく倍の制作期間が必要だと思いま

す。もしくは同じ期間で半分の密度しかない画面になるか。カット内容にしても「これは止め絵でも大丈夫」といった判断は、具体的な絵を描いてみないとわからないです。そういう意味でも、絵コンテで完成に近いイメージをあらかじめ作り、ここは止めるとか、ここはこの程度やればいいんだとかいう指針も、スタッフで共有できるようにした方がいいと思っています。

——では、逆にいきなり設定兼用のレイアウトを起こして、あとで縮小して絵コンテというわけにはいかないのでしょうか。

今　それは、やっぱりつながりで見ていかないと……映画ですからね。レイアウトを1カット単位で見てもつながりが実感できないし、やはり一目で理解できないとだめですね。

——今回の絵コンテの密度は、ほとんど完成画面のイメージですね。

今　『PERFECT BLUE』の時はここまでは描かなかったんです。その結果、原画チェックをする以前にレイアウトの直しだけで精一杯になってしまった。『PERFECT BLUE』は見慣れた生活の風景が多いため、壁との距離や小物の位置などを、レイアウトで「普通に見える」ようにしておかないと映画が成立しなかったんです。「普通に見える」ように描ける人はごく少なくて、どうしても直す時間が増大する。そういう痛い経験もあって（笑）、今回は拡大すればレイアウトの下書きになるくらいの絵を意識しました。『千年』の場合はむしろ見慣れていないものが多いので、ディテールに関しては参考写真を渡して担当原画マンに描いてもらったり、美術・背景に助けてもらうことで、飛躍的にレイアウトの直しが減りました。その分、原画チェックでキャラの芝居にも力を割けたので、前作よりは本来的な監督業務に力を入れられたと思っています。

——レイアウトは、カットによって難易度が変わるものですか？

今　ええ、たとえば忍者のパートなどは、絵コンテを描くときに「ここはレイアウトチェック時、楽になるように」という下心も携えてました（笑）。道があって絵になるように木々があれば、空間のつじつまが少々合わなくてもなんとかなるんですよ（笑）。実際には、あそこは西尾（鉄也／『人狼』作画監督など）君の原画で、彼ならどんなシーンでも問題ないんですが。誰が描くかわからないシーンは、修正する作画監督にしろ、私にしろ、あまり負担になりすぎないようにしようとは考えます。望遠（レンズ）が多く、引きの絵が少ないのは、そういう理由もあるんです。

——そういうことがレンズの選択にも出るものなんですか。

今　カメラを引けば、画面に入るものが増えて情報量が上がる反面、空間的・作画的な面でそれだけボロも出やすくなる。ボロが出ないようにすべて直す時間は予算的に許されない。だからといって、作画の負担を楽にするというだけ

の発想も、作品としてあまりに貧困になる。作画が楽になる上に、この作品にとって効果的であるという自信を持てないと、ズルをしたみたいに思えてしまうので、屁理屈と呼ばれようと理由は一応考えますね。

――『千年女優』における理由づけは何でしょうか？

今　「千代子主観の物語だから客観的な絵は少ない方が作品に相応しい」ということでしょうか（笑）。古い想い出の中、建物や人々といった周囲の客観的な状況を事細かに覚えているわけもない。むしろ自分に近いものしか覚えていないし、千代子ならなおのこと周囲を客観的に見ている筈もない（笑）。だから、カメラは寄りで良い、というより、そうでなくてはならないという考え方です。たとえば途中のシナリオでは、場面が大陸に移ると「大連の俯瞰」といった描写もありましたが、そういうものは必要ないわけです。

◉映画の中へと引き込む演出術

――この映画では、立花と井田が千代子の話の中に入り込んでしまいますが、これはかなり大胆なアイデアですよね。

今　“インタビューアーも一緒に旅するインナートリップ”というアイディアがこの作品の肝です。ただ、お客さんにしてみればでっち上げられた女優の一代記なんて知ったことじゃないですからね（笑）。だから、そんなお客さん代表の視点が必要ということと、積極的に千代子と関わる人間が必要ということで、井田と立花という２タイプの存在が必要になったんです。

――井田は、いわゆるツッコミ役ですよね。

今　もし『千年女優』を実写で作るとしたら、生身の人間が出てくる分、最初からもう少し説得力がありますよね。しかし、アニメという手法で「架空の女優」となると、お客さんも「なに言っているんだか」という気になりますよ。そういうお客さんをフォローする意味で、劇中にその意見を代表する人間も置いておこうということなんです。これはちょっとずるい方法かもしれませんが、お客さんが突っ込む前に劇中で登場人物に突っ込ませると、「ちゃんと考えているんだ」と一見、穴がないように見える気がする(笑)。井田はそういう役割もあわせ持っているわけです。そして、冷めた目で千代子を見ていた井田でさえも、最後には千代子に対して気持ちを少し寄せるという風にすれば、同じように付いてきてくれるお客さんも増えるかな、と考えました。

――すると立花の役割は……。

今　立花は「千代子のファン」という積極的な立場ですから、勝手に先走る千代子のフォロー役でもあり、時に千代子の誘導役にもなる。挙げ句に思い出にも参加する（笑）。さらには立花自身の思い出話の主人公でもある。千代子以上に多くの役割を担っているので、説明的なセリフやら芝居が多くなる。それが気にならない

ような人物にはなったと思います。最初から芝居を大袈裟にしてますからね。例えばC-243から大滝が出てきますが、このキャラが立花と因縁があると分かるのはずいぶん話も後になってからです。なので、お客さんにそれを意識の片隅に置いといてもらうくらい、驚く立花が印象に残るように演出しています。

——その2人が、インナートリップに入っていくきっかけは、演出的にも難しかったのではないですか。

今　2人が千代子の世界に入り込むのはC-113から。老千代子にT.Uして若い千代子がO.Lする。まず、これで一気に時間が飛ぶわけです。続いていきなり専務のセリフが「どうしてもダメとおっしゃるか！」と入ります。こういうセリフの作り方が私は好きなんです。段取りを踏まずに途中経過のセリフから入ると、「それまでに相当いろいろあった」ということを意識させられる。このセリフを「どうしても私どもの映画に出るのは……」という親切心過剰な言葉にすると、端から説明的でまわりくどい。いわば「起」をとばして「承」から始めるわけです。「どうしてもダメとおっしゃるか！」「ダメです」と母親が受ける。何か緊張した事態である、ということを提示しておいてから説明を加える。専務のアップを受けて千代子が「こちらがその専務さん」と紹介して、さらに「千代子は誰にしゃべっているんだろう？」と思わせておいてから、立花たちを出す。こうした導入もなしに立花たちを回想に出しても、陳腐になるだけですからね。ちなみに回想に入るとき、老千代子の後ろ

の窓が白く光っているのは、スクリーンをイメージしているんです。ここに過去が映し出される、というイメージです。

——カメラアングルもそういう発想の中から決まってくるものですか。

今　専務の捉え方も、千代子視点だから当然あおりになるということもありますが、高圧的な人間ですし、軍国主義の時代性も意識しています。部屋のデザインが垂直方向の線を強調したデザインになっているのも、時代を象徴させたいからです。C-116は、お母さんと専務の間に挟まれて何も言えなくなっている千代子の立場という要素が大事だから、画面の配置もそれに基づいたものにしました。

——それで、左右にお母さんと専務を置いた構図なんですね。

今　千代子のセリフを聞いて、専務の動きをアクションカットでC-117へ切り返します。お客さんにしてみれば、登場人物が動いていや応なくつながった画面の中で、立花や井田が自然に見えてくるわけです。しかも専務の体を使うことで、ていねいに強調させられる。

——ここでは専務の身体が、ワイプみたいな効果をあげているわけですか。

今　ええ。これを専務の動きなしにやったら、間抜けになると思うんです。新しい場面が始まったこと、立花と井田が回想に入り込む話ですよという提示を同時にしなければならない重要なシーンなので、コンテ段階で頭をひねりました。インタビューアーも回想に登場するという変則的な手法を使う以上、お客さんには出来るだけ丁寧な導入が必要になりますからね。続くC-118で客観的に引いた視点に移って全体を提示し、この一連の流れで圧迫された千代子の状況と『千年女優』という作品の性格を把握してもらえるようにしたつもりです。一つのカットやシーンに、同時に色々なことを重ねるのが好きなんです。他にも、たとえば同時に作画枚数を減らす努力も見られますね（笑）。C-117で専務が右に歩いてアウトします。画面の外で「奥方！」と言って、専務の声に立花と井田が右を振り向くと次のC-118につながる。専務が歩いて移動して立ちどまるのに使う枚数を、画面の外に押し出したかったんです。オフゼリフを頻繁に使う理由には、そういうこともあるんです。画面の外でも芝居は続いているという感じも出ますしね。

——解説を聞いていますと、このカット割りが唯一無二という感じもしてきますが。

今　もっと良い方法があるのかもしれませんが、自分の中では専務とお母さんの対立はこういうラインで結ばれるべきだと思っているし、その間に千代子がいるようにもしたい。立花も井田はまだ深く千代子の回想に入り込んでいるわけではないので、緊張関係の外側にいて邪魔にならないようにする……こういうことを総合的に考えると、人物の配置にしろカメラ位置にしろ、そんなにはあり得ないんですよ。だからコンテ

を描いていて構図で困ることはあまりないです。

——C-118 のアングルは、その後に同ポジでまた登場しますね（C-123）。

今　C-123 では、千代子は無言で立ち上がって、２人の対立ラインを破って画面からはずれていくことで、ささやかな意志の表現をする。このシーンで重要なのは、千代子の頭越しにお母さんと中年の男性が千代子のことを話しているという絵なんです。中年の男性ですから父親くさい感じが当然しますし、右傾化した時代の象徴も背負って、頭ごなしにものを言ってくる。後の千代子なら「お母さん、何を言ってるのよ」「専務さんもいい加減にして」と言える女かもしれませんが、この時点では若いし、そんなに自分を出せるものではない。でも、内面にはすごく強いものがあるから、ぶつけられない気持ちを雪玉にぶつけるわけです（C-125）。

——雪玉のところでは、画面を２人連れが通り過ぎますね。

今　どれほどのお客さんがこの父娘を意識するかわかりませんが、「自分に父親がいたらこうならないのに」という千代子の思いを提示しておきたかった。さらに強調したいなら、この父娘にカメラが寄って、フォローでもしてはっきり見せるのでしょうが、私はそういう糖分の高い演出は苦手で（笑）。ともかく回想の方で「父が亡くなって」というナレーションがあるだけなので、父性不在をもう少し見せておかないと、鍵の君に出会う意味が希薄になってしまうのです。

——心理的な伏線になっているわけですか。

今　千代子にとって鍵の君は、常に頭越しであった父性が手を差し伸べてくる、というイメージです。それで恋心が芽生えるというか、ポーッとなってしまう。こういうイメージも、絵にしてみないとわからないですね。物語としては、優しい父性に対して心が開いたら、当然締めつける者も出てくる。傷の男の登場です。傷の男は時代を背負っている人間ですから、C-143 の後ろには国家神道を思わせる鳥居を配しています。

——立花と井田は、回想の中では神出鬼没に描かれていますね。

今　実はごまかしている部分もあるんです。C-156 で立花と井田が蔵の外から見ていますよね。現実だと老千代子がしゃべっているのを聞いていますから、蔵の片隅から見ていても良いはずなんですが、それだとロマンチックなシーンにそぐわないわけで（笑）。

◉場面転換の難しさ

——インナートリップに入っていくにつれ、場面転換が非常に大胆になりますね。

今　例えば C-263 は詠子が千代子に対して威圧的ですよね。「名前は？」「それじゃ探しようもないじゃないの」とタイミングよく攻めて激しく追いつめたところで、千代子の感情がたかぶって「満州にいるはずなんです!!」と跳ね返した瞬間に、バーンとシーンも飛ぶ。こ

れが気持ちよかったはずなんですが、尺が足りなくていまひとつ感じが出ませんでした。ここはちょっと気持ちの圧縮のかけかたが足りなくて、もう2回ぐらい詠子と千代子のやりとりが欲しかったですね。

——気持ちというのは、千代子のですか。

今　ええ、千代子の主観だけで違う場所につながってしまうくらい感情が高まるということですから、丁寧にやらなければいけないところです。それでつながらないなら、アクションがつながる、イメージがつながる、とにかく何か2つぐらいつながるものを用意したいと思っていました。

——満州の馬賊から戦国時代という転換も驚きました。

今　満鉄から戦国時代に飛ぶ部分は、一番無理があるんです。シナリオでは、千代子が馬賊の少年に連れられて砦に行くと、そこに日本人闘士である鍵の君がいるという流れになっていました。そこが日本軍の攻撃を受けていて、燃え盛る砦の中に千代子が駆け込んでいくと、戦国時代のお城につながる、と。これは尺が長くなる上に、作画も必要以上に大変で、予算的人材的にそんな余裕はとてもないのでショートカットしたんですが、考えぬいてつくったシナリオですから、そう簡単にショートカットできなくて、ずっと悩みました。馬と火というイメージしか重なっていないから、つながる要素が少ない。それでドアが開くか開かないかという仕掛けを用意して、開けたら違う場所になっている、という平凡なつなぎになってしまった（笑）。

鍵のアップを意味ありそうに入れて、無音にすることでなんとなくごまかしてます。そのあといきなり矢が飛んで来るのは、先にお客さんを驚かしてしまえば「少々強引な場面転換じゃないか？」と突っ込むことを忘れるはずだという理由です。これは『アルマゲドン』から学んだ手口ですね。疑われる前にさらに大きな出来事を起こす、と（笑）。

——C-398 から C-399 で、現実に戻る瞬間も別の意味でびっくりする展開でした。

今　ここのカットつなぎは、海外の上映で非常に受けるんですよ。笑いが来ますね。シナリオ段階で「井田のビデオテープには何が映っているのか？」を当然考えました。そのテープには、きっと千代子がセリフや情景を生き生きと話しているであろう……それを見せたかった。ただ時間的余裕がないんで、現実に戻るところで少しだけ使いました。

——鍵の君との出会いを始め、似たようなシチュエーションがいくつか繰り返されますね。

今　ひとつには、時間は直線ではなく循環的であるという考え方が好きで、あやかしの老婆の回す糸車にもそういう意味が重ねてあります。映像の韻みたいなものも、意図していました。幕末での千代子と鍵の君の出会いも、ぶつかって転ぶという最初の出会いと同じパターンを繰り返す。続けて傷の男が新撰組の姿であらわれて、「あっちへ行きました」と千代子が答えるところも含め、構図もなるべく方向性をそろえて、カット割りも近づけました。その上で単純に繰り返すのではなく、今度は傷の男が行きかけて戻ってくるというふうに発展をさせているわけです。それは前の絵があるから生まれた発想でした。

——Bパートのラストでは、映画の中の千代子がトンネルを抜けて空襲の中へ出て、そのまま現実の記憶へとつながっていきます。

今　ここはかなり意図的に、少女期の終わりを暗示しようとしています。少女が「死んだ」結果が瓦礫で、そこには少女時代のもう履けなくなった靴があって、それを愛おしむ芝居を入れる。愛しさはあるけどそこには戻れない、と。一方で再生の光として壁の絵が残っている。でもこういうのって、自分でもよくわからないんです。そう考えたから絵を描いたというわけでもないし、絵を描いたあとに自分で解釈したものでもない。絵が生まれることとその絵が必要な理由がわかるというのは、同時なんですよね。こういうことを意識化して言葉にすることも大事で、何を聞かれても説明できるような言語力は必要だと思います。

◉Cパートの苦労

——Cパートでは、劇中映画ではなく千代子の回想の方がメインになっていきます。

今　スチル写真の中を千代子だけが忙しく動き回るスタイルにしたのは、Aパートのアルバムの回想とは変化を付けたかったからです。その間、老千代子のナレーションがあって、またお

話が始まりますよというところで荘司(美代子)さんから小山（茉美）さんに変わるのは、うまくつながったと思います。

――早々に過去の若い立花が登場しますが。

今　このあたりから千代子、立花両者の想い出が複雑に絡み合い、コンテももっともトリッキーになって、描いていて楽しかった（笑）。千代子の想い出から立花に受け渡してさらに千代子へ、という流れをいかにつながりよく見せるか。シナリオからもかなり変更したかもしれません。セリフによる文字的な繋がりだけだと段取りくさくなりますから、こういうトリッキーな部分こそ絵と音の両方を上手く使う必要があります。またC-666の千代子の「意地悪だわ、黙ってるなんて」というセリフは、最終的には「ずるいわ、黙ってるなんて」に変更してます。「ずるい」は大人の言葉としてそぐわなくて却って千代子らしいと思ったのと、これまでの旅があったから千代子もなれなれしくなっているんじゃないかとか、いろいろ考えたんですよ。

――ここまでくると場面転換もかなりあの手この手になりますね。

今　同じパターンを繰り返したくないですからね。C-676で、過去の回想の舞台である浜辺に老千代子を出すのは、それまでのルールとは違います。本来なら一度山荘に戻らなくてはいけないのですが、ここでそれを繰り返してもただの段取りにしか見えないので、ショートカットして千代子を立花の回想に出しました。Cパートはシナリオ的に情報量が多くて、最短距離で進みたいと思っていましたから。その辺をわかってくれている音響の人が、ここに山荘の振り子時計の音をちゃんと入れてくれているんです。ですから、完成フィルムからは意味的にも「本来ここは山荘である」ということが伝わるようになっていて、よかったですね。

――Cパートでは、千代子の母が再登場して気づくと詠子になりますね。

今　C-694からの、母親との口論が詠子とのやりとりになっていくというのは、最近『夢の読み方夢の文法』(川嵜 克哲、講談社＋α新書)を読んで、「ああそうだ、まさにこれをやりたかったんだ」と改めて思いました。この本によると、夢の文法というのは、たとえば“責める責められる”という「関係」が旋回していくもので、その関係を演じている者が変わってもつながっていく、という考え方だそうです。ここでは自分の母親が言いそうなことが、詠子のセリフに重なっていきます。そうした上で、さらにあやかし――つまり老婆になった千代子――を見せています。ここはちょっと情報を入れすぎというか、同時にエピソードを重ねすぎたかな、と思います。まぁ、2回くらい見りゃお客さんも分かるだろう、と（笑)。

――確かにCパートは、情報量が多いですね。

今　いかにワンカットの中に多くの情報を入れるか、アイデアが湧いてきて楽しかったです。C-713は、詠子が立ち上がって左へアウトし

て行くと、助監督が入ってきて障子を開け、そのさらに奥に立花と井田が見えるという、人の出入りを考えるのも面白くて。C-715も、同じポジションからの寄りで「鍵が無い！」という千代子がアウトして、奥にピン（ピント）を送ると立花と井田がいて、そこへ詠子がインして、今度は立花側の回想になって……と、ピン送り自体が語り手の受け渡しみたいにしました。こういう風にワンカットの中に多くの出入りを入れる作りは、少ないカット数、短い尺で、シナリオの情報量を吸収しなければいけない苦しさから生まれた知恵です。なおかつ段取り臭く見えないように、ちょっと気のきいた演出のように見えなければいけないというハードルもありますし。

――このほかに気に入っているカットはありますか？

今　C-740からの千代子が家で掃除機をかけているところが気に入ってます。結婚式の写真に被る祝福の声が、日常を象徴する掃除機の音に変わるという流れもなかなかいいと思っていますし、C-743のＴＶの中では月へ向かうロケットが登場しているのに、千代子は行き止まりの廊下で掃除機をかけているという対比が私はすごく好きですね。窓の光が牢獄みたいな影を落としていたりね。尺を短縮せざるを得なかったときも、絶対にこれは落としたくなかった。切っても話は分かるんでしょうが。

――自宅がいきなりセットになるというのもかなり思い切った展開ですね。

今　ここまで来たら、お客さんは現実か劇中映画か夢なのか、もう気にしないだろうという読みもありました。無理に説明をつければ、自宅で起こったことと似たようなことが映画でもあったのがごっちゃになっているといえますが。『彼女の想いで』のイメージがちょっとあったのかもしれませんね。ああいうハリボテでできている世界という設定は好きなので思わず出てきたのかもしれません。正に虚ろな家庭である、と。ここではC-760とC767が対のカットになっています。セットの際がC-760の２人の間にはないんですが、C-767にはあるんです。ここで２人は完全に断絶したんです。画面を横切る線、あるいはこういう縦の線は、普通は絶対に避けているんですが、こういう場合にあえて使うと画面的に効果があるんじゃないかなと、私は思っています。

――そして、その後から千代子の怒濤の走りのシーンになります。

今　『千年女優』で私が一番やりたかったことにやっとたどり着いたんですよ（笑）。最初に立てたコンセプトのひとつに、「本編の中に予告編すら含まれている」というものがあったんですが、それに当たる部分です。コンテがここに辿り着いたときは尺もカット数の制限も残り少ないという、かなりまずい状況でしたが、楽しかったです。

――では、かなり当初の予定通りに進んだパート

なのでしょうか？

今　鍵の君の手紙の内容は、多少書きかえたかもしれません。私は絵と言葉が一致していない感じが好きなんですよ。両者のギャップが大きい方が、お客さんが画面から感じられるものも大きくなると思っていますので、この手紙の文面は大事でした。「いつか戦争が終わり、真の平和が訪れたら」という言葉を入れたのは、もう真の平和は訪れているのに、千代子にはまだ戦争が終わっていないというギャップが欲しかったからです。ですから、どうやったら“真の平和は既に訪れている”みたいなことが出せるかを考えましたね。雨のシーンだから、いきなりさわやかな陽ざしというわけにもいかないし。色鮮やかなカッパ姿の子供たちが先生に連れられて歩いているところを入れて、なんとか平和な感じを出そうとしました。

——クライマックスを編集する上で、絵コンテではどのように作業したんでしょうか。

今　Cパートは最初にまず全体の字コンテを作りました。シナリオを編集して、セリフとト書きを１カット単位に分けるんです。１カット分の頭に「・」をつけておいて、その数を数えてカット数を出す。今回は、全体で1,000カット以内というのが上限と決めていましたので、コンテを描き上げてから「1,200カットになっちゃいました」では済まない。ですから字コンテをつくって検証して、一番最短で表現できる方法を考えましたね。シナリオが持つ情報量も減らすわけにはいきませんから、別のシーンでやるはずのことをこのシーンにかぶせて……と調整していき、最低限切ってもいい部分を見つけて現在の形にしたと思います。クライマックスも同様に字コンテで必要であろうカット数を計算して、その段階で千代子の動きも繋がるようにしておいてから絵にしました。

◉欠番になったラストシーン

——ラストシーンはシナリオから大きく変更になっているそうですが。

今　そうです。シナリオでは、最後の地震は山荘で来る予定じゃなかったんです（笑）。一通り千代子の話が終わって３人で解体中の銀映の撮影所まで行くと、ほぼ解体されている中に１カ所だけ倉庫が残っている。そこに千代子の鍵を入れると、ありえないことなんですが、開くんです。中には、今まで語ってきたいろんなシーンのセットが積んであって、その中で「どうして姿を隠されたのか」と聞かれた千代子が、ロケットのセットのところで「どこまでも行こうと決めたのに」と答える。そこで千代子の姿がレフ板に映って、「私はもうあの人の覚えている私の姿なんかじゃない」云々と話すとあやかしが出てきて……という展開から地震につながるようなものだったんです。それではともかく長過ぎる。コンテを進めるうちに「千代子の昔語りは山荘から出てはいけない」というルールも自分なりにできてしまったので、現在の形に

なりました。ただ、それは最初に自分で書いたプロットの状態に戻ってしまっただけなんですが（笑）。

さらに続くシーンも変更してます。立花と井田も劇中でお茶を飲みますよね。シナリオではそれが千代子が戦国であやかしに飲まされた千年茶と同じであったということにして、２人ともずっと長く生きているような感じで、未来の病院の中でお別れするというような展開もあったんですが、やめました。千代子を送り出す最後のシーンまでも慌ただしくしたくなかったので。

◉漫画家のサービス精神

――最後になりましたが、コンテ作業中に何かエピソードでもありましたら、教えていただけますか。

今　うーん……現場で作画と並行してコンテを描いて、出来たところまでを配るわけですが、メインスタッフや原画・背景マンに話の続きを楽しみして欲しくなるわけですよ（笑）。スタッフが面白いとも思えないものをお客さんの前に出したくないですからね。なのでまずスタッフに面白がってもらうには、次のコンテを楽しみにさせるにはどうしようか、とか。

――生粋のエンターテイナーなんですね（笑）。

今　現場をやっぱり盛り上げたいと思いますから。「はい、今回は30枚」と清書したものを出すときに、最後のカットをわざといいところで終わらせたりして（笑）。漫画の連載みたいな感覚はありました。

――それは今さんに漫画家の経験があるからでしょうか。

今　きっとそうなんでしょうね。習性みたいなものでしょう、「元」漫画家の（笑）。漫画では期待を持ってページをめくってもらえるよう、ページのラストに気になるコマをもってくるのが常套手段です。同じように、登場人物が何かに気づいて「アッ！」という芝居なんかを絵コンテの最後のコマにもってきたくなるんです（笑）。どうしてもこの絵をコンテの一番下のコマに持ってきたいから、その前にもう１つ絵を足しておこうとか（笑）、いや、時々本当にやりましたよ。

――すると今さんの絵コンテは、今回みたいにきちんと製本されると読み応えが出るんじゃないでしょうか。

今　そうだと良いですね。本来お客さんがコンテを見る必要なんかないのでしょうが、一緒に作っているスタッフは、いわば最初のお客さんですし、彼らがまず面白く読めるようにと思って描いたものですから、『千年女優』をより深く楽しみたいと思われる方は是非ご一読下さい。

（2002年12月11日　マッドハウスにて）

Story Boards Dictionary

絵コンテ用語

■絵コンテ

アニメーション制作の基本となる映像の設計図、英語の Continuity（連続性）が語源。絵コンテではカメラポジション、画面構成、そこに登場する人物のセリフや演技、カットの秒数などが指定される。カットによっては、撮影処理、音響効果などの指示も描きこまれる場合もある。各スタッフはこのように描かれた絵コンテを通じて作品内容の連続性＝流れを把握し、作業を進めていく。制作作業の根本に位置するという意味では、実写映画の撮影台本に相当すると言うこともできる。
なお絵コンテを描くことを俗に、コンテを切る、という。

■絵コンテ用紙

絵コンテ用紙はいくつかの項目にわかれており、制作会社によってデザインは多少異なっているものの、内容はほとんど共通している。左側からシーンナンバー、カットナンバーを書く欄、画面の絵を描く欄、ト書きやセリフを書く欄という順番に並び、右はじにそのカットの所要時間を書くようになっている。所要時間は「10＋8」などと書かれているが、これは10秒8コマという意味である。

■パート

通常、長編アニメーションの絵コンテは、30分前後を一区切りとしていくつかのかたまりにまとめられる。このまとまりをストーリー順に頭からAパート、Bパートと呼んでいく。

■ FIX

カメラの方向を動かさず撮影すること。

■同ポ（同ポジション）

別のカットと同じカメラアングルを使うという指示。同ポジションの略。

■ PAN

固定されたカメラが左右（あるいは上下）に首を振るように動くカメラワーク。被写体と並行移動するFollow と違い、ＰＡＮする場合はカット頭とカット尻では消失点の方向が変化している。アニメーションの場合は、カメラワークに合わせて消失点を変化させた背景を描き、それをスライドさせることでＰＡＮを表現する。

■付けてＰＡＮ（付けＰＡＮ）

キャラクターのアクションを追いながらＰＡＮするカメラワーク。

■ T.U（T.B）

トラック・アップ（トラック・バック）。被写体に対してカメラが前進、あるいは後退するカメラワーク。Q.T.B とあれば Quick（素早い）T.B という意味。ズーム・アップはレンズ操作により被写体をアップにするカメラワークで、本来カメラ自体が移動するT.U とは画面効果は異なるが、アニメーションの場合は厳密に区別されていない場合が多い。

■ Follow

被写体の横移動に、カメラも従って動いていくカメラワーク。アニメの場合、Follow は背景を Follow する方向とは逆方向にスライドすることで表現する。

■背動（背景動画）

背景の動きなどを背景画ではなく動画で表現すること。走る自動車の運転席から見るような、遠くの風景が近づいてくるシーンなどで使われる。

■ポン寄り

あるカットから、より被写体に近寄ったアップのカットへと切り替わるカット割。

■ F.I（F.O）

フェード・イン（フェード・アウト）。暗い画面が次第に明るくなり映像が浮かび上がるのがフェード・インで、フェード・アウトはその逆になる。ホワイト・アウトは逆に画面が明るく白くなってしまうこと。

■ O.L

オーバーラップ。多重露出により二つの素材を一つの画面の中に重ね合わせる手法。カットをつなぐ場合に主に使われるが、カット頭やカット尻ではなく

カット中にO.Lする場合は、特に中O.Lと呼ばれる。アニメーションの場合、たとえば明かりがついていない街灯を描いた背景の上に明かりのついた背景をO.Lさせることで「街灯に明かりがつく」という状況を表現する場合もある。

■ワイプ

画面をぬぐうように場面が転換する手法。

■T光（透過光）

光そのものをフィルムに映し込む撮影技法。光源となるものの形を作画した後、リスマスクという特殊感光フィルムに焼き付け、光源の部分だけが透明になったマスクをつくる。このリスマスク越しに撮影台の下から光をあて、多重露光させることで光を表現する。パラフィンフィルムを使うことで、光に色をつけることもできる。

■スーパー（スーパーインポーズ）

二重露出の一種。まず100%の明るさで一度撮影し巻き戻す。次に黒バックの上に置いた目立たせたい素材を、巻き戻したフィルムの上に再度撮影する。こうすると黒バックの上の素材が明るく浮かび上がる効果が得られる。

■Wらし（ダブラシ）

二重露出のこと。まず全ての素材を適正露出の一定の割合（たとえば50%）の明るさで撮影する。
続いて、ダブらせたい素材を1回目の素材の上に置き、1回目の撮影と合計して適正露出になるように2度目の撮影を行う。
こうすると2度目に置いた部分だけが露光が足りず（この場合50%）、素材が透き通るような効果が得られる。この時の比率は自由に変更できる。

■画面動

地震のシーンや爆発シーンなどの振動を表現するため、撮影時にセル画と背景画を動かして振動の効果を出す。

■オプチカル

光学撮影による合成処理のこと。現像所の現像や焼付けの際に行われる。

■マルチボケ

マルチプレーンを使い、中心となる被写体以外をピンぼけにする効果。主に手前の被写体がボケている効果を指す。
マルチプレーンとは、撮影台に上段を組んで素材間の奥行きを出すための装置。

■ピン送り

マルチプレーンでピントが合っている被写体から別の被写体へとピントが移動する効果。

■A.C

アクションカット。一つのアクションが二つのカットにまたがっていること。一連のアクションのどのタイミングで編集するかは、演出家と編集者の狙いによって変わってくる。

■SE

サウンド・エフェクト。効果音のこと。アニメーションの場合、あらゆる効果音はフィルムを見ながら画面にあわせてつけられる。音の付け方一つで、ものの重さ、固さなどが違って感じられるため重要な役割を持つ。

■こぼし

セリフが次のカット頭にわずかに残ること。

■IN（OUT）

フレームの中に被写体が入ってくる（出ていく）こと。フレーム・イン（フレーム・アウト）。

■カット頭（カット尻）

ひとつながりの映像であるカットの始まりの部分をカット頭、終わりの部分をカット尻という。なお、複数のカットが集まって一つのシーンを構成し、シーンが集まって一つの映画となっている。なお、カットはアニメ用語、映画全般ではショットと言う。

■OFF

被写体がフレームの中に入っていない状態。キャラクターがフレーム内におらず、セリフだけが聞こえてくる場合を「OFFゼリフ」という。

■BG

セル画の後ろに置かれる背景のこと。BackGroundの略。

■Book

セルで描かれたキャラクターの手前に置かれる背景素材。セルに直接背景を描いたり、あるいは紙に描いて必要な部分だけを切り抜くなどして、キャラクターの上に重ねて撮影される。

■スライド

撮影用素材を少しずつずらしながら撮影すること。自動車が横方向に移動する場合などに使われる。

Dictionary of Millennial Actress
『千年女優』用語辞典

■銀映

日本の映画会社は第二次世界大戦中の'42年に統合が行われ、松竹、東宝、大映の３社となった（戦後、東映、日活が加わった）。銀映はこの３社に並ぶ戦前から活動していた伝統ある映画会社として想定されている。制作作品は、さまざまな映画会社のヒット作などを下敷きにしており、撮影所の立地などは松竹の大船撮影所を思わせる。

■撮影所（スタジオ）

日本映画界は'50年代に戦後の黄金期を迎える。その黄金期を支えたのは、プログラム・ピクチャーの量産を可能にした撮影所の制作能力の高さと、それに出演するスターの存在だった。しかしこの黄金時代も'60年を頂点にゆるやかな後退に入り、大手映画会社の制作本数は減少していった。そこで行われたのが広大な撮影所の敷地の切り売りだ。'99年にはリストラを進める松竹が、伝統ある大船撮影所を売却したのが記憶に新しい。

■睡蓮

スイレン科スイレン属の淡水産水草の総称。赤、紫、白などの花びらがらせん状に配列する花が美しい。なお本来、英語でLOTUSといえば蓮を指すが、仏教的ニュアンスが強くなるので、本編ではあえて睡蓮と話を進めている。睡蓮は英語でWater lily。

■関東大震災

'23年(大正12年)9月1日11時58分，神奈川県中部から相模灘東部，房総半島南端にかけての一帯を震源域として発生したマグニチュード M7.9の大地震(関東大地震)に伴う日本史上最大の地震災害。昼食時だったため大規模な火災が発生、45時間にわたって44万戸以上を燃やし尽くした。死者は142,000人。千代子の誕生した年であり、ここから計算すると本編中の「現在」は、'98年と推察される。

■南京陥落

日中戦争で日本軍は中国の首都であった南京を攻略した。日本軍は南京を直接防御した中国軍を包囲攻撃し、中国軍は'37年12月12日に退却、同13日に南京は陥落した。当時千代子は14歳である。

■満州

満州事変によって日本軍が占領した満州(中国東北部)を中心とする傀儡国家。1937年には満州映画協会が設立され、文化宣伝映画や娯楽劇映画などの映画製作も積極的に行われた。

■八卦見

易は筮竹（竹の棒）と算木（陰陽を表す角棒）を使って占う占いの一種。得た卦を易者が易のテキスト「易経」で解釈し、回答を得る。八卦とは「易経」の「易ニ太極アリ。是レ両儀ヲ生ズ。両儀ハ四ヲ生ジ。四象ハ八卦ヲ生ズ。」による。

■馬賊

中国，東北地方の騎馬武装集団。明治末期から大正にかけての軍事冒険小説の舞台が日本の青少年の大陸雄飛の夢をあおり、その対象として仁義集団「馬賊」へのロマンチックな思い入れも生まれた。『馬賊の唄』（作詞・宮崎滔天）はその代表といえる。

■戦国時代

応仁の乱の始まった1467年から約100年の間続いた、群雄割拠する時代。さまざまな武将が活躍し、後の小説、映画、テレビドラマ、ビジネス人の心得などのさまざまな元ネタとなっている。

■木枯し紋次郎

虚無と孤独を友とする渡世人。口に長い爪楊枝をくわえているのが特徴。様式美の時代劇ではなく、着物は薄汚れた合羽、地毛をいかした髪はぼさぼさのまげ、転げ回る殺陣など写実的な要素の強い作品だった。本編では立花が股旅姿で、口に爪楊枝ならぬ枝をくわえて登場している。

■島原

京都にある日本で最初の幕府公認の遊郭。1640年に移転した際に、その騒動がまるで「島原の乱」のようだったため、それになぞらえてこう呼ばれるようになった。なお遊女の位は上から太夫、天神、鹿恋、端女郎、引船と分けられる。

■新撰組

幕末京都の警備を行った佐幕浪士隊。勤王攘夷派志士の弾圧で名をあげ、壬生浪人として恐れられた。近藤勇、土方歳三、沖田総司など魅力的なキャラクターがそろっていることもあって、フィクションの世界では主役としても敵役としてもしばしば登場する。

■鞍馬天狗

大仏次郎の連作時代小説の主人公。黒頭巾姿で討幕運動に挺身する謎の勤王の志士だ。これを原作とした映画が、戦前に人気を集めた。中でも鞍馬天狗を最高の当たり役としたのは嵐寛寿郎ことアラカン。'27年のデビュー作《鞍馬天狗余聞・角兵衛獅子》から'56年の《疾風！鞍馬天狗》まで、40本に出演した。

■赤絵（明治浮世絵）

明治版画の俗称。明治期に入り、外国製の染料が安く輸入されるようになって、さらに赤もアニリン性の鮮やかなものが使えるようになったことから赤を使った版画が作られるようになったという。

■引揚船

海外の日本人が，敗戦という事態のために日本に帰国してきたことを「引き揚げ」といい、引き揚げてきた人のことを引揚者、引揚者を乗せてきた船を引揚船という。

■真知子巻

菊田一夫作の放送劇『君の名は』の映画版（松竹）でヒロイン岸恵子が行ったショールの巻き方。頭から首にかけてくるりと巻くのが特徴。映画の大ヒットとともに、このファッションも大流行した。

■チーフ（助監督）

助監督のトップで、スケジュールの決定、進行などを含めて映画撮影の現場が円滑に行くように働く。撮影所システムが生きていた時代は、サード、セカンド、チーフと助監督経験を積み上げ監督になるという流れがあったが、現在ではそうとは限らない。特に優秀な助監督に求められる能力と、監督の求められる能力は異なっていることから、助監督のプロとして生活している人もままいる。なお映画の現場の象徴でもある、カチンコを打つのは、日本では通常一番下位の助監督の仕事である。

■メーサー車

正確にはメーサー殺獣光線車。引用元は「フランケンシュタインの怪獣 サンダ対ガイラ」(66)。

■デコトラ

トラックの全体を派手な電飾やエアロパーツ、派手なイラストなどで飾り付けたトラックの総称。デコレーション・トラックもしくはデコレイテッド・ト

ラックの略と言われている。最近ではアートトラックと呼ばれて、専門誌も出版されている。

■マーキュリー計画

アメリカの最初の有人宇宙飛行計画。'61年5月5日の「フリーダム7」による15分の弾道飛行から始まり、'62年2月20日のマーキュリー3号「フレンドシップ7」ではついに4時間55分の有人軌道飛行を達成。この後、3回の有人軌道飛行が行われる。本編で千代子の自宅のテレビに映っているのは、この「フレンドシップ7」の打ち上げ風景を想定している。この時、千代子は39歳のはずである。

■月

平均距離約38万4,400kmをおいて地球のまわりを回る唯一の天然の衛星。重力は地球の約6分の1。表面はレゴリスと呼ばれる細粒物質で覆われている。満ち欠けをしたり、太陽と対ともいえる天体であるため、多くの神話、伝承などで取り上げられ、豊穣を司る場合が多い。

■高峰秀子

'24年生まれ。'29年に松竹蒲田に子役として入社。以後、女優として活躍しファンを魅了した。代表作に『カルメン故郷に帰る』('51)、『二十四の瞳』('54)など。千代子の「私が子供の頃は博打を重ねたみたいに危ない世の中で〜」というセリフは高峰秀子の自伝『わたしの渡世日記』(文春文庫)からの引用。

■原 節子

'20年生まれ。その美貌と演技力により、戦後日本を代表する女優。中でも小津安二郎監督とのコンビによる作品は珠玉で、中でも『東京物語』('53)は世界映画史に残る傑作である。'62年の『忠臣蔵 花の巻・雪の巻』を最後に女優をあっさり引退。現在も鎌倉でひっそりと暮らしているという。伝説の女優とも呼ばれている。千代子には、この原因不明の引退と鎌倉に暮らす伝説の女優というイメージが重ねられている。

劇中映画メモ

◉『傷痍の勇士』

藤原千代子のデビュー作。窮地を救ってくれた陸軍少尉を慕い、赤十字の看護婦として大陸へ渡るヒロインを演じた。高田幹三郎監督。

◉『大地の明日』

戦後、銀映撮影所での撮影再開第1作となった作品。千代子も出演しているが役柄については不明。監督は高田幹三郎といわれる。

◉『あやかしの城』

時代劇に怪談を交えた娯楽大作。千代子は夫である若君が殿にならんとする日に家臣の謀反に巻き込まれる姫を演じる。島本敬一監督。

◉『千代子の忍法七変化』

千代子は無実の恋人を助けようとする甲賀忍者。町娘、姫、女忍者、男役の渡世人などさまざまなコスチュームを披露する歌謡時代劇。

◉『君を慕いて』

千代子の代表作としてファンに愛されている作品。千代子の役は親が進める縁談と恋人の中で苦悩するヒロイン。成島喜美男監督。

◉『紅の華』

銀映40周年を記念する大作時代劇。埋蔵金を狙い反乱した家臣たちに囚われた殿。千代子は忠臣とともに殿を救おうとする姫を演じる。

◉『島原純情』

京都の島原が舞台の遊女物。千代子演じる遊女は明るく自由奔放な性格。彼女はあるお客に思いを寄せるようになる。平瀬修吉監督。

◉『雪の絶唱』

幕末の京都を舞台にしたロマンチックな時代劇。町娘役の千代子は、脱藩浪人の青年との悲恋に苦しむ。成田茂三郎監督。

◉『怪傑黒天狗』

幕末の京都で佐幕派と戦うヒーロー黒天狗シリーズ第6作。千代子はゲストヒロインとして新撰組に囚われた幼馴染を助ける娘役。

◉『東京のマドンナ』

千代子がバスガイドを演じた1作。東京を舞台にバス運転手とバスガイドの恋を描いたコメディタッチの作品。大滝諄一監督。

◉『真夏の水平線』

男三人組が夏の海辺で繰り広げるライトコメディ。千代子はマドンナ役のお嬢様を演じ、男性陣のアタックを受ける。大滝諄一監督。

◉『女の庭』

母と娘の価値観の違いから生まれる相克を描く文芸作。結ばれぬ相手のために独身を貫こうとする娘を千代子が演じる。大滝諄一監督。

◉『めぐり逢い』

全三部作からなるすれ違いメロドラマ。人気ラジオドラマの映画化になるが、本作も大ヒットを記録した。富山嘉雄監督。

◉『学舎の春』

千代子が演じるのは地方の女子高に転任してきた、溌剌とした女教師。生徒との交流が四季の風景をバックに描かれる。大下恵治監督。

◉『ギガラ』

怪獣ブームの中、銀映が制作した怪獣映画。千代子はギガラを倒す鍵に気付く女性科学者を演じている。本田虎造監督。

◉『化石の家』

千代子演じる主人公は、苦労の末に結婚という幸せをつかむが、ある日、彼女の前に家族を捨てた父が現れる。大滝諄一監督。

◉『トラック大将　純情街道爆走編』

デコトラ運転手が主人公の人情喜劇シリーズ。本作はそのうちの１本で、千代子はマドンナ役としてゲスト出演。鈴原英司監督。

◉『遊星Ｚ』

宇宙ＳＦ。亜空間に入った恋人の宇宙パイロットを助けるため、千代子演じるヒロインはロケットで旅立つ。海老原宗男監督。

『千年女優』DVD-BOX
本編ディスク オーディオコメンタリー

出演者プロフィール

今 敏　Kon Satoshi（監督）

＊本誌 18 ページを参照

三間雅文　Mima Masafumi　（音響監督）

東京都出身。テクノサウンド所属。主な作品に『頭文字<イニシャル> D third stage』、『メトロポリス』、『ポケットモンスター / セレビィ～時を超えた遭遇～』、『サクラ大戦 活動写真』、『パルムの樹』等多数。また『千年女優』は、'98 年『PERFECT BLUE 』以来、今 敏監督作品 2 度目の参加となる。

平沢 進　Hirasawa Susumu　（音楽）

東京都出身。'79 年、テクノポップバンド“P–MODEL”を結成。'89 年より“P–MODEL”と平行してソロ活動開始。'97 年『剣風伝奇ベルセルク』のサウンドトラック及び劇中歌を担当。'01 年、デジタルコンテンツグランプリ 2001 にて「インタラクティブ・ライブ・ショウ 2000　賢者のプロペラ」で経済産業大臣賞及びエンターテインメント部門最優秀賞を受賞。

荘司美代子　Shouji Miyoko

（藤原千代子 70 代）
東京都出身。俳優座養成所 7 期卒。同人舎プロダクション所属。TV 放送草創期より活躍するベテラン。『ムーミン』（ミムラ姉さん）、『けろっこデメタン』（母親）、『機動戦士ガンダム F91』（モニカ・アノー）等、有名かつ印象的な役柄が多い。また海外 TV ドラマでもかつての『スーパーマン』（ロイス・レイン）から現在まで数多くの出演作品がある。

小山茉美　Koyama Mami

（藤原千代子 20 ～ 40 代）
愛知県出身。青二プロダクション所属。『Dr. スランプ　アラレちゃん』（アラレ）や『魔法のプリンセス　ミンキーモモ［旧］』（モモ）等に代表されるアニメのヒロイン役で一世を風靡した人気声優。『バンパイヤン・キッズ』（スー）での久々のヒロイン役で話題を呼んだほか、海外 TV ドラマや洋画の吹き替えでも活躍。『フェリシティの青春』（サリー）、『となりのサインフェルド』（エレイン）等多数出演。

折笠富美子　Orikasa Fumiko

（藤原千代子 10 ～ 20 代）
東京都出身。俳協所属。『GTO』（冬月あずさ）から『デジモンテイマーズ』（ルキ）、『Hellsing』（セラス）、『フィギュア 17　つばさ＆ヒカル』（ヒカル）、『最終兵器彼女』（ちせ）等、アニメ作品のヒロイン役を演じた代表作多数。現在最も活躍している若手声優の一人。

千年女優

千年読本（せんねんとくほん）

Story Boards Book

執筆：氷川竜介
藤津亮太
編集協力：山田尚美（shuffle ltd.）
デザイン：内藤啓二（shuffle ltd.）
デザイン協力：安保瑞枝

パッケージ・アート・ディレクター：イナガキキヨシ（トライステロ・デザイン）
協力：ジェンコ／マッドハウス

発行日：2003年2月25日
提供：千年女優製作委員会
発売・販売元：バンダイビジュアル株式会社

NOT FOR SALE
本誌を無断で転載することを禁じます。
Printed in JAPAN

©2001 千年女優製作委員会

©2001 千年女優製作委員会
BCBA-1546